

令和6年度国立公園における感動体験創出事業 実施者報告書

	申請者名	事業名	国立公園名
1	合同会社 歩く東北研究所	「ふくしま火山旅」 100年続く盆栽と、1000年続く温泉の物語	磐梯朝日 国立公園
2	栃木アウトドア事業振興会BERGTOAD	消えた古道を探し山岳信仰の物語を探るアドベンチャーツアー造成事業	日光国立公園
3	株式会社東京山側 DMC	秩父多摩甲斐国立公園における新たな感動創出コンテンツ造成事業	秩父多摩甲斐 国立公園
4	一般社団法人雪国観光圏	エコロッジからエコロッジへ古道を歩く旅	上信越高原 国立公園
5	株式会社戸隠	戸隠地域の高付加価値ストーリーを国内外に発信する 戸隠観光振興イノベーション事業	妙高戸隠連山 国立公園
6	一般社団法人 日本アルプスガイドセンター	日本アルプス 野生動物/ライチョウ観察ガイドツアー	中部山岳 国立公園
7	株式会社 伊予銀行	瀬戸内海国立公園指定90周年を契機とした 「サステナブルツーリズム」創出事業	瀬戸内海 国立公園
8	阿蘇カルデラツーリズム推進協議会	世界を感動させる阿蘇へ「阿蘇自然体験活動促進計画」自走化事業	阿蘇くじゅう 国立公園

ふくしま火山旅

100年続く盆栽と、1000年続く温泉の物語

[磐梯朝日国立公園 / 磐梯吾妻・猪苗代地域]

ADATARA AZUMA NATURE CENTER

安達太良・吾妻 自然センター（合同会社歩く東北研究所）

磐梯朝日国立公園 | 事業概要

国立公園指定書主題（テーマ）

磐梯朝日国立公園 / 磐梯吾妻・猪苗代地域

古の姿を守り続ける遼遠の花々、変わらずにはいられない火山の大地

磐梯吾妻・猪苗代地域は、山形県と福島県に跨っており、磐梯山とその北側の裏磐梯を有する磐梯地区、西吾妻山を最高峰とする吾妻連峰と安達太良山を包括する吾妻地区、猪苗代湖を包括する猪苗代地区の3地区に分けられる。磐梯地区は、明治に噴火した磐梯山の荒々しい山肌とその噴火によって形成された裏磐梯の300とも言われる湖沼群が特有の景観を呈している。吾妻地区は、2,000m級の新旧火山が連なり、オオシラビンなどの天然林が広がり、山中には湿原が点在し、地区内には数多くの温泉が湧出している。また、東側の安達太良山も荒涼とした火口原が広がっている。猪苗代地区は、磐梯山麓に位置し、日本で4番目の面積を誇る広大な湖である猪苗代湖からなり、冬期にはコハクチョウをはじめとする渡り鳥の飛来地となっている。磐梯吾妻・猪苗代地域の主要な保護対象は磐梯山の爆裂火口、五色沼をはじめとする火山性堰止湖沼群並びに火山群峰である吾妻連峰及び安達太良連峰であり、風致を維持するために必要な区域を特別地域に指定する。吾妻連峰（吾妻山稜）、安達太良山（沼ノ平）、裏磐梯（五色沼）、磐梯山等の原生的自然景観を保護するために必要な区域は、特別保護地区に指定する。また、特別保護地区に準ずる景観を有する区域は第一種特別地域に指定する。鎌沼及び五色沼については、水環境を保全するため、指定湖沼に指定する。浄土平へのスノーモービル乗入れを防止し、高山植物等の損傷を防止するため、スノーモービル乗入れのアクセス部及び乗り回しが予想される地域を車馬もしくは動力船の使用又は航空機の着陸を規制する地域に指定する。本地域は、自然及び山岳地や湖沼付近からの眺望を求めて自然探勝、登山、スキー、温泉などに福島県、山形県、宮城県及び首都圏から自家用車で訪れる利用者が多い。利用拠点とするため、浄土平及び裏磐梯を集団施設地区に指定し、適切な利用のための施設を集团的に整備する。



磐梯朝日国立公園 | 事業概要

本事業・本ツアーのストーリー（来訪者と共有したい価値）

100年続く盆栽園と、1000年続く温泉地

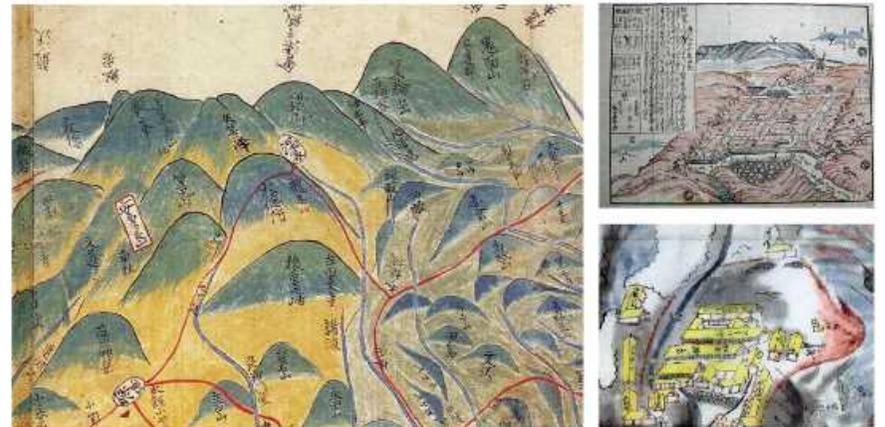
1) BONSAI TRAIL：東吾妻エリアの「盆栽トレイル」

噴火により積層した火山灰土や礫、一年を通して吹きつける強い西風、そして半年が雪で閉ざされる冰雪などが重なり植物の生育環境としては非常に厳しい条件が重なる東吾妻。その厳しい環境下で遅く自生する吾妻五葉松は、地の侵食を受け入れながら自らの姿も変容させてきた。それが、他の地域では見ることのできない巨大な「根上り」の姿であり、その造形を100年近く前から参照して作られてきた盆栽が評価を受けるようになり「Natural style」の手本として技術と共に海をわたって世界に広がっている。今では「Neagari」として海外の盆栽作家やファンにも知られる吾妻五葉松やその環境、そして百年・三代渡って継承されてきた盆栽の姿に触れる時間を BONSAI TRAIL として紹介する。



2) ONSEN TRAIL：安達太良エリアの「温泉トレイル」

温泉場としてのルーツを遡っていくと1200年以上前に書かれた書物（日本三大実録）に「岳温泉（だけおんせん）」の原点が記されている。現在は安達太良山の山麓に位置する温泉街も平安～江戸時代にかけては、標高1500mの地点に湯小屋が建ち並び、歓楽温泉場として遠くは水戸からの来湯客で賑わいを博したという。温泉場が終わりを迎えるのが200年前の1824年。安達太良連峰の1つ鉄山が崩れ、その温泉街は土砂の下敷きとなり多くの犠牲者が出る惨事に。その後は山麓に移転するものの戊辰戦争や火災などで3度の遷移を繰り返すことになる。それでも1000年以上、同じ源泉を使い続け、いつの世もそのお湯を管理する「湯守」がいる。何世代にもわたり守り続けてきたその安達太良が産む湯に触れ浸かる時間を ONSEN TRAIL として紹介する。



本事業で活用する資源とテーマ

資源 = 磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル®

「BONSAI TRAIL (東吾妻エリア)」と「ONSEN TRAIL (安達太良エリア)」を繋ぎ、活火山の情景と幾つもの温泉地をめぐる旅路

猪苗代湖から始まり、磐梯山、裏磐梯、吾妻連峰、安達太良連峰を一筆書きでつなぐ総延長 約250km のロングトレイル構想「磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル®」。国立公園内を歩くためのトレイルであるとともに、山麓や裾野での暮らしや文化、産業などにも着目し、それらを繋げたストーリーを感じていただくための路として提唱していく。2023年よりトレイルマップを公開した「ATA: Azuma to Adataru」ルートは、BONSAI TRAIL と ONSEN TRAIL を繋いだ山旅のプラットフォームとなる。

1) BONSAI TRAIL : 東吾妻エリアの「盆栽トレイル」

《三世代約 100 年にわたり、実生から五葉松を育て盆栽をつくる技術を継承してきた、吾妻五葉松の「盆栽文化」に触れる山旅》

吾妻五葉松の盆栽を知った上で、そのルーツとなるエリアに足を踏み入れ、先人たちが見てきた盆栽のモチーフに触れることによって、従来はトレイル脇の植生でしかなかった五葉松の姿やその造形に価値を感じることができる。また、厳しい風雪によってできた幹や枝、根の形状は、このエリアの風の強さや積雪量を可視化するものでもあり、磐梯吾妻・猪苗代地域の自然環境について考える機会も与えてくれる。この山旅を通じて、自然の造形やありのままの姿を捉える日本人の美意識についての気づきを与えることができ、そのような文化を未来に残していくために次の世代に対してこの自然をどのように継承していくかということも含め考えていただく。

2) ONSEN TRAIL : 安達太良エリアの「温泉トレイル」

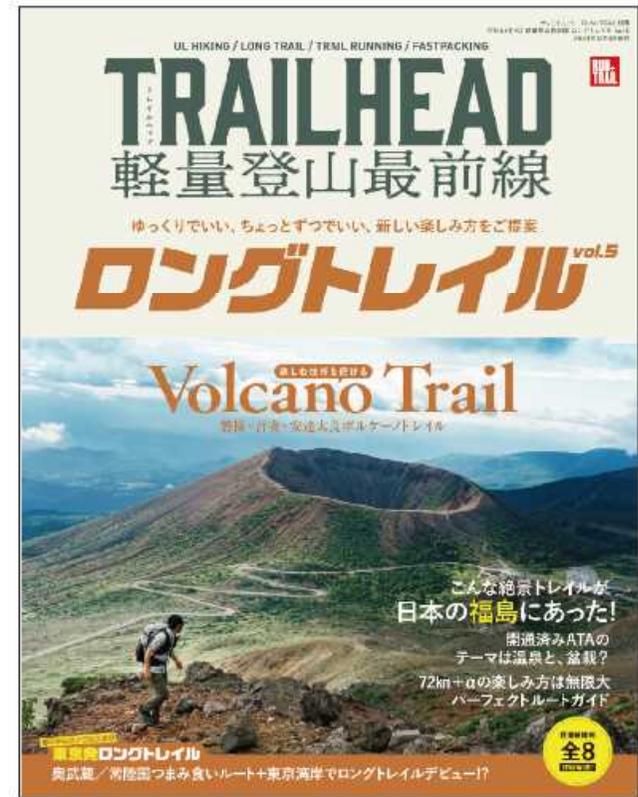
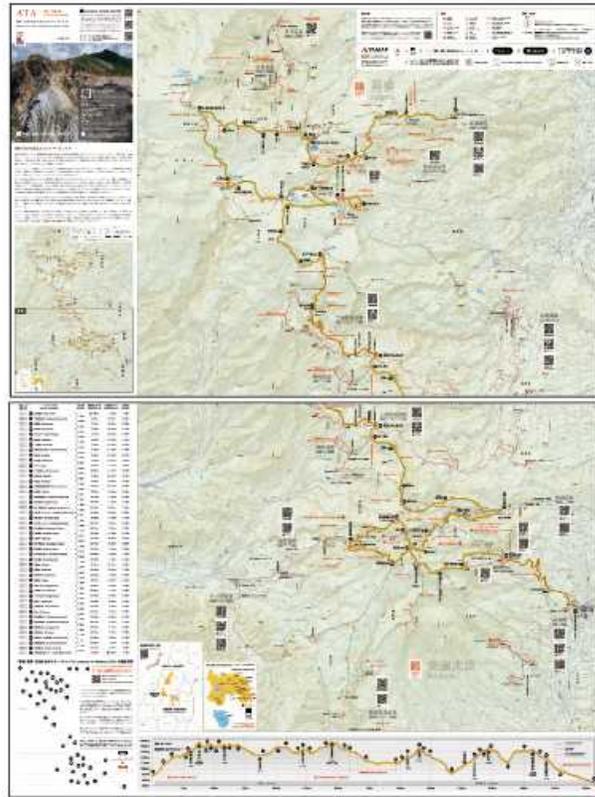
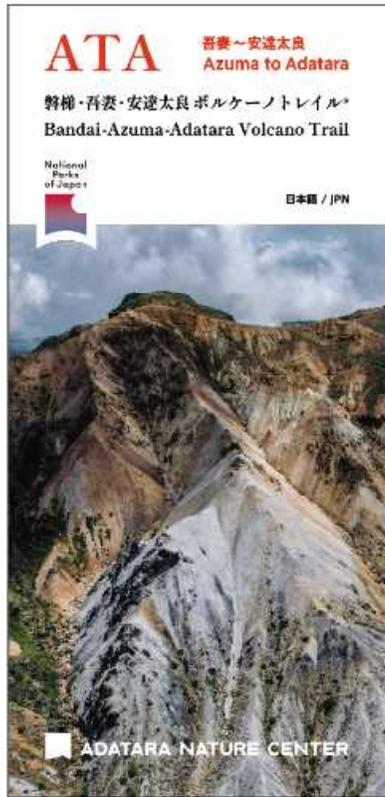
《1000 年間に幾度の災害を乗り越え、移転を繰り返しながらも湯守が源泉からの引湯を継承してきた「温泉文化」に触れる山旅》

1200 年以上の長い歴史がある温泉場「岳温泉 (だけおんせん)」。長い歴史の中で幾多の大災害を乗り越え、温泉地の移転を繰り返しながらも、なぜ平安時代からこの温泉に浸かり、守ってきたのかを探訪する。江戸時代、この岳温泉は二本松藩下であり、遠くは水戸からの来湯客で賑わう歓楽温泉場として賑わっており、そこでは多くの酒も酌み交わされたであろう。当時の二本松城の郭内には 10 軒以上の酒蔵があった。当時 10 万石の城下町であったこと、そして安達太良山からの豊富な伏流水により日本酒の原材料となる「米と水」が潤沢にあったことも起因している。現在は日本最長と言われる 8 km もの距離を湯樋を繋いで引湯しているが、先人たちがそこまでしてこの湯を守ってきた所以を、温泉と酒を生む源流を訪ね、温泉に浸かって考えていただく。

磐梯朝日国立公園 | 事業概要

本事業で活用する資源とテーマ

資源 = 磐梯・吾妻・安達太良 ボルケーノトレイル®



2023年に公式マップをリリースした「ATA: Azuma to Adataro」ルートは、「BONSAI TRAIL（北側：東吾妻エリア）」と「ONSEN TRAIL（南側：安達太良エリア）」を繋いだ山旅のプラットフォームの役割を果たす。2024年度に表紙＋巻頭特集 60 頁で雑誌誌面に紹介された際も「VOLCANO TRAIL」とともに「盆栽」「温泉」のキーワードも記載された。

本事業で活用する資源とテーマ

テーマ = ふくしま火山旅

「磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル®」をプラットフォームとし、その上で展開される山旅 = サービスのテーマが「ふくしま火山旅」。福島 × 火山 × 山旅 を組み合わせた造語であり、商品造成の際には3つの小テーマ（福島・火山・山旅）を全て網羅しているかを常に念頭においてクリエイションを行っている。この「ふくしま火山旅」を安達太良・吾妻自然センターにおける事業テーマとし“この地に来なければ得られない”商品を産み出し続けるための統一規格の役割を果たしていく。

platform

service

ふくしま火山旅

VOLCANO TRAIL

磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル®

磐梯朝日国立公園 | 事業概要

本事業で活用する資源とテーマ

テーマ = ふくしま火山旅

ふくしま火山旅

英文表記：Fukushima Volcano Journey



令和6/7年度に造成する
サービスコンテンツ名称

100年続く盆栽と、1000年続く温泉の物語

磐梯朝日国立公園 | 事業概要

本事業で活用する資源とテーマ

テーマ = ふくしま火山旅

VOLCANO TRAIL

ふくしま火山旅

100年続く盆栽と、1000年続く温泉の物語

「火山の大地」が産み出す恩恵を享受して育まれた山麓文化

史実～現在を解釈して可視化
+
磐梯朝日国立公園の自然景観

ADATARA AZUMA NATURE CENTER
感動体験としての価値を提供

保護と利用の好循環

「旅行代金や体験料を払ってでも行ってみたい!」という
魅力(=体験価値)を提供し続ける仕組み作りが不可欠

旅行会社 / 来訪者

||

マネタイズ

人財を含む環境保全への再投資

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

Kammui inc. (Kammui ADVENTURES) とのツアー・アクティビティ開発 (2024年8月~12月)

Glamping on the Bonsai Trail : Bandai-Asahi National Park

Kammi inc. × ランドオペレーター / ガイドの共創

BONSAI TRAIL を企画を運営する「ぼんさいや あべ / 安達太良・吾妻自然センター」と、日本各地でテーマに基づき地域の文化と自然を合わせて楽しむユニークなアドベンチャー旅行体験「Kammui Adventures (カムイ・アドベンチャーズ)」を展開する株式会社 KAMMUI のコラボレーションにより、磐梯朝日国立公園、磐梯吾妻・猪苗代地域におけるツアー・アクティビティを開発し、2024年12月に実販売を開始。インバウンド向けのツアー実績が豊富な Kammui と現地ガイド兼ランドオペレーターの 安達太良・吾妻自然センターがチームとなり、オーダーメイド型のアドベンチャー旅行の企画を今後展開していく予定。



株式会社 KAMMUI 代表
Max Mackee



ぼんさいや あべ 3代目
阿部 大樹
(盆栽作家・ガイド)



安達太良・吾妻自然センター 代表
一瀬 圭介
(山岳カメラマン・ガイド)

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

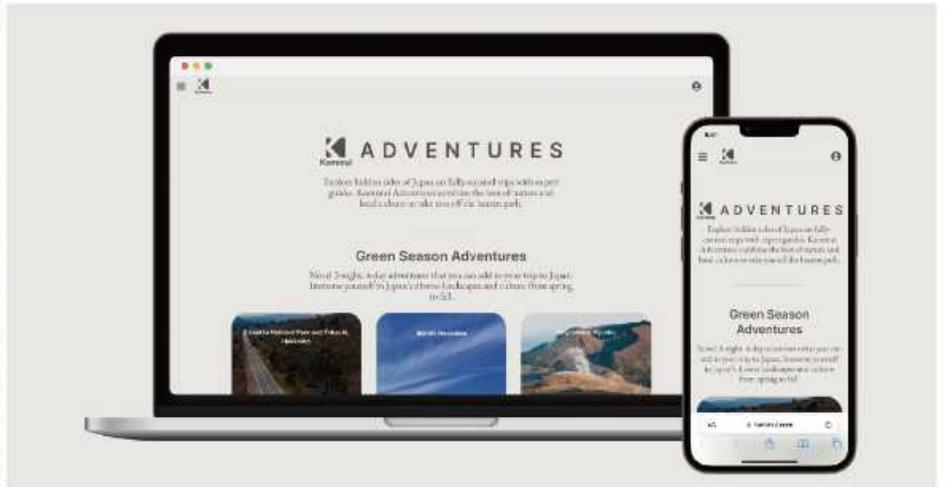
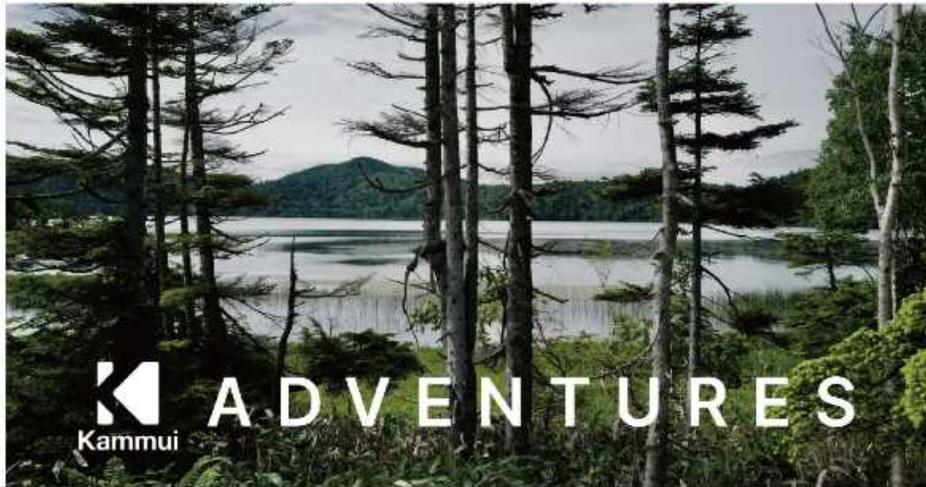
Kammui inc. (Kammui ADVENTURES) とのツアー・アクティビティ開発 (2024年8月~12月)

Glamping on the Bonsai Trail : Bandai-Asahi National Park

「Kammui Adventures」(カムイ・アドベンチャーズ) について

「Kammui Adventures」(カムイ・アドベンチャーズ) は、旅行者の旅程に合わせた3泊4日の体験で、日本国内のユニークな文化や自然をベースにした体験に浸ることができる新しい旅行体験です。日本の魅力的な自然体験はもちろんのこと、京都での寺院巡りや東京でのショッピングなどを組み込んだ、一般的な旅行とは一線を画すこれらのアドベンチャーは、目的が明確な旅行や日本の多様な風景や文化への深い探求を求める人々のために企画されました。Kammui は地域のガイドやランドオペレーターと協力し、旅行者に地元の人々や文化へのユニークなアクセスを提供するだけでなく、畏敬の念を抱かせるような自然をベースとした体験を提供します。

これらの体験に興味のある旅行者は、Kammui.com 内の「カムイ・アドベンチャーズ」ページから予約リクエストを送ることができます。カムイはこのリクエストに基づき、旅行者の好みや興味についてのやり取りを介し、旅行者にあったアドベンチャー体験をカスタマイズして提供します。



「Kammui Adventures」(カムイ・アドベンチャーズ) の詳細 : <https://kammui.com/adventures> (Kammui.com 内の「Kammui Adventures」の WEB ページ)

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

Kammui inc. (Kammui ADVENTURES) とのツアー・アクティビティ開発 (2024年8月~12月)

Glamping on the Bonsai Trail : Bandai-Asahi National Park

2度のモニターツアーを実施

Kammui inc. / ぼんさいや あべ / 安達太良・吾妻 自然センター 3社により、国立公園内(浄土平野営場)でのグランピングを含む2度の実践型のモニターツアーを実施し、ツアー商品化に向けたフィードバック検討を実施。

● ONSEN TRAIL / BONSAI TRAIL VOLCANO JOURNEY グランピング モニターツアー

- 1) 2024年 9月 Tom Sacks (アメリカ) ほか1名(韓国) / 1泊2日(宿泊/グランピング: 浄土平野営場) / 東吾妻エリア
- 2) 2024年 10月 Isa Spalter (アメリカ) ほか1名(フランス) / 2泊3日(宿泊/グランピング: 沼尻高原ロッジ - お宿花かんざし) / 東吾妻エリア・安達太良エリア



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

Kammui inc. (Kammui ADVENTURES) とのツアー・アクティビティ開発 (2024年8月~12月)

Glamping on the Bonsai Trail : Bandai-Asahi National Park

2025シーズンは「BONSAI TRAIL × GLAMPING」によるツアー・アクティビティを販売 (2024年12月~)



出典 : <https://kammui.com/adventures/bandai>

磐梯朝日国立公園 | 事業概要

望まれる来訪者の体験、来訪者の意識 / 行動変容

「日本の国立公園」「山旅」「断面でとらえる」というマインドセットを、まずは受け入れ側から

1) 「アクティビティ」ではなく「山の旅」としての意識づけ

現在の来訪者の行動の多くは、登山やハイキングなどのアクティビティとしての目的で国立公園を訪れている割合が大きく、国立公園の自然の恩恵の上に存在しているその土地の文化や人に触れるなど、旅として楽しむ来訪者の割合は少ない。これでは国立公園の魅力を伝えきれていないばかりか、自然資源と共に生きてきた産業に携わる事業者や従事者が減少し、将来的にインバウンドを含む来訪者の増加を受け入れるだけのキャパシティを確保できない。その兆しはすでに顕在化しており、体験を継続的にマネタイズし、体験を提供する側の人財の確保はもとより、個々のスキルの向上やネットワークの強化が求められる。そのためは、来訪者の意識や行動変容を促すことが必要ではあるが、まずは国立公園側の各種インフラ（地域の自治体や関連事業者）やガイド・宿泊施設・飲食施設などを含む受け入れ側の行動変容が必要であり、そのためのプラットフォームとなる山旅のイメージを本事業を通じて構築していく必要がある。

2) 他の国立公園地域との繋がりと差分を楽しんでもらう

旅として国立公園を楽しんでもらうためには、「その土地ならではの」特徴を分解し、わかりやすくストーリーとして伝えていく必要がある。そのためは、自地域だけを見て内容を深化させるのではなく、共通する事象がある他地域との差分を考えることで、際立たせるべきストーリーが浮き彫りになってくるのではないかと考えている。また、このプロセスにより、日本の国立公園のある一定のフィルタリングで解説することにもなるため、国内外の来訪者に対して「日本の国立公園旅」として紹介し、各地域においてより長い滞在時間を確保（複数回の訪問を含め）することに繋がると考えている。そのため令和6年度の本事業においては、まずは自地域でのストーリーを掘り下げて商品化し、並行して共通するテーマが存在する他地域のリサーチも並行して実施する。その上で、令和7年度には、日本の国立公園をつなぐ山旅の実現を目指し、そのプロトタイピングの下地作りを実行する。

連携イメージ案：

- 同じ磐梯朝日国立公園内にある「修験（YAMABUSHI TRAIL）」として = 磐梯朝日国立公園・出羽三山 朝日地域
- 東北の「海トレイル」～「山トレイル」として = 三陸復興国立公園（みちのく潮風トレイル）
- 活火山を公園内に有し、火山の大地の恩恵と暮らす土地として = 阿蘇くじゅう国立公園

磐梯朝日国立公園 | 事業概要

望まれる来訪者の体験、来訪者の意識 / 行動変容

「日本の国立公園」「山旅」「断面でとらえる」というマインドセットを、まずは受け入れ側から

3) 「断面をとらえて、地勢を楽しむ」

国立公園が関わる自然環境の影響は、国立公園の境界線の内側にとどまらない。流域地図を見れば、BONSAI TRAIL や ONSEN TRAIL を展開する磐梯朝日国立公園の東吾妻や安達太良エリアに降った雪や雨は、阿武隈水系となり太平洋に注がれている。それを断面でとらえ、そこにどのような暮らしや産業があるのかを考えることによって、例えば飲食や土産の販売なども、国立公園のストーリーとして可視化できる可能性が生まれ、来訪者の体験価値や滞在時間＝収益性にも変化を与えることができる。



磐梯朝日国立公園 | 事業概要

来訪者（ターゲット）

「ガイドツアー」と「セルフガイドツアー」

1) [ガイドツアー] 自然・歴史・文化の魅力を経験価値として対価換算できる来訪者層

本事業で提案している「BONSAI TRAIL」、「ONSEN TRAIL」ツアーによる自然体験は、いずれも体験料だけを支払って数時間～終日で終わるアクティビティではなく、インタープリテーションを含む土地のストーリーを味わう滋味深いコンテンツであり、日帰りですべてを体験できる設定にはしていない。宿泊または繰り返しの訪問により、国立公園の自然、そしてその自然資源に繋がる文化や土地の人々との接点を含む経験価値を求め、その対価を感じることができる来訪客をメインターゲットとしている。最低1泊2日～3泊4日を想定し、インバウンド（欧米豪・台湾）を含むターゲットを見据えて商品造成を行う。また、日本国内に対しても未発表のストーリー体験であるため、国内在住者の中にもターゲットとなる潜在顧客が多く存在すると考えられる。

2) [セルフガイドツアー] ロングトレイルを通じてインタプリテーションの魅力を普及

本事業で造成するツアーは1)で記載したターゲットにフォーカスしていくものの、そのようなインタプリテーションによる魅力に気づき、そのような旅としての国立公園の利用をはじめの契機を提供していく必要があると考えている。2023年にリリースした「磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル®」ATA: Azuma to Adatararu ルートは、ロングディスタンスハイキングのルートであるとともに、「BONSAI TRAIL」、「ONSEN TRAIL」を楽しんでもらうための仕掛けを盛り込んだ設計になっており、歩くための計画を立てる段階で、そのようなストーリーに必然的に触れるよう、情報提供のあり方や地図提供の仕方など含めコントロールしている。ATA ルートは、歩くスピードを想定すると旅程的には、最低2泊～4泊を想定しており、そのためには宿泊場所を含め綿密な準備・計画が必要になり、歩き始める前から必然的にこの地域の情報を調べたり、多くの場合、安達太良・吾妻 自然センターとの接点が発生するようになる。

このような機会を通じて来訪者とのコミュニケーションを図っていくことができるため、当該エリアの来訪者の多くの割合を占める 所謂「日帰り登山」とは違い、来訪者の嗜好性や属性を集積しながらコミュニケーションを取る機会が存在する。そのような関係性を最大限に活用したコミュニティ形成を行っていくことによって、登山道を維持管理するための人財の確保や、環境保全への再投資額が含まれた商品購入・イベント参加など、新たな取り組みへの理解促進が効率よく実施できると考えられる。

磐梯朝日国立公園 | 事業概要

ツアーの概要と主軸となる自然体験

ふくしま火山旅 | 100年続く盆栽と、1000年続く温泉の物語

1) BONSAI TRAIL：東吾妻エリアの「盆栽トレイル」

《三世代約100年にわたり、実生から五葉松を育て盆栽をつくる技術を継承してきた、吾妻五葉松の「盆栽文化」に触れる山旅》

- ・実施主体 = 安達太良・吾妻 自然センター + ぼんさいや あべ
- ・種別 = ガイドツアー
- ・自然体験概要 = 吾妻五葉松の盆栽造形のルーツとなった吾妻の山中にある「根上り」を案内するガイド付きハイキング
 ぼんさいや あべでの吾妻五葉の盆栽づくり体験、および盆栽園の見学（令和7年度より浄土平レストハウス内の特設コーナーも利用して実施）
 東吾妻エリアの伏流水が流れ出る荒川（阿武隈水系）と「浄土平」などの国立公園内を巡るグラベルライド
 国立公園内の山小屋や野営場に宿泊し、星空や朝日雲海などに触れるナイトタイムツアーを含むプログラム など
- ・想定販売価格（2～6人まで）= 4万円~/日 × 滞在日数（最低1泊～）+ 宿泊滞在費



磐梯朝日国立公園 | 事業概要

ツアーの概要と主軸となる自然体験

ふくしま火山旅 | 100年続く盆栽と、1000年続く温泉の物語

2) ONSEN TRAIL：安達太良エリアの「温泉トレイル」

《1000年間に幾度の災害を乗り越え、移転を繰り返しながらも湯守が源泉からの引湯を継承してきた「温泉文化」に触れる山旅》

- ・実施主体 = 安達太良・吾妻 自然センター + 一般社団法人岳温泉観光協会
- ・種別 = ガイドツアー
- ・体験概要 = 富士山よりも大きな直径1.2kmの噴火爆裂口や、江戸後期まで続いた安達太良山の中にある岳温泉街の遺構(現在の源泉地帯)を巡るガイド付きハイキング
安達太良の伏流水に触れるリバートレッキング
伏流水が流れ出る広大な水稲地帯を巡るグラベルライド
安達太良の融雪から40年かけて湧き出す伏流水に触れる酒蔵見学 など
- ・想定販売価格(2~6人まで) = 4万円~/日 × 滞在日数(最低1泊~) + 宿泊滞在費



磐梯朝日国立公園 | 事業概要

設定 KPI / KGI (令和6年度～令和7年度)

1) KPI (重要業績評価指標)

- ・安達太良・吾妻自然センターのブランドプロミスである「活用：保全＝50%：50%」。(※パーセンテージはそれにかかる工数の日数割合)
- ・地域経済にフォーカスしたツアー造成を行い、地域の資源・食材・人的リソースの利用などを含む域内調達率50%以上
- ・高付加価値な商品販売を見据えた商品造成
 - 令和6年度に造成した商品のプロトタイプの販売実績を1件以上
 - 令和6年度中に造成した商品の販売(インバウンド向け)を開始
 - 令和7年度の販売件数5件(10名以上)、1件あたりの売上上代60万円/名＝合計600万円以上、事業主体の利益率50% / 地域経済還元40% / 保全活動費10%

2) KGI (重要目標達成指標)

- ・令和7年度中に、国内向けセラー3社・インバウンド向けバイヤー3社、継続商談先10社獲得
- ・令和7年度中に、インバウンド向けツアーの販売を開始：上代60万円/名(3泊4日)・2名～
- ・令和7年度中に、安達太良・吾妻自然センターに所属するガイド(将来的な候補を含む)3名の育成(英語対応×2名・中国(台湾)語×1名)

保護と利用の好循環

1) 活用：保全 = 50%：50% の実践

「活用：保全 = 50%：50%」をブランドプロミスとし、アドベンチャートラベルなど国立公園の利用日数と、登山道整備や携帯トイレブースの運用などを含む環境保全や、次世代のガイドやレンジャー育成などに費やす割合を等分（またはそれ以上）とし、次世代への継承を含む持続可能な国立公園の利活用のあり方を考え、その仕組みづくりを行う。※～令和6年度の具体的な取り組み内容に関しては、「ツアーアクティビティの造成 / 13) 保護と利用の好循環」の記載内容を参照

1) 「環境保全」への再投資

- ・ ツアー・イベントの売上の5～20%を国立公園の「環境保全費」として積み立てを行い、期中に精算金額と実施内容をSNS等を通じて公表。
- ・ 販売価格に対する保全費の割合を商品販売時に明示することにより、参加者が商品購入の時点で当該地域における環境保全への参加意識を醸成。
- ・ 各種イベントにおける企業・団体等からの協賛金等は、経費を除き全額を環境保全費に還元。
- ・ 安達太良・吾妻自然センターの活動に賛同する会員制度を作り、個人・企業会員を募ることによるネットワークの強化と会費の25%を環境保全費へ充当。
- ・ グッズの販売など特定商品の物販売上は、売上金額の10%～利益分全額までの範囲で、公園内の環境保全費として計上。

2) 「人財育成」への再投資

- ・ 将来的にこの地域でのガイドを希望している台湾の体育大学生をインターンシップ生として受け入れ、ガイド育成プログラムを実施。
- ・ 地域の小学校において、自分たちが暮らす国立公園の自然についての授業を実施。
- ・ 地域の大学との連携により、国立公園の動植物についてのフィールド観察や調査を通じて、大学が行っている研究成果を地域に還元するとともに、大学生のOJTの機会を創出（R7年度より具体化）。
- ・ 地方における人財確保が難しい時代背景において、副業やワーケーション等による労働形態やボランティアワークとしての人財が活躍するための場を提供し、必要に応じてナレッジの共有も図る。

磐梯朝日国立公園 | 事業実施体制

環境省・裏磐梯自然保護官事務所
(環境省・地域担当事務所)

安達太良・吾妻 自然センター
(企画プロデュース / 民間型ビジターセンター)

本事業での共同実施者

ランドオペレーター・セラー

バイヤー

合同会社歩く東北研究所
(全体企画コーディネーション)

(株)インアウトバウンド東北
(旅行商品の販売・手配全般・東北 DMC)

株式会社 Kammui
(インバウンド全般向け)

Life's an Adventure
(オーストラリア向け)

2024 年度より販売開始

ガイド・施設・交通

宿・飲食等事業者

プロモーション

合同会社歩く東北研究所
(スルーガイド)

有限会社花かんざし
(旅館宿泊・宿関係のコーディネーション)

アトラク東北 株式会社
(プロモーション・コンテンツ制作)

福島県 観光物産交流協会
(福島 DMC / 日本国内向け)

ぼんさいや あべ
(スポットガイド)

(一社) 自然公園財団 浄土平支部
(浄土平野営場)

株式会社 三栄
(雑誌制作)

(株) JR 東日本 VTS
(日本国内向け)

昭和タクシー株式会社
(移動交通 / 日本版ライドシェア)

(一社) 岳温泉観光協会
(岳温泉管理株式会社等の連携)

その他協力会社
株式会社 YAMAP
(オンラインメディア)

創造旅行社股份有限公司
(台湾向け)

福島県施設管理株式会社
(観光案内施設)

その他 地域飲食店

株式会社ファイントラック
(イベントプロモーション)

Japan Experience
(欧州向け)

株式会社ライダス
(サイクル事業 アドバイザー)

その他 地域宿泊施設

株式会社ノマディクス
(イベントプロモーション)

磐梯朝日国立公園 | 事業実施体制

安達太良・吾妻 自然センター

ADATARA AZUMA NATURE CENTER



「活用：保全＝50％：50％」

安達太良・吾妻 自然センター (Adatarazuma Nature Center) は、磐梯朝日国立公園に関する情報提供やガイドツアー、登山道などの環境保全を行うため、安達太良山麓「岳温泉」に開設した民間運営のトレイルセンターです。ロングディスタンスハイキング、トレイルランニング、バイクパッキング、キャンプなど、マウンテンアクティビティに関する各種サポートやトレイルマップなどの制作を行っています。

「活用：保全＝50％：50％」をブランドプロミスとし、国立公園の大自然を活用したアドベンチャータラベルやイベント等の利用と、登山道整備や携帯トイレプースの運用などを含む環境保全や次世代を担うガイドやレンジャーなどの育成などに費やす割合を等分かそれ以上にし、利用で得た収益の一部を保全に再投資するなど国立公園の保護と利用の好循環を実践しています。

施設内にはカフェ&ストア＝「bike.hike CAFE」と、山旅専用の宿泊スペース＝「bike.hike LODGE」があり、VOLCANO TRAILのコミュニティハブとして活用していきます。

施設サービス：① 磐梯朝日国立公園 磐梯吾妻 猪苗代地域のトレイル情報の提供 / ② カフェ&バー / ③ アウトドアグッズ、地域商品の販売 / ④ 山旅向け宿泊サービスの提供 / ⑤ 各種研修やイベントの開催

運営会社：合同会社歩く東北研究所(企画・ガイド) / 有限会社花かんざし(旅館宿泊・飲食物販) / 株式会社インアウトバウンド東北(旅行業)

所在地：福島県二本松市岳温泉 1-104 お宿花かんざし 1F

電話：安達太良・吾妻 自然センター (090-7171-0350) / bike.hike_CAFE / LODGE (080-1490-1828)

営業時間：10:00～18:00 (レンタル品の貸し出しや返却に関しては、時間外も受付けています)

定休日：不定休 (以下のSNSにて情報を掲載しています)

メール：info@adatarazuma.jp (代表：一瀬 圭介)

SNS：https://www.instagram.com/adatarazuma_nc [instagram]



磐梯朝日国立公園 | 事業スケジュール

2024年						2025年	
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
		VOLCANO JOURNEY ツアーコンテンツ設計 主体事業者・関連事業者とのミーティング等実施			Kammui ADVENTURES にて一般販売開始		
		bile.hike ツアーコンテンツ設計					
		モニターツアー Tom Sacks ほか1名 VOLCANO JOURNEY グランピングツアー	モニターツアー Isa Spalter ほか1名 VOLCANO JOURNEY グランピングツアー	モニターツアー 海外バイヤー2社 VOLCANO JOURNEY プレゼンテーション	Life's An Adventure より2025年度ツアーの 具体的商談>実施見込	台湾 JR TIMES メディア掲載 モニターツアー受入 (2025年4月掲載)	モニターツアー 有識者3名 bile.hike SOUSOU グラベルツアー
		映像制作 Isa Spalter モニターツアーを撮影・編集 2分50秒 (×1本)・0分15秒 (×2本)					
		雑誌 TRAILHEAD 取材・出版 掲載ページ60頁超 発行部数: 15000部		海外バイヤー商談会 事務局イベント (東京)	台湾市場に向けた プレゼンテーション (台北)		豪州旅行会社 台湾旅行会社 商談プレゼンテーション
					日本市場に向けた プレゼンテーション (東京・大阪・京都)		
	登山道保全作業 携帯トイレプースの管理・運営			登山道保全に関する 専門家研修・調査 来年度に向けた実証	国立台湾体育運動大学 学生向けガイド研修	WAFU 資格取得研修 (環境省主催)	サイクリングツアー に関するガイド向け 技術講習会
事務局キックオフ ミーティング (那須)			Leave No Trace グローバルサミット 研修参加	事務局中間報告 ミーティング (阿蘇)	阿蘇くじゅう国立公園 ツアー商品造成 現地訪問・踏査 現地事業者打ち合わせ		
アクティビティ/ツアー造成関連		プロモーション・販路開拓関連			その他(現地調査・研修等)		

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー商品のアイテナリー

1) ツアータイトル

Glamping on the Bonsai Trail : Bandai-Asahi National Park

2) ツアーのストーリー

● Head copy

This immersive four-day adventure in Bandai-Asahi National Park offers a unique glimpse into Japan's rich bonsai culture and breathtaking volcanic landscapes. Your adventure includes a luxurious camping experience within the park and two nights in one of the oldest ryokans in a historic onsen town.

磐梯朝日国立公園で過ごすこの4日間の野外体験の中で、日本の芸術文化である「盆栽」と、壮大な火山の景色に触れることができます。このアドベンチャーツアーには、国立公園内で過ごすグランピング(1泊)と、歴史ある温泉街にある旅館での宿泊(2泊)が含まれています。



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー商品のアイテナリー

● Highlights

1) Dive into Living Bonsai Heritage

Learn the centuries-old art of Japanese bonsai cultivation, rooted in Bandai-Asahi's natural beauty and volcanic landscapes.

1) 「盆栽」の奥深い世界に触れてみよう

磐梯朝日国立公園の美しい自然と火山の元で育まれた、世代を超えて継承される日本の盆栽芸術に触れてみよう。

2) Luxury Camping Amongst the Pines

Spend a night camping inside the national park, with a chef-prepared meal amidst Bandai-Asahi's serene wilderness.

2) 五葉松の森に滞在するグランピング体験

磐梯朝日の静寂な自然の中で、シェフが調理した食事を楽しみながら、国立公園内でのキャンプをお楽しみください。

3) Rejuvenate Your Senses

Rejuvenate in a historic onsen, savoring local craft beer and sake, while soaking up Japan's timeless culture.

3) 五感をリフレッシュしましょう

歴史ある温泉、地元のクラフトビールや日本酒などを楽しみながら日本の文化に触れ、心身ともにリフレッシュしましょう。



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー商品のアイテナリー

● About

Embark on a unique opportunity to learn from traditional bonsai masters and see up close the rugged landscapes that inspire their art. Bonsai artisans seek to express the beauty of nature through bonsai trees, emulating the weather-beaten forms of wild Azuma Goyomatsu, a species of white pine native to Bandai-Asahi National Park. The bonsai culture here is unique, with each bonsai starting with a seed taken from within the national park and nurtured by artisans for up to 100 years. After learning about this art form, you will hike into the park and explore its natural calderas and volcanic landscape.

歴史ある盆栽園の作家からこの芸樹に関する文化を学び、彼らの創作活動にインスピレーションを与えてきた厳しい自然環境に身を置いてみましょう。盆栽作家は、激しい風雨にも耐え忍ぶ五葉松のありのままの姿を捉え、盆栽という表現を通して自然の美しさを鉢の上に表現してきました。この吾妻の地で継承されてきた盆栽文化はの特徴は、苗木を全て種子から育てることです。それらの種子は、現在でも特別に許可を得た国立公園内で採取されており、最も古い盆栽は間も無く100年になります。この盆栽という芸術についての基礎知識を学んだあとは、五葉松が自生する国立公園内をハイキングし、東吾妻エリアに点在するカルデラなど火山の風景も楽しみましょう。



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー商品のアイテナリー

● What's included

- Two nights of accommodation at a traditional Japanese inn
 - One night of luxury camping with chef-prepared meals
 - Three days of guiding by a local expert guide
 - Pick up to and from JR Koriyama Station
 - All transportation
 - All meals
- 伝統ある日本式の旅館での宿泊 (2泊)
 - シェフが調理する食事付きのグランピング (1泊)
 - 3日間のガイド
 - JR郡山駅までの送迎
 - その他すべての交通手段
 - その他すべての食事



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー商品のアイテナリー

● Bandai-Asahi National Park, Tohoku

Bandai-Asahi National Park is located in the northeastern Tohoku region of Japan, famous for its serene yet rugged landscapes. The park is centered around the towering Mount Bandai and the surrounding volcanic landscapes shaped by its historic eruptions. The park features shimmering lakes like the Goshikinuma (Five Colored Ponds), where the waters shift hues depending on the sunlight and minerals, creating a magical, otherworldly atmosphere. Hiking trails of varying difficulty wind through dense forests, past serene waterfalls, and across volcanic terrain, with opportunities to encounter unique wildlife while enjoying sweeping views.

磐梯朝日国立公園は日本の東北地方(北東部)に位置し、緯度の割に気象条件が厳しいことで知られています。この国立公園では、磐梯山をはじめ歴史に残る火山噴火によって作られた景観を楽しむことができます。また、太陽の角度によって水面の色が変化する色鮮やかな五色沼をはじめ、数々の火山由来の湖沼群が点在しています。国立公園内にはいくつものハイキングコースがあり、奥深い森、荘厳な滝、火山爆裂口などの雄大で野生味あふれるありのままの自然の姿を楽しむことができます。



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー商品のアイテナリー

● Guide

KEISUKE

Keisuke is a mountain cameraman and adventurer. He has competed in ultra-long distance bikepacking races over several hundred kilometers in Alaska and other Arctic regions. Since 2020, he has been developing long trail routes and mountain tourism projects in Bandai-Asahi National Park (including the Volcano Trail). He is currently an ambassador for Karrimor International and is passionate about regional development, local culture and environmental preservation.

Keisukeは山岳カメラマンであり冒険家でもあり、アラスカやその他の北極圏で数百キロに及ぶ超長距離バイクパッキングレースなどにも出場するアスリートです。2020年から、磐梯朝日国立公園内でのロングトレイルやアドベンチャートラベルなど観光に関わるプロジェクトにも携わり、地方創生や環境保全などにも貢献しています。Karrimor インターナショナルアンバサダー。



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー商品のアイテナリー

3) ツアー行程

Day 1:

Dive into Japanese Bonsai Culture

Visit the farm and workshop of a three-generation family-run bonsai nursery established over 90 years ago, integral to the origin of Japanese bonsai culture. In the evening stay at one the oldest onsen towns in this area, with a history dating back 1,200 years. Dinner at the inn is delicacies from around the country, and local sake is free for enjoying in the cypress wood baths.

日本の盆栽文化に浸る

90年以上前に設立され、日本の盆栽文化の起源に欠かせない三世代にわたる家族経営の盆栽園を訪れます。夜は、この地域で最も古い温泉街の1つに宿泊します。この温泉街の歴史は、1,200年前に遡ります。旅館での夕食は県内各地の食材を使用しており、地酒を無料でお楽しみいただけます。



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー商品のアイテナリー

Day 2 :

The Bonsai Trail and Luxury Glamping

Your guide will take you on a light hike to Bandai-Asahi National Park, where you can explore the incredible calderas that make up the park and the white pine tree formations that have inspired generations of bonsai artists. At the end of the day, unwind in a comfortable, private tent set up for you right in the park. There you will be treated under the stars to an outdoor meal using the best of the local seasonal produce, prepared by a team of chefs onsite.

BONSAI TRAIL とラグジュアリーなグランピング体験

ガイドと一緒に磐梯朝日国立公園でのハイキングを楽しみます。大きなカルデラ湖や、何世代にもわたり盆栽作家にインスピレーションを与えてきた五葉松の森を実際に歩くことができます。一日の終わりには、公園内のキャンプエリアで快適でプライベートなテントで身体を休めましょう。ディナーは、星空の下で料理人が地元の旬の食材を使いクラフトビールや地酒などとともにご提供いたします。



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー商品のアイテナリー

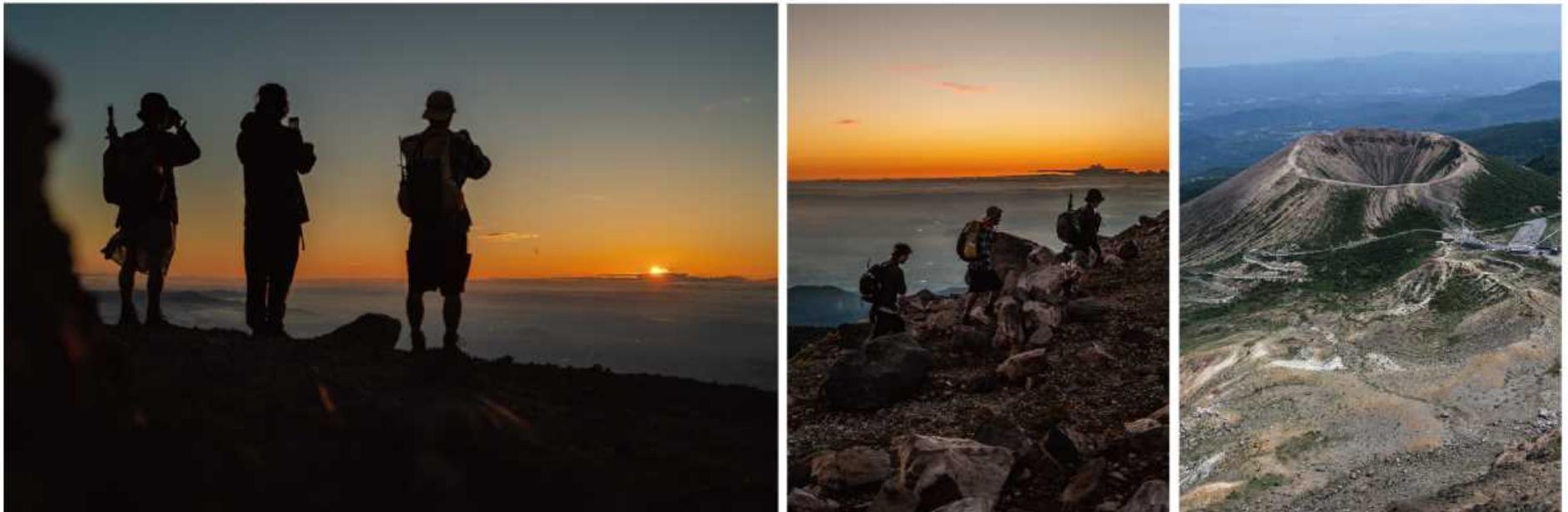
Day 3:

Sunrise Over the Mountains

Wake up early to the awe-inspiring sight of a majestic sunrise over a volcano before you sit for another personally prepared meal. After finishing breakfast, your guide will take you on a longer hiking to explore other natural highlights in the area. By the early afternoon return to your onsen inn for another soak in the hot springs accompanied by a refreshing serving of local craft beer or sake.

日の出を山の上から

朝は少し早起きして火山クレーターの上から御来光とモーニングコーヒーを楽しみましょう。その後は、ガイドと一緒に公園内のハイキングに出かけます。午後の早い時間には温泉宿に戻り、温泉や地酒を楽しみましょう。



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー商品のアイテナリー

Day 4:

Departure

Before departing for Tokyo by bullet train, you have the option to visit a local sake brewery or take a short woodland hike.

出発

新幹線で東京へ戻る前に、地元の酒蔵を訪問したり、温泉街の近くでの短いハイキングを楽しんだりすることができます。



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー商品のアイテナリー

<https://hana-kanzashi.com>



4) 宿泊施設

Accommodations :

Accommodation is split between glamping in the national park and staying at a traditional Japanese inn. For the first and final nights, you will be staying at Oyado Hana-Kanzashi, a traditional wooden inn located at the foot of Mount Adatara in the hot spring town of Dake Onsen. Oyado Hana-Kanzashi is the oldest inn in the town and has been rebuilt many times preserving its traditional characteristics while maintaining a wonderful sense of comfort. All baths, including the open-air baths in your rooms, are from natural spring water. For the second night, you will be glamping at Jododaira Campground, situated inside Bandai-Asahi National Park. A personal chef will prepare dinner and breakfast onsite, allowing you to enjoy locally sourced ingredients while immersed in the serenity of nature.

宿泊は、国立公園内でのグランピングと歴史のある日本の温泉旅館。初日と最終日の宿泊は、安達太良山の麓、岳温泉街にある伝統的な木造建築の宿「お宿 花かんざし」です。お宿 花かんざしは、温泉街で最も古い建物をリノベーションしながら快適な室内空間を提供しています。客室内の露天風呂を含め、全て源泉掛け流しの温泉です。2日目の宿泊は、磐梯朝日国立公園内にある浄土平野営場でのグランピングとなります。自然の静けさに浸りながらシェフが調理した地元の食材をお楽しみいただけます。



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー商品のアイテナリー

5) 催行期間

May ~ October 5月~10月

6) 販売価格

¥550,000~/person (3 nights, 4 days) 550,000~/人 (3泊4日)

7) ツアー販売 旅行会社

Kammui inc. 株式会社 Kammui



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー商品のアイテナリー

8) ツアー販売サイト (1/3)

<https://kammui.com/adventures/bandai>



ADVENTURES
Glamping on the Bonsai Trail: Bandai-Asahi National Park

This immersive four-day adventure in Bandai-Asahi National Park offers a unique glimpse into Japan's rich bonsai culture and breathtaking volcanic landscapes. Your adventure includes a luxurious camping experience within the park and two nights in one of the oldest ryokans in a historic onsen town.

Open Dates	Length	Location	Price
May - October	3 nights, 4 days	Bandai-Asahi National Park, Tohoku Region	¥550,000- (person)

Send Inquiry

Highlights

emerge on a unique opportunity to learn from traditional bonsai masters and see up close the rugged landscapes that inspire their art.

Bonsai artists seek to express the beauty of nature through bonsai trees, creating the weather-beaten forms of wild Asama Geyzanetsu, a species of white pine native to Bandai-Asahi National Park. The bonsai culture here is unique, with each bonsai starting with a seed taken from within the national park and nurtured by artisans for up to 100 years.

Highlights

Dive into Living Bonsai Heritage
Learn the centuries-old art of Japanese bonsai cultivation, rooted in Bandai-Asahi's natural beauty and volcanic landscape.

Luxury Camping Amongst the Pines
Spend a night camping inside the national park, with a chef-prepared meal amidst Bandai-Asahi's serene wilderness.

Rejuvenate Your Senses
Rejuvenate in a historic onsen, savoring local craft beer and sake, while soaking up Japan's timeless culture.

About

What's included

- Two nights of accommodation at a traditional Japanese inn
- One night of luxury camping with chef-prepared meals
- Three days of guiding by a local expert guide
- Pick up and drop from JR Torjima Station
- All transportation
- All meals

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー商品のアイテナリー

8) ツアー販売サイト (2/3)

<https://kammui.com/adventures/bandai>



About

Embark on a unique opportunity to learn from traditional bonsai masters and see up close the rugged landscapes that inspire their art.

Bonsai artists seek to express the beauty of nature through bonsai trees, simulating the weather-beaten forms of wild Azuma-Goyomatsu, a species of white pine native to Bandai-Asahi National Park. The bonsai culture here is intricate, with each bonsai starting with a seed taken from within the national park and nurtured by artisans for up to 100 years.

After learning about this art form, you will hike into the park and explore its natural wonders and volcanic landscape.

What's included

- Two nights of accommodation at a traditional Japanese inn
- One night of luxury sampling with chef-prepared meals
- Three days of guiding by a local expert guide
- Pick up to and from JR Moriyama Station
- All transportation
- All meals



Bandai-Asahi National Park, Tohoku



Bandai-Asahi National Park is located in the northeastern Tohoku region of Japan, famous for its serene yet rugged landscapes. The park is centered around the towering Mount Bandai and the surrounding volcanic landscapes shaped by its historic eruptions.

The park features shimmering lakes like the Goshikimama (Five Colored Ponds), where the waters shift hues depending on the sunlight and minerals, creating a magical, otherworldly atmosphere. Hiking trails of varying difficulty wind through dense forests, past serene waterfalls, and across volcanic terrain, with opportunities to encounter unique wildlife while enjoying sweeping views.

Guide



KEISUKE

Keisuke is a mountain climber and adventurer. He has completed in ultra-long distance backpacking more over 10000 kilometers across the mountains of Asia and other Asia regions.

Since 2020, he has been developing long trail routes and mountain trails projects in Bandai-Asahi National Park. Including the Volcano Trail, he is currently an ambassador for Karlinor International, La Sportiva, and Salsa Cycles and is passionate about regional development, local culture and environmental preservation.

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー商品のアイテナリー

8) ツアー販売サイト (3/3)

<https://kammui.com/adventures/bandai>



Itinerary

Day 1: Dive into Japanese Bonsai Culture

Visit the farm and workshop of a three-generation family-run bonsai nursery established over 60 years ago, integral to the origin of Japanese bonsai culture.

In the evening stay at one of the oldest onsen towns in this area, with a history dating back 1,000 years. Dinner at the inn is delicious, from around the country, and local sake is free for enjoying in the cyprus wood baths.



Day 2: The Bonsai Trail and Luxury Glamping

Your guide will take you on a light hike to Bandai-Asahi National Park, where you can explore the incredible Calderas that make up the park and the alga plus tree formations that have inspired generations of bonsai artists.

At the end of the day, unwind in a comfortable, private tent set up for you right in the park. There you will be treated under the stars to an outdoor meal using the best of the local seasonal produce, prepared by a team of chefs onsite.



Day 3: Sunrise Over the Mountains

Wake up early to the awe-inspiring sight of a majestic sunrise over a volcano before you sit for another personally prepared meal. After finishing breakfast, your guide will take you on a longer hiking to explore other natural highlights in the area.

By the early afternoon return to your onsen inn for another soak in the hot springs accompanied by a refreshing serving of local craft beer or sake.



Day 4: Departure

Before departing for Tokyo by bullet train, you have the option to visit a local sake brewery or take a short woodland hike.



Accommodations

Accommodation is split between glamping in the national park and staying at a traditional Japanese inn.

For the first and final nights, you will be staying at Oyado Hana-Kanzashi, a traditional wooden inn located at the foot of Mount Adatara in the hot spring town of Deke Onsen. Oyado Hana-Kanzashi is the oldest inn in the town and has been rebuilt many times preserving its traditional characteristics while maintaining a wonderful sense of comfort. All baths, including the open-air baths in your rooms, are from natural spring water.

For the second night, you will be glamping at Jododaira Campground, situated inside Bandai-Asahi National Park. A personal chef will prepare dinner and breakfast onsite, allowing you to enjoy locally sourced ingredients while immersed in the serenity of nature.



Send us an inquiry and we can design your next Kammui Adventure in Japan.

Send inquiry

More Adventures

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー・アクティビティの実施エリア

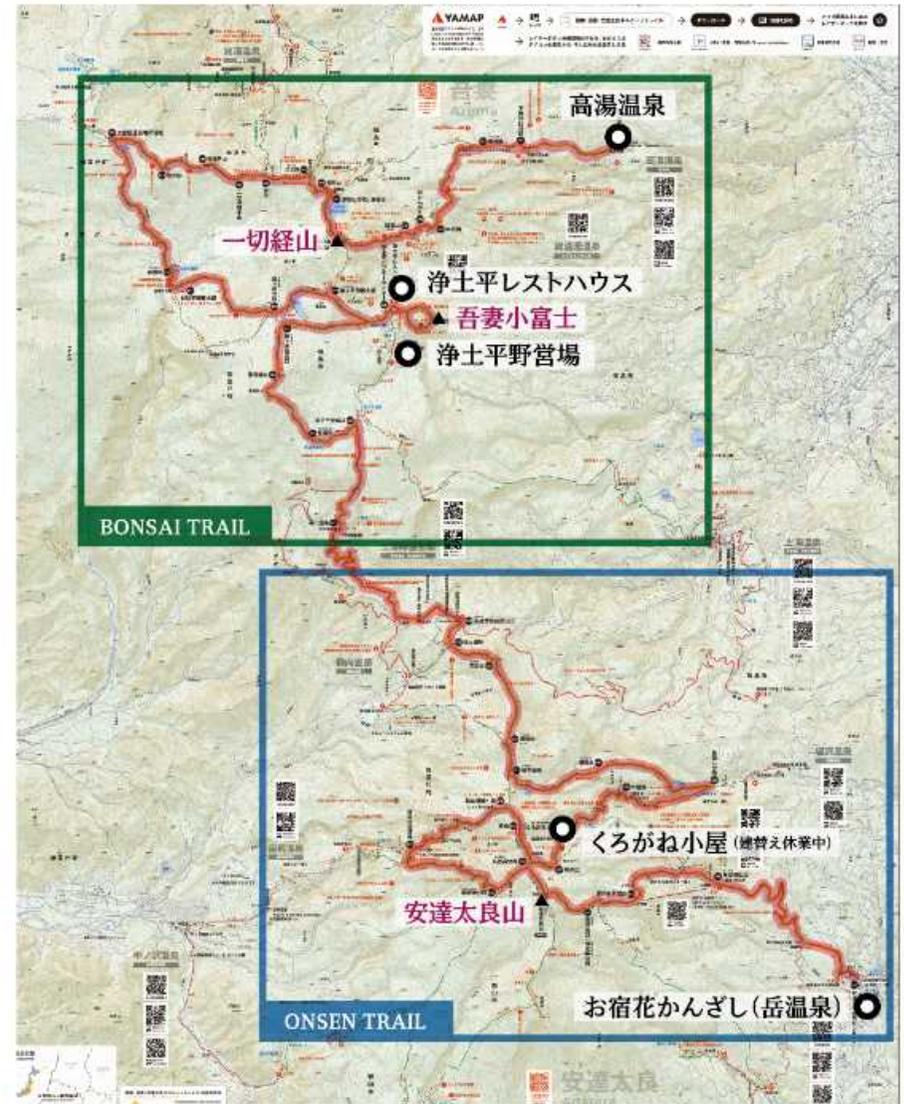
1) 日本の国立公園



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー・アクティビティの実施エリア

3) 磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル® / ATA ルート



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー・アクティビティの実施エリア

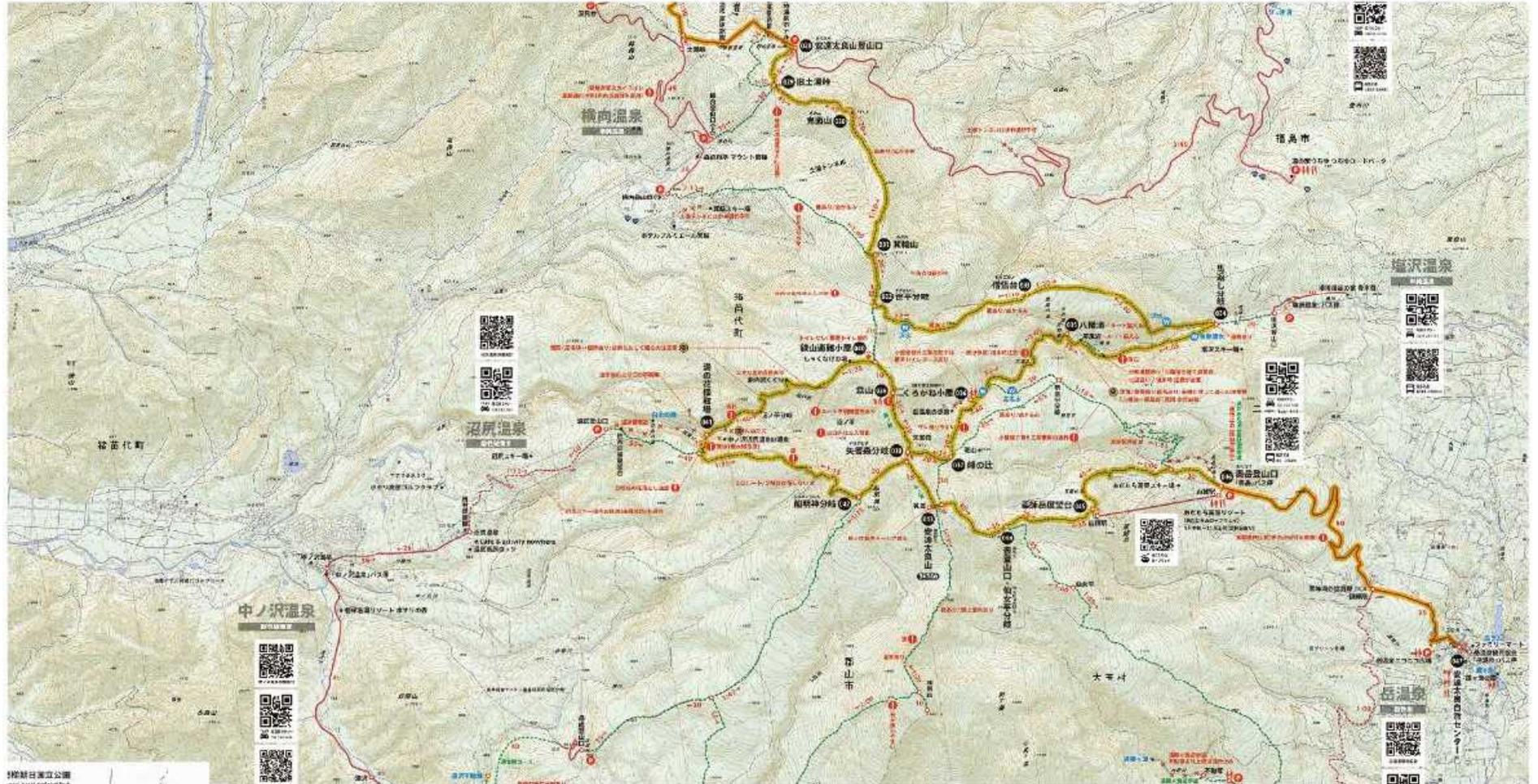
4) ATA : Azuma to Adataro | BONSAI TRAIL (東吾妻エリア)



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー・アクティビティの実施エリア

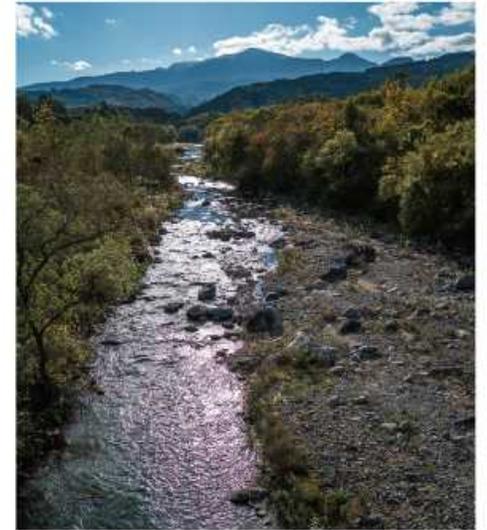
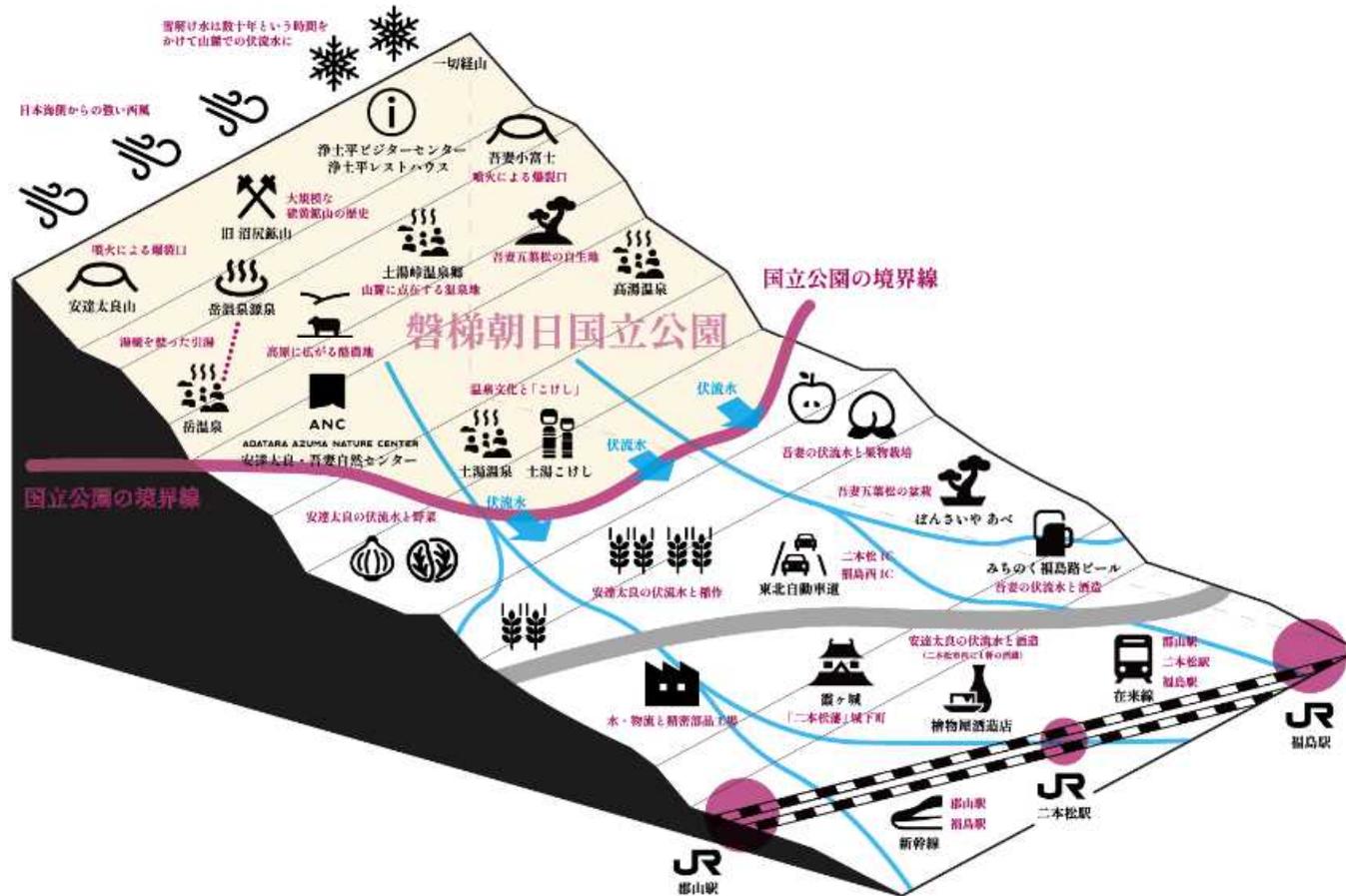
5) ATA : Azuma to Adataro | ONSEN TRAIL (安達太良エリア)



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ツアー・アクティビティの実施エリア

6) BONSAI TRAIL / ONSEN TRAILの断面ダイアグラム



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

地域の受入体制・オペレーション構築

	対象事業者 / 拠点	利用する地域資源・伝えるストーリー	本事業での取組事項
宿	お宿 花かんざし	<ul style="list-style-type: none"> ・1000年続く温泉地「岳温泉」 ・岳温泉で最も古い温泉旅館の建屋 ・岳温泉観光協会を介した地域の関連事業者とのハブ 	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド来訪者対応に向けた多言語表記等の取組み（メニュー・サイン・掲示物） ・長期滞在に対応する客室仕様の検討と実証 ・旅館宿泊業ネットワークを活用し、他の宿泊施設への送客など予約のハブ機能としての働き
	浄土平野営場	<ul style="list-style-type: none"> ・国立公園内にあるキャンプ施設 ・自動車アプローチすることができる利便性の高さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド来訪者対応に向けた多言語表記等の取組み（令和7年度に実施） ・ツアーでのグランピング利用に対応した予約形態の受け入れ
ガイド	歩く東北研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・民間型ビジターセンター「安達太良・吾妻自然センター」の共同運営 ・対象地域に潜在するストーリーの掘り起しと可視化 	<ul style="list-style-type: none"> ・Leave No Trace グローバルサミットに参加し、世界水準のガイドスキルの習得を目指す ・Wafa (Wilderness Advanced First Aid) 資格の再取得を行い、安全管理スキルの向上 ・磐梯吾妻・猪苗代地域の国立公園スルーガイドのネットワーク作り
	ぼんさいや あべ	<ul style="list-style-type: none"> ・100年、三世代にわたって継承されてきた吾妻五葉の盆栽文化 ・吾妻五葉の自生地および代々伝わる盆栽の手本となる五葉松の保全 ・芸術でありながら生き物でもある自然由来の芸術文化の過去と未来 	<ul style="list-style-type: none"> ・吾妻五葉の盆栽の歴史に関する情報整理 ・インバウンド来訪者の受け入れ体制の強化（安達太良・吾妻自然センターとの運営連携の強化） ・他地域におけるプロモーションイベントの実施（東京・大阪・京都 / R7年度は仏開催予定）
	浄土平レストハウス	<ul style="list-style-type: none"> ・「BONSAI TRAIL」の旅の起点となる浄土平 ・浄土平の中でも最も人が滞留する有人施設 ・浄土平の施設（天文台・ビジターセンター）間のハブ的な立ち位置 	<ul style="list-style-type: none"> ・安達太良・吾妻エリアの環境保全寄付を含むオリジナル製品の販売 ・各種イベントにおける会場の無償貸し出し ・VOLCANO JOURNEYに関する情報を発信する常設展示コーナー作りの検討
	檜物屋酒造店	<ul style="list-style-type: none"> ・二本松市の老舗酒蔵のひとつ ・安達太良山の伏流水を使用した酒造り ・日本酒の作り手による水と酒についての解説 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアーにおけるインバウンド来訪者向けのガイド対応 ・ツアーで使用するガイドコンテンツの多言語化
食事	浄土平レストハウス	<ul style="list-style-type: none"> ・地元食材を用いたメニュー開発の実践 ・浄土平エリア唯一の飲食店 ・地域産品を販売する売店機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド来訪者対応に向けた多言語表記等の取組み（令和7年度に実施）
	お宿 花かんざし	<ul style="list-style-type: none"> ・エリアの中で地域食材を最も使用した食事を提供 ・地酒（日本酒・クラフトビール・ワインなど）の提供と販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域食材の料理メニュー開発（旅館提供・グランピング含む） ・地酒とのペアリングメニューの開発 ・野営場におけるグランピング対応可能なシェフのネットワークづくり
ランド オペレーター	歩く東北研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・磐梯吾妻・猪苗代地域のDMC的なポジション ・エリアを跨いだ関係者の接点作り ・民間型ビジターセンター「安達太良・吾妻自然センター」の共同運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアーの企画・実施を行うことによりインバウンド対応におけるニーズと課題を把握 ・地域の各種関係事業者との意識レベルの協調とビジネス連携の強化 ・磐梯吾妻・猪苗代地域の国立公園スルーガイドのネットワーク作り
	インアウトバウンド東北	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方における幅広い活動領域 ・インバウンド来訪者を中心とした旅行手配の経験値 ・民間型ビジターセンター「安達太良・吾妻自然センター」の共同運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・AT販売の海外バイヤーとの接点を持つことにより、今後の販売商品を含む販路拡大を図る ・福島県における関係事業者とのネットワーク強化 ・安達太良・吾妻自然センターを活用したガイド研修等を含む国内 BtoB ビジネスの強化
交通	昭和タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした交通インフラ ・日本版ライドシェアを運用している福島県唯一の法人 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本版ライドシェアによる国立公園内の拠点間交通インフラ強化（令和7年度に実施検討開始）

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

インバウンド対応における工夫

■ ストーリー

- ・「そこにしかないもの」に焦点を絞り、それを基軸とした登場人物の選定およびストーリー展開を検討。
- ・食事や宿泊を含めて国立公園での自然体験と感じていただけるように、滞在期間中に提供する点と点を繋げて話題提供できるよう脚本を構成。

■ ガイディング

- ・電子デバイスを活用し、映像 / 写真 / 図解等を用いた解説を行うことにより、言語の壁を少しでも補完できるよう工夫。
- ・壮大な景色を味わってもらうため、危険箇所以外は来訪客に先頭を歩いてもらうなど、経験価値の小さな積み重ねを考慮。
- ・ツアー全体の概要を現地到着時の冒頭にブリーフィングすることで、到達するイメージの共有を図るとともに、認識の齟齬を最小化。
- ・メインガイドは、山歩きなどの案内だけでなく、食事や宿泊施設についても事前に把握した上で同行しコンシェルジュ的な役割を果たすことで来訪者との関係性を構築。
- ・ガイディング時の立ち止まっての解説は長くなりすぎないように心掛け、必要な補足などは歩きながらや休憩時などの会話に織り交ぜる。

■ 行程

- ・スケジュールを過密に詰め込み過ぎず、余白を十分に取った行程の計画。
- ・天候や参加者の体調等に応じてフレキシブルに変更可能な余地を織り込んだ設計。
- ・WEB上のアイテナリーはあくまで基本パターンであり、オーダーベースで組み替えできるような行程のモジュール設計

■ 地域食材

- ・地域食材、地酒を提供側のエゴで無理に多用するのではなく、生産方法や品質なども含め適正なものの中から、地域の産品をできるだけ織り交ぜたメニューを開発。
- ・地域食材を使用する場合は、その全てを説明はしないものの、問われれば回答ができるよう、提供側のスクリプトを準備。
- ・キャンプ場におけるグランピング時の食事提供に関しては、そのエリアの雰囲気を感じられるよう、地域産品を中心に設定し起承転結を考慮。

■ 地域関係者等との接点の創出

- ・提供するストーリーの中心となる登場人物は、できる限り本人が登場することができるよう、ツアー商品造成時に「スポットガイド」=有償業務として登用。
- ・ツアー中に使用する地域の飲食店等を選定する場合には、できるだけ店主の顔が見える（ツアーの主旨に賛同し協力）店舗を事前に選定。

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

インバウンド対応における工夫（モニターツアー実施による検証とフィードバック）

/ VOLCANO JOURNEY モニターツアー（1）

日程：2024年9月7日（土）～8日（日）：1泊2日

参加：（アメリカ）/ ほか1名（韓国）

体制：安達太良・吾妻自然センター / ぼんさいや あべ

スルーガイド：（安達太良・吾妻自然センター）

同行：

行程：DAY 1：BONSAI TRAIL ハイキング・グランピングディナー

DAY 2：BONSAI TRAIL ハイキング・盆栽園の見学および体験

目的：国立公園内の野営場にてグランピングを挟んだ2日間のハイキング体験を「盆栽」をテーマに実施。野外での食事提供を含めた旅のプロトタイプ実証。

F/B：インバウンド来訪者を想定したファーストトライとして実施し、同行したKammuiより、ガイドングにおけるインバウンド対応でのポイントをOJTいただいた。ハイキングとグランピングを組み合わせたプログラムに関しては、浄土平野営場を拠点とし、ナイトタイムや早朝時間を有効に活用した国立公園体験のプロトタイプングを実施する事ができた。

から終了後にいただいたF/Bで「自然の中に身を置き、ノイズのない世界で過ごすこの時間自体に経験価値がある」というコメントは今後のツアー造成の軸となるものであり、ツアー造成時のチェック項目の最上位に据える。

/ VOLCANO JOURNEY モニターツアー（2）

日程：2024年10月12日（土）～14日（月）：2泊3日

参加：（アメリカ）/ ほか1名（フランス）

体制：安達太良・吾妻自然センター / ぼんさいや あべ / お宿花かんざし

スルーガイド（安達太良・吾妻自然センター）

同行：

行程：DAY 1：ONSEN TRAIL ハイキング（源泉見学）

DAY 2：BONSAI TRAIL・グランピングディナー・盆栽園見学 / 体験

DAY 3：ONSEN TRAIL ハイキング

目的：前回のモニターツアー検証をベースに「ONSEN TRAIL」を加えたパターンの検証を実施し、令和7年度～の販売商品のアイテナリー検証を行う。

F/B：本来3泊4日の日程で実施する内容を2泊3日で実施し、映像撮影のロケも並行させて行ったため、タイトな行程となったが、温泉・盆栽のトレイルツアーを一連の流れで実施する場合の検証ができた。モニターツアー（1）でフィードバックがあったガイドングやグランピングディナーに関するポイントをブラッシュアップして実施。このツアーでのフィードバックを元に令和7年度～の販売商品企画を行い、KammuiよりADVENTURESより2024年12月にWEB上での商品販売を開始した。



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ターゲット設定

1) 自然・歴史・文化の魅力を経験価値として対価換算できる来訪者層

本事業で提案している「BONSAI TRAIL」、「ONSEN TRAIL」ツアーによる自然体験は、いずれも体験料だけを支払って数時間～終日で終わるアクティビティではなく、インタープリテーションを含む土地のストーリーを味わう滋味深いコンテンツであり、日帰りですべてを体験できる設定にはしていない。宿泊または繰り返しの訪問により、国立公園の自然、そしてその自然資源に繋がる文化や土地の人々との接点を含む経験価値を求め、その対価を感じることができると見込める来訪客をメインターゲットとしている。最低1泊2日～3泊4日を想定し、インバウンド（欧米豪・台湾）を含むターゲットを見据えて商品造成を行う。また、日本国内に対しても未発表のストーリー体験であるため、国内在住者の中にもターゲットとなる潜在顧客が多く存在すると考えている。

● メインターゲット：インバウンド（欧米） / 富裕層の中でも日本文化に興味があり、自然体験を嗜好する層

→ Kammui の WEB サイトでの募集とすることでターゲット顧客への振り分けを行い、問い合わせベースで実施日程や詳細プログラムの構成をオーダーメイドする。

→ 販売価格の設定は、3泊4日の体験で55万円/人～（受け入れ人数は、2名～最大6名まで）

インバウンド誘客を想定した拡張性

→ A) Kammui ADVENTURES にて、R6 造成したツアー商品「Fukushima Volcano Journey」の販売

- ・ BONSAI TRAIL（東吾妻エリア+盆栽体験）を中心としたグランピング+温泉旅館プラン【ベースプラン】
- ・ ONSEN TRAIL（安達太良エリア）の比重を大きくした巨大爆裂口を巡るハイキングに変更および追加
- ・ 「BONSAI 体験」の比重を大きくした BONSAI 愛好家向けの特別体験の追加（※従来より特にインバウンドにニーズあり）

→ B) Fukushima Volcano Journey + 他の国立公園をめぐるシリーズツアーの提案

- ・ 磐梯朝日国立公園の火山旅と、他の国立公園の活火山を巡る Volcano Journey をテーマとした国内移動をとまなう2拠点ツアー。
→ R6 事業にて、「阿蘇くじゅう国立公園」における火山旅をリサーチ+プロモーション写真撮影済み

→ C) Fukushima Volcano Journey + 国立公園の自然の恵みをより広く感じるための自転車ツアー「bike.hike」の提案

- ・ 吾妻・安達太良エリアを山岳エリアだけではなく、自転車を使ったグラベルツアーと組み合わせることにより、多面的に地域ストーリーを体感する。
→ 滞在期間の延伸、消費額の増加、満足度の向上やサイクリスト向けに比重を調整したプランへのアレンジも可能。
→ R6 モニターツアー実証：bike.hike SOUSOU GRVL（相双地域を巡る総距離130kmのバイクバックング旅） / 阿武隈水系と常磐ものの物語
→ bike.hike AZUMA SKYCAMP（BONSAI TRAIL を吾妻山麓から E-BIKE で巡り浄土平でキャンプを行うバイクバックング旅）

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ターゲット設定（インバウンド誘客を想定した拡張性）

A) Kammui ADVENTURESにて、R6 造成したツアー商品「Fukushima Volcano Journey」の販売

- ・ ONSEN TRAIL（安達太良エリア）の比重を大きくした巨大爆裂口を巡るハイキングに変更および追加
→ 富士山の1.5倍の直径がある火山クレーターを1日かけて周回することができ、途中には自然の川自体に源泉が流れ込み、天然の足湯が楽しめる場所もある。



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ターゲット設定（インバウンド誘客を想定した拡張性）

A) Kammui ADVENTURES にて、R6 造成したツアー商品「Fukushima Volcano Journey」の販売

- ・「BONSAI 体験」の比重を大きくした BONSAI 愛好家向けの特別体験の追加（※従来より特にインバウンドにニーズあり）
- BONSAI TRAIL ガイドの阿部大樹（ぼんさいやあべ）は、フランス盆栽協会からの日本を代表する盆栽作家として講師依頼あり（2025 年 10 月）。



STAGE [REDACTED]
LA TROISIÈME GÉNÉRATION DE LA PÉPINIÈRE DE BONSAI ABE

**19/29
OCT.**
4 classes prévues dans toute la France

PARIS 19/20 OCT.
SAINT-ETIENNE 22/23 OCT.
LEZOUX 25/26 OCT.
BORDEAUX 28/29 OCT.

Retenez vos rendez-vous dès le 15/09.
Vous recevrez un lien d'inscription par l'intermédiaire de vos Présidents de Club.




Né en 1990 à Fukushima, son grand-père, Kurakichi Abe, était l'un des plus grands créateurs de bonsaïs au Japon ayant même travaillé sur les bonsaïs du Palais impérial. Après avoir obtenu son diplôme universitaire, Daiki Abe a choisi le domaine du bonsaï et a suivi une formation de cinq ans dans une pépinière spécialisée à Kanagawa avant de retourner dans sa ville natale. Actuellement, il poursuit son travail en tant qu'artiste aux côtés de son père, Kenichi Abe, en approfondissant le style prôné par son grand-père, basé sur le concept esthétique de « Kanshan Yūbi ». La beauté de l'espace vide, son talent dépasse les frontières du Japon : il enseigne l'art du bonsaï en Suisse, en France et dans d'autres pays, gagnant ainsi de nombreux admirateurs à l'étranger. Son style unique est reconnu sous les appellations « style Abe » ou « style naturel ».

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ターゲット設定（インバウンド誘客を想定した拡張性）

B) Fukushima Volcano Journey + 他の国立公園をめぐるシリーズツアーの提案

- ・磐梯朝日国立公園の火山旅と、他の国立公園の活火山を巡る Volcano Journey をテーマとした国内移動をともなう2拠点ツアー。
→R6 事業にて、「阿蘇くじゅう国立公園」における火山旅をリサーチ+プロモーション写真撮影済み

VOLCANO TRAIL

「日本の国立公園 × 活火山」というテーマでフィルタリングし、共通するテーマを元に脚本化された越境型の連携ツアーを展開するべく、ターゲットとなる地域とストーリーの調査を開始し、地域を越え連続性を持たせることによるシナジーを発揮する国立公園ツアーを目指し、令和7年度には複数の具体化案が提示できるよう検討を行う。

令和7年度 国立公園における感動体験・アドベンチャートラベル創出事業に採択された場合には、2024年度事業にて調査を行った「阿蘇くじゅう国立公園」と「磐梯朝日国立公園」を結ぶ火山旅のモニターツアーを実施。

その他、本事業のコンセプトを共にする採択事業者地域の方々とも協議を行い、他地域連携を視野に入れた VOLCANO JOURNEY の企画・プロデュースにチャレンジし、複数地域の事業者が集まるこの国立公園事業のシナジーを活かしたプロジェクトを推進する。

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ターゲット設定 (インバウンド誘客を想定した拡張性)

B) Fukushima Volcano Journey + 他の国立公園をめぐるシリーズツアーの提案

・磐梯朝日国立公園の火山旅と、他の国立公園の活火山を巡る Volcano Journey をテーマとした国内移動をとまなう2拠点ツアー。

→R6 事業にて、「阿蘇くじゅう国立公園」における火山旅をリサーチ+プロモーション写真撮影済み

JAPAN VOLCANO JOURNEY



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ターゲット設定 (インバウンド誘客を想定した拡張性)

B) Fukushima Volcano Journey + 他の国立公園をめぐるシリーズツアーの提案

「日本の国立公園 × 活火山」というテーマでフィルタリングし、共通するテーマを元に脚本化された越境型の連携ツアーを展開するべく、ターゲットとなる地域とストーリーの調査を開始し、地域を越え連続性を持たせることによるシナジーを発揮する国立公園ツアーを目指し、令和7年度には複数の具体化案が提示できるよう検討を行う。

地域	国立公園	知床			阿寒摩周			大雪山			利尻礼文サロベツ			支笏洞爺			十和田八幡平			磐梯朝日			尾瀬			日光			富士箱根伊豆			小笠原			上信越高原			妙高戸隠連山			中部山岳			白山			四国			阿蘇くじゅう			西海			雲仙天草			霧島錦江湾			屋久島		
		知床硫黄岳	羅臼岳	天頂山	雌阿寒岳	雄阿寒岳	アトサヌプリ	摩周	大雪山	十勝岳	丸山(東大雪丸山)	利尻山	羊蹄山	樽前山(風不死岳を含む)	恵庭岳	有珠山	倶多楽(登別)	八甲田山(北八甲田)	十和田	八幡平	秋田焼山	岩手山	秋田駒ヶ岳	吾妻山	安達太良山	磐梯山	燧ヶ岳	日光白根山	高原山	那須岳	男体山	富士山	箱根山	伊豆東部火山群	伊豆大島	利島	新島	神津島	三宅島	御蔵島	八丈島	西之島	草津白根山	浅間山	新潟焼山	妙高山	弥陀ヶ原(立山)	焼岳	アカンダナ山	乗鞍岳	鷲羽・雲ノ平	白山	大山隠岐	三瓶山	阿蘇山	九重山	由布岳	鶴見岳・伽藍岳	福江火山群	雲仙岳	霧島山	桜島	若尊	開聞岳
		2021年度より本事業以外で調査を開始																																																														
		2024年度本事業にて調査を実施																																																														

[吾妻山・那須岳]
日本三大盆栽 / 盆栽文化のストーリー (盆栽)

[安達太良山・阿蘇山]
日本最大級の爆裂口を有する活火山をめぐるとストーリー (温泉・水・災害)

- : 活火山のうち、気象庁が選定した「常時観測火山」(2019年10月現在)
- ▲ : 活火山のうち、文部科学省が選定した「重点観測火山」(2019年10月現在)
- : 「世界遺産」地域に含まれる活火山(2019年10月現在)
- ※ : 「ユネスコ世界ジオパーク」または「日本ジオパーク」に含まれる活火山(2022年2月現在)

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ターゲット設定（インバウンド誘客を想定した拡張性）

B) Fukushima Volcano Journey + 他の国立公園をめぐるシリーズツアーの提案

阿蘇くじゅう国立公園

「活火山」をテーマとした日本の国立公園の旅を提供するために、日本で最も有名な火山観光スポットである「阿蘇くじゅう国立公園」の阿蘇山をピックアップした。日本最大級の火山爆裂口を有する安達太良山と阿蘇山を共通項にしながらも、東北と九州の食を含む気候風土地の違いを楽しんでもらえよう宿泊場所や山歩きのルートなど現地調査も含め令和7年度にモニターツアーを構成できるレベルまで調査検証を実施。プロモーション用の写真撮影なども実施した。



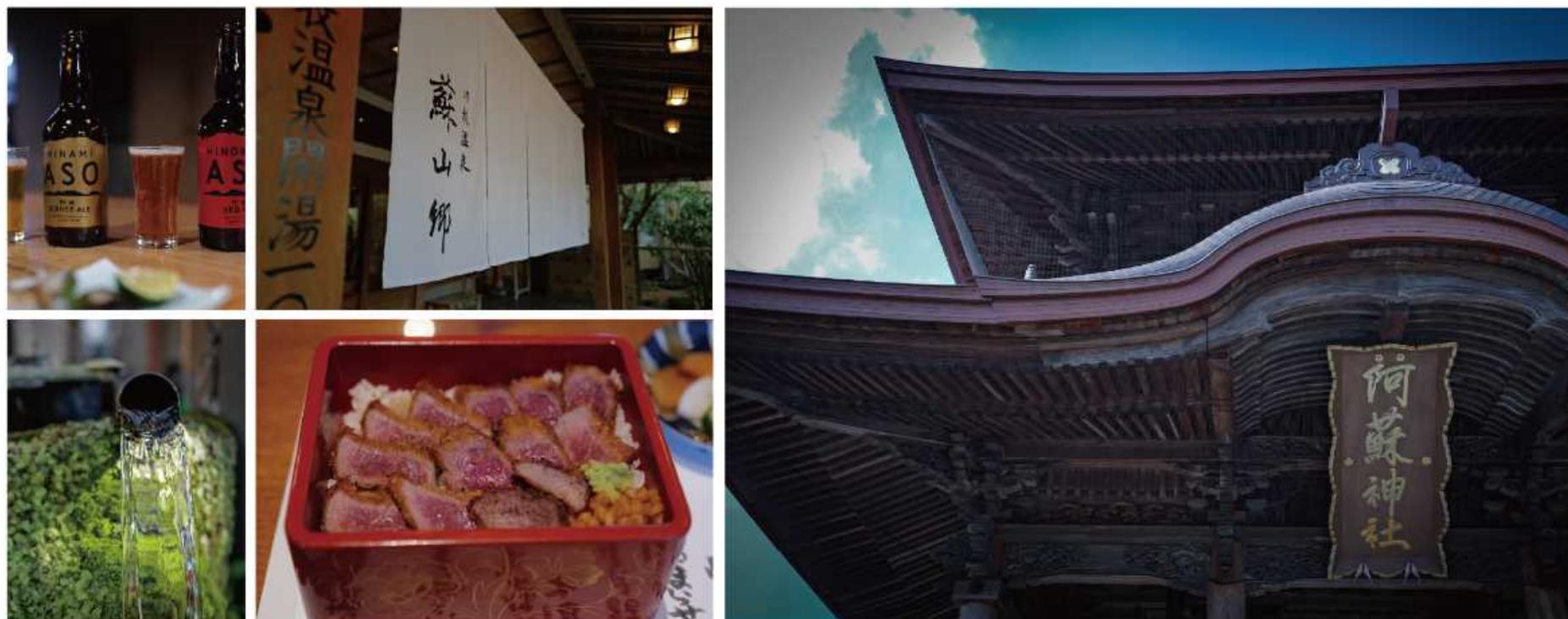
磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ターゲット設定（インバウンド誘客を想定した拡張性）

B) Fukushima Volcano Journey + 他の国立公園をめぐるシリーズツアーの提案

阿蘇くじゅう国立公園

「活火山」をテーマとした日本の国立公園の旅を提供するために、日本で最も有名な火山観光スポットである「阿蘇くじゅう国立公園」の阿蘇山をピックアップした。日本最大級の火山爆裂口を有する安達太良山と阿蘇山を共通項にしうながらも、東北と九州の食を含む気候風土地の違いを楽しんでもらえよう宿泊場所や山歩きのルートなど現地調査も含め令和7年度にモニターツアーを構成できるレベルまで調査検証を実施。プロモーション用の写真撮影なども実施した。



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ターゲット設定 (インバウンド誘客を想定した拡張性)

C) Fukushima Volcano Journey + 国立公園の自然の恵みをより広く感じるための自転車ツアー「bike.hike」の提案

- ・吾妻・安達太良エリアを山岳エリアだけではなく、自転車を使ったグラベルツアーと組み合わせることにより、多面的に地域ストーリーを体感する。
 - 滞在期間の延伸、消費額の増加、満足度の向上やサイクリスト向けに比重を調整したプランへのアレンジも可能。
 - R6 モニターツアー実証：bike.hike SOUSOU GRVL (相双地域を巡る総距離 130km のバイクパッキング旅) / 阿武隈水系と常磐ものの物語
 - bike.hike AZUMA SKYCAMP (BONSAI TRAIL を吾妻山麓から E-BIKE で巡り浄土平でキャンプを行うバイクパッキング旅)

bike.hike

SOUSOU GRVL

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ターゲット設定（インバウンド誘客を想定した拡張性）

C) Fukushima Volcano Journey + 国立公園の自然の恵みをより広く感じるための自転車ツアー「bike.hike」の提案

- ・吾妻・安達太良エリアを山岳エリアだけではなく、自転車を使ったグラベルツアーと組み合わせることにより、多面的に地域ストーリーを体感する。
 - 滞在期間の延伸、消費額の増加、満足度の向上やサイクリスト向けに比重を調整したプランへのアレンジも可能。
 - R6 モニターツアー実証：bike.hike SOUSOU GRVL（相双地域を巡る総距離 130km のバイクパッキング旅） / 阿武隈水系と常磐ものの物語
 - bike.hike AZUMA SKYCAMP（BONSAI TRAIL を吾妻山麓から E-BIKE で巡り浄土平でキャンプを行うバイクパッキング旅）



山の養分を海へ、 海の幸を山へ

この bike.hike SOUSOU GRVL には、「ふくしま火山旅」の展開エリアである磐梯朝日国立公園「磐梯吾妻・猪苗代地域」内や、その地点に接続するための山麓や平野部をつなぐルートもあれば太平洋沿岸部の浜街道をつなぐルートなどテーマに沿ってその数やバリエーションも今後増えていく。

それらは個別に存在するのではなく、全てがシリーズという考え方のもとで作られて、山に降った雨が森の養分を含んだ伏流水や川の水が豊かな漁場をつくりあげるように、「水」というテーマを介して繋がっている。

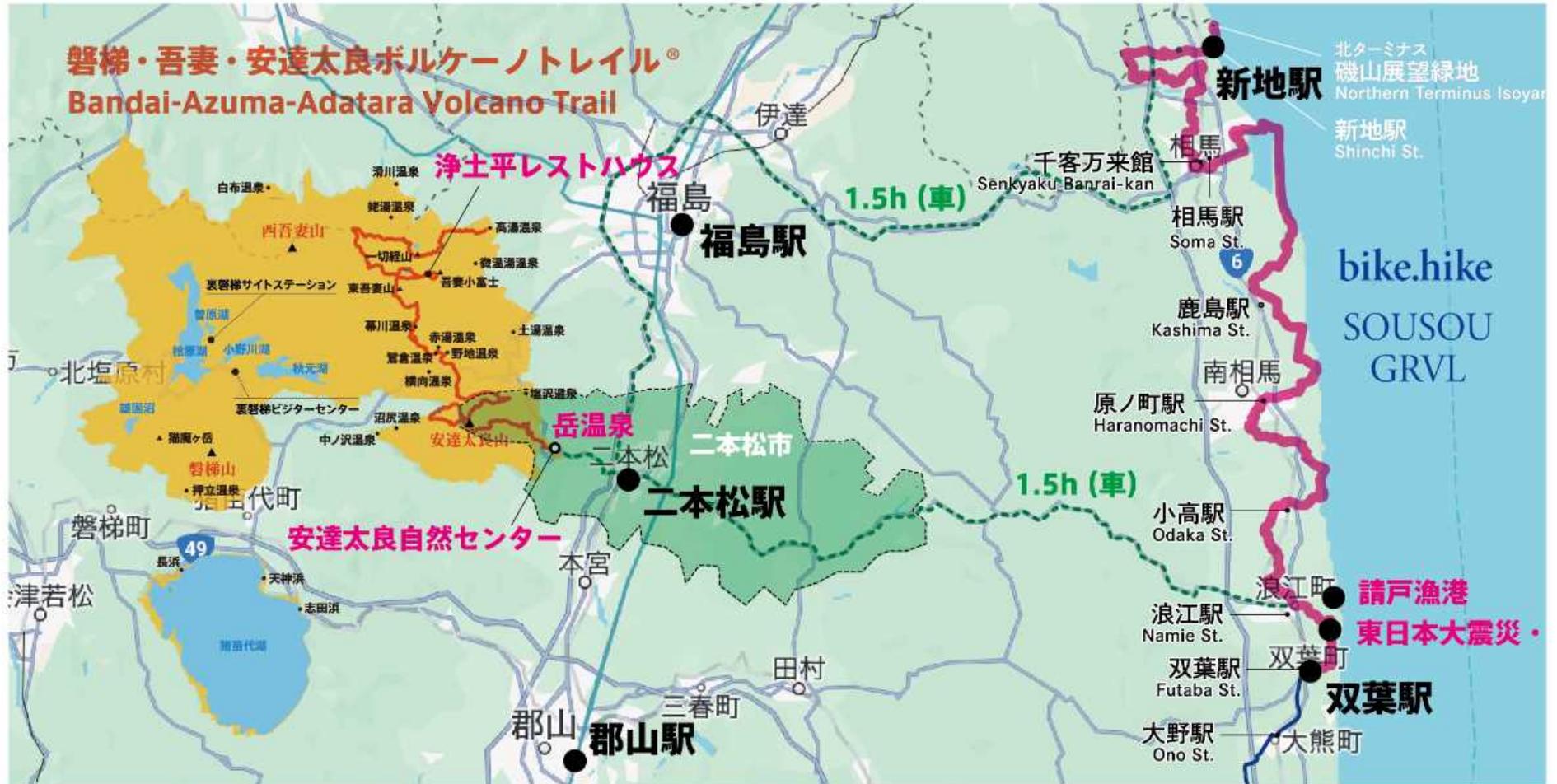
浜街道で立ち寄る請戸漁港のセリで見た水揚げされた魚を翌日の夕食に温泉旅館で頂くことができたり、酒蔵で酒米の稲刈体験や蔵見学を行った晩の乾杯酒は、その田でとれた米で醸した日本酒であったり。

旅には欠かせない「食」という切り口だけでも、ガストロノミー文脈で、様々な経験価値を提供することができる。

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ターゲット設定 (インバウンド誘客を想定した拡張性)

C) Fukushima Volcano Journey + 国立公園の自然の恵みをより広く感じるための自転車ツアー「bike.hike」の提案



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ターゲット設定 (インバウンド誘客を想定した拡張性)

C) Fukushima Volcano Journey + 国立公園の自然の恵みをより広く感じるための自転車ツアー「bike.hike」の提案



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ターゲット設定 (インバウンド誘客を想定した拡張性)

C) Fukushima Volcano Journey + 国立公園の自然の恵みをより広く感じるための自転車ツアー「bike.hike」の提案



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

ターゲット設定

2) ロングトレイルを通じてインタプリテーションの魅力を普及

本事業で造成するツアーは1) で記載したターゲットにフォーカスしていくものの、そのようなインタープリテーションによる魅力に気づき、そのような旅としての国立公園の利用をはじめめる契機を提供していく必要があると考えている。2023年にリリースした「磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル®」ATA: Azuma to Adataru ルートは、ロングディスタンスハイキングのルートであるとともに、「BONSAI TRAIL」、「ONSEN TRAIL」を楽しんでもらうための仕掛けを盛り込んだ設計になっており、歩くための計画を立てる段階で、そのようなストーリーに必然的に触れるよう、情報提供のあり方や地図提供の仕方など含めコントロールしている。ATA ルートは、歩くスピードを想定すると旅程的には、最低2泊～4泊を想定しており、そのためには宿泊場所を含め綿密な準備・計画が必要になり、歩き始める前から必然的にこの地域の情報を調べたり、多くの場合、安達太良・吾妻 自然センターとの接点が発生するようになる。

このような機会を通じて来訪者とのコミュニケーションを図っていくことができるため、当該エリアの来訪者の多くの割合を占める 所謂「日帰り登山」とは違い、来訪者の嗜好性や属性を集積しながらコミュニケーションを取る機会が存在する。そのような関係性を最大限に活用したコミュニティ形成を行っていくことによって、登山道を維持管理するための人財の確保や、環境保全への再投資額が含まれた商品購入・イベント参加など、新たな取り組みへの理解促進が効率よく実施できると考えられる。

● メインターゲット：国内外のロングディスタンスハイキング（登山ではなく街や自然歩道を繋ぎ歩く）を嗜好する層

→ ガイドツアーとしてだけでなく、セルフサポートによるハイキングを実施する人もターゲットに含まれる。直接的な販売による利益追求ではなく、この VOLCANO JOURNEY に関する興味をより広く拡散し、次世代の担い手の発掘も含めてブランディングし、この地に根付く自然体験のあり方の一つとしての確立を目指す。



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の理解とアクション

「活用：保全 = 50% : 50%」

安達太良・吾妻 自然センターの開所(2023年)当初に「活用：保全 = 50% : 50%」というブランドプロミスを掲げ、アドベンチャートラベルなど国立公園の利用日数と、登山道整備や携帯トイレブースの運用などを含む環境保全や、次世代のガイドやレンジャー育成などに費やす割合を等分(またはそれ以上)とすることを目標にして事業を実施。次世代への継承を含む持続可能な国立公園の利活用のあり方を考え、その仕組みづくりを行う。令和6年度に積み立てた再投資額は、約100万円(うち70万円が賛同企業からの寄付や協賛金)となり、令和7年度の活動より、本事業を実施する安達太良・吾妻エリアの環境保全や人材育成の基金としての再投資を開始する。

環境保全への再投資

- ・ ツアー・イベントの売上の5~20%を国立公園の「環境保全費」として積み立てを行い、期中に精算金額と実施内容をSNS等を通じて公表。
- ・ 販売価格に対する保全費の割合を商品販売時に明示することにより、参加者が商品購入の時点で当該地域における環境保全への参加意識を醸成。
- ・ 各種イベントにおける企業・団体等からの協賛金等は、経費を除き全額を環境保全費として還元。
- ・ 安達太良・吾妻 自然センターの活動に賛同する会員制度を作り、個人・企業会員を募ることによるネットワークの強化と会費の25%を環境保全費へ充当。
- ・ グッズの販売など特定商品の物販売上は、売上金額の10%~利益分全額までの範囲で、公園内の環境保全費として計上。

人材育成への再投資

- ・ 将来的にこの地域でのガイドを希望している台湾の体育大学生をインターンシップ生として受け入れ、ガイド育成プログラムを実施。
- ・ 地域の小学校にて、自分たちが暮らす国立公園の自然についての授業を実施。
- ・ 地域の大学との連携により、国立公園の動植物についてのフィールド観察や調査を通じて、大学が行っている研究成果を地域に還元するとともに、大学生のOJTの機会を創出(R7年度より具体化)。
- ・ 地方における人材確保が難しい時代背景において、副業やワーケーション等による労働形態やボランティアワークとしての人材が活躍するための場を提供し、必要に応じてナレッジの共有も図る。

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の理解とアクション

※ブロックタイトルのキーワードは、国立公園のブランドプロミスの実現のために関係者が地域・関係者と取り組む9つのブランディング活動より引用



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の具体的な取り組み

具体的な「保護（保全）」活動

安達太良山の崩壊した登山道の調査と整備 [再投資資金の活用]

- ・安達太良山の登山道2路線（福島県の国有林借地）
- ・登山道整備の専門家を招聘して行う整備対象箇所の調査

安達太良山の携帯トイレブースの製作と運用管理 [再投資資金の活用]

- ・くろがね小屋付近での携帯トイレブースの設計・製作
- ・奥岳登山口付近での使用済みトイレキットの回収

環境保全について体験学習するイベントの開催

- ・登山道整備の専門家を招聘して行う技術指導会
- ・自然環境について興味関心を持ってもらうための野外学習

ガイドやレンジャーを担う次世代の人財発掘

- ・安達太良・吾妻自然センターに関連するガイドの勉強会
- ・国内外からのインターンシップ受け入れ（日本/台湾）

安達太良・吾妻自然センターの維持と存在価値の創出

- ・安達太良・吾妻自然センターにおけるサービス提供内容の拡充
- ・講演会依頼を積極的に引き受け活動内容のプレゼンテーション



安達太良・吾妻自然センターの
保全活動に関するコミュニティが
SNS や参加者等を通じて日々拡大

再投資するための資金の元手

ツアー販売代金の10%（以上） ※募集時点で再投資割合を提示

- ・磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル® 関連 各種ツアー
- ・登山道保全に関する有料ツアー

国立公園の自然を活用したイベント 参加料金の経費を除いたすべて

- ・山岳レースイベント（ウルトラハイキング・トレイルラン）
- ・写上ファットバイクレース など

自然センターの保全活動に賛同する 協賛企業から支援サポート

- ・ファイントラック、YAMAPなどのアウトドア関連企業
- ・地元企業

自然センターの宿泊施設を利用する ための会員制度の発足（個人/企業）

- ・自然センターの宿泊施設の利用を会員制度とし、会員料に保全金を含んでいる（1会員あたり¥5000円/2年間で更新）

収益のすべてを保全資金として使用 するオリジナルグッズの制作と販売

- ・磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル® 公式 MAP の収益のすべて
- ・オリジナルウォーターボトル等、対象商品の収益のすべて

ADATARA AZUMA NATURE CENTER

「保護と利用の好循環」

2024 年度に積み立てた保全金は
自然センターのイベント収益や
協賛企業支援合わせ約100万円



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の具体的な取り組み

急速に崩壊が進行している安達太良山の登山道(登山道整備対象の路線)

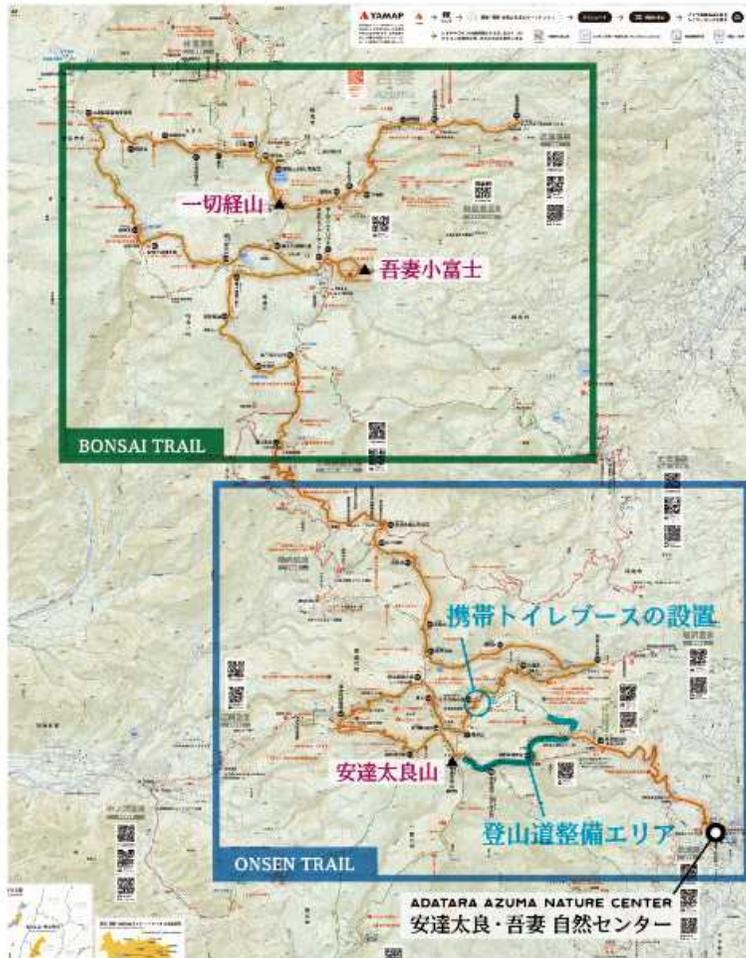


※2024年には1年間で50cm以上の高さの土砂が流された場所もある(写真左)。歩きにくいばかりか、大雨により登山道上で土石流が発生する可能性のあるエリアも存在する。

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の具体的な取り組み

登山道整備と携帯トイレブースの設置位置



VOLCANO TRAIL Information

さらにボルケーノトレイルを
楽しみ尽くすための「周辺&関連情報」





「活用:保全=50:50」 使うための保全&保全する人財を育てる

安達太良・吾妻自然センターのボランティアプログラムとして「活用:保全=50:50」を掲げている。自然の活用と保全を等値に考え、人が自然を使わせていただく分業を、自らの手で保全していく考え。その「保全」には、登山道整備といった具体的な活動もあれば、長年にわたる「活用:保全」のバランスを取りながら活動し続けるための人材育成が含まれる。現在注力しているのは、安達太良山における「登山道の保全」と「携帯トイレブースの活用」。急速に整備が進む登山道をどのように、そしてどこまで人の手をかけて維持していくのか。そして山並み帯の「トイレ問題」も同時に、いざれにしてもその正面から考え取り組む「人」が必要のため、まずは自然の恩を求めているのかの勘察に時間を費やし、イベント等を通じてそれを支えるための仕組みづくりも行っている。



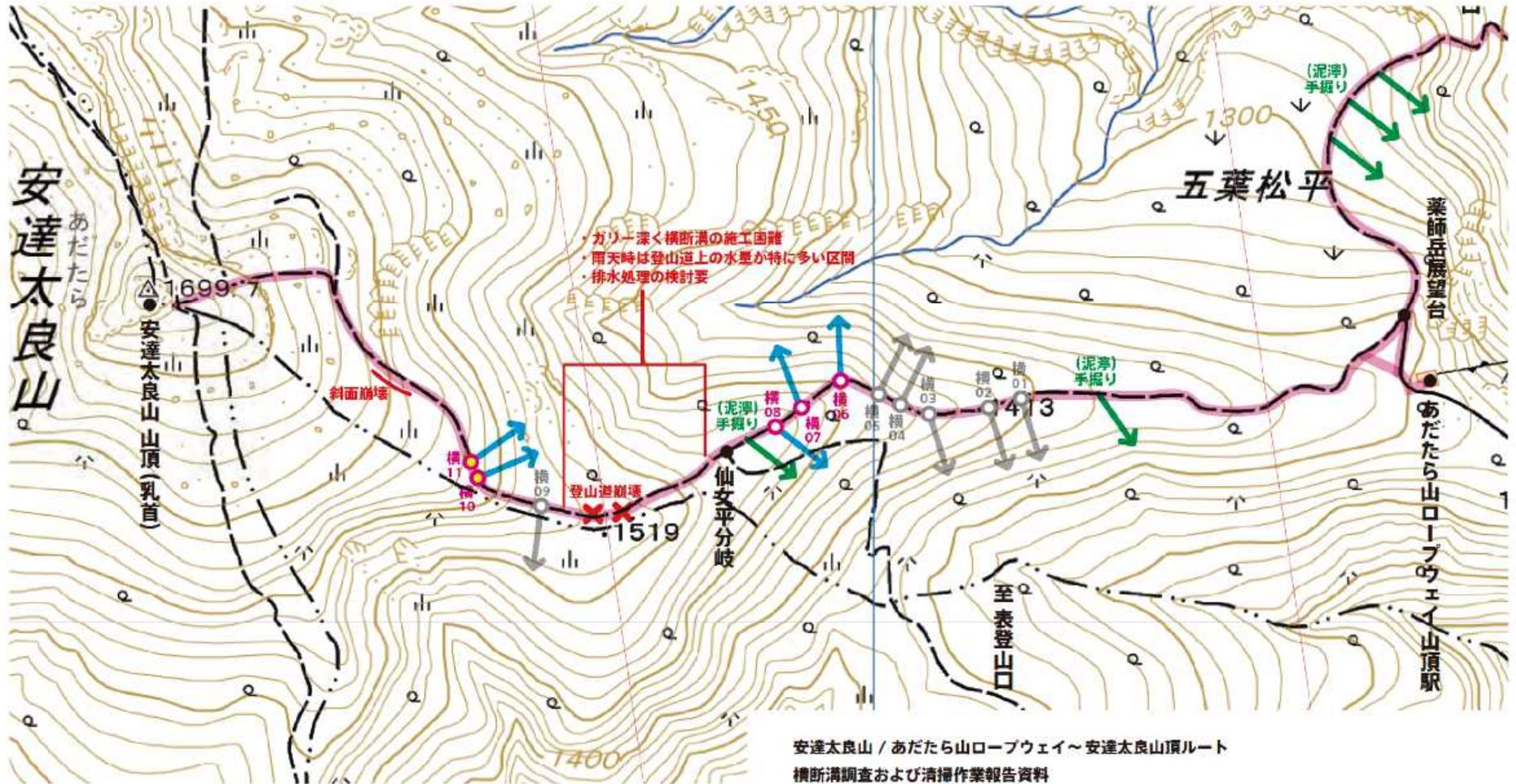


出典: TRAIL.HEAD vol.5 掲載記事

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の具体的な取り組み

安達太良山の登山道整備（既存「横断溝」の清掃と施工箇所のデータベース化）



出典：安達太良・吾妻 自然センター 登山道整備 報告資料より抜粋

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の具体的な取り組み

安達太良山の登山道整備（既存「横断溝」の清掃と施工箇所のデータベース化）

横 01	未施工 2023/11/7 調査 ・横断溝の清掃 / 透水管埋設可 ↓(2023年11月施工) ・【優先度1】 ・残土崩落により一段下の洗掘抑制			横 07	2023/11/1 施工 ・横断溝の清掃+透水管埋設 ・残土を麻袋に入れ現地に残地 ・作業員2名 2023/11/7 調査 ・横断溝による排水を確認 ・排水部に追加+1m必要 ↓(2023年11月施工) ・麻袋土壌による洗掘箇所の保護 ・透水管の+1m延長作業			
透水管 4m				透水管 5m				
横 02	未施工 2023/11/7 調査 ・横断溝の清掃 / 透水管埋設可 ↓(2023年11月施工) ・【優先度2】			横 08	2023/10/16 施工 2023/11/7 調査 ・透水管突出箇所あり ・透水管2m追加必要あり ・追加部分含めもう1度掘り埋設			
透水管 4m				透水管 4m				
横 03	未施工 2023/11/7 調査 ・横断溝の清掃 / 透水管埋設可 ↓(2023年11月施工) ・【優先度2】			横 09	現状箇所での施工不可 2023/11/7 調査 ・横断溝が洗掘により先端が取壊 ・横断溝を1段上部に掛け替え ・施工は2024年シーズンに ↓(2023年11月施工) ・上段に排水溝を掘る(時期があれは)			
透水管 0m								
横 04	未施工 2023/11/7 調査 ・横断溝の清掃 / 透水管埋設可 ↓ ・ロープを登山道寄りに移動 ・ロープ状で登山道幅を規定			横 10	2023/11/4 施工 ・横断溝の清掃+透水管埋設 ・作業員6名 ・崩去土砂を麻袋に詰め登山道上の洗掘防止施工を実施 2023/11/7 調査 ・横断溝による排水を確認 ・麻袋施工箇所の堆積を確認			
透水管 0m				透水管 4m				
横 05	未施工 2023/11/7 調査 ・横断溝の清掃 / 透水管埋設可			横 11	2023/11/4 施工 ・横断溝の清掃+透水管埋設 ・作業員6名			

出典：安達太良・吾妻自然センター 登山道整備 報告資料より抜粋

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の具体的な取り組み

安達太良山の登山道整備（既存「横断溝」の清掃と施工箇所のデータベース化）

施工前の状況：既存の横断溝が土砂の堆積により排水機能が全く得られない状況であり、登山道に大量の雨水が流れ、ガリー化の進行の大きな要因となっていた。

施工内容：土砂の詰まった横断溝の清掃を行い、溝内や排水箇所に堆積した土砂を取り除くことにより、横断溝の排水機能を復活させる。

施工後の状況：施工後の大雨時（2023/11/7）に施工箇所の目視確認を行い、清掃した横断溝の排水機能が機能していることを確認。

今後の保守：清掃した横断溝への土砂堆積状況および排水状況の定期点検を行い、清掃作業のタイミングを検証する。

作業日程：2023年11月4日

作業手順：横断溝の土砂の掻き出し → 透水管の埋設 → 掻き出した土砂と石の分別 → 石のみを透水管と共に横断溝に埋設 → 残った土砂を麻袋に詰め土嚢作り → 洗掘箇所の保護材として使用

作業箇所：横 10（別紙の横断溝一覧図を参照）

作業人員：6名

施工前



施工中



施工後



出典：安達太良・吾妻自然センター 登山道整備 報告資料より抜粋

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の具体的な取り組み

安達太良山の登山道整備（登山道整備の専門家を招聘したフィールド学習と技術指導）



出典：安達太良・吾妻自然センター 登山道整備 報告資料より抜粋

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の具体的な取り組み

くろがね小屋付近における「携帯トイレブース」の製作・管理・運営

2023年より安達太良山の「くろがね小屋」は建替えのため休業。それと同時にトイレも使用できなくなったことにより、登山道脇で用をたす登山者が急増し、安達太良・吾妻自然センターでは、林野庁より国有林の使用許可をとり、テントブースでの仮設的な携帯トイレブースの運用を同年に開始。火山ガスによるテント生地やファスナーの破損が著しく、翌2024年シーズンには、木製のトイレブースの設計・製作を行い、本格的に携帯トイレブースの運用をスタート。初年度は、使用済みのトイレキットを登山道脇に破棄していく登山者が後を絶たなかった（繁忙期には1週間でゴミ袋2袋分の使用済み携帯トイレを回収し廃棄：写真参照）が、サイン看板やトイレキットのパッケージの説明書の工夫、そして登山口での使用済みトイレキットの回収サービスとともに、ブースの周りに破棄する数量は減少している。



2023年バージョンの携帯トイレブース（テント仕様）。火山ガスの影響で腐食が著しく、1シーズンで15万円分のテントブースを破棄した。使用済みの携帯トイレキットを登山道脇に破棄する事例も多く見られた（写真は1週間で回収した使用済みのトイレキット）

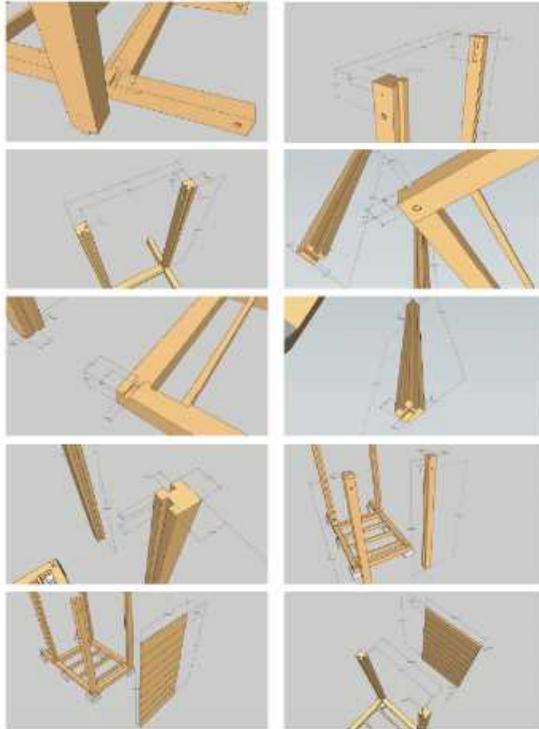
磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の具体的な取り組み

くろがね小屋付近における「携帯トイレブース」の製作・管理・運営

2024年シーズンに運用開始した木製の携帯トイレブース。ファーストステップとして、岳温泉に試作機を製作（試作機の製作費は環境省の負担で実施）し、強度実験などをへて、本番設置用のブースの設計および施工を行った。くろがね小屋の営業再開時には解体・撤収する必要があるため、十分な強度を持たせながらもノックダウンして運搬しやすいよう、3DCADによる綿密な設計を行っている（実施設計・製作ともに安達太良・吾妻自然センターの設計セクションが担当）。

商品設計図（2/4）



3D 構造検証図



試作ブースの組み立て作業



作業員3名：約4時間

安達太良・吾妻自然センターの設計図書・報告書より抜粋

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の具体的な取り組み

くろがね小屋付近における「携帯トイレブース」の製作・管理・運営

岳温泉に設置した試作機での耐久テストやユーザビリティの検証を経て、現地に設置する実施版の設計、施工を実施。2024年度の安達太良山の山開き前に設置し、運用を開始した。専用の携帯トイレキットのパッケージデザインもリニューアルし、英文表記や図解による解説もアップデートした。現在、積雪期の耐久性について現地にて実証中であり、シーズンを通した山岳環境（&火山ガス）での耐久性についての経年劣化の状況が明らかになる。積雪期の除雪によるブースへの負荷軽減についても実証を行い、来シーズンに向けての対策等、実証結果を得ることができた。



くろがね小屋付近に設置した携帯トイレブース。専用のトイレキットのパッケージもリニューアルを行い、使用済みのトイレキットの回収についても明記することで、登山道脇に廃棄される数量を減らすことができた。

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の具体的な取り組み

アウトドア関連企業による支援金サポート

日本のアウトドアブランド「ファイントラック」と、登山地図アプリを提供する「YAMAP」により、製品の売り上げの一部を特定の山域の環境保全活動支援金として提供するプロジェクトが始まり、北アルプス・雲ノ平、奥信濃と安達太良の3つの地域が選定された。アウトドアウェアを販売するYAMAPとファイントラックが利益の一部を支援金として登山道整備の資金とするもので、それを購入したエンドユーザーの方も間接的にそのプロジェクトに参画し、自然環境の恩恵を受けて遊び、事業を行う皆が受益者であるという考えのもと実施されたもので、2025年度も継続して実施される予定。安達太良山では、山開きのイベントでも商品販売を行い登山道の現状と安達太良・吾妻自然センターの取り組みについてのPRを行う予定。



finetrack **YAMAP**

\ 売上の一部を安達太良山の整備に充てています /

登山道を守る人を応援する

DRY LAYER[®]
finetrack × YAMAP 別注
ドライレイヤー[®] ベーシックT
販売中

詳しくは、finetrack または YAMAP の WEB サイトへ

finetrack WEB サイト YAMAP WEB サイト



出典：YAMAP × finetrack の掲示用 POP (2024 年度用)

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の具体的な取り組み

アウトドア関連企業による環境保全型ツアーの開催

日本のアウトドアブランド「ファイントラック」と、登山地図アプリを提供する「YAMAP」による、製品の売り上げの一部を特定の山域の環境保全活動支援金として提供するプロジェクトと並行し、1泊2日で現地宿泊しながら環境保全作業にも携わる体験ツアー（有料）の展開もはじまった。参加者は、旅行代金を支払って登山道の整備や携帯トイレブスの保守作業を行うといったプログラムであり、また宿泊料金などの実費を除く参加料はすべて保全のための資金として積み立てられる。このような取り組みは、保全のための資金を得る以上に、この山域に対する興味や登山道を維持することなどへの関心が高まるものであり、今後「保護と利用の好循環」の実践におけるケーススタディとして、ツアー内容のブラッシュアップを行っていきたい。このようなアウトドアブランドやアウトドア関連企業とのタイアップを増やしていくことで、参加人数の累積が増えればこの安達太良エリアだけでなく、日本全国でこのような意識を共有していける可能性を秘めている。



YAMAP × finetrack 環境保全フィールドイベント

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の具体的な取り組み

アウトドア関連企業による環境保全型イベントの開催

「登山道を守るために走ってみよう」というキャッチフレーズのトレイルランニングレース。トレイルランニングレースと言っても募集人数は30名以下で、かつレースの翌日に登山道の整備作業がセットになっている宿泊前提のツアー型のイベントを開催している。レース形式にしているものの、上位を表彰するポディウムもなく、同じ道を走った同士を互いに讃えあい、国立公園の自然の中で遊ばせていただいているという主旨を理解いただいた方のみがエントリーできる。登山道整備の前には、なぜトレイルが崩壊するのかについてのレクチャーなどを含め、学びと体験の双方を提供している。イベントエントリー費用は経費を除いてすべてDAY2の登山道整備で使用資材の購入費に充当することで、参加者各人が登山道を維持することの重みを感じていただく設計となっている。

安達太良山の環境保全を考えるトレイルランニングイベント

VOLCANO 8 第2回 VOLCANO 8 Mountain Run & Hike 2024
磐梯朝日国立公園・安達太良山（福島県/二本松市/岩手県）

【DAY1】2024年6月8日(土)
トレイルランニングレース (30km・25km / 制限時間 8時間)

【DAY2】2024年6月9日(日)
トレイルワーク (安達太良山の登山道保全作業＝横断溝清掃)



ADATARA AZUMA
AND NATURE CENTER



主催：国土交通省 国土利用政策課
協賛：国土交通省 国土利用政策課
協賛：国土交通省 国土利用政策課
協賛：国土交通省 国土利用政策課

VOLCANO 8

トレイルワーク (DAY2: 6月9日)

VOLCANO 8



現実に目を背けず、使うことでその深刻さに気づき、動き出そう

安達太良山では、登山道の崩壊が深刻化してきています。約25年前に注ぎられたとされる融雪水(の本期は、地中の付着により抜け落ち、2倍増るようにならなければいけない大きな浸透)も多量に発生しています。そのような傾向には雨が降ると水が溜まりたりぬかるりたりになるため、それを受けたり大きな浸透を少しでも察し登り止めて、両サイドの斜面に新たな溝を掘ることができます。そうなる元々そこにあった樹生もなくなり、更なる浸透が進行するという負のスパイラルに陥っているのです。また、ここ数年は雨の降り方にも変異があり、いわゆる「ゲリラ豪雨」と呼ばれる短時間で集中した降雨の頻度も高まっています。その影響が、登山道の浸透スピードも早くなり、ある日突然に崩壊が起きて表土が流れていくことが昨年度の定点観察でも見て取れます。

今回のトレイルランニングイベントでの収益は、現在「安達太良・吾妻自然センター」が担当している崩壊箇所が復元している登山道の整備資材として使われます。危険が伴って「れたこのトレイルがあるからこそ、今の安達太良の大自然を楽しむことができています。是非今回トレイルワークにも参加し、身体で感じて理解することで、「なぜ今動き出さなければならないのか」についても考える時間にしてみたい。



登山道を守るために走ってみよう。
イベントで得た収益のすべてを
登山道の環境保全のために還元。
安達太良山で何が起きているかを
参加者1人1人が見て触れて感じ、
具体的に手を動かし始めるための
マウンテンランニングイベント。
山で徹底的に遊び、そして考えよう。

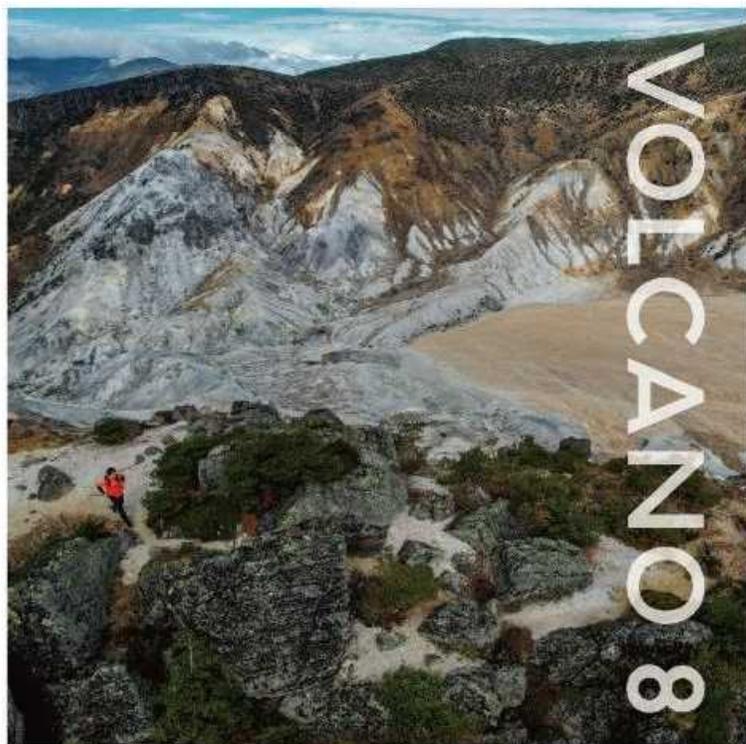
VOLCANO 8

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の具体的な取り組み

アウトドア関連企業による環境保全型イベントの開催

「登山道を守るために走ってみよう」というキャッチフレーズのトレイルランニングレース。トレイルランニングレースと言っても募集人数は30名以下で、かつレースの翌日に登山道の整備作業がセットになっている宿泊前提のツアー型のイベントを開催している。レース形式にしているものの、上位を表彰するポディウムもなく、同じ道を走った同士を互いに讃えあい、国立公園の自然の中で遊ばせていただいているという主旨を理解いただいた方のみがエントリーできる。登山道整備の前には、なぜトレイルが崩壊するのかについてのレクチャーなどを含め、学びと体験の双方を提供している。イベントエントリー費用は経費を除いてすべてDAY2の登山道整備で使用する資材の購入費に充当することで、参加者各人が登山道を維持することの重みを感じていただく設計となっている。



+



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の具体的な取り組み

自然環境との共生について考える企画

登山道整備など直接的な保全活動以外にも「なぜ自然環境と共生していかなければいけないのか」について考えるフィールドワークプログラムをシリーズ展開している。すべて有料のプログラムとして実施し、参加費はすべてこの国立公園の環境保全費として積み立て対象として開催している。



環境保全を考えるプログラム “活火山と、●●●”をシリーズ展開



活火山とともにある、このエリアの国立公園の自然や文化をより身近に、より深く感じてもらうための取り組みとして、“活火山と●●●”シリーズを2024年度より開始。まずはボルケーノトレイル周辺エリアでの展開として「吾妻山」「安達太良山」に関わるテーマの深掘りを行なっている。すでに実施済みの企画として【vol.01 活火山「吾妻山」と、ホシガラス】【vol.02 活火山「吾妻山」と、ツキノワグマ】があり、いずれの回も専門家を交えて、机上での講義と野外でのフィールドワークを組み合わせるプログラムとしている。次回の企画は【vol.03 活火山「吾妻山」と、火山

観測点】。「吾妻山」と「安達太良山」は、いずれも気象庁が24時間体制で火山監視を行なっている常時観測火山。山肌に設置されているさまざまな観測点を気象庁の専門家と一緒に巡り、吾妻山の火山観測についての探究を行なう。



055 TRAILHEAD

出典：TRAILHEAD vol.5 掲載記事

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の具体的な取り組み

自然環境との共生について考える企画 × 気象庁 (火山観測)

活火山「吾妻山」と、火山観測点 | 気象庁の火山観測に関する仕組みを学び、活火山との共生を考える山歩き

10/26
8:30 - 15:45
浄土平・一切経山

磐梯朝日国立公園・浄土平/吾妻山の環境保全について考えよう [vol.03]

あづまやま

活火山「吾妻山」と、火山観測点

気象庁の火山観測に関する仕組みを学び、活火山との共生を考える山歩き

ADATARA AZUMA NATURE CENTER

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の具体的な取り組み

自然環境との共生について考える企画 × 福島大学（ツキノワグマ、その他 野生動物）

活火山「吾妻山」と、ツキノワグマ | 吾妻の森に入り、ツキノワグマの生態や住環境について考察する山歩き



磐梯朝日国立公園・浄土平/吾妻山の環境保全について考えよう [vol.02]

あづまやま

活火山「吾妻山」と、ツキノワグマ

吾妻の森に入り、ツキノワグマの生態や住環境について考察する山歩き

日時：2024年9月29日(日) 9:30～15:30 (受付9:15～)

集合：浄土平レストハウス2F

会場：[机上講習(AM)] 浄土平レストハウス2F
[野外講習(PM)] 浄土平エリア周域

講師：福島大学 食農学類 望月翔太 准教授

企画/ガイド：安達太良・吾妻 自然センター

主催：合同会社歩く東北研究所

定員：12名(事前申し込み制)

参加費：4000円(税込)/名

参加申込み：[Google forms] <https://forms.gle/kG7ioXpyLyjbLfkz9>



詳細・参加申込

ADATARA AZUMA
ANC **NATURE CENTER**



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

「保護と利用の好循環」の具体的な取り組み

自然環境との共生について考える企画 × バードリサーチ (ホシガラス、その他 野鳥)

活火山「吾妻山」と、ホシガラス | 五葉松の球果を集めるホシガラスを観察し、「森を造る」食生活に触れる山歩き

磐梯朝日国立公園・浄土平/吾妻山の環境保全について考えよう [vol.01]

あづまやま

活火山「吾妻山」と、ホシガラス

五葉松の球果を集めるホシガラスを観察し、「森を造る」食生活に触れる山歩き

日時：2024年9月28日(土) 7:30～14:30 (受付7:15～)

集合：浄土平ビジターセンター 入口前

会場：〔野外講習(AM)〕 浄土平エリア周域

〔机上講習(PM)〕 浄土平レストハウス2F

講師：NPO法人バードリサーチ代表 高木憲太郎氏

企画/ガイド：安達太良・吾妻自然センター

主催：浄土平周辺観光推進連絡会議

定員：12名(事前申し込み制)

参加費：2000円(税込)/名



イベント詳細



参加申込

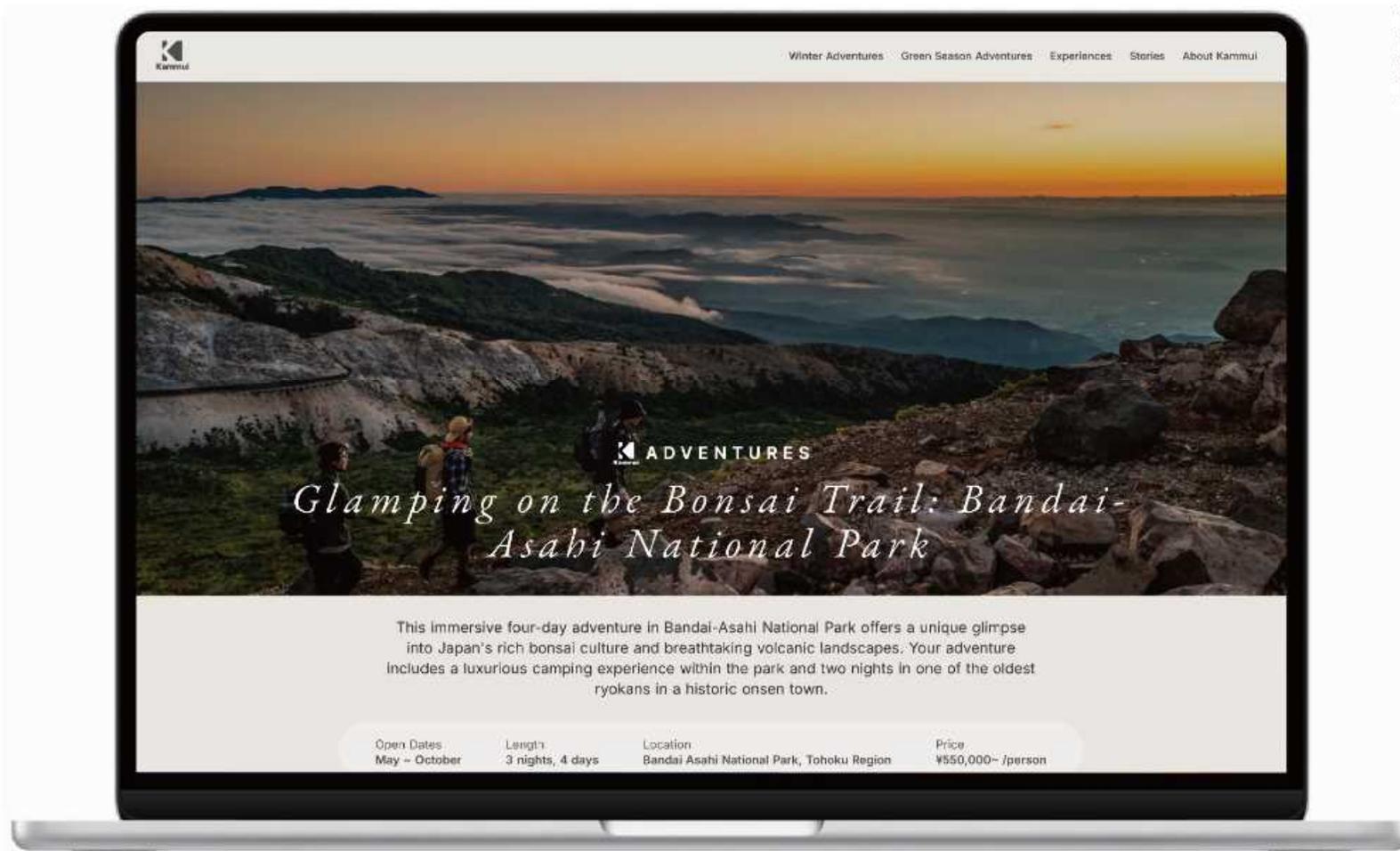


ADATARA AZUMA
NATURE CENTER



磐梯朝日国立公園 | 販路開拓・プロモーション

プロモーション (WEB)



Kammui ADVENTURES の WEB 販売サイトを安達太良・吾妻自然センター撮影画像などを用いて Kammui チームと共同制作 (2024 年 12 月リリース)

<https://kammui.com/adventures/bandai>

磐梯朝日国立公園 | 販路開拓・プロモーション

プロモーション (映像)



- ・ WEB / SNS 掲載用 = 横型 16:9
- ・ 映像尺 = 02:50

<https://lit.link/adatara>



- ・ SNS 掲載用 = 縦型 9:16
- ・ 映像尺 = 00:15



- ・ SNS 掲載用 = 縦型 9:16
- ・ 映像尺 = 00:30

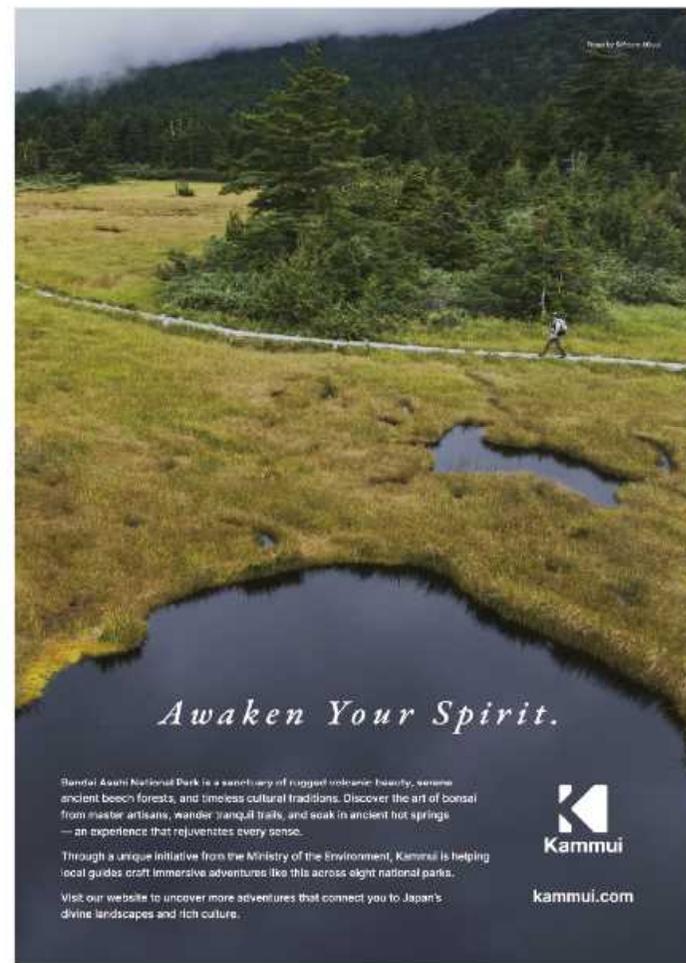
- ・ 内容 (全てに共通) = Ian Spalter が体験したモニターツアーそのものを同行撮影し収録した素材により構成。Ian Spalter の体験後のインタビュー音声をボイスバックに、実際の体験イメージを編集。令和7年度のツアー販売に向けて、2024年12月にリリースした、販売サイト(Kammui ADVENTURES)やSNSに掲載し集客を図る。※本映像は事業費を使用して制作
- ・ 次年度に向けては、安達太良・吾妻自然センターによる四季を通じた国立公園の情景を映像化し、SNSを通じてより短いピッチでの映像プロモーションを実施していく(2025年3月よりすでに実施)。

磐梯朝日国立公園 | 販路開拓・プロモーション

プロモーション (広告)



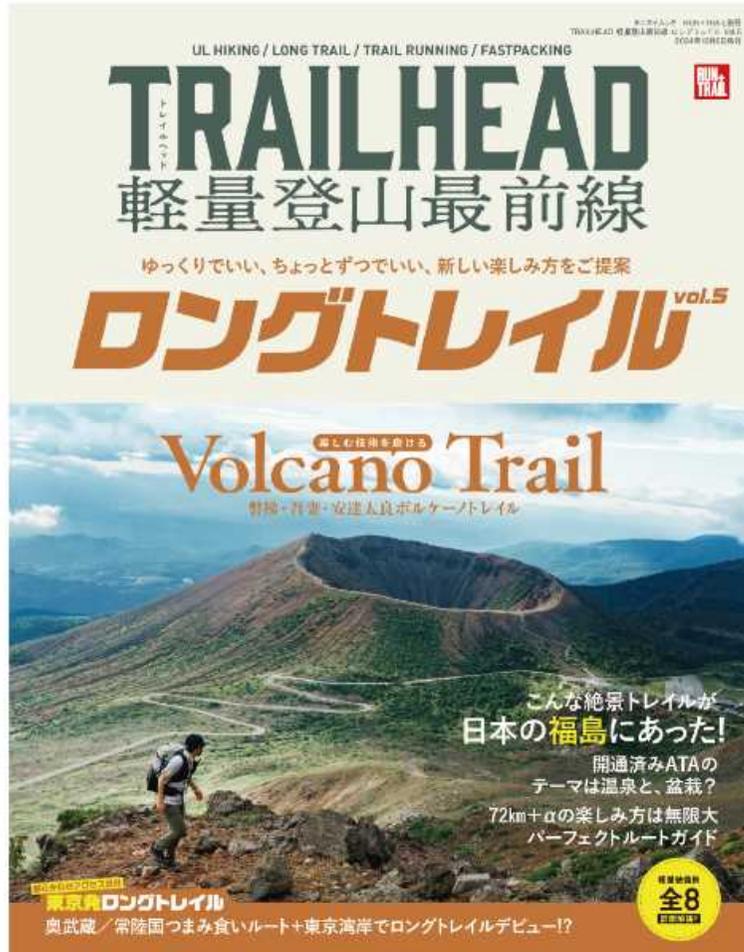
ナショナルジオグラフィック TRAVELLER 誌にて、本事業で造成したツアー販売に関する広告を掲載



出典：NATIONAL GEOGRAPHIC TRAVELLER

磐梯朝日国立公園 | 販路開拓・プロモーション

プロモーション (雑誌)



雑誌 TRAILHEAD vol.5 にて、表紙および巻頭特集 60頁掲載。この火山旅におけるインタープリテーションを中心に記事を構成。出版部数：15,000

磐梯朝日国立公園 | 販路開拓・プロモーション

プロモーション (SNS/ instagram)

「安達太良・吾妻自然センター」の公式 instagram (adatara_nc) にて、「ふくしま火山旅 (FUKUSHIMA VOLCANO JOURNEY)」に関する投稿を中心に掲載
→ 本事業の実稼働 (7月)~2025年2月末までの8ヶ月でフォロワー 約1400人増 / 各種イベントの告知も instagram からの投稿が最も反応が高くなっている。



Instagram icon @adatara_nc

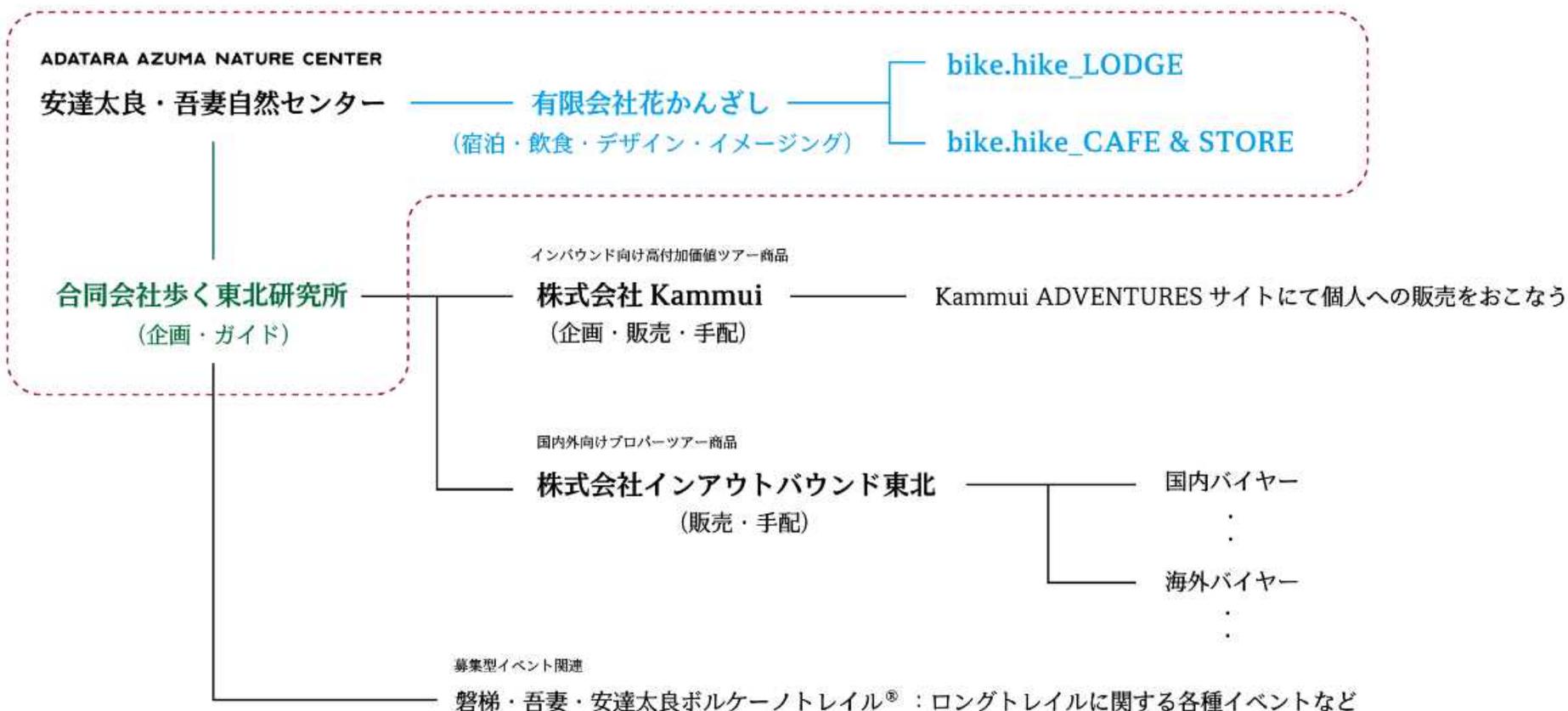


https://www.instagram.com/adatara_nc/

磐梯朝日国立公園 | 販路開拓・プロモーション

プロモーション・販売チャンネル

本事業で造成した VOLCANO JOURNEY のツアー（セミオーダーメイド型の高付加価値）商品に関する販売チャンネルは、株式会社 Kammui とのチームで企画・販売を進め、それ以外の国内外のバイヤーによるプロパー商品に関する窓口を株式会社インアウトバウンド東北にて取りまとめる。



磐梯朝日国立公園 | 販路開拓・プロモーション

販売実績（本年度）

- ・本資料 P30 に記載のモニターツアー「Tom Sacks / VOLCANO JOURNEY モニターツアー（1）」での販売実績のみ
- ・本事業で造成したツアー商品の実施は令和7年5月（雪解け）以降

※ 一般向けには、2024年12月より Kammui ADVENTURES の WEB サイトに掲載したため、実売案件のスタートは2025年6月以降

	R6（実績）			
販売単価（円）	200,000 (モニターツアー)			
販売人数（人）	2			
売上（円）	400,000 (モニターツアー)			
営業利益（円）	0 (モニターツアー)	※ツアー実施のための備品購入経費や準備資金に使用しているため営業利益としての計上はない		
営業利益率（%）	0 (モニターツアー)			
保全再投資（円）	0 (モニターツアー)			



ふくしま火山旅

100年続く盆栽と、1000年続く温泉の物語

[磐梯朝日国立公園 / 磐梯吾妻・猪苗代地域]

ADATARA AZUMA NATURE CENTER

安達太良・吾妻 自然センター（合同会社歩く東北研究所）



<https://www.adatara.jp>



https://www.instagram.com/adatara_nc/

日光国立公園

消えた古道を探し山岳信仰の物語を探るアドベンチャーツアー造成事業

栃木アウトドア事業振興会BERGTOAD

National
Parks
of Japan



取組概要

国立公園のストーリー：山岳・湖沼・滝・湿原が織りなす多彩な自然美と荘厳な文化遺産（指定書テーマより）

那須インタープリテーション全体計画（那須を大好きになるストーリー集）※より

- ①火山の物語（火山が生んだ6つの泉質、火山により生み出された地形、厳しくも恵みをもたらす母なる山、地形の息吹を感じる登山）
- ②水の物語（水と命の源流、お米とお酒の美味しい秘密）
- ③人の物語（自然への感謝を伝える山岳信仰、街道による交流と足跡、那須湯本地区に伝わる伝承、自然と人が生み出した「食材の宝庫」、体で感じる自然と人の物語 等）
- ④御用邸の物語（皇室が愛した那須）

※那須を大好きになるストーリー集（那須インタープリテーション全体計画）
那須地域にある様々な資源から伝えるべきメッセージをテーマとしてまとめ、資源同士のつながりや資源の背景にあるストーリー等をまとめたもの
<https://nasu-ip.bergtoad.net/>

本事業・本ツアーのストーリー（来訪者と共有したい価値）

那須IP全体計画①～③全般。

特に、③人の物語のうち、自然への感謝を伝える山岳信仰

- ・ 那須の山岳信仰は温泉との繋がりも強く歴史的背景のある温泉であり、観光だけに留まらず日本人の自然崇拝の心が読み解けるものである。その歴史と自然環境を紹介し体感することで日光国立公園那須エリアの成り立ちを体感してもらう

那須地域のメインテーマを感じてもらう

- ・ 那須エリアは、自然の圧倒的なポテンシャルはあるが、故に、過酷な環境でもあった。そうした荒地を、先人たちは苦勞しながらも、入植者と地域の人達が互いに助け合い、開拓し、厳しい自然を、豊かな恵みに変えて来た。今の那須エリアを支える自然の豊かさ人と受け入れる土壌は、元から与えられたものではなく、自然と人が葛藤しながらも光を見出し、助け合いと調和の精神を受け継ぎながら、弛まぬ努力を続けて来た結果であることをツアー全体を通して最終的に感じてもらう

本事業で活用する資源とテーマ

- ・ 活火山、山岳信仰、温泉が密接に関わる歴史と地域の成り立ち
- ・ 【テーマ】那須温泉には源泉を御神体とした山岳信仰の歴史があり自然への感謝や畏怖の念を感じる自然崇拝の象徴ともなっている

望まれる来訪者の体験、来訪者の意識/行動変容

- ・ 日本古来の山岳信仰による登山行動によって自然崇拝の概念を体感してもらい、自然への畏怖の念と感謝を抱くことで自然との共存と保護を理解してもらい自然への感謝とその地を“守りたい”という意識変容を促す。

来訪者（ターゲット）

- ・ 欧米諸国の20代後半～30代でよりアクティブな自然体験を好み日本文化に興味を持つ中間層

ツアーの概要とメイン自然体験アクティビティ

- ・ ツアーコース例：2泊3日のツアープログラム

温泉の源泉を御神体とする那須の山岳信仰は衰退とともにそのルートも荒れ果てたヤブとなり史跡も朽ちたものとなっている。そのルートと史跡を探しながら山岳信仰のストーリー、活火山の恵み、温泉がもたらした地域の歴史を体感する。

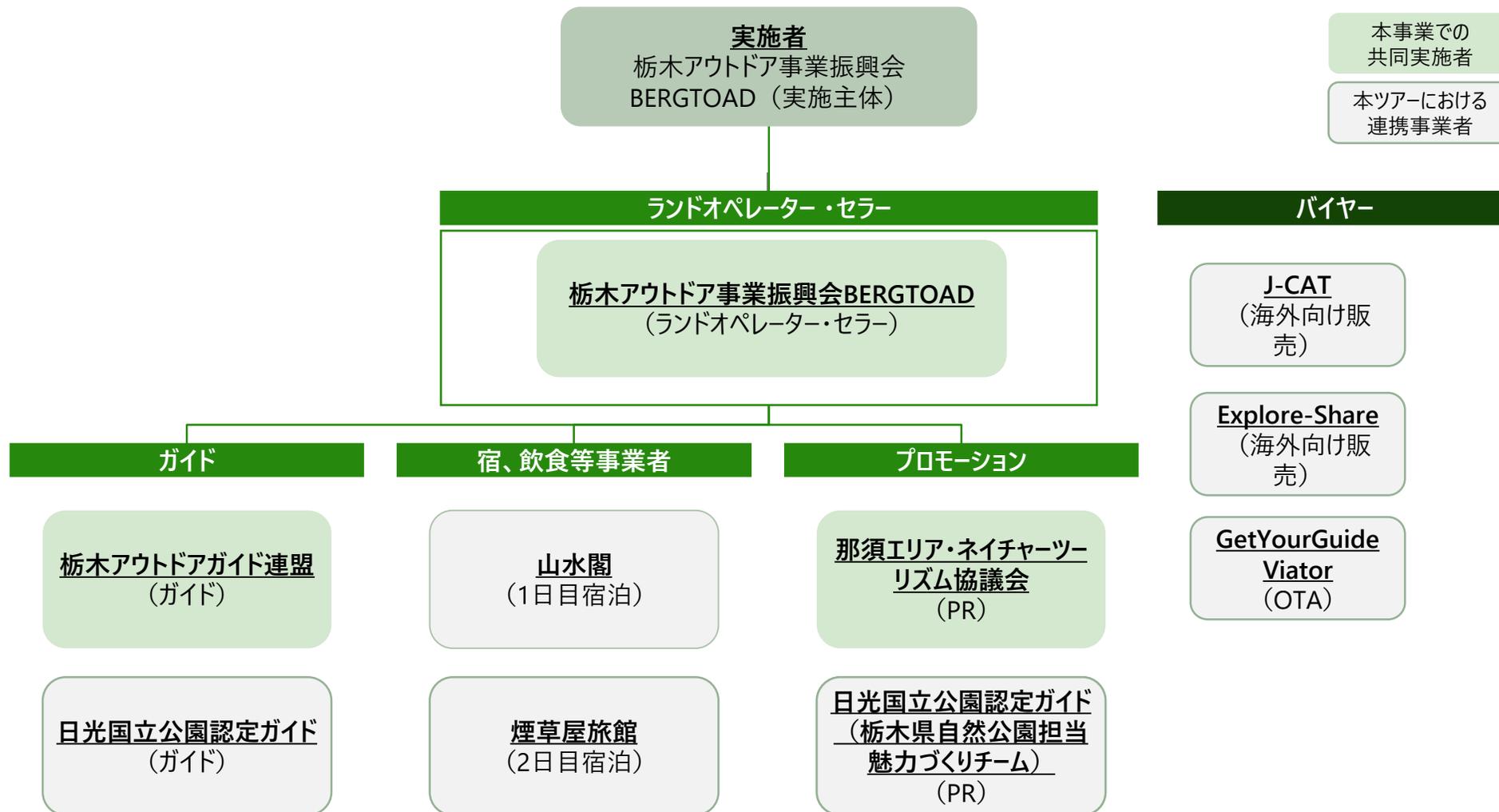
山岳信仰にまつわる神社への参拝
バリエーションルート登山
伝統的温泉の入浴

設定KPI/KGI

- KPI
 - ・ 令和7年度ランディングページのCVR 1%
 - ・ ランディングページPV数 6000pv
 - ・ 連携する宿：3社以上
 - ・ ガイド研修：4回、各3名以上
- KGI
 - ・ 令和7年度インバウンド40名、単価150,000円
 - ・ 売上600万（想定利益300万）
 - ・ 保護への再投資：還元率5%、還元総額30万円
 - ・ ガイド確保：2名以上

保護と利用の好循環

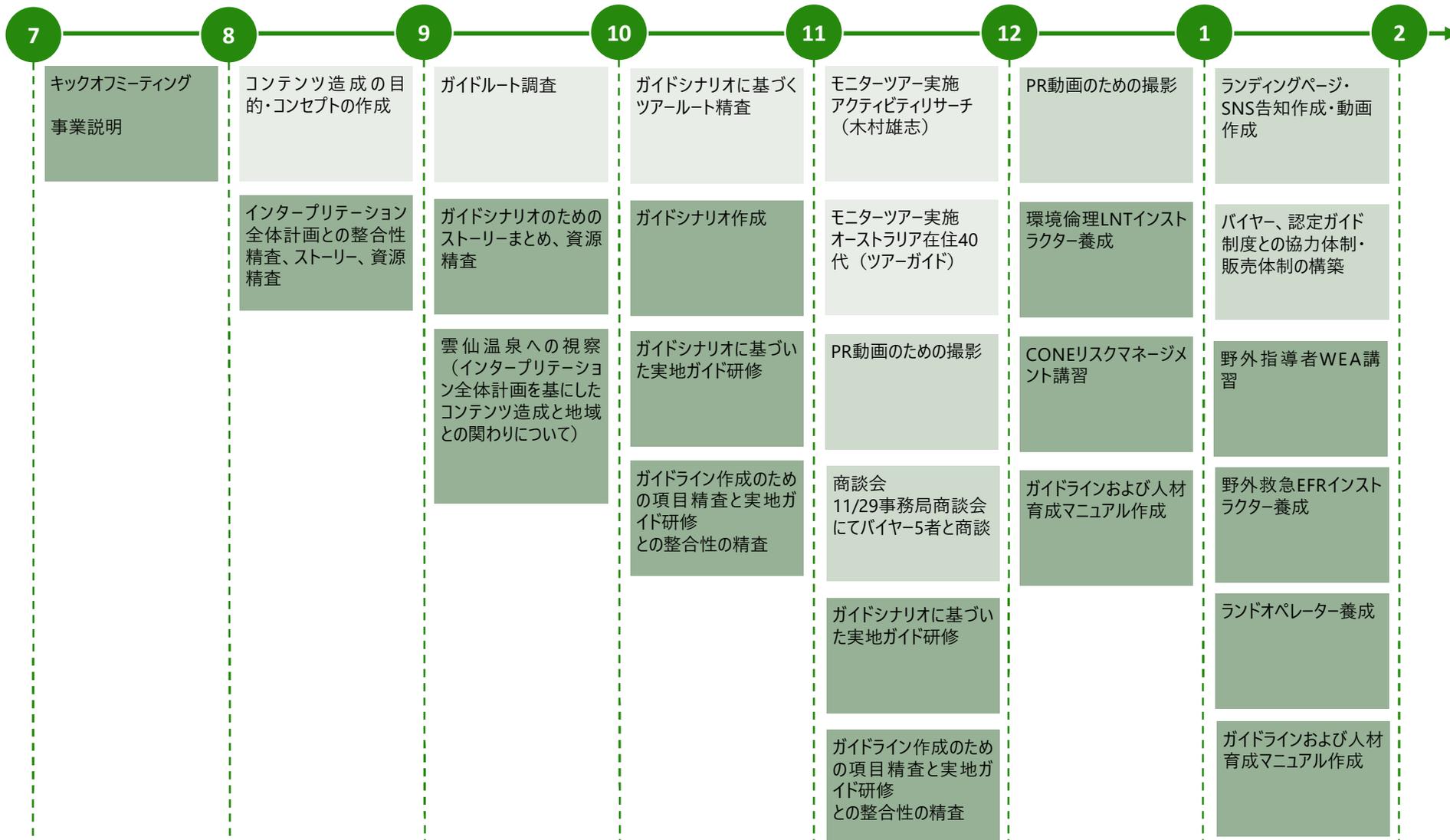
- ・ 収益の一部をこども自然体験活動に充て保全の意識を作る教育を重視する。また活動には史跡の調査および登山マナー啓発等を含めLeave No Traceの理解促進につなげる



アクティビティツアー造成関連

プロモーション・販路開拓関連

その他（現地調査、研修等）



事業の実施・成果等

■未知の道と歴史の温泉を探る登山アドベンチャー

ツアー・アクティビティのストーリー

那須岳麓には、かつて山岳信仰の参拝路として使われていた歴史的な登山ルートがありました。しかし、山岳信仰の衰退とともにその道は荒れ果て、今では史跡も朽ち果てた状態となっています。那須岳の山岳信仰は、温泉の源泉そのものを御神体として崇めており、地域の温泉文化と深く結びついています。このルートを辿りながら山岳信仰の歴史を知ること、自然崇拜を中心とした日本古来の山や自然に対する考え方を学び、登山や温泉の入浴体験を通じ、自然の恵みへの感謝の念と日本文化の神髄に触れていきます。

ツアー行程

(1日目：インタープリテーション) 温泉を御神体とした山岳信仰のストーリー紹介・登山口となる温泉神社を参拝～伝統的な温泉体験～地産の和食体験と温泉旅館宿泊

那須インタープリテーション全体計画のテーマ

- ①火山の物語 (火山が生んだ6つの泉質)
- ②水の物語 (お米とお酒の美味しい秘密)
- ③人の物語 (自然への感謝を伝える山岳信仰、自然と人が生み出した「食材の宝庫」)

(2日目：体感) 山岳信仰に使われた古道をガイドとともに探しながら登る～山中にある山岳信仰の歴史を持つ三斗小屋温泉に宿泊

那須インタープリテーション全体計画のテーマ

- ①火山の物語 (火山が生んだ6つの泉質)
- ③人の物語 (自然への感謝を伝える山岳信仰、街道による交流と足跡、自然と人が生み出した「食材の宝庫」)

(3日目：エンターテイメント) 温泉の流れ込む沢をたどり消えた山岳信仰の道をたどり御神体を探す～下山

那須インタープリテーション全体計画のテーマ

- ①火山の物語 (火山が生んだ6つの泉質)
- ③人の物語 (自然への感謝を伝える山岳信仰、体で感じる自然と人の物語)



アクティビティ名

未知の道と歴史の温泉を探る
登山アドベンチャー



食

歩荷の運んだ食料で日本らしい
スタイルでの食事



宿

登山でしか行くことの出来ない煙
草屋旅館 (三斗小屋温泉)



消えた古道

ガイドしか知らないアドベンチャー
なルート歩く

■催行期間：5月～11月

■販売価格：150,000円 (2泊3日/1人当たり)

■未知の道と歴史の温泉を探る登山アドベンチャー

ツアーハイライト

日本の古代の温泉を巡る、没入型ガイドツアーを体験。地元の専門家が温泉入浴の奥深い伝統を紹介します。1,400年の入浴の歴史を持つ目的地を探索し、何世代にもわたって受け継がれてきた本格的な日本の温泉入浴法を学ぶことでこのユニークな文化体験を通じて、地域に伝わる歴史や自然と人とのつながりを深く理解する機会を提供します。

主なハイライト:
1,400年の歴史を持つ温泉地
伝統的なガイド付き文化体験
ユニークな温泉の入浴法
地元の文化を深く知る



HIGHLIGHT: DAY1

■未知の道と歴史の温泉を探る登山アドベンチャー

ツアーハイライト

火山の景観と何世紀にもわたる伝統が融合する古代の山岳巡礼路に沿って、忘れられないトレッキングに出かけます。徒歩でしかアクセスできない隠れた山小屋を訪れ、日本の手つかずの大自然を垣間見ることができる人里離れた露天温泉を楽しみます。築100年の伝統的な建物に足を踏み入れ、昔の日本にタイムスリップしたような本物の文化体験に浸ることができます。

主なハイライト:

火山のハイキングコース

何世紀もの歴史を持つ山の巡礼路

徒歩でのみアクセスできる人里離れた温泉

本物の100年の歴史を持つ伝統的な日本建築

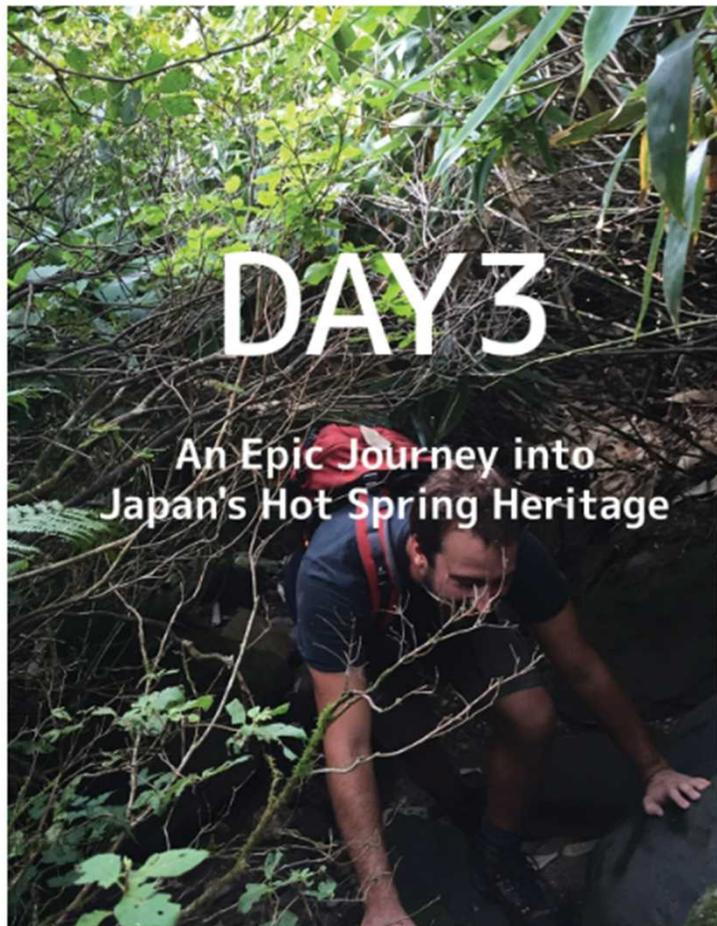
没入型文化体験



HIGHLIGHT: DAY2

■未知の道と歴史の温泉を探る登山アドベンチャー

ツアーハイライト



地元のガイドと一緒に、消えてなくなった山岳信仰の道を探し、日本の忘れ去られた山の巡礼路を発見するプログラムです。このプログラムは、日本の山々の手つかずの自然を体験できる貴重な機会です。単なるハイキングではなく、日本人の自然との精神的なつながりや、地域社会に深く根付いた伝統について深い洞察を与えてくれます。

主なハイライト:
誰も知らない秘密の山道
日本の自然崇拝への真の洞察
ユニークな自然体験
文化的、精神的な発見



HIGHLIGHT: DAY3

■ ツアー行程図



1日目：那須湯元散策

那須温泉：1400年の歴史、鹿の湯の伝承や伝説の紹介

那須温泉神社：鹿の湯との関係を紹介

見立神社：鹿の湯発見者と今も続く儀式の紹介



2日目：登山

1日目の歴史の紹介を体感するルート歩き、今も残る山岳信仰の宿に宿泊

ポイント

森林、沢、火山の形状を楽しめるルート
歩いていくことしか出来ない特別な温泉

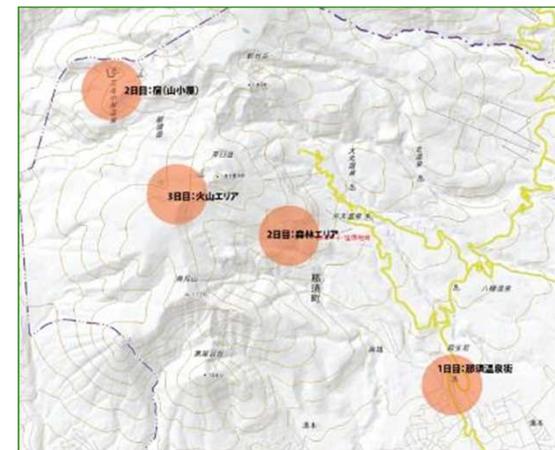


3日目：登山

消えてしまった山岳信仰の道を歩き、御神体となる源泉までのアドベンチャー登山

ポイント

ガイドと一緒に歩く特別なルート
火山地形が生み出した雄大な風景
ロープウェイにて下山



位置図（広域図）

■地域の受入体制、オペレーション構築

	対象	利用する地域資源・伝えるストーリー	本事業での取組事項
宿	山水閣	地域食材、温泉、御用邸	IP全体計画のテーマを理解してもらい、御用邸や那須の食のストーリーをスタッフに知ってもらう
	煙草屋旅館	高湯山信仰、歩荷、山の中の露天風呂	スタッフと夜の雑談時間を設け山小屋の歴史と苦労を語ってもらう
アクティビティ	鹿の湯	1400年の歴史と伝統的な入浴方法	鹿の湯の歴史が那須の歴史そのものであるという物語の構築
	那須温泉神社	神社、温泉、山岳信仰の歴史を紐解くストーリーテリング	複数ある歴史資源を温泉をテーマとするものに限定しストーリーを構築
	登山	IP全体計画のテーマをもとにルートを選定	IP全体計画のテーマをもとにルートを選定。山岳信仰の変遷が感じられるルートに沿ったストーリーの紹介
ガイド	栃木アウトドアガイド連盟	国際基準の資格を持ち、海外でのガイド経験を持つガイドが担当	インタープリテーションを理解するガイドの選定。IP全体計画の理解とシナリオの作成を行う
	日光国立公園認定ガイド	日光国立公園のブランド力を向上させ自然環境に配慮した高付加価値な体験を提供することを目的とし栃木県が構築	認定ガイドがコンテンツを担当できるようガイドシナリオを共有。今後も連携しPR、ガイド研修を行う関係を構築
	ローカルガイド	案内通訳士、平成の森インタープリターが那須温泉の歴史をIP全体計画のテーマをもとにしたストーリーを紹介	ローカルガイドがコンテンツを担当できるようガイドシナリオを共有
ランドオペレーター	地域ランドオペレーター	那須町、那須塩原市、矢板市、日光市を担当するランドオペレーター	IP全体計画を理解し今後のコンテンツ造成や販売に係る活動をするランドオペレーター4名を養成
その他	那須高原ビジターセンター	那須岳ジオラマ、那須温泉史展示物	ツアーのスタート拠点としての利用 ビジターセンターの展示物を利用したツアーブリーフィングとイントロダクション

■ インバウンド対応における工夫点

インタープリテーション

- IP全体計画のテーマにもとづいたシナリオの作成
- インタープリテーションの7つのポイントを整理
 - 1. テーマを明確にする：単なる情報の羅列ではなく、伝えたいメッセージを持つ
 - 2. 情報を整理し、流れをつくる：論理的な展開を意識し、分かりやすく伝える
 - 3. 参加者の経験に関連づける：訪問者の背景に合わせ例示、内発的動機を生む
 - 4. 五感を活用し、体験的に伝える：触れる・嗅ぐ・味わう体験を通じて理解を深める
 - 5. サスペンスを活用し、考えさせる：すぐに答えを言わず、考えさせる
 - 6. ストーリーテリングを活用する：物語の形で伝え、感情移入を促す
 - 7. 参加型の要素を取り入れる：クイズやアクティビティを通じて主体的に学ばせる

継続的関与の仕掛け

- エンゲージメントの向上における工夫
 - ツアー後の継続的なSNSにおけるメッセージのやりとり
 - 収益の一部で行われる子ども自然体験の報告を行い関与の実感を生む
 - 継続的に利用できる地域産品を購入できる商品サイトの紹介（オーガニック化粧水や石鹼（蚕）、オリジナルTシャツや手ぬぐい（歩荷）、地域の植物で染めたトートバックや小物（那須染め）など）



脱プラスチックの取り組み

- ランチ用ボックスを紙トレイで提供
 - 地元パン屋でランチを用意。その際にプラスチック容器や個包装をやめて紙ボックスに変更



■ インバウンド対応における工夫点

ストーリーの構築

■ IP全体計画の策定

IP全体計画の策定は目的の理解を地域の方たちにってもらうことが一番重要なことであると判断し、地域主体で策定をしてくこととした。地域事業者、住民に、IP全体計画は自治体を作るものではなく自分たちが作るものという意識をワークショップを通して理解してもらい、その結果、那須IPチームを設立することとなった。地域住民や事業者が那須IPチームを構成し自律的に活動を行うことを重視した。地域資源の収集やテーマ作成、IP全体計画の活用に向けた取り組みも含めて策定を行い、現在は全体計画を活用した事例の作成と地域インタープリター研修、学校等における地域の子供に向けた子どもふるさと教育に活かす取り組み等の活動が行われることとなった。



■ テーマにもとづいたガイドシナリオの作成

IP全体計画で作成されたテーマを伝えるツアー内容にするため、ガイドシナリオを作成しツアーの全体で那須を表現するストーリーとなっているかを精査できるようにした。またガイドシナリオは各資源ごとに作られており、単発的な資源の説明だけに終わらないようにするために必要なものが、IP全体計画で作られた「テーマ」となっている。そのテーマに沿ったストーリーとすることでツアー全体の一貫した物語の構築をすることができた。このガイドシナリオの構成をテンプレート化することで、今後も同様に物語構築を重視したコンテンツを造成する際のフレームワークとして活用することができる。また共同コンテンツとして複数のガイドが携わる場合にも一貫した統一性をもつガイディングができる。



■ インバウンド対応における工夫点

温泉マナーの事前説明

温泉のマナーについて、以下の事前説明を行うことにより、現場で戸惑わないよう工夫した。

■ 裸での入浴:

日本の温泉入浴は伝統的に衣服を着ずに行われます。性別に関係なく、全員が裸で入浴します。これは文化的規範であり、自然とつながり、リラックスする方法としてこの体験を受け入れることが重要です。

注意: 温泉では水着は禁止されています。

■ 共用浴場:

温泉の浴場は通常、他の宿泊客と共有されるため、全員のプライバシーを尊重することが重要です。ほとんどの温泉は男女別になっているため、指定された浴場エリアで同じ性別の人々と一緒に入浴することになります。

SNS、DiscordおよびWhatsAppの利用

■ 参加者とのオンラインコミュニケーションツール

海外で利用率の高いオンラインコミュニケーションツールを用いて予約前の対応から予約後、および現地でのコミュニケーションに利用した。

デジタルデトックス

■ 山中の山小屋での過ごし方

参加者以外にも自然を楽しみたいという人たちが利用する山小屋のため、より日常とは違う過ごし方を楽しんでもらうための説明を行った。

- 21時には消灯するため、夜は星空を楽しむ。
- ヘッドライト等の照明はできる限り使わず暗闇を楽しんで過ごす。
- パーティーではなく自然を楽しむ。飲酒はほどほどに。騒ぎすぎない。クラブ、レイブではない。自然の音が音楽。他者配慮。

■ インバウンド対応における工夫点

行程

- Challenge by Choice
 - ・ 選択できるコース設定。よりアドベンチャー感を楽しみたい人は整備されていない沢ルートや火山ルートも選択可能
- Leave No Trace (LNT) *
 - ・ 登山中はLNTの行動指針に則った行動を促し責任あるアウトドア活動を行う
 - ・ LNTを知らない人には簡単なレクチャーを行いツアー終了後にはLNTの環境倫理プログラム修了証を発行

* Leave No Trace (LNT) とは、国際的な環境保護の指標で、「自然に痕跡を残さない」責任あるアウトドア活動を促す考え方です。7原則を基に、自然を傷つけず、持続可能な環境を次世代へ引き継ぐことを目指します。

当ツアーはLNTインストラクターがガイドを担当します



山小屋でのナイトタイム

- 山小屋でのナイトタイムは歩荷チームとの交流



■ 現地調査

雲仙観光局現地訪問

雲仙と那須はそれぞれ独自の自然環境や文化を持つが、インタープリテーション全体計画を用いた地域資源の活用に関する基本的な考え方や手法は共通している。雲仙の事例を那須の特性を活かした全体計画の策定とコンテンツ造成に活かすための現地訪問を行った。

視察内容

インタープリテーション全体計画策定ワークショップ

雲仙観光局の主催で小浜地区にて開催されるワークショップに参加。

視察所感

1. 学生と地域を繋ぐ新たな連携の創出

ワークショップでは、学生たちがスタッフとして積極的に参加し、地域住民との橋渡し役を担っていた。この取り組みにより、若者の新鮮な視点と地域の知恵が融合し、革新的なアイデアやプロジェクトが生まれていた。学生の参画は、地域活性化において重要な役割を果たしていると感じた。

2. 地域への深い理解と信頼関係の構築

雲仙観光局のメンバーは、地域の日常生活に溶け込み、住民との信頼関係を築いていた。この密接な関係性が、地域の人々の情熱を引き出し、計画策定への積極的な参加を促していた。地域に根ざした活動が、持続可能な観光推進の基盤となっていると実感した。

3. 地域資源の価値を引き出す丁寧なアプローチ

資源の洗い出し作業において、単なるリストアップに留まらず、各資源を推奨する理由や背景を深掘りしていた。このプロセスにより、地域資源の本質的な価値が明確化され、来訪者に伝えるべき魅力的なストーリーが構築されていた。この丁寧なアプローチが、質の高いインタープリテーションの基盤となっていると感じた。

那須での活用

地域と外部の人材が協働し、相互理解と信頼関係を深めることで、地域の魅力を最大限に引き出す好例といえる。那須エリアにおいて那須IPチームを設立し自律したメンバーとなるよう活動した。

雲仙温泉地区インタープリテーション全体計画
「雲仙をもっと好きになるSTORY」

<https://unzen-dmo.com/12318-2>



■ 現地調査

雲仙観光局現地訪問

雲仙と那須はそれぞれ独自の自然環境や文化を持つが、インタープリテーション全体計画を用いた地域資源の活用に関する基本的な考え方や手法は共通している。雲仙の事例を那須の特性を活かした全体計画の策定とコンテンツ造成に活かすための現地訪問を行った。

視察内容

雲仙温泉エリアにてガイドツアーに参加
ローカルガイドの案内でのミニ登山ツアー、白雲の池、JR九州のクルーズトレイン「ななつ星」ツアー（一部）に参加。

視察所感

1. 各ツアーの独自性と統一された背景ストーリー

各ツアーはそれぞれ独自のストーリーを持っているが、背景には全体を貫く一つのストーリーが存在していた。これは、雲仙観光局が策定したインタープリテーション全体計画に基づくものであり、全体のストーリーがつながることで地域の理解が深まる構成となっていた。

2. 地域特性の再発見と新たな視点の提供

このアプローチにより、地域の特性を把握することで、各資源が新たな視点で捉えられ、来訪者に新しい発見を促すきっかけとなっていた。結果として、来訪者が地域を再解釈し、より深い理解と関心を持つよう導いていると感じた。

那須での活用

雲仙のように、各観光資源やツアーを一貫したテーマやストーリーで結びつけることで、来訪者が地域全体の魅力を体系的に理解できるようになる。那須でも、地域資源を包括する全体的なストーリーを策定できるようテーマの見直しを行った。またコンテンツの造成時に複数のストーリーが背景で繋がっていることを来訪者自身が気づけるストーリー運びにした。さらに、地域の特性を再評価してもらうことも重要だと捉え、ツアーの最後に“オチ”をもってすることで再解釈を促せる構成とした。その“オチ”はIP全体計画で定めた那須のメインテーマであり、ツアー内で体験するすべての資源がそのメインテーマを背景としていたことに気付くよう工夫した。今後は地域の魅力や価値を効果的に伝えるためのインタープリテーション研修を行い、統一感のあるメッセージと来訪者体験の向上を促せるようにしていきたい。これらのポイントを那須エリアで活用することで、地域の魅力をより効果的に伝え、来訪者との深いつながりを築くことが可能となる。

* メインテーマ（那須インタープリテーション全体計画）より

那須エリアは、自然の圧倒的なポテンシャルはあるが、故に、過酷な環境でもあった。そうした荒地を、先人たちは苦勞しながらも、入植者と地域の人達が互いに助け合い、開拓し、厳しい自然を、豊かな恵みに変えて来た。今の那須エリアを支える自然の豊かさ人と受け入れる土壌は、元から与えられたものではなく、自然と人が葛藤しながらも光を見出し、助け合いと調和の精神を受け継ぎながら、弛まぬ努力を続けて来た結果である。



■ 現地調査

雲仙観光局現地訪問

雲仙と那須はそれぞれ独自の自然環境や文化を持つが、インタープリテーション全体計画を用いた地域資源の活用に関する基本的な考え方や手法は共通している。雲仙の事例を那須の特性を活かした全体計画の策定とコンテンツ造成に活かすための現地訪問を行った。

雲仙観光局との意見交換

これまで両地域間に直接的な交流はなかったが、今回の意見交換を通じて、インタープリテーション全体計画に関する共通の課題が多いことが明らかになった。主な議論の内容は以下の通りである。

議論内容

1. 地域への理解促進の手法

インタープリテーション全体計画そのものをどのように理解してもらうかについて議論が交わされた。この計画は、観光情報やガイドラインではなく、地域の自然や文化、歴史をどのように伝え、訪問者の理解を深めるかを体系的に整理したものである。しかし、地域の関係者や観光事業者にとって、その目的や意義が十分に共有されていないケースもあるため、計画の目的をより分かりやすく伝える工夫が必要であるとの認識が共有された。具体的には、文章だけでなく、視覚的に分かりやすい資料や動画を作成し、地域の関係者が理解しやすい形で情報を提供することが有効ではないかという意見が出た。また、定期的な説明会やワークショップを開催し、実際の活用事例を示しながら計画の意義を伝えていくことも重要であるとの考えが得られた。こうした取り組みを通じて、インタープリテーション全体計画が単なる計画にとどまらず、現場で実際に活用されるものとなるよう、今後も工夫を重ねていく必要があるという共通認識が得られた。

2. 今後の協力体制の強化

今回の意見交換をきっかけに、定期的なミーティングを行うこととなった。



所感

今回の意見交換は、これまで交流のなかった雲仙と那須が初めて直接協議を行う機会となった。議論を重ねる中で、両地域がインタープリテーションを活用して地域の価値を伝えていく上で、多くの共通する課題を抱えていることが確認できた。特に、地域資源の魅力をどのように分かりやすく発信し、訪問者に深く理解してもらうかという点については、両地域とも試行錯誤している状況であった。この意見交換をきっかけに、今後も継続的に議論を深めるための定期ミーティングを行うことが決まり、より密な協力関係が構築されることとなった。単なる情報交換にとどまらず、具体的なアクションへとつながったことは、大きな成果である。

今後の展開

現在、雲仙と那須は定期ミーティングを通じて、より実践的な知見を共有しながら協力関係を深めており、その中で、以下の具体的な取り組みを進めていく予定となった。

1. 全国フォーラムの開催

定期ミーティングを通じて、全国のインタープリテーション全体計画の策定する地域の関係者が集まり、知見を共有できるフォーラムを開催することとなった。このフォーラムは、策定に関する成功事例の発表やワークショップを行い、各地域のインタープリテーション全体計画策定の発展に貢献する場を提供することを目的とした。

2. ツアー販売の協力関係の構築

互いのツアーを販売し合うことで、両地域の観光振興を促進する。例えば、那須を訪れた観光客が次の目的地として雲仙を選び、またその逆も可能となることで、国内観光の流れを広げる。これを具体化するために、事業者との連携やプロモーション戦略の調整を進めていく。

今回の意見交換をきっかけに、継続的な協力体制が生まれ、全国フォーラムやツアー販売の協力関係といった具体的な成果につながった。今後もこの連携を強化し、地域の魅力を最大限に引き出す取り組みを進めていく。

■モニター/FAMツアーレポート

モニターツアー（実売ツアー） 11/15-18

参加者プロフィール

国籍：オーストラリア

性別：男性

年齢：40代

職業：建築/スノーボードガイド（湯沢温泉）

登山経験：多少の経験あり（日本の山は初めて）

温泉経験：あり

ツアーに期待すること

地元の人々に会うこと。

その土地の食べ物を食べ、その土地の風習を体験する。

その土地の景色、例えば山やその土地の動植物を見る（運がよければ！）。

ガイドのYAMAさんと一緒にイットタンゲストハウスに泊まり、YAMAさんのおいしいバーベキューを食べる。

私がこのツアーを選んだ理由は、YAMAさんの地元に関する豊富な知識、特に日光国立公園の経験があったから。

* 補足

6年前にITTAN guesthouseに宿泊しスノーボードツアーに参加経験あり。Instagramで造成したツアーの情報を発信した所、参加の希望がメッセージに寄せられ今回のツアーに参加することとなった。販売価格は1000ドル（150,000円）

DAY 1

- 13:00 湯本散策
（那須高原ビジターセンター、鹿の湯、温泉神社、民宿街）
- 17:00 山水閣（温泉旅館）
- 20:00 コミュニティラジオ参加
- * 補足 参加者の希望によりローカルラジオ局（現在はyoutube）に参加。



DAY 2

- 09:00 大丸口より登山開始
- 10:30 飯盛温泉跡
- 13:00 無限地獄（火山帯）
- 14:00 地獄沢ルート
- 15:00 煙草屋旅館



DAY 3

- 07:30 登山開始
- 09:00 御宝前（オフトレイル）
- 11:30 姥ヶ平
- 12:30 牛ヶ首（分岐）
- 14:00 ロープウェイ（下山）



■ モニター/FAMツアーレポート

モニターツアー 11/15-18

モニターツアーの報告から、以下の改善を行った

食事・飲食関連

- 旅館での食事時にガイドが同席し、料理の説明（材料や調理法など）を英語で行うことで、日本食への理解を深める機会を作るべき。

希望者にはガイドが同行し日本料理について地元食材について等食事に関する説明を行う

コミュニケーション・情報提供

- 山中ではインターネット接続が制限されることを事前に説明し、写真共有やメッセージ送信はホテルに戻ってから行う必要があることを伝えるべき

ブリーフィング内容に山小屋での楽しみ方を追加

登山・アクティビティ関連

- アクティブな火山であることを説明しつつ、安全であることを強調
- 発電機による電力供給の制限（午後9時以降は携帯電話の充電ができないなど）について事前案内すべき
- ガイド付きツアーでしか行けないオフトレイルルートがあることをより明確に説明
- 煙草屋旅館について、歴史や山岳信仰との関連についての説明を充実させる

ブリーフィング内容に追加
充電器の予備をガイド装備に追加

プロモーション、告知内容に追加

ツアー全般

- 日光国立公園を個人で探索する時間をより多く設けることを検討

ガイドシナリオにて煙草屋旅館の項目を充実化

Challenge by Choiceのルート選定
ガイド中の隊列の工夫（常にガイドが先頭に立たない）

■モニター/FAMツアーレポート

モニターツアー 11/20-22

参加者プロフィール
アクティビティリサーチ

フロー理論によるツアーの改善ポイントの割り出しを行う

*フロー理論とは、人が何かに深く没頭し、集中しているときに感じる「最適な体験」や「ゾーン」とも呼ばれる状態を論理的に説明するもの。

評価が優れている点



DAY 1

- DAY1の優れた点
 - 移動がコンパクトにまとまっており、徒歩での移動が負担にならない構成
 - 歴史説明が時系列で有機的に繋がっており、過去の写真なども活用
 - 駐車場地下の鳥居*など、欧米人にとって新規性のある要素の組み込み
 - *かつて源泉につながる風穴があった場所が旅館の地下にあり、神社となっている不思議な空間
 - インタラクティブな要素（過去の写真との比較、クイズ形式の説明）の活用

DAY 2

- DAY2の優れた点
 - 三斗小屋温泉の設備が充実し、フローブロッカーが少ない環境
 - 従業員の対応が親切
 - 日本の山小屋文化が体験できる施設選定
 - 飯盛温泉跡地での100年前の人々の営みを感じられる場所設定
 - 牛ヶ首での景観ポイントの活用

DAY 3

- DAY3の優れた点
 - 温泉御神体への沢筋ルートが強い没入感と達成感を提供
 - 虫や泥汚れ、怪我などのフローブロッカーが少ないルート設定
 - 景観ポイントでの五感を使った体験提供
 - *フローブロッカー：フローに入ることを妨害する様々なもの。没入状態を邪魔して我に返らせるものはすべてフローブロッカー。このフローブロッカーを減らすと満足度が上がる。

ツアー全体

- ツアー全体の優れた点
 - 一貫したテーマに基づく構成
 - 個別のストーリーが興味深く、深い歴史的背景を持つ内容
 - 欧米人にとって新規性、予測不可能性、複雑性を備えた要素の組み込み
 - 日本固有の文化体験の提供
 - 体験の中で思考のフローと身体のフローをバランスよく組み合わせ

■モニター/FAMツアーレポート

DAY 1

湯本温泉街での解説：
寒さ対策の強化（フロアロッカーの除去）
道路脇での解説を避け、安全な場所での説明に変更



改善点

解説場所の見直し
鹿の湯のウッドデッキを利用

DAY 2

飯盛温泉跡：
具体的な情報提供
当時の写真の活用
温泉施設の歴史や設置理由の説明を充実



具体的な情報、当時の写真は見つからなかったため継続調査

硫黄鉱山跡：
硫黄鉱山の歴史と温泉との関連性の説明を強化



シナリオの追加

煙草屋旅館：
日本の山小屋文化についての詳しい説明

DAY 3

御神体へのルート：
体力や筋力に関する事前説明の強化



ブリーフィング時に説明追加
DAY2の夜に体調と意向のヒアリング

達成感を伴う没入状態を活かしたストーリー展開の工夫



ツアーの終盤にすべてのストーリーを内包する那須のメインテーマにもとずいたストーリーを紹介

ツアー全体

身体的なフロー（登山活動）と思考的なフロー（景観や文化理解）のバランス調整

達成感を味わえるポイントの意図的な設定



Challenge by Choiceのルート選定に朝日岳ルートを追加

グループフローを促進するための工夫（共同作業や共有体験の組み込み）

グループフローの設定ポイントを継続調査していく
グループフロー：複数名で行うタスクでフロー状態に入るとより深いフローが現れるとする理論。

■ 保護と利用の好循環

なぜ保全活動として子どもの自然体験を行うのか？ 理由その1

環境保全において、森を整備したり、川を掃除したりすることは一時的な改善にはつながりますが、環境への負荷を減らすためには、その作業を繰り返さなくてはならない状況をなくすことも大切です。時間が経つにつれて再び同じ問題に直面しないよう問題の根本的な解決になる取り組みとして、収益の一部を使って子ども自然体験を行うこととしました。

持続可能な環境保全を実現するためには、根本的な意識改革が必要です。それを達成する手段として、教育が極めて重要な役割を果たします。環境保全の基本は、道徳や倫理に基づいた価値観を育てることにあります。自然の尊重、資源の大切さ、そして共存の精神を子どもたちに教えることが、未来の環境保護に対する真の理解を促進すると考えます。

教育を通じて、子どもたちが環境への責任感を自分のものとして受け入れるようになることを目的とし、Leave No Traceの原則を学ぶことで、自然を大切にするという価値観を持った行動の習慣化を目指します。こうした倫理観が根付けば、環境に対する配慮が日常生活の中で自然と実践され、また保全活動の意義も理解される土壌が作られます。

道徳的な教育を通じて、環境を守るための価値観が次世代に引き継がれていくことで、環境保全の基盤となり、環境を大切にすることを社会を築くための倫理が生まれることを目指します。

理由その2

那須町における「観光従事者の休日子育て支援×子ども自然体験」の取り組みによって経済波及効果を生むことを目的としています。

那須高原エリアの観光産業は地域経済の基盤を支えています。観光従事者の育児世代は他業種と比較して離職率は高く、特に宿泊業や飲食サービス業では顕著です。この課題を解決するために、子育て支援と子ども自然体験の取り組みが効果的だと考え、休日子育て支援の充実により働く親が安心して子どもを育てながら働ける環境を整えば、離職を防ぎ観光産業の活性化に必要な労働力の安定化が図れ経済効果の向上に寄与できると考えます。

また、地域の観光従事者だけでなく旅行者の子どもたちを対象とした自然体験としても提供することで、「旅育」としての家族連れの観光客が増え、地域内の観光施設や飲食店、宿泊施設への需要が高まり、経済的な波及効果が生まれます。観光業の発展には、従事する人々が働きやすい環境を提供し、持続可能な労働力を確保することが不可欠です。子育て支援と子ども自然体験の取り組みで観光業の安定した成長に貢献することにより地域全体の経済活性化を促進し、持続可能な観光地の好循環を生み出します。

収益の一部で行われる子ども自然体験

対象：地域の観光従事者の子ども（小学生）、旅育としての家族連れ観光客（小学生、保護者は参加対象外）

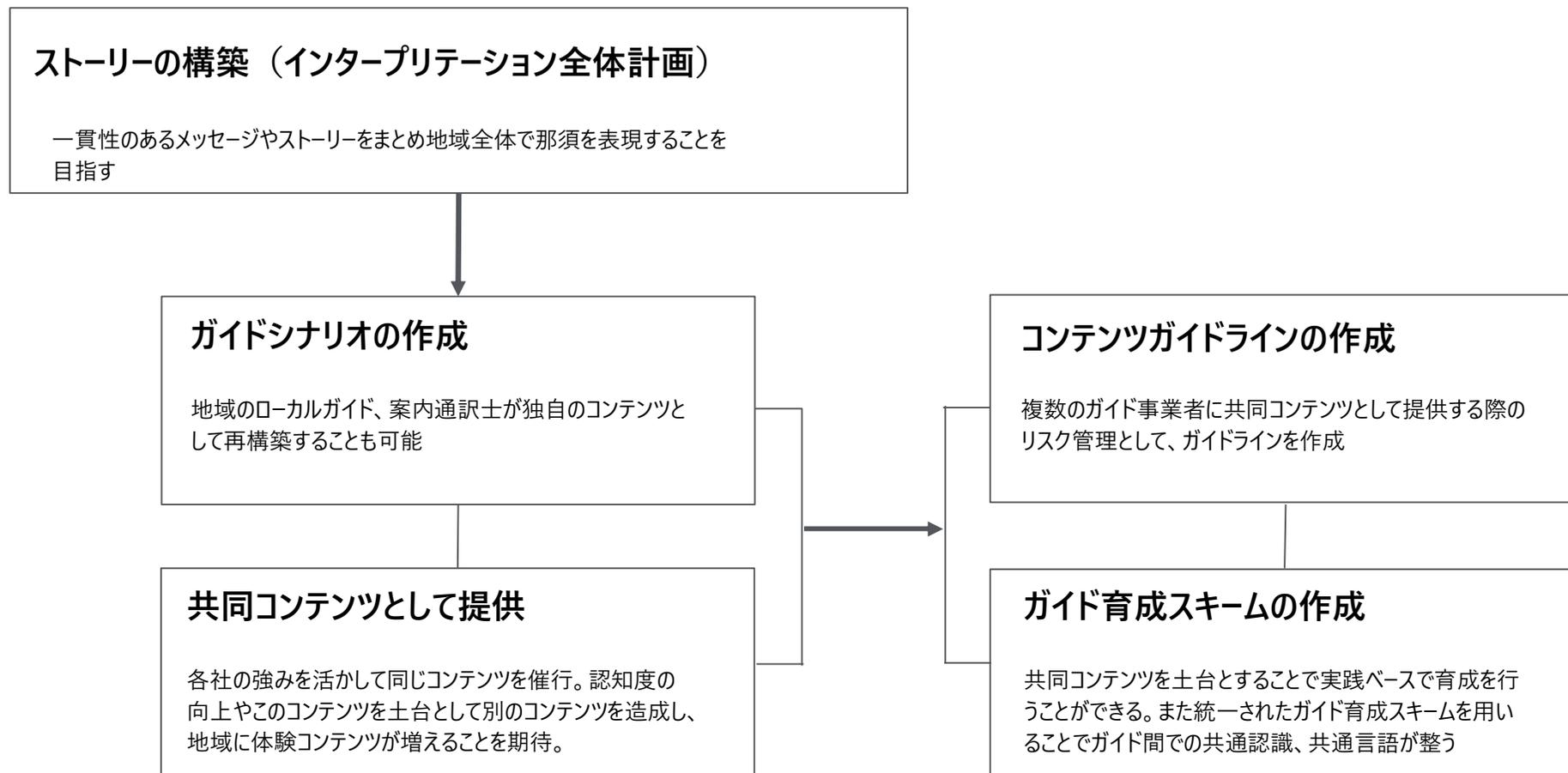
場所：那須エリアの自然資源を活用

アクティビティ：インタープリテーション全体計画のテーマに基づいて作成される登山、キャンプ、川下り、沢遊び等

目的：自然体験アクティビティにより那須の自然を再認識するLNTの原則に基づいた行動を学ぶことで責任あるアウトドア行動の考えを実践的に身につける。また子どもがインタープリテーション全体計画のテーマを感じとることで、子どもから親へ地域の再解釈を促すきっかけ作りとする。

■その他

事業の全体像



■その他

ストーリーの構築 — インタープリテーション全体計画の策定から感動体験へ

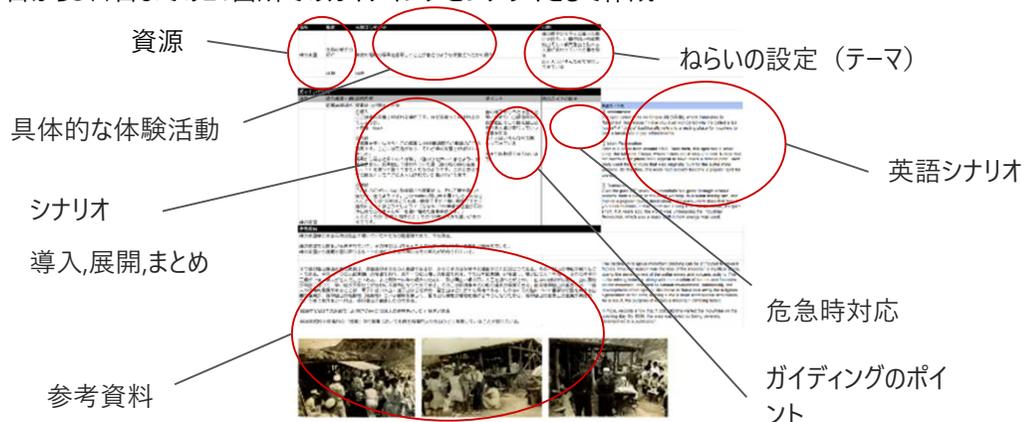
現在、那須エリアには多くの自然体験アクティビティが存在していますが、観光地としての認知度が高いこともあり、「気軽な体験」が主流となっています。また、このエリアが日光国立公園の一部であるという意識も地域全体で薄い状況です。この状況を踏まえさらに那須が発展していくための手段として、那須エリア全体として一貫性のあるメッセージやストーリーをまとめ、自然体験アクティビティや他の事業間にもストーリー性を持たせ地域全体で那須を表現することを目指しインタープリテーション全体計画の策定に取り組みました。これにより、那須エリアを「日光国立公園の一部」として効果的に再ブランディングすることも可能となります。最終的には、この取り組みを通じて地域の魅力をさらに高め、より深い自然体験と地域理解を提供する観光地へと発展させ、来訪者が自然を尊重し、持続可能な観光の実現に貢献する意識を育てることを目標としています。

ガイドシナリオの共有

日光国立公園や地域のストーリーをインタープリテーション全体計画としてまとめ、設定したテーマ（ストーリー）を伝えるコンテンツとしてこの感動体験コンテンツを造成しました。今後も同様にインタープリテーション全体計画でまとめたテーマを伝えるコンテンツを作る際の参考となるようガイドシナリオを作成しました。インタープリテーション全体計画の目的でもある地域全体で那須を表現するというに少しでも近づけられるように地域のローカルガイド、案内通訳士とも共有しています。またそうすることで、この感動体験コンテンツの一部をガイドとしても携われるようになり、また地域のローカルガイド、案内通訳士が独自のコンテンツとして再構築することも可能です。

ガイドシナリオの特徴

ツアー1日目から3日目までの21箇所でのガイディングをシナリオとして作成



各ポイントでのねらいの設定 (テーマ)

- 具体的な体験活動の設定
- 目標段階に沿った具体的な行動の設定 (問題への気づき・発見)
- 使用する資源の選定

シナリオ・ガイディングのポイント

- 導入部分の構成
- 展開部分の計画
- まとめ方の検討

その他、ガイドの動き

- 危急時対応
- その他必要とされるガイドの動き (入場手続き等)

参考資料

- 歴史文献、資料
- 写真

■その他

共同コンテンツとしての運用

今回造成したツアーを1社で運営するのではなく、複数のガイド事業者に提供し、各社の強みを活かして同じコンテンツを運営する。

期待される効果

1. 販路の拡大と認知度の向上

- それぞれの会社が独自のマーケティングを行うことで、より多くの顧客にアプローチ可能。1社ではリーチできない層にもツアーが広がることでツアーの知名度が上がり、ブランドとしての価値も高まる。

2. アシスタントガイドからコンテンツプロバイダーへ

- アシスタントガイドからコンテンツプロバイダーになるキャリアパスを示すことが出来るため、ガイド育成スキームにもコンテンツプロバイダーまでの道筋を組み込むことでガイドのスキルだけではなくアクティビティ事業者として必要なスキルを実践的に学ぶことが出来る。

3. ツアーの改良と品質向上

- 各社が独自の運営スタイルを持ち寄ることで、ツアーのフィードバックを集めやすくなり、継続的な改善がしやすい。
- 価格帯やサービス内容を各社が工夫することで、より多様なツアー展開が可能。
- 競争と協力のバランスが取れるため、サービスの質が向上する。

5. 収益の一部を利用した活動の安定化とリスク分散

- 1社だけがツアーを運営すると、経営状況や集客状況によってツアーが継続できなくなるリスクがある。
- 複数社に提供することで、特定の会社の業績に依存せずにコンテンツが生き続ける。

6. パートナーシップの構築と地域活性化

- 複数の事業者が関わることで、地域全体の観光活性化につながる。
- それぞれの会社が地域資源を活かした工夫をすることで、相乗効果が生まれる。
- 連携を強化することで、将来的に新たなツアーやイベントの共同開発も可能になる。

■その他

コンテンツガイドラインの作成

複数のガイド事業者に当ツアーを共同コンテンツとして提供するためだけでなく、今後も同様の新たな共同コンテンツを造成する際のこと踏まえたリスク管理としてのガイドラインを作成。今後造成される共同コンテンツにも適応できるようにガイドラインは以下のような3層構造とした。

Activity STANDARD：すべてのアクティビティに共通する定めるべき「要件」。

Core GPG：Activity STANDARDの実施を支援するためのグッドプラクティス。

各社が作るアクティビティ別ガイドライン：上記2つに準拠し特定のアクティビティや独自にカスタマイズしたツアーで利用するガイドライン。

3層構造とした理由

1. 統一された安全基準でばらつきを解消するため（Activity STANDARDの役割）

事業者ごとに安全基準が異なってしまうと提供される共同コンテンツの安全性にばらつきが生じてしまいます。このばらつきにより、参加者が安心してアクティビティを楽しめないという問題が生じないようActivity STANDARDを導入することで、すべてのアクティビティに共通する最低限の「要件」を提供し、業界全体で統一された安全性を確保します。これにより、事業者間での基準のばらつきが解消され、参加者が安心して利用できる環境を整えることができます。

2. 現場での実施を支援する具体的な手順を提供するため（Core GPGの役割）

安全基準が存在しても、それをどのように現場で実践すればよいか分からないと基準が形骸化してしまうという課題が生じてしまいます。この課題に対応するために、Core GPGは、Activity STANDARDをどのように現場で具体的に実践すればよいかを示す詳細な手順を提供します。これにより、基準が単なる理想論で終わらず、実際の運用に落とし込めるようになり、特に、リスク管理や安全対策の具体例を示すことで、事業者が迷うことなく基準を実施できるようになります。

3. アクティビティごとの特性に対応するため（各社が作るアクティビティ別ガイドライン）

登山やカヤック、SUPなど、アクティビティごとに異なるリスクや特性があるにもかかわらず、一律の基準ではそれらに十分対応できないという課題があります。この課題を解決するために、Core GPGをもとにして各社が作るアクティビティ別ガイドラインを通じて、各アクティビティ特有のリスクや特性に応じた具体的な指針を作成できます。これにより、すべてのアクティビティに「一律の基準」を定めるのではなく、活動の特性に応じた柔軟な対応が可能となります。

4. 柔軟性を持たせ、多様な事業者のニーズに応えるため

業界には規模や提供するアクティビティが異なる多様な事業者が存在しますが、画一的な基準では、それぞれの事業者の特性やニーズに対応しきれないという課題があります。3層構造により、共通の基準を持ちながらも、各事業者が自社の状況や活動に応じて柔軟に対応できる仕組みを提供します。これにより、小規模事業者から大規模事業者まで、すべての事業者が活用しやすいガイドラインとなります。

5. 業界全体の信頼性と成長を促進するため

安全性や品質のばらつきが存在することで、業界全体の信頼性が損なわれ、参加者や社会からの信用を得られないという課題が生じないように、安全性や品質のばらつきを減らし、業界全体の信頼性を高めることを目的としています。統一された基準と実践的な指針があることで、参加者や社会からの信頼が向上し、業界全体のプロフェッショナリズムが強化されます。これにより、持続可能な成長が期待されます。

* Activity STANDARDとCore GPGはATGS（Adventure Travel Guide Standard）および環境省「国立公園における自然体験コンテンツガイドライン」をカバーするものとして作成。

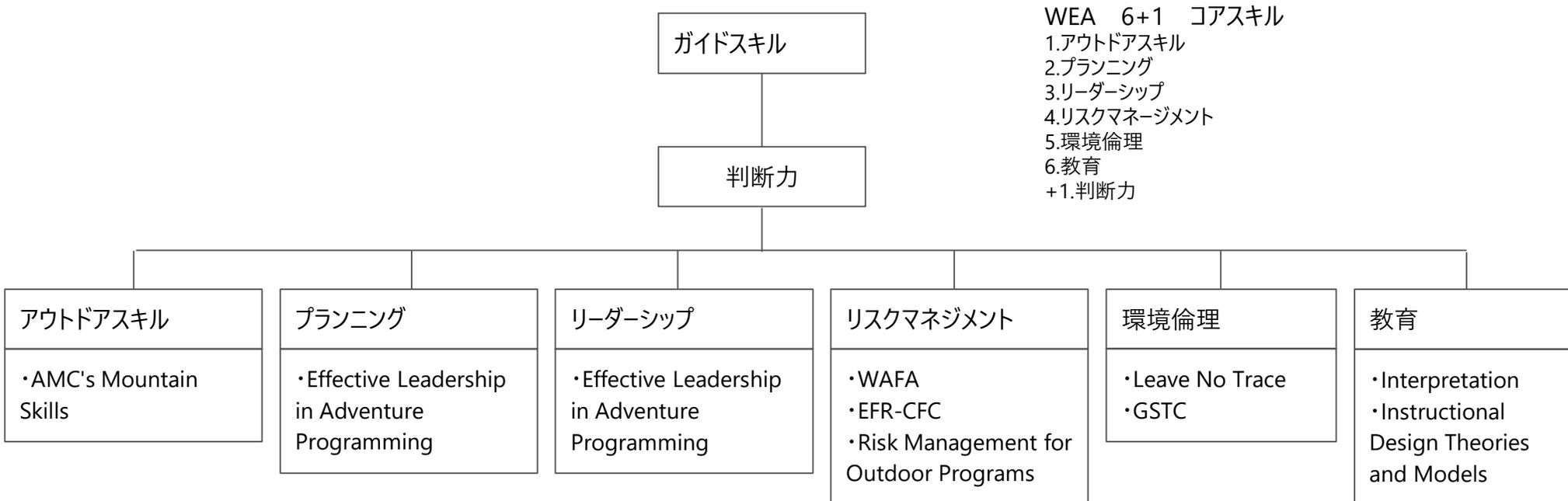
■ その他

ガイド育成スキームの作成

このガイド育成スキームとガイドラインおよび共同コンテンツを用いることで、ガイド育成スキームに則ったガイド育成を実践ベースで行うことができ、共同で人材育成に取り込むことが出来る。そしてそのガイド育成ができる国際基準に対応した指導者を当事業内で養成した。また今まではガイド事業者ごとに共通言語、共通認識が確立されておらず、安全性の確保、環境保全への意識、ガイドの質の担保を整えることが困難であったため、このガイド育成スキームに則って育成されたガイド間では共通認識、共通言語が整い、今後は地域の資源の一つでもある自然体験コンテンツが持続的な地域資源となることが期待される。

また今までのガイド育成ではハードスキルに関する研修や資格取得を目的とした研修が行われ、実践で活躍できるガイド、ガイドの質の向上を目指した育成は行われていなかった。ガイド育成スキームではソフトスキルにも重点を置き、評価は達成ベースとした。

ガイドスキルに関しては根拠あるスキルを指導していくこととし、単なる経験則としない内容にするため各コアスキルはWEAのカリキュラムをベースとしカリキュラム内における個別スキルは下記図に示す教授内容を元に、ガイド育成スキームを構成した。



■その他

ガイド指導者の育成 ガイドではなく指導者を育成する理由

那須地域に資格をもとに指導できる人材の不足

那須地域にはガイドとしてのスキルを持つ人材はいても、資格を基に体系的に指導できる人材が不足しており、この課題を解決するために、指導者の育成が必要。

長期的視点での人材育成の必要性

ガイドの質を向上させるには、単発での資格取得のための研修ではなく、長期的に人材育成を担う組織と明確なゴールを示した育成プログラムが必要。特に一つのコンテンツをベースに目指すガイド像のゴールを明確に示すことが重要。

持続的な人材育成システムの構築

単にガイドを育成するだけでは一時的な効果に留まるため、地域内で継続的にガイドを育成できる指導者を養成することで、持続可能な人材育成システムを構築し、長期的に地域の観光産業を支える体制を整えることができる。

地域内での知識・技術の継承

地域外から講師を招いてガイド育成を行う場合、一過性の取り組みになっていた。地域内に指導者を育成することで、地域の特性に合わせた知識や技術を継承し、地域に根ざしたガイド育成が可能になる。外部の汎用的な育成プログラムでは対応できない地域固有の要素を教育内容に反映させることができる。（インタープリテーション全体計画の理解）

指導の質の標準化と向上

資格をベースとした指導者を育成することで、ガイド育成の質を標準化し、一貫性のある指導体制を構築できる。これにより、ガイドの質のばらつきを減少させ、全体的な品質向上につながる。

体系的な育成プログラムの実施

指導者が明確な育成方針と方法論を持つことで、単発の研修ではなく、体系的かつ段階的なガイド育成プログラムの実施が可能になる。WEAのカリキュラムをベースとした根拠のある指導内容を提供できる。

WEA指導者研修
(野外指導者)



Leave No Trace指導者研修
(環境倫理)



EFR-CFC指導者研修
(救急法)



CONEリスクマネージャー研修
(リスクマネージメント)



■その他

ランドオペレーターの創出

那須エリアやその他周辺地域にはランドオペレーターが存在せず、地域の特色を生かした体験プログラムを旅行会社へ提供する役割がいなかった。日光国立公園では各エリアでインタープリテーション全体計画が策定されており、そのインタープリテーション全体計画を理解するランドオペレーターが存在することにより観光地としての魅力向上と地域社会の持続的発展の両方に貢献することができる。

各エリア（那須、那須塩原、日光、矢板）でランドオペレーターを創出した理由

各エリアにランドオペレーターを配置することは、日光国立公園のインタープリテーション全体計画を効果的に実践し、地域の自然・文化資源を活かした観光体験を創出する上でとても重要あり、これにより、観光地としての魅力向上と地域社会の持続的発展の両立が可能となり、各エリアの観光産業の質的向上と経済活性化に大きく貢献することが期待できる。また人材の選出には地域を理解し親交があり、体験アクティビティについてだけでなく環境配慮への理解がある者とした。

期待する効果

- 地域資源の価値向上: 自然・文化資源の背景や意味を伝えることによる観光体験の質的向上
- 体験プログラムの開発・提供: 那須の自然環境や文化的特徴を活かした独自の体験プログラムの創出
- 旅行会社との連携強化: 旅行会社に対して地域の魅力的なプログラムを提案・提供する窓口の確立
- 環境保全と観光の両立: 自然環境への配慮と観光活用の両立
- 地域アイデンティティの強化: 地域の自然・文化の価値を再評価し、発信する仕組みの構築
- 高付加価値観光の実現: 単なる「見る観光」から「体験・学び・交流」を重視した観光への転換
- 地域間連携の促進: 近隣地域との連携による広域観光圏の形成

■ターゲット設定

那須でのアウトドア体験を通して、日本の文化に触れる旅

ターゲット：欧米諸国の20代後半～30代

ターゲットは、日本の文化に興味があり、アクティブなアウトドア体験を求める、欧米諸国の20代後半～30代。この層は、SNSを積極的に使い、オンラインコミュニティの形成やUGCによる自発的なPRを行っている。また、登山を始める年齢層であり、アドベンチャートラベル(AT)にも関心が高い傾向があり、さらに、これまで訪れたことのない旅行先に行きたいと考えており、デジタルデトックスができる場所や新しい休暇スポットを求めている。

那須町の特徴

東京近郊の観光地ともあり宿泊観光客は全体の35%（*令和二年度那須町観光商工課）となっており、また訪日外国人数は全体の2%と低く、観光地における消費金額の割合が多い両者の数を増やしていくことが今後の課題となっている。また那須の訪日外国人の割合はアジア圏が多く、欧米諸国の割合が少ない（*令和二年度那須町観光商工課）。旅行中の娯楽にける消費金額比率はアジア圏よりも欧米諸国のほうが高いため（2019年観光庁訪日外国人の消費動向調査）、インバウンドにおけるアウトドアアクティビティの需要を増やしていくため欧米諸国をターゲットとして設定する。

20代後半～30代の特徴

- ・SNSを積極的に使う層を狙いオンラインコミュニティの形成、およびUGCによる自発的PRを狙う（令和3年（2021）版 総務省「情報通信白書」）
- ・登山を始めるきっかけとなる年齢層（平成29年総務省統計局社会生活基本調査）
- ・アドベンチャートラベル（AT）の34%はアメリカ人でありアメリカ人AT旅行者の平均年齢は37歳。（Adventure Travel Trade Association：DIVERSITY IN ADVENTURE TRAVEL: U.S. TRAVELERS OF COLOR）
- ・これまで訪れたことのない旅行先に行きたいと考えている（AMERICAN EXPRESS TRAVEL'S 2023 Global Travel Trends Report）
- ・デジタルデトックスの出来る場所に行きたい（AMERICAN EXPRESS TRAVEL'S 2023 Global Travel Trends Report）
- ・新しい休暇スポットを発見したことを友人や家族に伝えたいと考えている（AMERICAN EXPRESS TRAVEL'S 2023 Global Travel Trends Report）
- ・SNSを積極的に使いオンラインコミュニティの形成、およびUGCによる自発的PRを行っている（令和3年（2021）版 総務省「情報通信白書」）（平成29年総務省統計局社会生活基本調査）

■プロモーション

ターゲットに訴求するプロモーションの創意工夫

- ✓ 当初は山岳信仰（御神体の源泉等）をメイン資源としてPRを考えていたが、山岳信仰というニッチな資源をコンセプトにした場合に日本全国にある山岳信仰の違いを出し、その違いに惹かれる参加者をターゲットにするよりも、対象となるターゲット層を広げ、日本の山に登りたい、登るなら特色のある山に登りたいというターゲット層に合わせるように変更し、日本の隠れた自然と文化を探る冒険ツアーとしてアドベンチャーと温泉を楽しむことをツアーの特色とした。そして山岳信仰は温泉と登山に付属する資源としてコンテンツを組み立てた。
- ✓ ターゲットとなる中間層がツアーの予約に至る経緯としてはBtoCがメイン経路となるため主にSNSや検索エンジン、旅行系のウェブサイトを通じての情報収集時にPRできるよう、WEB、SNSを使ったオンラインによるプロモーションをメインとした。
- ✓ デジタルネイティブの層に向けて、問い合わせ用AIチャットBot、SNSのDM、Discord、WhatsAppをコミュニケーションツールとした。

SNS等の活用

- SNS(Instagram)の運用



Instagram @bergtoad.tour

エンゲージメントの向上やUGCにつながる工夫

- ・ツアー後の継続的なSNSにおけるメッセージのやりとり
- ・収益の一部で行われる子ども自然体験の報告を行い関与の実感を生む
- ・今後は継続的に利用できる地域産品を購入できる商品サイトの紹介を予定（オーガニック化粧水や石鹸（蚕）、オリジナルTシャツや手ぬぐい（歩荷）、地域の植物で染めたトートバックや小物（那須染め）など）

サイト・LP作成

- <https://tour.bergtoad.net/>



Instagram、Discord、WhatsApp

ターゲット層（20代～30代）の利用率の高いメッセージサービスをコミュニケーションツールとした。

AIの導入

AIがチャットで問い合わせに対応。予約未成立の場合のデータも収集可能。予約に繋がらなかった離脱ポイント等、問い合わせ内容をデータとして蓄積し、顧客のニーズやトレンドを分析。データを活用して今後のサービス改善やマーケティング施策に役立てることができる

PR素材の共有

- 自社のSNSだけでなく、共同コンテンツとして運用するアクティビティ事業者が自由に使える動画素材を共有

共有動画素材を活用することで、各事業者は動画制作の時間と費用を節約できるだけでなく、互いの活動を間接的に宣伝し合うことで集客力を向上させられる。また、各事業者が自社の特色を加えて発信することで、ツアーの魅力を多角的に伝えられ、自社単独では届かない潜在顧客にもリーチできる可能性が高まる。



また編集済みの完成された動画では、独自の編集（BGMやテロップの新たな挿入、再生時間の変更など）を行うことが困難なため、PRの目的に応じた動画を作れないことがあるが、素材として提供することで様々な目的に応じたPR動画として作成できるようになる。

■ プロモーション

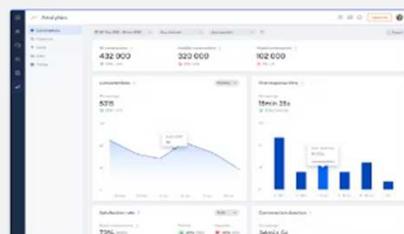
AIの導入について

AIの導入

AIによる学習データに基づいて顧客の質問を理解し回答するAI chatbotはフォームから問い合わせをする以前に離脱するユーザーのエンゲージメントを高められる効果があり、また、気軽に質問ができるため、よりユーザーの意向を収集、分析することで、ツアーコンテンツの改善、ウェブサイトの改善の指標とすることが可能となる。また、回答の自動化により大幅な対応時間の削減やタイムロスのないリアルタイムな回答により、ユーザーの離脱を防ぐことが可能。学習させた同一AIをSNSやメッセージアプリに連携させることでより回答の自動化による対応時間の削減になる。



ツアー料金、ツアーの特徴、セールスポイント、注意点や規約などツアーに関する全てのデータを学習。その他に日光国立公園、那須インタープリテーション全体計画、関連する資源について、東京からのアクセス方法、日本を楽しむためになぜこのツアーを勧めるかのデータを学習

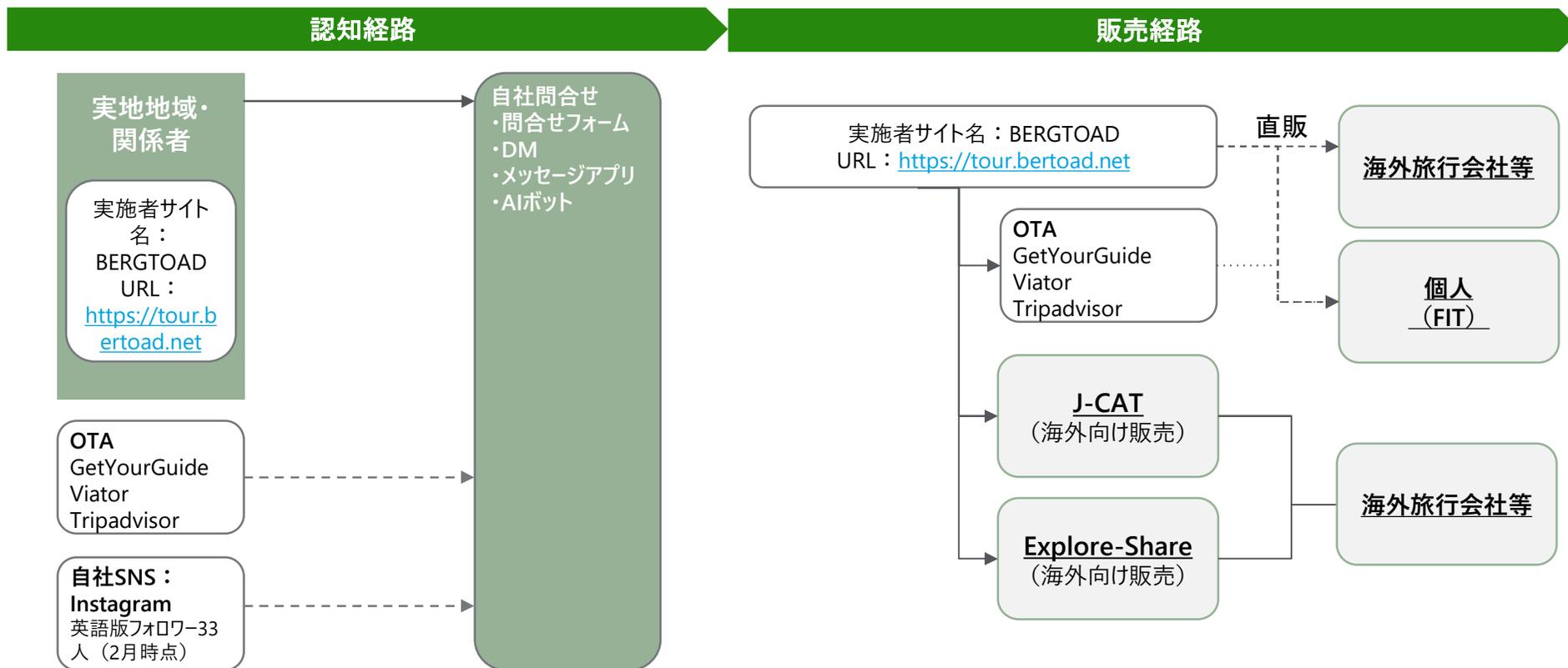


気軽に問い合わせできるツールのため、フォームからの問い合わせよりも多くのデータとよりリアルな意見が収集できる。また、リアルタイムの回答のためタイムロスを大幅に削減しユーザーストレスを無くす。また、対応スタッフの時間を削減することが可能。



学習した同一AIをInstagram,WhatsAppと連携。DMでのリアルタイムな回答が可能となる。

■ プロモーション・販売チャネル



認知施策上の工夫・KPI

- 自社サイト・SNSによるPR
- 認定ガイド制度（栃木県・羅針盤）との連携によるPR

SNSエンゲージメント率5%
ランディングページPV数 6000pv
ランディングページのCVR 1%

販売施策上の工夫・KPI

- 共同コンテンツとし各アクティビティ事業者による独自販売

共同コンテンツの販売アクティビティ事業者：3社

■ 販売実績（本年度）

ツアー①Nikko National Park Hidden Onsen Adventure

- 内容
 - Nikko National Park Hidden Onsen Adventure: A Journey Through Japan's Timeless Hot Springs
 - 日光国立公園の奥深くにある那須の秘湯を巡る3日間。1400年の歴史を持つ日本の温泉文化を体験しながら、古道をハイキングし、手つかずの自然温泉で癒されます。山の静寂に包まれた趣ある山小屋で過ごし、大自然の美しさと日本文化の深さを感じられる登山ツアー
- ターゲット
 - オーストラリア人 40代 男性
バックカントリーガイド
- 販路
 - InstagramによるDM
- プロモーション
 - Instagramの動画

	R6実績
販売単価（千円）	150（千円）
販売人数（人）	1（人）
売上（千円）	150（千円）
営業利益（千円）	96（千円）
営業利益率（%）	64（%）

実施ツアートリフ

基本情報

ツアー名: Nasu: Hidden Onsen Trail
 旅行先: 栃木県・日光国立公園（那須エリア）
 旅行期間: 2泊3日
 開始地点: JR黒磯駅（栃木県）
 終了地点: JR黒磯駅（栃木県）
 グループ規模: 最小1名、最大8名
 テーマ: 温泉文化・冒険
 活動内容: ハイキング、温泉、野生動物観察
 体力レベル: 4/5（中上級者向け）

料金情報

料金: \$1,500 USD/人
 含まれるもの:
 到着・出発時の送迎（BERGTOADガイドの集合・解散地点まで）
 ツアーガイド（初日から最終日まで）
 朝食2回、昼食2回、夕食2回
 宿泊（1泊目：日本旅館、2泊目：山小屋）
 温泉利用料
 ケーブルカー料金
 含まれないもの:
 国際航空券
 旅行保険（全参加者必須）
 追加の飲食物、記載されていないアクティビティ

秩父多摩甲斐国立公園における 新たな感動創出コンテンツ造成事業

株式会社東京山側DMC

National
Parks
of Japan



取組概要

国立公園指定書主題（テーマ）： 森林美と渓谷美であふれる首都圏に最も近い山岳公園

山稜を分水嶺とする日本最長河川の源流地帯を含み、首都圏から近いという地理的特徴、火山を含まない水成岩地形の山岳地域であり森林美と渓谷美が特徴であることを表したもの。

本事業・本ツアーのストーリー（来訪者と共有したい価値）**1200年続く御岳山の信仰と御師の営み**

秩父多摩甲斐国立公園の東端に位置する武蔵御岳山は1200年以上にわたり、山岳信仰の聖地として修験者たちの修行の場となってきた。修験者の中には「御師（おし）」となり、参拝者を導き、祈祷を行い、信仰を広める役割を担う者もいた。彼らは今も**武蔵御嶽神社**を中心に、訪れる人々に信仰の本質を伝え続けている。

山中を無心で歩くことは、修行の中核を成す。また、山の上でも栽培可能な**こんにゃく**は、御岳山の食文化の象徴であり、宿坊では、こうした伝統的な食が提供され、信仰とともに味わうことができる。

現代に生きる御師たちは、この信仰の灯火を絶やさぬよう、参拝者を迎え続けている。御岳山は単なる観光地ではなく、信仰と歴史が息づく場所、新たな自分と出会う旅の場となっている。

本事業で活用する資源とテーマ

- ・ 資源：山岳信仰、御師の営み、武蔵御嶽神社、食（こんにゃく）
- ・ テーマ：1200年以上前から山岳信仰を核として、修行者たちが営んできた御師の営み。修行者、修行者から土地に根付いた御師たちの歴史と現代の御師が武蔵御嶽神社を中心とした信仰の営みをテーマとしました。

望まれる来訪者の体験、来訪者の意識/行動変容

- ・ アクティビティを通じて身体的・精神的な充足を体感し、都会と自然の共有を通じて人間的な有り様を意識してもらいたい。

来訪者（ターゲット）

- ・ 40～60代の欧米豪の旅行者がメインターゲット。
- ・ 都内在住の訪日外国人、日本人もターゲットとします。

ツアーの概要とメイン自然体験アクティビティ

- ・ 山岳信仰、御師文化、水資源のテーマに基づいたストーリーを構築。

【武蔵御岳山で滝行体験、奥の院を巡る修験道体験ツアー】
御師文化、山岳信仰、水資源をテーマに織り込んだコンテンツ。

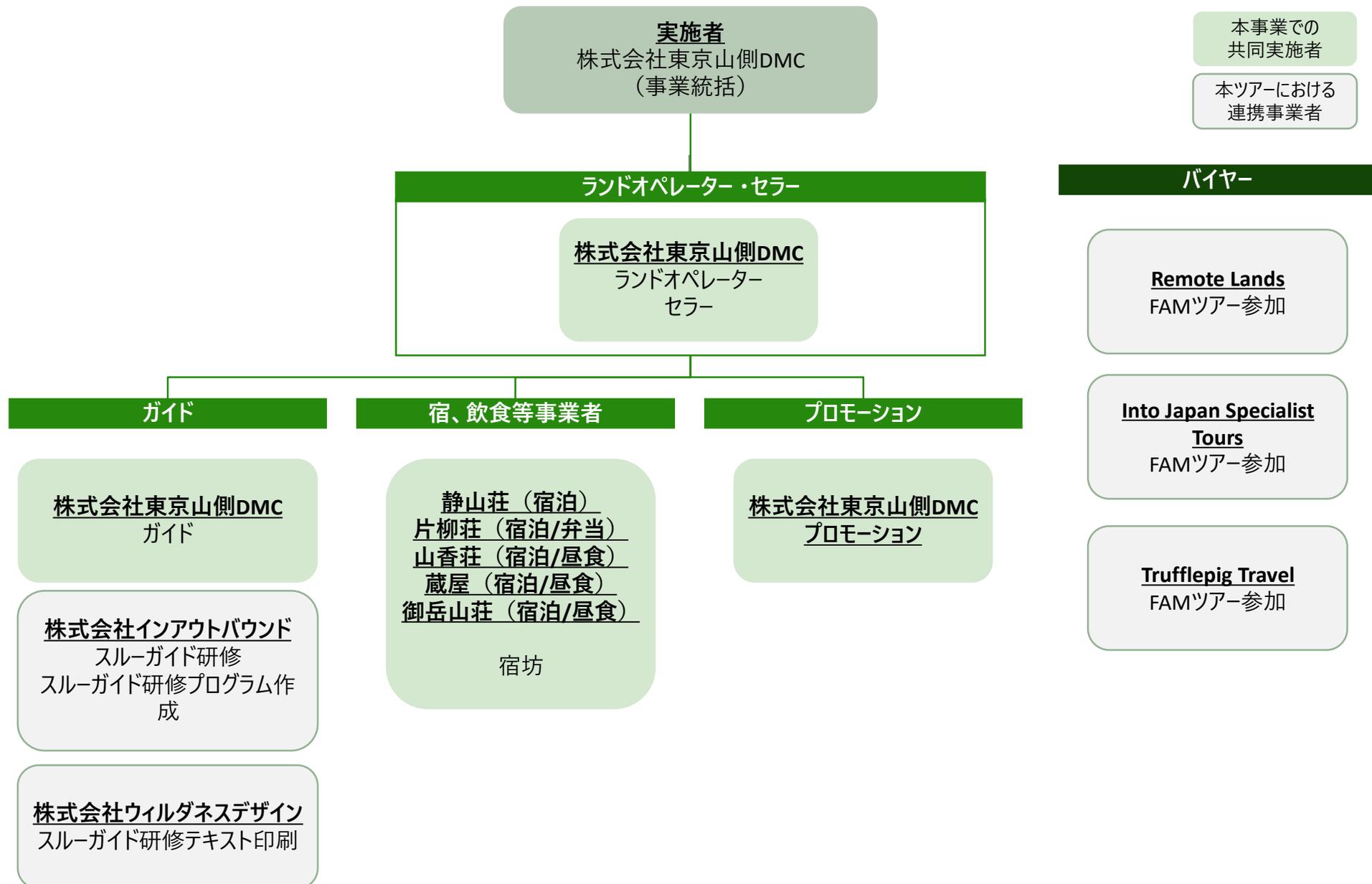
JR御岳山（集合）＝ケーブルカー（乗車）＝武蔵御嶽神社（参拝）＝ロックガーデン（綾広の滝）＝ケーブルカー（下山）＝JR御岳駅（解散）

設定KPI/KGI

- KPI
 - ・ 売上：約225,000円
 - ・ 一人単価想定：78,000円
 - ・ 当年度目標人数：5人
- KGI
 - ・ 売上1,350万円
 - ・ 一人当たり単価：78,000円
 - ・ 参加人数：300人

保護と利用の好循環

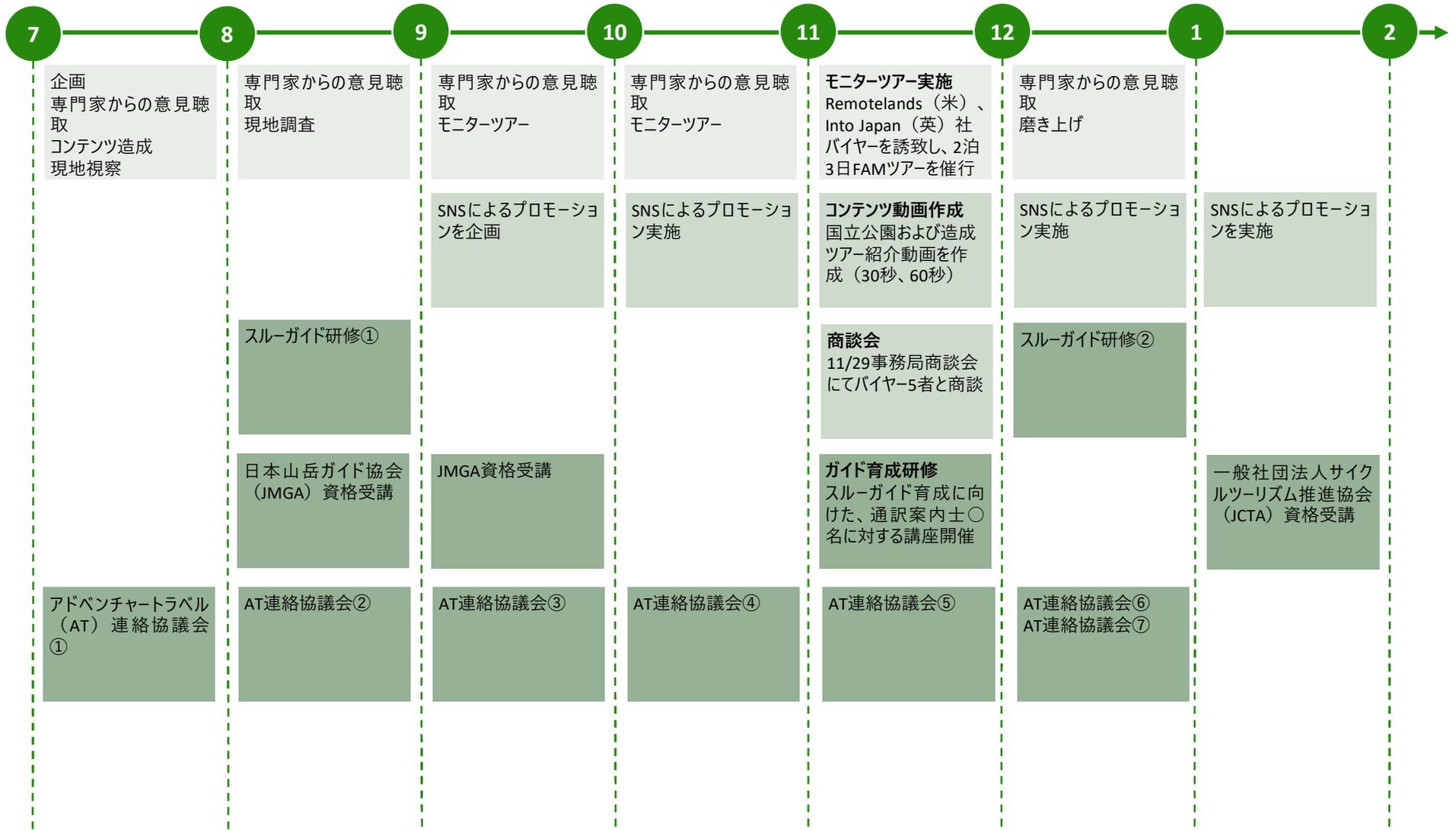
- ・ 課題：ウォーターアクティビティの夏場のオーバーツーリズムによる環境インパクト。
- ・ LNT（Leave No Trace）の啓発、リバークリーンナップ活動による河川環境の改善



アクティビティツアー造成関連

プロモーション・販路開拓関連

その他（現地調査、研修等）



事業の実施・成果等

Hike in the steps of the mountain ascetics

ツアー・アクティビティのストーリー

東京から1日トリップ、かつての山岳信仰の修行ルートハイキング。東京から60分の山の上に1200年以上続く御師と講を山岳信仰があります。古来の修行者が使っていたルートを再現し、ハイキングします。日本には1200年以上前から山を神格化し、山に入ることで特別な力を得ようとする山岳信仰が存在しました。その山岳信仰の修行場であった御嶽山の一部をハイキングし、リフレッシュします。ロックガーデンと呼ばれるルートは、かつては修行場として危険な箇所もありましたが、現在では溪流沿いを歩く一般コースが整備され、安全にハイキングすることができます。途中、天狗岩や綾広の滝と呼ばれる修行ポイントにも立ち寄ります。気軽に山岳信仰を体験できるハイキングツアーになっています。

深掘りポイント①【御師】

御嶽山では修験者の末裔が御師として山上での営みを続けています。御師はかつては御祈祷師とも呼ばれた山岳信仰の実践者です。御師は農民などの一般参拝者の参拝、宿泊などの案内を手配し、また、農閑期には農村に向いて各家で五穀豊穡、家内安全などのご祈祷を行っています。御師の数も減り現在では御嶽山では26軒が続いています。

深掘りポイント②【講】

村単位などで御嶽山信仰者の集まりを講と呼びます。講では毎年数人が講を代表して御嶽山を参拝（代参）します。そして代参が一巡すると「太々（代々）神楽」を奉納します。太々神楽は格式の高い最高の参拝奉納だとされています。御師と講の関係は現代でも継続していますが、承継、信仰離れの影響もありその数は減少しています。

深掘りポイント③【太占】

武蔵御岳神社では毎年1月3日早朝に「太占」（ふとまに）神事が執り行われます。この神事は鹿の肩甲骨を火で炙り、ヒビの入り具合で農作物の吉凶を占う古代の神事です。秘祭とされており神事を見ることはできませんが、神社の神符授与所にてその年の結果が頒布されています。かつては各地で行われていたとされますが、現在では群馬県富岡市の貫前神社と武蔵御岳神社の2ヶ所に残されるのみとなっている希少な神事です。



御嶽山 御師文化
御師さんのお話

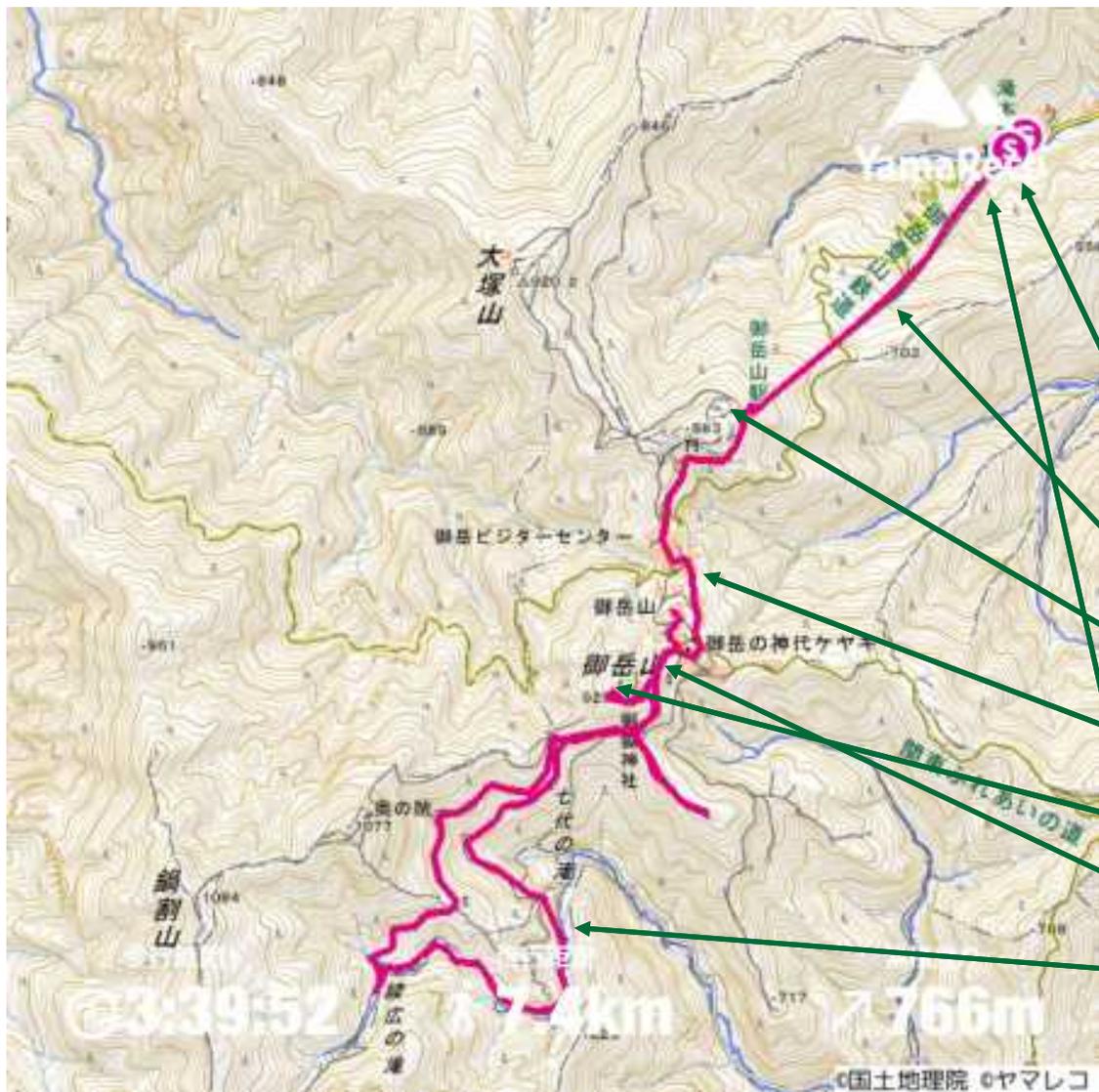


神符授与所にて頒布される太占
の結果（作物毎に豊凶が10段階で示される）



武蔵御岳山お犬様（オオカミ）信仰
配られるお札

■ ツアー行程図 (1)



- ①10:10 ケーブルカー麓駅
- ②10:20 ケーブルカー乗車 約7分
- ③10:30見晴台にてブリーフィング
- ④10:40 御師集落を散策
- ⑤11:00 武蔵御嶽神社 参拝
- ⑥12:00宿坊にて昼食
- ⑦13:30 ロックガーデン周遊 綾広の滝 天狗岩
- ⑧16:30 ケーブルカーにて下山

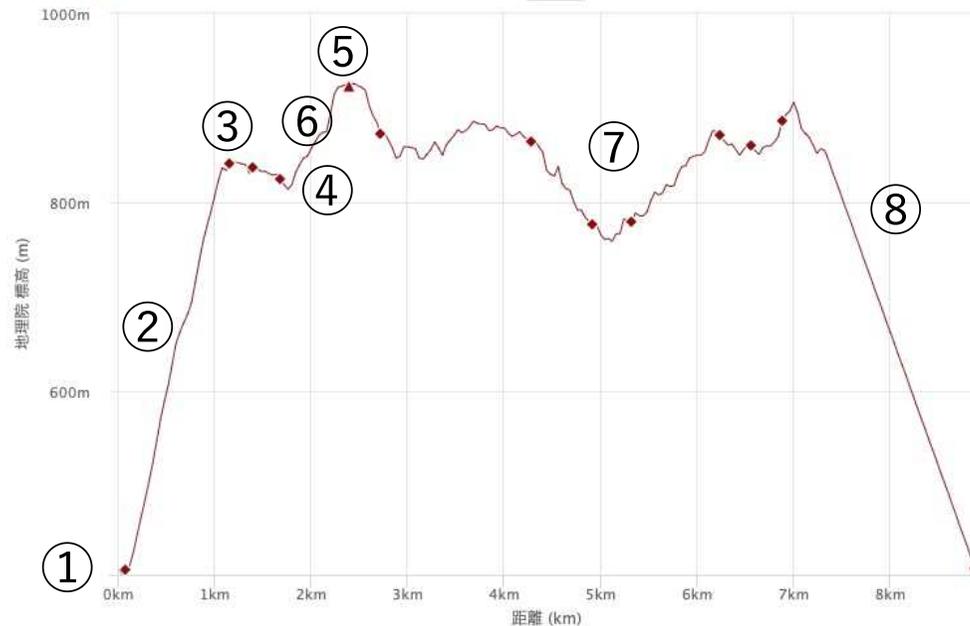
■ ツアー行程図 (2)

- 🚩 出発時刻/高度: 08:16 / 432m
- 🕒 到着時刻/高度: 15:18 / 408m
- 🕒 合計時間: 7時間2分
- ➡️ 水平移動距離: 8.91km
- 📈 最高点の標高: 939m
- 📉 最低点の標高: 408m
- 🪜 累積標高(登り): 824m
- 🪜 累積標高(下り): 380m

ハイキング行程の高低差 168m
 最高地点: 武蔵御嶽神社 929m
 最低地点: ロックガーデン 761m
 ハイキング歩行距離 6.16km



表示変更: ● 距離 ○ 時間 ○ 時刻 / 国土地理院 標高 ▼ 変更



ツアー行程

- ① ケーブルカー麓駅
- ② ケーブルカー乗車 約7分
- ③ 見晴台にてブリーフィング
- ④ 御師集落を散策
- ⑤ 武蔵御嶽神社 参拝
- ⑥ 宿坊にて昼食
- ⑦ ロックガーデン周遊 綾広の滝 天狗岩
- ⑧ ケーブルカーにて下山

■地域の受入体制、オペレーション構築

	対象	利用する地域資源・伝えるストーリー	本事業での取組事項
宿坊 (食事)	静山荘	<ul style="list-style-type: none"> 御師と来訪客との対話を通じて御師文化を伝える 山岳信仰の修行法の一つとして瞑想体験の取り入れ 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪客の受入に際してランオペとの関係を構築
	片柳荘	<ul style="list-style-type: none"> 昼食のお弁当を作ってくれる 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪客の受入に際してランオペとの関係を構築
	山香荘	<ul style="list-style-type: none"> 昼食時に御師の話を聞き、御師文化を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪客の受入に際してランオペとの関係を構築
	西須崎蔵屋	<ul style="list-style-type: none"> 昼食時に御師の話を聞き、御師文化を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪客の受入に際してランオペとの関係を構築
	御岳山荘	<ul style="list-style-type: none"> 昼食時に御師の話を聞き、御師文化を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪客の受入に際してランオペとの関係を構築
アクティビティ	ハイキング	<ul style="list-style-type: none"> かつて山岳信仰の場として隆盛した御岳山をハイキングという形で登拝することで、修験道の文化を体感する 	<ul style="list-style-type: none"> 修験道の登拝の仕方を一部取り入れ 安全催行に向けたガイドの資格取得 (JMGA)
	武蔵御嶽神社	<ul style="list-style-type: none"> 正式参拝による神事参加 	<ul style="list-style-type: none"> インバウンド受け入れへの理解
ガイド	ガイド志望者	<ul style="list-style-type: none"> 通訳案内士にツアーを体験してもらい、スルーガイドとしても活躍できるフィールドをふやしてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ガイド研修を開催
	ガイド志望者	<ul style="list-style-type: none"> 山での安全性を確保するため 	<ul style="list-style-type: none"> 山岳ガイド資格の取得 (JMGA)
ランド オペレーター	ツアー関係者	<ul style="list-style-type: none"> 現地手配 	<ul style="list-style-type: none"> 地域事業者との信頼関係を構築
交通	御岳登山鉄道	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルカーで登ることで、幅広い方に親しまれることになった経緯を伝えている 	<ul style="list-style-type: none"> 発射時刻の確認、混雑具合の確認

■ インバウンド対応における工夫点

ストーリー

1. ストーリー性を重視したガイド

- **御師文化の紹介:** 「御師とは何か」「彼らが信仰をどのように支えてきたか」をわかりやすく説明し、訪問先の宿坊とのつながりを感じてもらう。
- **武蔵御嶽山の特徴:** かつての日本各地には多くの御師が存在し、信仰者の案内、参拝のサポートを行っていた。各宿坊には各地に信仰者の集まりを持っており、その集まりを講と言う。江戸時代（1728年）には1747もの講が関東一円を中心にあったとされるが、令和の現代では1200講まで減少してきている。明治維新の影響も大きく、廃仏毀釈、修験道廃止令の流れのもと、新しい神社制度の確立のために御師制度も一時的に廃止。激動の時代の中で、武蔵御岳山では、ひっそりと御師と講の繋がりを維持し、現代にもその関係性を保っている希少な文化遺産といえます。
- **山岳信仰の歴史と意義:** 山岳信仰が自然保護や持続可能な生活スタイルとどのように関連しているかを具体的に説明する。（古来、修験道は山を聖なる存在としてきました。聖地の樹木伐採は厳しく禁止され保護されてきたからこそ、その精神が受け継がれ、現代でも樹木は大切にされています。）
- **神話やエピソードの活用:** 武蔵御嶽神社や奥の院に関連する神話や歴史的エピソードを紹介し、参加者の興味を引き出す。（日本武尊が東征の際、二頭のオオカミに助けられたエピソード）

2. 実体験を通じた文化体験

- **滝行や瞑想体験:** 御師（神職）による先達により、実際の修行体験を通じて、現代的な禅やマインドフルネスとのつながりを感じてもらう。（山岳信仰は、山を神仏と見做し、山の中で修行することは神仏の中に入り身を浄化することを意味していました。心身浄化の修行法の一つとして滝に打たれる滝行、自身の内面を見つめる瞑想などがあります。）
- **宿坊での体験:** 御師の宿坊での滞在や御師料理の提供を通じて、伝統的な生活文化を体感する。（御師料理の食材は、講（信者の集まり）からの奉納品であることが多く、宿坊での食事は講からの奉納品のお気持ちをいただくことにもなります。講からの気持ちによって支えられているのが御師の営みの一面でもあります。）

■ インバウンド対応における工夫点

ストーリー

3. ビジュアル資料の活用

- 神社や御師集落の古写真、滝行や修行の様子を写真やイラストで見せることで、視覚的な理解を助ける。
- 奥の院や太占祭場など普段訪れにくい場所の特別な価値を視覚的に伝える。
- 御師、山岳信仰についてまとめたPDFデータ資料を事前資料として渡すことで理解がしやすい工夫を心がけている。

Kusushi Mitake Shrine

Originally, mountain asceticism was practiced and practiced by individuals, but eventually they formed groups and expanded their power to the point where they built shrines and temples in the mountains.

The "Oshi," or assistant to the priests, developed as part of these beliefs. On Mt. Mitake Shrine, Oshi welcomed worshippers, took charge of rituals and arrangements for their stay, and played a part in the management of the shrine.

What is an Oshi?

An Oshi is not merely an assistant to the priest, but a guide for worshippers while running his own lodgings. While assisting in the preparation for worship and participation in the rituals, he has also served as a spiritual leader for the community. In addition, they have offered worship experiences (such as waterfalls and meditation) to deepen the hearts of the worshippers, and have introduced the deep spirituality of Japanese mountain worship to the worshippers.

Joint Management of Oshi and Musashi Mitake Shrine

Musashi Mitake Shrine has played an important role as a center of mountain worship, and Oshi is deeply involved in its operation. Oshi not only welcomes worshippers, but also operates the shrine in an autonomous manner together with the shrine through 26 lodges in the Oshi area. These lodgings are run on a hereditary system, with each lodge having its own voting rights, and the entire community supports the maintenance and development of the shrine by electing the representative priest of Musashi Mitake Shrine through democratic voting.

History of Oshi and Mt. Mitake

Mountain worship in Japan is a unique religious culture in which the mountains themselves are considered sacred and worshipped as places of spiritual power. Practitioners of mountain worship were called yamabushi (mountain priest(s)). Shugendo is a form of mountain worship with Buddhist elements added to it. They are said to have acquired divine powers (abilities beyond human knowledge) through their ascetic practices.

4. 多言語対応と異文化理解の促進

- **文化の共通点を示す:** 他国の自然信仰や精神文化と日本の山岳信仰の類似点を紹介し、共感を促す。(世界宗教でいうところの巡礼が富士講や伊勢参りに近い存在だと考えられます。)

5. エコツーリズムとしての価値提案

- 山岳信仰が持つ「自然と調和する生活スタイル」の側面を強調し、持続可能な観光の一環として紹介する。

■ インバウンド対応における工夫点

ストーリー（参考資料）

御師とは、かつては山岳信仰により山中で修行し神通力を会得し、その力を里でご祈祷などをしていた人達が定住した者を指す言葉であった。（御師＝御祈祷師）

江戸時代、伊勢神宮では、約800軒もの御師が営む宿坊があったという。

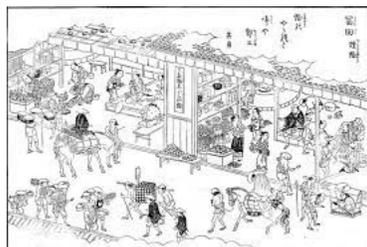
明治維新の修験道廃止令などの影響もあり、今では東京都御嶽山の御師集落が日本で現存する御師集落としては最も軒数が残っている地域となっている。

御師の家には必ず内神殿があり、神職でもある御師は毎日のお参りを欠かさない。

武蔵御嶽神社は御師たちの持ち回りで役職を担っている。

神社だけでなく、山全体の自治を御師たちがになっているのも、御嶽山の御師の特徴である。

御嶽山の御師は1200年以上前から活動していた記録もあり、歴史は古い。



■ インバウンド対応における工夫点

ガイドング (1)

1. 多言語対応

- 英語を中心に、参加者の母国語を使った説明を準備する。
- 文化特有の用語（例: 御師、山岳信仰など）の翻訳に注釈を加える。

2. 文化の背景説明

- 山岳信仰や御師文化の歴史、意味をわかりやすく説明する。
- 現代的なテーマ（禅やマインドフルネスなど）と関連づけ、親近感を持たせる。

3. 体験型の説明

- 滝行や瞑想体験の手順を丁寧に説明し、リラックスした雰囲気を作る。
- 実際に御師の宿坊を体験しながら、文化の深さを体感してもらう。

4. 株式会社東京山側DMC、独自のガイド演出

- 俗界と聖域との境界の役割を持つ「鳥居」を通過する際、ガイドが「チーン」と印金を鳴らすことで、参加者の意識を変える演出をしている。
- 奥の院への登り部分は、古来の修験道の抖擻（とそう）を行う。抖擻とは、無言、無心で登ることで、自己との対話を促す修行法。約40分ほどの無言でのハイキングは瞑想状態となる。修験道の修行を体感していただける時間として行う。
- 今後は「法螺貝」を使った演出を取り入れるべく、法螺貝練習中。



■ インバウンド対応における工夫点

ガイドング (2)

5. ユーモアと親しみやすさ

- 難しい宗教的な話題を柔らかい表現に置き換え、聞きやすくする。
- 親しみやすい態度で、会話を通じてガイドと参加者の距離を縮める。
- アイメッセージを心がける。(日本人は苦手)

6. 視覚的な補助

- 写真、地図、イラストなどを活用して視覚的にわかりやすくする。

(右参照：使用した写真の一部)

7. エコツーリズムの視点

- 山岳信仰が持続可能な自然保護と関連していることを説明し、環境保全意識を高める。
- ロックガーデンでのコーヒーを竹のコップで提供。(放置竹林で伐採された竹を使用することで、地域を巻き込んだネイチャーポジティブにつながっていることを参加者にも伝える)
- Leave No Traceの啓発及び実践

8. 現地とのつながりの強調

- 御岳山の人々や文化的交流(神社参拝)を盛り込み、地域全体の魅力を伝える。
- 御師集落を散策する際に、各御師が交代で神職を務めることを伝えることで、御師が神社を支えている現状を感じてもらう。



■ インバウンド対応における工夫点

行程

1. 季節感を活かしたアクティビティをアレンジする（今後の予定含む）

- ・ 春：桜や新緑のスポットを散策に組み込む。
- ・ 夏：滝行を中心に涼を感じられる体験を強調。
- ・ 秋：紅葉の名所を含めたルート設定。
- ・ 冬：静かな雪景色の中での瞑想や参拝を提供。

2. ペース配分と休憩ポイントの最適化

- ・ 高低差のある山道を含むため、40分ごとに休憩を入れたり、写真スポットを組み込み、無理のないスケジュールを計画。

3. 地元のガイドとの交流

- ・ 御師や地域住民との交流時間を設定し、文化や信仰の話を直接聞ける機会を提供。（神社、宿坊、売店など）

食事・食材

1. 宿坊の食文化を体験

- ・ 基本的に宿坊の食材は、信徒からの奉納品であることを伝えることで、御師と講の繋がりを感じてもらう。
- ・ 御岳山の名物料理「こんにやく」は各宿坊ごとの自家製。
- ・ 山の上で採れる山菜などを使ったお浸しや釜飯は、山の空気感を味わえる献立となっている。

2. インバウンド向けのアレンジ

- ・ ベジタリアンやグルテンフリーなど、海外からの参加者に対応した選択肢を可能な限り用意。



■ インバウンド対応における工夫点

地域関係者等との接点の創出

1. ガイドを通じた橋渡し

- ガイドが地元住民との間を取り持ち、信仰や生活にまつわる個人的なエピソードを紹介する。（神社での宮司さんとのコミュニケーションなど）
（御岳山で育った子は、一度は山を降りて街の生活をさせるようにしている。個々人の生き方を尊重することを大事にしており、ある程度の期間、世間での生活を終えると山に戻ってくる子が大半。あくまでも強制ではなく、自主性を重んじる、おおらかさも御岳山の御師たちの特徴である）

2. 地域に根差したプロモーション

- 地元で撮影した写真や動画を活用したSNSプロモーションで、地域の魅力を世界に発信する。



Instagram

Instagram : https://www.instagram.com/authentic_mt_tokyo/profilecard/?igsh=MW5zaXRpM3ZrdXVqbA%3D%3D



■ 現地調査

1. 現地調査で得られた成果

a. 地域資源の発見

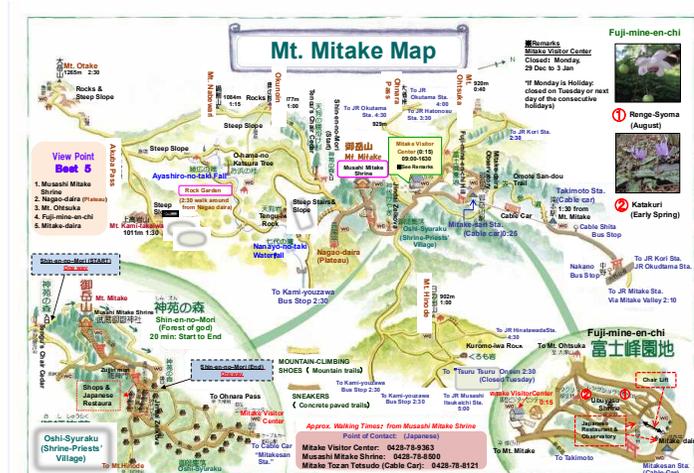
- 御岳山周辺に点在する歴史的・文化的な名所（御師集落、奥の院、ロックガーデン、太占祭）の詳細を調査し、ツアーに組み込むべき価値のあるスポットとして選定。
- 現存しているのは日本で2箇所のみとなった太占祭のお守り（鹿の肩甲骨）の魅力を発掘。

b. 御師さんからのヒアリング

- 御師との対話を通じ、宿坊体験や修行体験（滝行、瞑想）の詳細な内容を確認。
- 御師さんからの「ここだけの話」を仕入れることができた。

c. 自然環境とアクセス状況の確認

- 登山道や観光ルートの状態、交通手段（ケーブルカーやバス）の利便性を確認し、安全で快適なツアープランを設計。
- 滝行スポットや瞑想スペースなど、自然環境を活用したプログラムの現地視察を実施。



■ 現地調査

2. 取組に活かした内容

a. ツアー内容の充実

- 調査結果をもとに、滝行や瞑想体験などの修行プログラムを中心に据えたツアーを造成。
- 奥の院登拝や太占祭場など、一般観光では訪れにくいスポットをツアーの特別体験として組み込むことを検討。

b. 地域資源を活用した連携

- 御師が経営する宿坊をツアーの昼食場所として選定し、信仰文化を肌で感じられる機会を提供。

c. 持続可能な観光の推進

- 山岳信仰に基づく自然保護の思想をツアーで発信し、地域環境の保全意識を高める内容をプログラムに反映。
- 御岳山の飲食店や特産品販売と連携し、地域経済への貢献を図る。

3. 連携したツアー造成

- 地元の宿坊と連携し、「Hike in the steps of the mountain ascetics」をツアー開発。
- 御岳山の信仰文化を体感できる特別なアクティビティ（早朝参拝、滝行、瞑想）を組み込み、国内外の観光客に対応する多言語ガイドを用意。
- インバウンド観光客が御師さんと交流できる時間を確保し、御師文化や山岳信仰の魅力を共有。

■キックオフミーティング（磐梯朝日国立公園）での学びと反映

1. ストーリーテリングを重視したツアーデザイン

現地調査での学び:

- 磐梯朝日国立公園での現地調査において、インタープリテーションとは何かを学ぶことで、単なるガイドではなく、地域の歴史や文化、自然保護への想いを組み込んだストーリーを展開することの大切さを体感した。
- どこで何を見せるか、見せないか、どのタイミングで見せるかを緻密に設計することで、参加者の感情を動かす旅となっていた。

ツアー造成への反映:

- 御嶽山ツアーでは、「霊峰御嶽山が織りなす物語」を基軸に、修験道や山岳信仰の歴史をストーリーとして組み込む。
- 滝行や瞑想などの体験要素も、単なるアクティビティではなく、滝行が神域に入る際に穢れを祓うための儀式であることを解説するなど、「心身の浄化」「自然との一体化」といったテーマのもとで展開することで、深い体験価値を提供する。



2. ガイドの役割分担の明確化

現地調査での学び:

- ローカルガイドとスルーガイドの部分が意識的に分かれており、全体の流れを調整するスルーガイド部分と、「その場ならではの魅力」を伝える役割のローカルガイド部分がはっきりしていた。

ツアー造成への反映:

- 御嶽山ツアーでも、「ストーリーの進行役」としてのスルーガイドと、「地域の声を届ける」ローカルガイドの意識的二層構造を取り入れる。



FAMツアーレポート

FAMツアー

開催日：2024年11月20日、21日

海外の旅行会社からバイヤーを招聘してのモニターツアー。

参加者：3名

モニターツアーの目的：販路拡大並びに実際に商品を体験してもらった上でのバイヤー目線でのフィードバック

実施にあたっての改善点：通常ツアーでは最寄駅に集合、ツアースタートのところ、モニター参加者3人が立川宿泊ということで、急遽、立川からのハイヤー送迎に切り替え。車中での会話などを含め、コミュニケーションがスムーズになり、結果的に良いツアーとなりました。このことから立川宿泊の場合、立川スタートもツアーオプションとして組み入れる検討となりました。

モニターツアー当日は、一日中天候が雨でしたので、参加モニターの同意を得て、通常のハイキングコースを短縮して屋内での意見交換に切り替えました。



会社：Remote Lands

国籍：アメリカ

顧客特性：米国の超富裕層マーケットをターゲットとする旅行会社。

顧客は伝統的な体験から、あまり知られていない土地での体験まで幅広く求め、プライベートツアーやプライベートガイドを好む傾向にある。訪日客の多くは、滞在中1日に凡そ4000ドル消費し、文化芸術体験や、あまり知られていない広大な自然環境の中でのハイキングなど、ゴールデンルート以外に興味を持つ特徴がある。

会社：Into Japan Specialist Tours

所属：

TravelConsultant/liyamaProductsManager

国籍：イギリス

顧客特性：オーダーメイドを中心としたFIT旅行、富裕層グループ旅行、VIP/VVIP旅行など幅広く取り扱う。顧客からは、高級かつプライベートな体験、スムーズな移動/ツアー/アクティビティ、現場での柔軟性、日本“らしさ”、混雑のない環境を求められることが多い。

会社：Trufflepig Travel

所属：Trip Planner

国籍：カナダ、フランス

顧客特性：世界70カ所の地域へのオーダーメイドのプライベートの旅行を年間約500組扱う。顧客により旅程は一件一件異なる。ほとんどの場合、東京と京都が組み込まれているが、日本が持つあらゆる魅力を提供するよう努めている。顧客の85%は米国、10%カナダ、5%フランスを中心とした他地域。富裕層が多く、文化、職人技術、アウトドア、自然景観への関心が高い。

FAMツアーレポート

ツアー行程

【1日目】

立川の宿泊先からタクシーにて御岳山に移動

10：00 ケーブルカーにて山頂駅へ

10：30 宿坊「片柳荘」に荷物をドロップ

11：00 武蔵御嶽神社 参拝

11：30 奥の院遥拝所、太占祭場

12：00 昼食（宿坊蔵屋）

14：00 ロックガーデン周遊（綾広の滝、天狗岩）

15：00 おやつタイム（竹のコップにてコーヒー提供）

17：00 宿坊にチェックイン

18：30 御師とコミュニケーション交流

【2日目】

06：20 宿坊を出発

07：00 早朝参拝（武蔵御嶽神社）

08：00 軽めの朝食

09：30 宿坊をチェックアウト

10：00 ケーブルカーにて下山

11：00 タクシーにてサトログに移動

11：15 サトログにて昼食

13：00 解散

受け入れ体制

ガイド：村野夏生（株式会社東京山側DMC）

通訳案内士：1名

宿泊施設：宿坊 片柳荘

昼食場所：宿坊蔵屋・サトログ



FAMツアーレポート

FAMツアーを通じて明らかになった課題

1. 宿泊施設の改善

- 宿坊の食事や設備が一部のお客様の高級感や快適さへの期待に応えられない可能性がある。
- 宿坊料理が顧客層に飽きられる懸念があるため、別の選択肢が必要。

2. 寒冷期の対応不足

- 11月末の寒冷期では、冷たいざる蕎麦や屋外での活動が快適ではなかった。
- 滝行後の暖を取るための設備（暖房エリアや温かい飲み物の提供）が準備不足。

3. 移動と活動の柔軟性

- 顧客に合わせた余裕あるスケジュールが好評だったが、さらなる柔軟性が求められる場面があった。（参加者の体力並びに趣向に合わせたツアー行程、スケジュール管理が求められた）
- 雨天時の代替アクティビティやプラン変更への即応力を向上させる必要。

4. 宿泊施設視察の不足

- 参加者から宿泊施設の追加視察の必要性が指摘され、実際の雰囲気や品質を確認する機会が重要。（ベットの有無、個別のバス・トイレの有無、食事場所の個別有無、部屋食が可能かなど）

5. 食事の選択肢

- 高級感を損なわず、多様な食事オプションを用意する必要。（宿坊での料理は、その時にある食材を使用しての料理提供となるため、事前の打ち合わせが困難なケースもある。手作りこんにやくなどは比較的用意がしやすい。料理内容に関しては、宿坊ごとの相談が必要。）



FAMツアーレポート

課題に対しての改善点

1. 宿泊施設の多様化

- 高級志向の宿泊施設の候補を増やし、実際に視察して顧客層に適した選択肢を提供する。
- 宿坊以外の高級宿泊施設やプライベートヴィラの選定を検討。→都心での宿泊。

2. 季節対応型のプラン

- 冬季限定の温かい食事や暖房設備の導入を宿坊と相談。
- 季節に応じたアクティビティを追加し、例えば料理体験や神楽体験など文化体験を取り入れる。

3. 柔軟なスケジュール設計

- 雨天や突発的な状況に備えた代替プランのリストを作成。
- 移動時間や休憩時間を顧客のペースに合わせ、スムーズな体験を提供。

4. ローカル体験の充実

- 山中でのコーヒータイムや特産品の試食（御岳汁）など、現地の文化に触れる機会を増やす。

5. ツアーガイドとスタッフの訓練

- ガイドの柔軟な対応力を強化し、顧客ニーズに即座に応えられるようにする。
- 御師文化や山岳信仰、修験道アクティビティの事前説明をさらに充実させる。

6. マーケティング資料の整備

- 視察結果やアクティビティの詳細情報を資料化し、バイヤーが顧客に説明しやすいように提供する。
- ツアー中に撮影した写真や動画を活用し、プロモーションに繋げる。



FAMツアーレポート



■保護と利用の好循環

【課題】

- 多くの観光客が訪れることで、河川へのゴミ投棄。
- 河川環境の維持。

【体制】

株式会社東京山側DMCの前身、一般社団法人フォースウェルネスは、リバークリーン活動をともしする有志が集まってできた団体ということもあり、現在でも定期的なリバークリーン活動を継続して行っている。

(毎月第2土曜日)

リバークリーン活動自体には、ほぼ経費が発生しておらず、ボランティア活動として継続している。

古くからの観光地域ということもあり、昭和30～60年代のゴミが多いのが特徴的。

夏季にはBBQのゴミが野生動物への影響が大きな問題となっている。(熊の出没など)



秋川リバークリーンナップ



秋川流域でのリバークリーン



多摩川流域でのリバークリーン

■スルーガイド実地研修

実施日 【1回目】令和6年9月8日～10日 【2回目】令和7年1月5日～7日 場所 御岳山
講師： 西谷雷佑（株式会社インアウトバウンド東北）

研修がどう生かされたのか

講師からのフィードバック：

テーマごとにツアー造成をしてみてはどうか。

フィードバックを受けて：

- ・行程案として3案が提案された
- ①修験道から派生した神道の本質を体験できる行程
- ②修験道の古道ハイキング
- ③ハイキングアクティビティをメインとしたコンテンツ（ロックガーデン～大岳山）

講師からのフィードバック：

比較をすることで認識の深度が深まるので、類似のコンテンツを体験することも重要。
（出羽三山の修験道ツアー、大峯修験など）

フィードバックを受けて：

ネット情報、書籍などから、修験道が盛んな地域のことを調べた。
修験道は仏教系だが、神道系の修験道が残っているのは、希少なことがわかった。御嶽山のユニークさを伝える材料となった。

講師からのフィードバック：

信仰に関わること（修験道）と、文化や営み（御師文化）のテーマが混ざらないように意識してコンテンツを組み立てる。

フィードバックを受けて：

まずは御岳山の全てが網羅できるような入門ツアーを完成させ、そこからよりディープなツアーを造成していく。
ディープでも、興味のある人は必ずいる。→他にない付加価値となる

■東京山側アドベンチャートラベル連絡協議会 設立（目的・意義・効果）

目的

- 地域事業者と視座を共有し、インバウンド観光の受け入れ体制を地域全体で構築すること。
- 各分野の専門家の知見を通じて、地域資源を活用した持続可能なアドベンチャーツーリズムの実現を目指す。

意義

1. 地域間連携の強化

- 地域事業者や住民と専門家の視点を共有することで、観光・防災・医療・自然保護など多方面の課題解決を促進。
- インバウンド観光を「地域全体の取り組み」として推進する共通認識を形成。

2. 多角的な視点の提供

- 山岳医療、防災、自然療法、身体研究など、観光事業に直接関わる多様なテーマを取り上げ、幅広い視野でアプローチ。
- アドベンチャートラベルの可能性を地域資源と結びつけ、新たな観光価値を創造。

3. 専門的な知識の地域還元

- 登壇者による専門的な講義内容を通じて、地域事業者が最新の知識を獲得し、実務に反映させる機会を提供。

効果

1. インバウンド観光体制の基盤強化

- 地域事業者が国際的な観光需要や安全基準を理解することで、観光客への対応力を向上。
- 地域内で一貫性のあるサービス提供が可能となり、観光地としての魅力を高める。

2. 防災・医療体制の強化

- 山岳医療や減災防災の観点を取り入れることで、観光客と地域住民の安全性が向上。
- 危機管理能力を備えた観光地としての信頼を確立。

3. 自然療法・健康観光の導入

- 精神医学や身体研究の視点を取り入れることで、自然療法を活用した観光商品を新規開発。
- 観光と健康を組み合わせた、次世代型アドベンチャートラベルを提案。

4. 地域資源の価値向上

- 登壇者から得た専門知識をもとに、地域固有の自然や文化の魅力を最大限に引き出し、観光資源の価値を高める。
- 国立公園を中心とした自然学の活用により、観光地としてのブランド力を強化。

■東京山側アドベンチャートラベル連絡協議会（開催一覧）

	開催日	ゲスト登壇者	登壇者属性	内容
①	令和6年 8月13日	長木 利通	株式会社ツーリンクス代表取締役	インバウンドの現状とこれから
②	9月13日	八櫛 徳次郎	減災防災クリエイター	助けを呼べない現実（山岳救助の実情）
③	10月14日	赤川 立樹	国際山岳医	①最近のリハビリテーション医療について ②山岳医療の現状と課題 ③医療の観点から捉えたアドベンチャーツーリズムの将来性
④	11月7日	小泉 武栄	国立公園協会理事	国立公園、観光地としての自然学について
⑤	12月13日	寺野 正樹	身体研究家	身体研究家の観点から捉えたアドベンチャーツーリズムの将来性
⑥	令和7年 1月12日	竹内 真弓	精神科医（アントロポゾフィー医学）	① 国立公園における自然療法の利活用について ② 精神科医の観点から捉えたアドベンチャーツーリズムの将来性
⑦	1月15日	寺田 達也	LNTトレーナー、インバウンドガイド	インバウンド観光における持続可能なフィールド運用と安全管理



■ターゲット設定

1. 地域

・主要市場:

- ・ 北米（アメリカ・カナダ）
 - ・ 富裕層市場を中心に、日本文化や自然への高い関心を持つ顧客。
- ・ ヨーロッパ（イギリス、フランス、ドイツなど）
 - ・ 日本らしさやプライベート感を重視する個人旅行者（FIT）。
- ・ アジア（シンガポール、香港など）
 - ・ 短期間で特別な体験を求める高所得層。

・サブ市場:

- ・ 国内の富裕層やリピーター層。

2. 価格帯

・ツアー価格:

- ・ 中～高価格帯: 1泊2日プランで88,000円～180,000円（税込）。
- ・ オプションとしてプライベートガイドや特別体験を組み込むことで追加料金（10万円以上）を設定可能。

・価値の訴求:

- ・ 限定感や高品質な体験（宿坊での特別体験や専属ガイドの同行）とすることで高付加価値化（価格向上）。

3. 属性

・年齢層:

- ・ 主に30～60代の富裕層（ビジネスエグゼクティブやリタイア層）。

・旅行形態:

- ・ 個人旅行（FIT）または少人数のプライベートグループ旅行。

・生活スタイル:

- ・ 文化、伝統、自然、精神的な体験に価値を見出す人々。
- ・ ゴールデンルートから外れた「隠れた名所」を求めるリピーター層。

■ターゲット設定

4. 志向

•求める体験:

- 日本の文化や伝統を深く体験するプログラム（御師文化、瞑想、滝行）。
- 静寂と自然を満喫できるアウトドア活動（ハイキング、奥の院登拝）。
- 持続可能でエシカルな観光を支持。

•プライバシーと高品質:

- 人混みを避けたプライベートな空間やサービス。
- きめ細やかな対応と柔軟なスケジュール。

5. インサイト

•旅行動機:

- 忙しい日常から離れ、心身のリフレッシュや内面的な充実を求めている。
- 他の観光客が知らない場所や特別感のある体験を重視。
- 伝統文化を通じて自己成長や新たな価値観を発見したい。

•期待する価値:

- 日本の自然美や精神文化の「本物」に触れたい。
- ガイドや地元住民との交流を通じて、深い学びやインスピレーションを得たい。
- 体験の質やホスピタリティを重視し、価格よりも満足度を重視する傾向。

■プロモーション

ターゲットに訴求するプロモーションの創意工夫

ストーリーテリングを活用したプロモーション

・「御岳山の物語」を伝える動画制作:

- ・ 御師文化や滝行体験、早朝参拝などをテーマにしたショート動画を制作。
- ・ 地元ガイドや宿坊の御師が語るストーリーを中心に据え、「伝統×自然」の魅力を視覚的に訴求。

・ターゲットごとのストーリー分割:

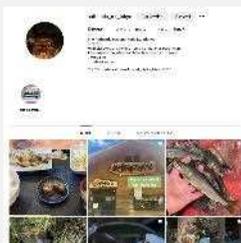
- ・ 富裕層向けには「贅沢な静寂と癒し」を強調。
- ・ アウトドア志向の顧客には「自然と調和した持続可能な体験」をアピール。

SNS等の活用

- ・ Instagramを使って、販売サイトへの流れを作成
https://www.instagram.com/authentic_mt_tokyo/



Instagram



- ・ Tourism Media Serviceにてツアー商品の記事を掲載。



サイト・LP作成

- ・ 自社販売サイトを作成
- ・ <https://mt-tokyo.com/blogs/all/adventuretravel-01>
- ・ インバウンド専門のOTAサイトへの掲載
- ・ <https://japanadventure.travel/4-1>



自社サイト



OTAサイト

Map Engine Optimization対策

- ・ Googleビジネスプロフィールを登録
- ・ (東京山側アドベンチャートラベル)
- ・ <https://g.co/kgs/5HqJEx4>



・写真をバージョンアップ

- ・ 御岳山の美しい自然景観
- ・ 自然と調和した持続可能な体験
- ・ 贅沢な静寂と癒し



■ プロモーション

SNS (Instagram) の活用

1. ターゲット市場の明確化

・ターゲット層:

- ・ 欧米・アジア圏の富裕層 (アドベンチャー・ツーリズム & ヘルス・ツーリズムに関心)
- ・ 日本文化に関心がある層 (伝統文化、修験道体験を求める層)

・ **Instagram・YouTube (ビジュアル重視)** → 美しい風景、神秘的雰囲気、体験のストーリー性

2. #ハッシュタグの選定

自然、アドベンチャータラベル、修験道、マインドフルネスなど、コンテンツの魅力を伝えるハッシュタグを設定

#Mitake Mountain Tour #Adventure Travel #Adventure Tourism
 #Shugendo Experience #Nature Of Japan #Ecotourism
 #Wellness Tourism #Mindfulness #Sustainable Tourism
 #Spiritual Japan #VisitJapan

3. 具体的な戦略

Instagram

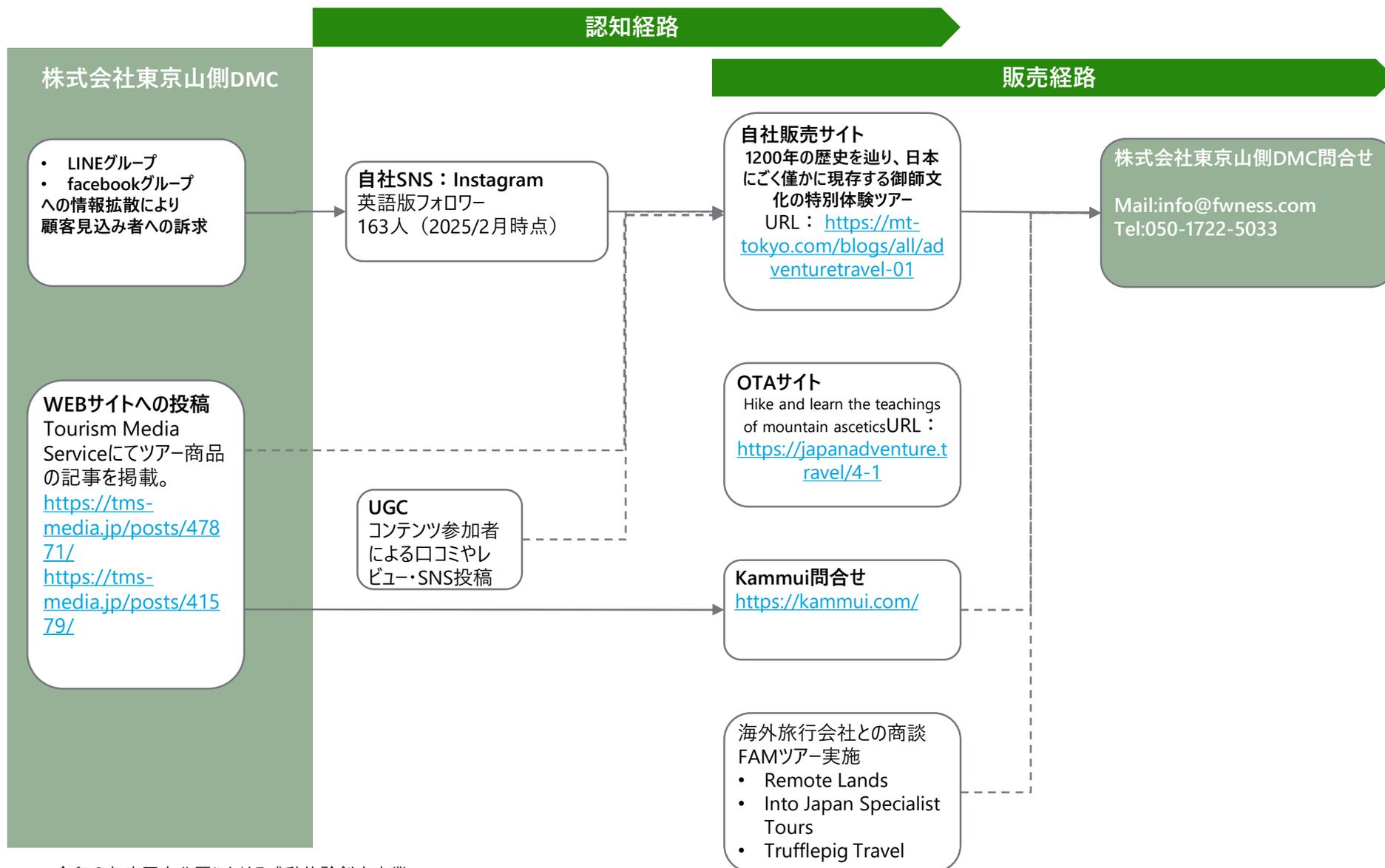
目的: 美しいビジュアルとストーリー性のある投稿でツアーの魅力を発信

投稿のテーマ:

- ・ 「御嶽山の四季」シリーズ (春の新緑、夏の滝行、秋の紅葉、冬の雪景色)
- ・ 「修験道の世界」シリーズ
- ・ 「旅のハイライト」 (ツアーの一場面をドラマチックに紹介)



■ プロモーション・販売チャネル



■ プロモーション・販売チャネル

ランディング、ブッキングに繋げる工夫

1. 認知経路 (Awareness Pathway)

ターゲット層にツアーの魅力を訴求し、興味を喚起するために、SNSを活用している。

(1) SNSを活用した認知拡大

✓ Instagramを中心とした発信

- 2025年2月時点で163人のフォロワー（今後増加見込み）
- 視覚的魅力を活かした投稿（美しい自然風景、ツアー参加者の感動シーンなど）
- 短尺動画（Reels）を活用し、アクティブな体験を伝える
- • ハッシュタグ戦略（#AdventureTourism #ShugendoExperience など）を駆使し、ターゲットに届きやすい投稿を行う

2. 販売経路 (Booking Pathway)

ツアーを実際に販売・予約するための導線を明確にし、スムーズなブッキングを実現する。

(1) 公式販売サイト

✓ ストーリー性を持たせたツアー詳細ページ

- 1200年以上の歴史を誇る修験道体験を前面に打ち出し、「旅の価値」を伝える
- 実際の体験談や参加者の感想を掲載し、安心感を提供
- 行程・持ち物・FAQを整理し、参加ハードルを下げる

URL: <https://mt-tokyo.com/blogs/all/adventuretravel-01>

(2) OTAサイトを活用

✓ 海外向けOTAサイト（アドベンチャートラベル特化）

- **Hike and Learn the Teachings of Mountain Asceticism**と題し、体験の本質を海外向けに伝える
- OTAサイトを活用することで、**ターゲット市場（欧米、アジアのアクティブトラベラー）**にリーチ
- 多言語対応（英語、フランス語、中国語など）を強化し、予約のハードルを下げる

URL: <https://japanadventure.travel/41>

(3) Kammui経由の販売

✓ サステナブルツーリズムに関心のある層へ訴求

- Kammuiのプラットフォームを活用し、自然・ウェルネス志向の顧客にアプローチ
- ユーザーがサイト内で「体験型ツアー」として検索できるよう、キーワードを最適化

URL: <https://kammui.com/>

■ プロモーション・販売チャネル

認知施策上の工夫・KPI

工夫

1. デジタルプロモーションの活用

- **SNS戦略:**
 - Instagramを中心に、「御岳山の物語」やツアーの魅力を発信。
 - 実際の体験者の写真や動画を活用し、フォロワー増加とブランド認知を強化。
- **Webメディアへの投稿:**
 - Tourism Media Serviceなど、観光に特化したメディアに記事を掲載してターゲット層への情報拡散。
- **UGC（User-Generated Content）の活用:**
 - 参加者による口コミやレビューを促進し、リアルな体験談をシェア。

2. ストーリーテリング型プロモーション

- 御師文化や滝行体験の背景にある「1200年以上続く山岳信仰」の物語をコンテンツ化。
- ショート動画やブログ記事でストーリーを分かりやすく紹介。

3. アクセス容易な認知チャネル

- 自社販売サイトやOTA（Japan Adventure）を活用し、ツアーの詳細を即時確認可能に。

KPI

- Instagramフォロワー数: 300人（2025年度目標）
- Webサイト訪問数: 月間1,000セッション以上
- 口コミ・レビュー件数: 年間50件以上
- メディア掲載数: 年間5媒体以上

■ プロモーション・販売チャネル

販売施策上の工夫・KPI

工夫

1. 多様な販売チャネルの構築

- OTA（Online Travel Agency）への掲載:
 - Japan Adventure Travelなどインバウンド特化型OTAにツアーを登録。
- 自社販売サイトの最適化:
 - 予約フローの簡略化とモバイル対応強化。

2. FAMツアーの実施

- 海外旅行会社（Remote Lands、Into Japan Specialist Tours、Trufflepig Travelなど）との連携を強化。
- モニターツアー参加者のフィードバックを基に商品改善。

3. バイヤー向け専用プランの提案

- 富裕層市場向けにカスタマイズ可能なプランを提供。
- 販売促進用の高品質資料（写真、動画、パンフレット）を準備。

4. 季節限定商品の展開

- 春の桜や秋の紅葉、冬の雪景色を活かした限定体験ツアーを企画。
- 季節ごとの食文化やアクティビティを組み込む。

KPI

- 売上目標: **年間1,350万円**
- ツアー参加者数: **年間300名**
- OTA経由の予約率: **30%以上**
- リピーター率: **20%以上**
- FAMツアーからの旅行会社契約数: **2社以上**

■販売実績（本年度）

ツアー名：Hike in the steps of the mountain ascetics

内容

- 武蔵御嶽山修験道体験ツアー
 - 武蔵御嶽神社参拝、御師文化の体験。
 - ロックガーデンでのハイキングや綾広の滝見学。
- 所要時間: 約7.5時間
- 料金: ¥78,000/名
- 特徴: 地元御師による文化解説、1200年以上続く山岳信仰の魅力を感じ。

	R6実績
販売単価（千円）	78千円
販売人数（人）	2人
売上（千円）	156千円
営業利益（千円）	113千円
営業利益率（%）	72%

ターゲット

- 欧米富裕層旅行者: 日本文化や精神的な体験に興味を持つ30～60代。
- 訪日外国人リピーター層: ゴールデンルート以外の観光地を求める個人旅行者。
- 国内リピーター層: 日本国内の富裕層やアクティブな中高年層。

販路

- 自社販売サイト:
 - URL: <https://mt-tokyo.com>
 - 直接予約可能、詳細情報を提供。
- OTA（Online Travel Agency）:
 - Japan Adventure Travel：インバウンド特化型プラットフォーム。
- FAMツアーを通じた海外旅行会社との連携:
 - Remote Lands、Into Japan Specialist Tours、Trufflepig Travelなど。
- 現地プロモーションチャネル:
 - LINEやFacebookグループを活用した情報拡散。

■販売実績（本年度）

実施ツアータリフ

ツアー名： Hike in the steps of the mountain ascetics

基本情報

- 開催期間: 通年
- 所要時間: 約7.5時間
- 対象人数: 最少催行人数 2名、最大8名
- 集合場所: JR御岳駅
- 解散場所: JR御岳駅

ツアー料金

- 1名あたり料金: ¥78,000（1日）

料金に含まれるもの:

- ガイド料金（認定ガイドによる案内）
- ケーブルカー往復チケット
- 昼食（御師文化を体験する特製会席料理）
- アクティビティ体験（滝行、瞑想）
- 必要な装備（タオル、滝行用着衣など）

•料金に含まれないもの:

- 集合場所までの交通費
- 個人的な支出

ツアー行程

- 09:50 JR御岳駅集合
- 10:00 路線バスでケーブルカー麓駅へ
- 10:20 ケーブルカーで御岳山山頂駅まで移動
- 11:00 武蔵御嶽神社参拝（御師の解説付き）
- 12:00 宿坊にて昼食（御師文化についての説明を含む）
- 13:00 ロックガーデン周遊（綾広の滝、天狗岩など）
- 15:30 滝行体験または瞑想体験（希望者のみ参加）
- 16:30 ケーブルカーで下山
- 16:50 路線バスでJR御岳駅到着
- 17:10 解散

注意事項

- 滝行体験をご希望の場合は、健康状態の確認が必要です。事前にお知らせください。
- 天候や参加者の体調により、スケジュールが変更となる場合があります。
- キャンセルポリシー:
 - 7日前まで: 無料
 - 3日前まで: ツアー料金の50%
 - 当日キャンセル: ツアー料金の100%

予約方法

- 問い合わせ先: 株式会社東京山側DMC
- 電話番号: 050-1722-5033
- メール: info@fwness.com
- 予約サイト: <https://mt-tokyo.com>

エコロツジからエコロツジへ古道を歩く旅

一般社団法人雪国観光圏

National
Parks
of Japan



取組概要

国立公園指定書主題（テーマ）：山と高原が彩るレクリエーションワールド

山と高原が広がる本国立公園では、各地に点在する温泉地やスキー場などの利用の他、登山やトレッキングなど様々な楽しみ方が出来る国立公園である。現在では、エコツアーであるキャニオニングや森林セラピーなど新たな利用形態も登場し、より一層多様な楽しみ方ができる国立公園になっている。

本事業・本ツアーのストーリー（来訪者と共有したい価値）

日本最高峰の山々が連なる上信越高原国立公園のストーリー

「火山、温泉、豊かな生き物の共演が生み出す、ユニークな自然の姿」

本事業エリアは日本有数の豪雪を有し日本海側と太平洋側で気候帯が分かれるエリアとなっており、エリア独自の植生や、地形、気象など、自然の多様性を感じられるエリアとなっている。エリア特有の自然環境と、そこに暮らす人々の知恵が育んだ雪国の文化、そしてこの地で紡がれてきた歴史。当地ならではのストーリーを体感できるツアーとして、達成を実施。自然を活かすことで守り、未来に受け継いでいくための仕組みづくりに取り組んだ。

本事業で活用する資源

- 「雪国文化」 8,000年前から続く多雪環境で育まれた自然景観と雪国ならではの建築や食などの文化に触れる。
- 「スノーカントリートレイルを歩く」 その昔にサムライも往来した歴史的な古道と、周氷河作用による丸い山容が生み出す絶景の稜線歩きを楽しむ。
- 「エコロッジに宿泊」
上信越高原国立公園の自然に囲まれた伝統的な温泉旅館は、環境や地域に配慮したエコロッジでもある。

望まれる来訪者の体験、来訪者の意識/行動変容

・平標山～三国街道

ガイドから多雪地帯の特徴、雪国文化、登山道の荒廃の話聞いて、他エリアとの違いや、課題などを知っていただき、山歩きの際に気を付けなければならないこと、山に敬意を持つことを意識し、歩き方などに変化をもたらす。

・エコロッジの宿

宿が実践する温泉文化や環境保全活動を知ることで、脱プラや除草剤未使用、虫の多さへの理解と協力を促す。

雪国の自然や文化の保全と活用に共感してくれる旅行者を増やす。環境協力金への理解を促進し、観光から地域の自然・文化への再投資に繋がる

来訪者（ターゲット）

・欧米の長期滞在する傾向が高いアドベンチャータラバラー

平均年齢は35歳、人との出会いや地域の文化に溶け込もうという意識が強く、高学歴高収入層。日本の「森林浴」にも関心が高い。

想定するサイコグラフィック（心理的特性）

旅を自分の見聞・教養を拡張する体験としてとらえ、重要視している。一般的な観光ルートから外れたルートや、観光地化されていないもの、手付かずのものや自然に残されたものは、他とは違う本物らしさを感じる。自身の行動に責任を持ち、何よりも観光地に敬意を持つ。

ツアーの概要とメイン自然体験アクティビティ

- エコロッジからエコロッジへ古道を歩く旅
新潟県湯沢町の雪国版エコロッジ「貝掛温泉」に滞在し、平標山から三国山を越え、三国街道を歩いて、群馬県みなかみ町のエコロッジ「法師温泉長寿館」を目指す3泊4日の旅。
- 1日目 国立公園のなかにあり、湯治文化が残る「貝掛温泉」に滞在
- 2日目 ガイド付きトレッキングツアー
< 貝掛温泉～二居集落登山道入口～松手山～平標山～平標山の家 >
- 3日目 ガイド付きトレッキングツアー
< 平標山の家～大源太山～三国山～三国峠～法師温泉 >
- 4日目 国立公園のなかにあり、文化財に指定された「法師温泉長寿館」に滞在

設定KPI/KGI

■ KPI

- ツアー参加者に係る訪日外国人旅行者平均単価 420,000円
- 旅行者数：令和7年度 10名 令和8年度 20名
- ツアー参加費における還元率：5% 1人あたり還元額：21,000円
- エコロッジ環境協力金の導入による還元額：
令和6年度 40,000円 令和7年度 200,000円 令和8年度 1,000,000円

KGI

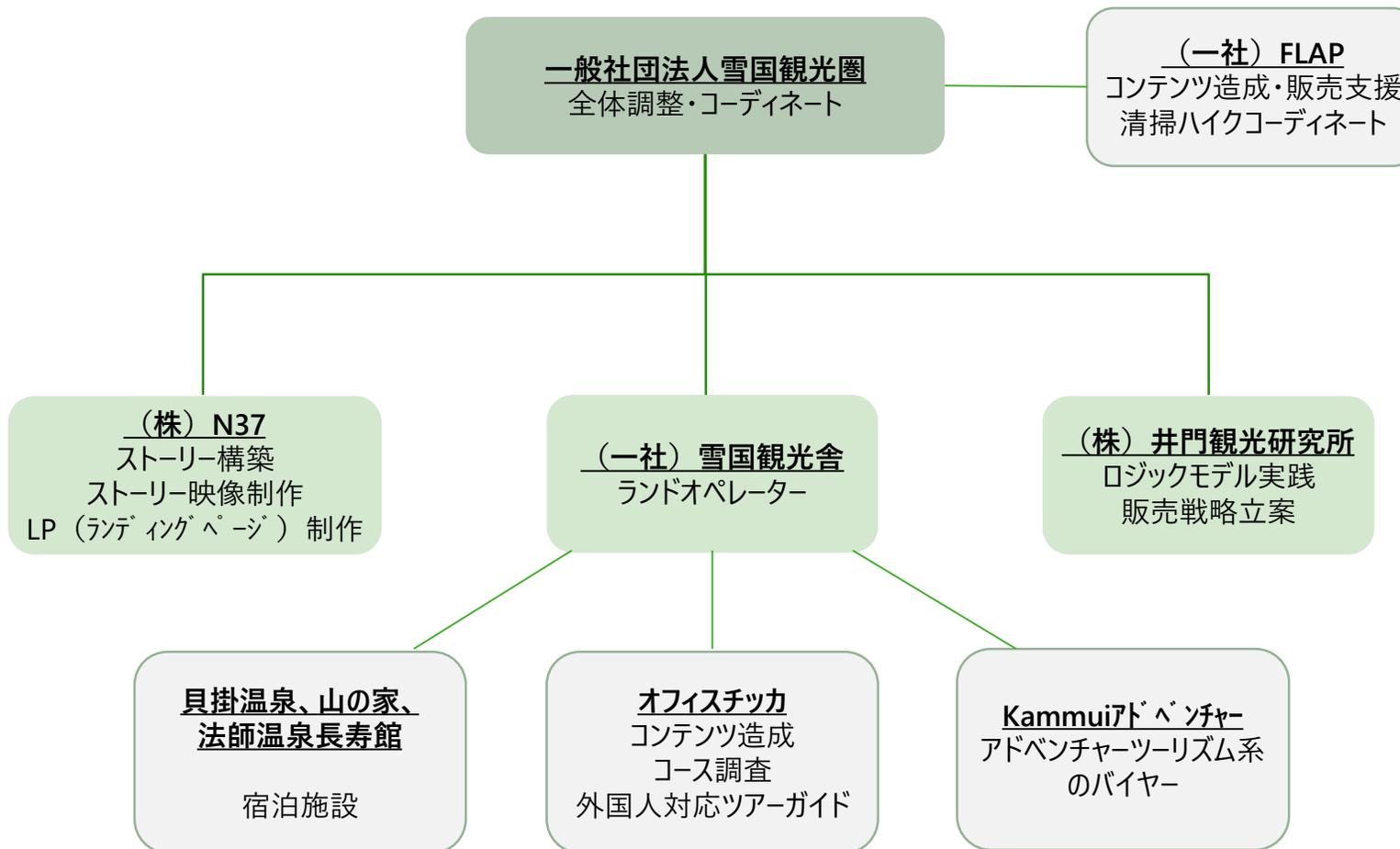
- ツアー又はアクティビティ参加者に係る訪日外国人旅行者消費額：3,120,000円/年
- 宿泊数：20泊/年
- ツアー参加者およびエコロッジ宿泊の還元総額：1,100,000円/年（ツアー料の3% 100,000円 + 環境協力金1,000,000円）

保護と利用の好循環

- ツアー料金の一部をトレイルの維持保全（草刈り、倒木処理、道標設置費用など）にあてる

本事業での
共同実施者

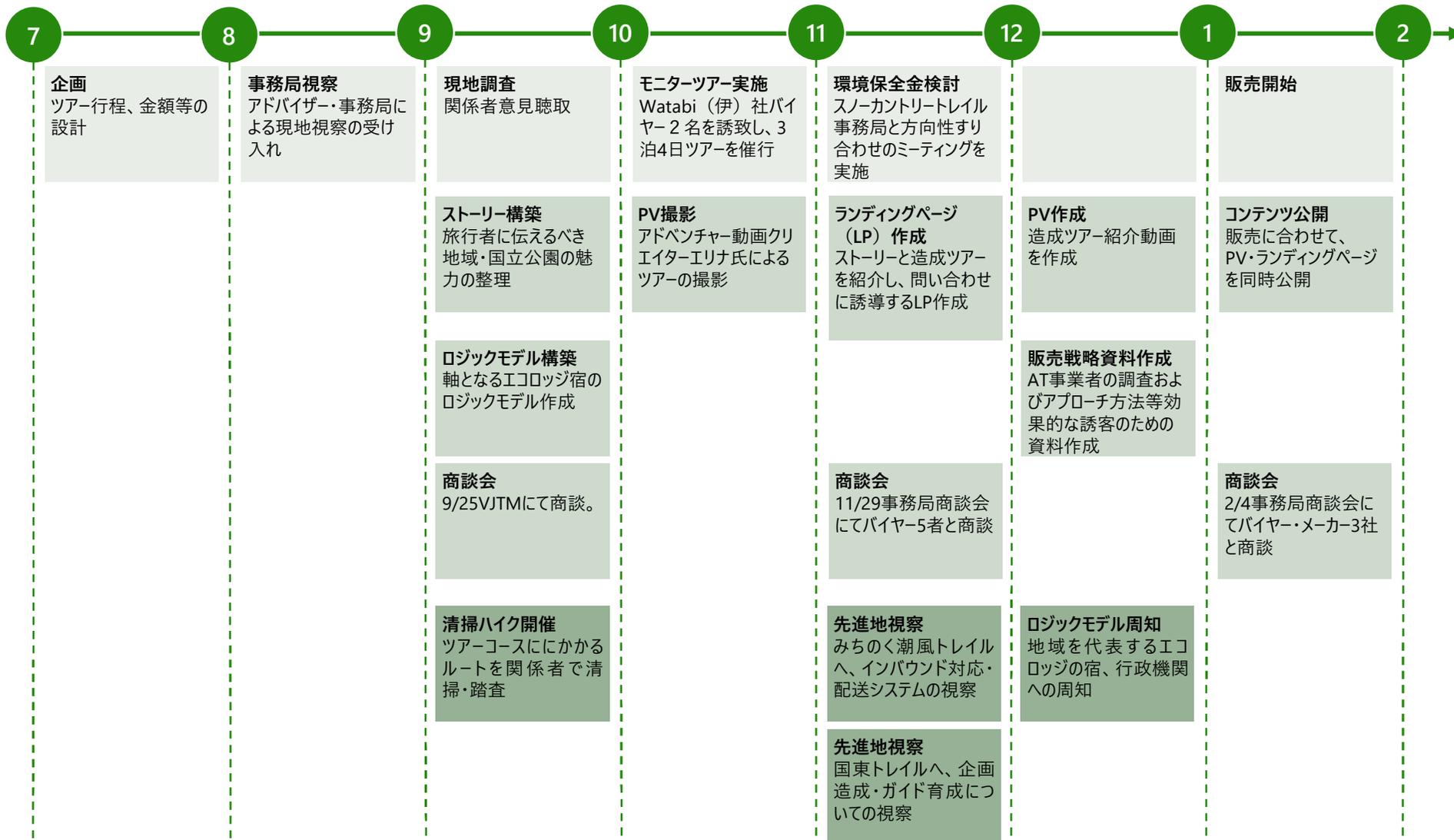
本ツアーにおける
連携事業者



アクティビティツアー造成関連

プロモーション・販路開拓関連

その他（現地調査、研修等）



事業の実施・成果等

■エコロッジからエコロッジへ古道を歩く旅

ツアー・アクティビティのストーリー

日本最高峰の山々が連なる上信越高原国立公園のストーリー

「火山、温泉、豊かな生き物の共演が生み出す、ユニークな自然の姿」

群馬県、新潟県、長野県の3県にまたがる国立公園です。 本事業エリアは日本有数の豪雪を有し日本海側と太平洋側で気候帯が分かれるエリアとなっており、エリア独自の植生や、地形、気象など、自然の多様性を感じられるエリアとなっています。

エリア特有の自然環境と、そこに暮らす人々の知恵が育んだ雪国の文化、そしてこの地で紡がれてきた歴史。当地ならではのストーリーを体感できるツアーとして、造成を実施。自然を活かすことで守り、未来に受け継いでいくための仕組みづくりに取り組みました。

ツアー行程

1日目 国立公園のなかにあり、湯治文化が残る「貝掛温泉」に滞在
オプションツアー：中部北陸自然歩道（湯沢トレッキング2）ハイキング

2日目 ガイド付きトレッキングツアー

< 貝掛温泉～二居集落登山道入口～松手山～平標山～平標山の家 >

「貝掛温泉」を出て、「花の百名山」平標山を目指します。平標山から三国山までの間は上信越高原国立公園の特別保護地区・特別地域にも指定され、自然度が高く、気持ちの良い稜線が続き、素晴らしい景色を望むことができます。平標山の家では宿の主人との語らいも。

3日目 ガイド付きトレッキングツアー

< 平標山の家～大源太山～三国山～三国峠～法師温泉 >

「平標山の家」を出て、古くより越後と関東を結ぶ重要な道であった「三国街道」を歩き「法師温泉長寿館」を目指します。三国峠は関東と越後を結ぶ交通路として古くから利用されており、上杉謙信の関東遠征の際に重用されました。また、江戸時代に参勤交代には利用されるようになった歴史ある街道です。

4日目 国立公園のなかにあり、文化財に指定された「法師温泉長寿館」に滞在

オプションツアー：法師温泉付近散策・環境学習

■催行期間：5月～10月 ※グリーンシーズンの催行

■販売価格：420,000円（3泊4日/1人当たり）



ガイド付きトレッキングツアー

豪雪地帯の山系の特徴である、周氷河地形、古くから重要な街道を、英語でガイドングします。

■エコロッジからエコロッジへ古道を歩く旅

ツアー中に利用している宿の特徴

「雪国版エコロッジ」とは

エコロッジといわれる宿泊施設は、世界中に存在していますが、一般的には「地域環境の保護」「地域社会への貢献」「本物の自然や文化との交流」といった条件を満たした上質で小規模な宿泊施設のことを指します。

雪国版エコロッジは、雪国エコロッジは「100年後も雪国であるために」という理念のもとに、地域社会に利益をもたらし、地域の自然や文化を次世代に受け継ぐという志を共有しています。そして旅行者が雪国を体感できるように、自然や文化、歴史を体験できるアクティビティをご用意しています。上質で小規模かつ持続可能性に配慮した体験型宿泊施設です。

今回のツアーでは、2軒の雪国版エコロッジと、山小屋に宿泊します。



貝掛温泉

約700年の歴史を持つ「目の湯治」として知られている秘湯です。木造建築の趣深い宿で、四季折々の自然が楽しめます。貝掛温泉では、ロビーにごみ分別を促すごみ箱を設置し、持ち込みごみや館内で出たごみの分別を促している。また、国立公園内という立地から除草剤を使用せず植物や土地を保全していますが、それに伴い存在する昆虫類に対してお客様のご理解と協力を要請している。



法師温泉長寿館

国の登録有形文化財に指定されており、自然湧出の温泉で、浴槽の底から湧き出る純度100%の源泉が特徴の歴史ある宿です。本館は、杉皮葺きの屋根で、旅館の風情や環境への取り組みとして続けられている。赤谷プロジェクトなど、日本海側と太平洋側の気候条件の移行帯であることなどに起因する多様で希少な動植物や、独特の生態系についてゲストに伝え、守る活動を進めています。

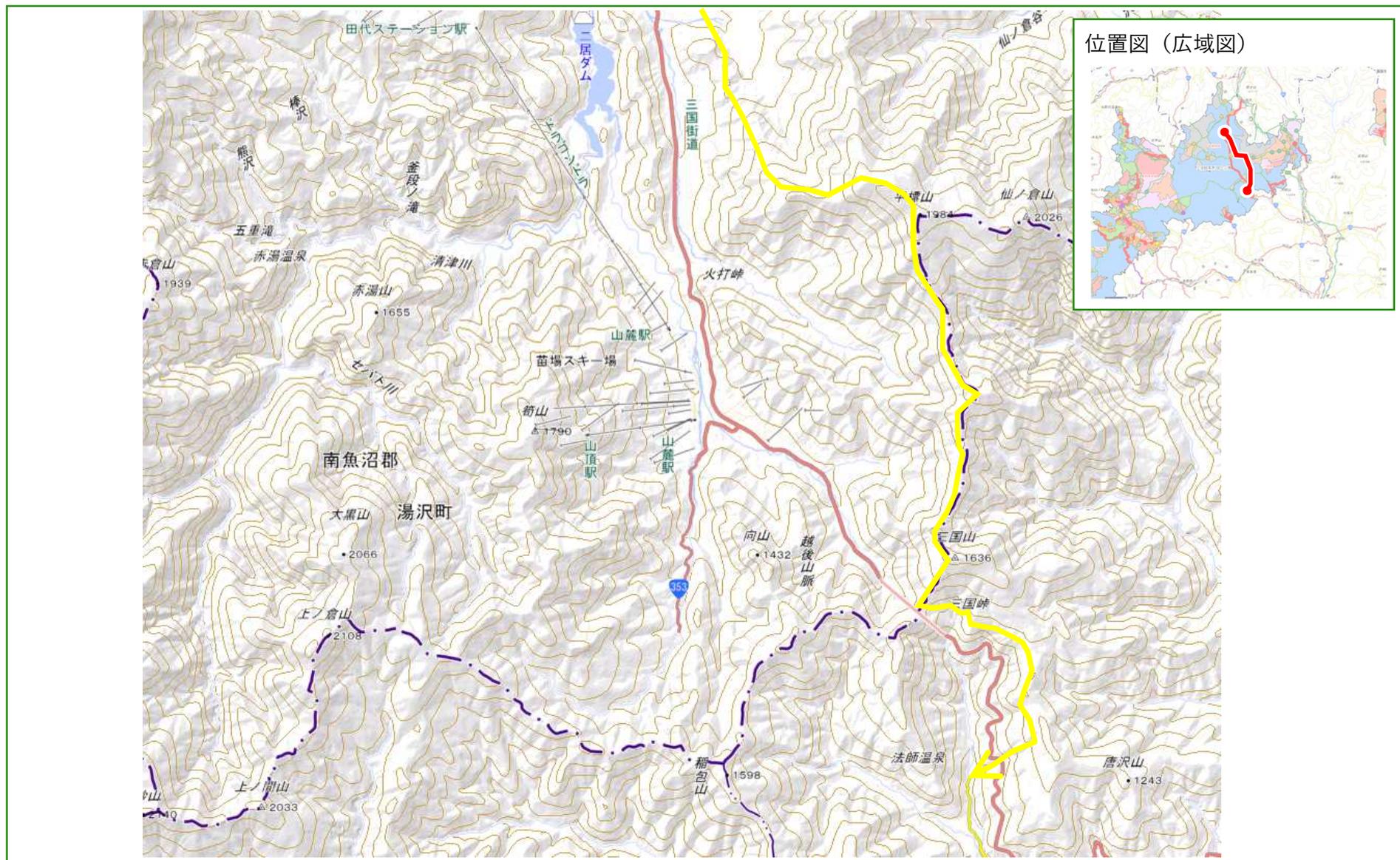


平標山の家

必要な資材や食料は全て歩荷で荷上げを行い、水冷式冷蔵庫を使用するなど、環境に配慮した運営を行っている。水場は「仙手清水」という天然水が利用でき、美味しい水を汲むことができる。ご主人は登山道整備や避難小屋の管理なども行っている。山を愛し山に敬意を持つその精神性の話など参加者の心を打つものがある。地産品の野菜を使った、心づくしの料理と管理人との交流が魅力の宿です。



■ ツアー行程図



■地域の受入体制、オペレーション構築

	対象	利用する地域資源	本事業での取組事項
宿	貝掛温泉	<ul style="list-style-type: none"> 湯治文化の体験、自然環境及び生態系に配慮した伝統的な温泉宿を堪能。 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪客の受入に際してランオペとの関係を構築、モニターツアーの実施
	平標山の家	<ul style="list-style-type: none"> 山の最もコアなところの拠点運営で得た知見、地域の自然・雪国の暮らしを滞在を通して、伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業説明等による関係構築、食後の交流などモニターツアーでの実地検証。
	法師温泉	<ul style="list-style-type: none"> 温泉の歴史を感じる温泉建築と自然保護の取り組み。 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪客の受入に際してランオペとの関係を構築、モニターツアーの実施
アクティビティ	トレイル	<ul style="list-style-type: none"> 雪国をテーマとした、街道の歴史と固有の地形の魅力を体感いただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ルートの確認と、関係機関への理解浸透
ガイド	オフィスチッカ (飯田千香子)	<ul style="list-style-type: none"> 山域を知り尽くし、庭師として植生にも詳しい知見を、英語でわかりやすく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ツアー構築に向けての関係構築。モニターツアーを通して、トライアルとブラッシュアップ。受け入れノウハウの事務局との共有。
食事	ケータリング	<ul style="list-style-type: none"> 地産食材、山にあった食事を通して、地域に魅力を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事内容（アレルギー対応など）の確認・依頼を実施。
ランド オペレーター	雪国観光舎	<ul style="list-style-type: none"> 雪国エリア広域での、文化・観光資源に精通しており、旅行者の要望に応えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> オプションの提案やツアー中の同伴など、受け入れ態勢の整備。モニターツアーでのサポートトライアル。
荷物配送	地域運送事業者	<ul style="list-style-type: none"> 宿→宿の荷物配送を行うことで、トレイルルートに必要な登山装備のみで登攀可能にし、旅行者の旅の負担を軽減する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域内事業者との創出検討・対応可能運送事業者の洗い出しと仕組みの構築。

■ インバウンド対応における工夫点

ストーリー

- エコロッジからエコロッジへ古道を歩く旅の特徴を伝える
 - ・ 山道や古道をつなぎ温泉地から温泉地を結ぶスノーカントリートレイルの特性を活かしたツアーである
 - ・ 雪国の知恵や伝統を継承する雪国版エコロッジでの宿泊滞在により、歴史ある古道ハイクとのストーリーの一貫性を持たせる
 - ・ 周氷河地形のなだらかな稜線、多様な植物、多雪環境が育んだ地形など特有の環境を伝える
 - ・ 日本有数の豪雪を有し日本海側と太平洋側で気候帯が分かれるエリアとなっており全国的にも珍しい地形である。
- インバウンドに対応して工夫した点
 - ・ 自然と温泉に恵まれたエリアでありながら、「東京からのアクセスが良い」ことを伝える
 - ・ 日本人が古来より抱いている「山への敬意」を伝えることで、サステナビリティの意識が高い欧米人ハイカーに訴求する
 - ・ ハイクだけでなく、雪があるからこそ生まれた繊細な織物技術などの「雪国文化」に触れる機会をつくる

フレンドリー・セーフティなガイドング

- 事前説明の実施
 - ・ ツアー前に事前に日本の山のルールやコース、安全管理について説明。
 - ・ コミュニケーションの中で、ニーズや、旅行者の登山レベル、性格を把握し、山行に生かす。
- とともに楽しむ
 - ・ 教えるガイドではなく、「仲間を特別な場所へ連れていく」をテーマに、要所での説明と、求められた時とだけ行い、それぞれの旅行者のペースで地域の自然の満喫をサポートする。
 - ・ コミュニケーションを密に取り、雪国での暮らし方、生き方を伝えるとともに、安全を第一に柔軟にルート変更やペース調整を行う。

風土を感じ、旅行者に配慮した食事

- 地域食材
 - ・ 地元で採れる食材を積極的に活用し、地域の伝統的な料理を中心に提供。
- アレルギー、ヴィーガン対応
 - ・ 食事を提供する施設との密な連絡の中で、可能な限りのアレルギー除去、動物由来食品の除去を対応。

■ 現地調査

国東半島峯道ロングトレイル

期 間	2024年11月5日～11月8日
場 所	国東半島 峯道ロングトレイル
目 的	ロングトレイルのプラン企画造成・販売、ガイド運営、事務局の運営体制など
現地対応者	豊の国千年ロマン観光圏事務局長 堤氏、事務局次長 神元氏、ガイド後藤氏・山本氏

修験の道・神仏習合の地としても知られる、国東半島峯道トレイルは、1000年以上の歴史を持つ石仏や寺社が残っており、ガイドの豊富な知識と人脈や経験が価値をつけている。神仏習合文化は、日本人の心のよりどころであり、外国人にとっても関心度が高い。地域に残る守ってきた価値を活用し、オーダーメイドツアーを売りにエージェントへのセールスを行っている。

ガイドにおいてはトレイルクラブがない、現在30名程度が在籍。寺社の協力、トレイルクラブ会員の熱量、ガイドのスキル、観光協会と観光圏（DMO）の役割分担など、きっちりと構築されている。

モデルコースを軸とした、カスタマイズを打ち出し、オーダーメイドも可能なように販売体制を整えていくとともに、ガイド養成を行い、旅行者受け入れの母数を増やしていきたい。

みちのく潮風トレイル

期 間	2024年11月21日～11月22日
場 所	みちのく潮風トレイル
目 的	荷物搬送の仕組み、ロングトレイルの運営体制等
現地対応者	インアウトバウンド東北後藤氏、久慈広域観光協議会貫牛氏、有限会社魚棚伊藤氏、NPO法人体験村・たのはたネットワーク赤坂氏

1,000キロを超えるロングトレイルとして、インバウンドの受け入れ態勢整備が進んでいる、みちのく潮風トレイルの取り組みを視察させていただいた。

ハイカーが荷物を持たずに歩くことに専念できる仕組みとして、宿→宿配送の仕組みをレクチャーいただいた。雪国でも、宿から宿へ歩く旅をコンセプトにしているため、配送の仕組みは必須となっており、参考となった。既存の軽運送を導入として活用し、将来的に専用の配送システムの構築を目指していく。

4県29市町村にまたがるロングトレイルであり、関係機関が多い中での取り組みについて、ヒアリングを実施。民間旅行会社、トレイルクラブ、自治体の役割分担と協力体制についてご教示いただいた。雪国観光圏スノーカントリートレイルも、3県7市町村にまたがっており、今回得た知見を生かして、持続的な事業推進を行なっていく。



■モニター/FAMツアーレポート

実施日 2024年10月21日（月）～24日（木）

参加者 WATABI

※ VJTMの商談で関心を持っていただきオファーしたことから実現。

Elina Osborne 様（アドベンチャー映像制作者）

ガイド 飯田千香子（オフィスチッカ）

宿泊施設

1 泊目 貝掛温泉

2 泊目 平標山の家

3 泊目 法師温泉長寿館

計画で工夫した点

アドバイザーのマックス氏のご意見から、可能な限り柔軟に対応できるよう、要望をヒアリングしカスタマイズした対応。参加者の仲田様が小麦アレルギーのため、除去食の対応を行なった。その他、登山道具などのレンタルなどの対応も実施。

モニターからのフィードバックと商品反映

- ・事前のレクチャー（簡略かつ、必要な内容を）
⇒トラブルにならないよう、事前レクチャーの実施。
- ・道具の拡充（山小屋泊時、インナーシート・バッテリーなど）⇒用意する
- ・旅館での一人1室対応 ⇒宿泊施設と交渉中
- ・旅館での英語の案内表記 ⇒宿泊施設へ要望として対応のお願い
- ・山蛭の対応 ⇒地域要因のため、事前の説明後NGの場合は、回避ルートに変更
- ・冬のツアー要望 ⇒ガイドの飯田バックカントリーツアーに参加。
- ・前向きに販売を検討いただいております、実売に繋げていく。

10月21日	場所 place	行程 itinerary
13:00	雪国観光圏 Yukigunikankosha	集合 meet
13:20	雪国館 Yukigunikan	見学 inspection
	諏訪社 shrine	見学 inspection
	高平、ガラ Takahan,Gala	車窓 View from the car window
14:50	井仙水亭 Souvenir Shop	お土産買い物 Souvenirs, shopping
15:30	ガイド小屋 Guide hut	ヒアリング、概要説明など Hearings, overview explanations, etc.
16:30	セブンイレブン Seven-Eleven	行動食調達 Shopping for snacks
17:10	貝掛温泉 Kaiikakeonsen	チェックイン後、翌日ルート確認 Check the route the next day
18:30		夕食 dinner
		お部屋 How was your room?
10月22日	場所	行程
5:30	貝掛温泉 Kaiikakeonsen	チェックアウト Check-out
6:00	中の峠 Nakano Pass	トレッキング Trekking
	二尾峠 Hutai Pass	朝食おにぎり Breakfast onigiri
8:00	二尾集落 Hutai settlement	トイレ休憩 Toilet time
8:30	二尾神社 shrine	参拝 Worship
	松手尾根 Matsuteone	登山口ゲート Trailhead gate
	松手山山頂 Matsuteyama Mountain top	お昼 lunch
	平標山山頂 Tairapyo Mountain top	休憩、Ridge time
14:00	山の家 Mountain hut	チェックイン check-in
		夕食、ご主人と交流 Dinner and socializing with the host
		就寝 Going to futon
10月23日	場所	行程
5:30	山の家 Mountain hut	朝食 Breakfast
7:40	出発 departure	登山開始 Start of the climb
	大深木山頂 Daigenta Summit	
9:50	三國山山頂 Mikuniyama summit	
	三國峠 Mikuni Pass	
	東屋 Higashiya	お昼 lunch
13:35	大般若 Daihanya	ヒル生地 Hiru habitat
13:55	法師温泉 Houshionsen	夕食 Dinner
		お部屋 How was your room?
10月24日	場所	行程
7:30	法師温泉 Houshionsen	朝食 Breakfast
9:00		チェックアウト後、館内見学 After checking out, inspection
10:00		泊の周辺散歩 Stroll around the inn
11:30		移動 Move
12:10	上野高原駅 Juumookogen station	終了 end



ツアー代金の一部を環境保全の費用として活用。

・保護上の課題

ツアー行程のトレッキングに含まれる平標山は、高山植物のお花畑や、周氷河地形の特徴を持つ眺望の良い、なだらかな景観が人気のルートとなっており、駐車場・登山道の混雑、登山道や植物帯の荒廃の懸念もある、山となっている。

・本ツアー参加に発生する、環境保全金の収受とそれを活用した登山道整備の支援

ツアー料金の5%を環境保全金として、登山道整備に充てます。

保全金の管理については、雪国観光圏にて一旦は実施。（雪国環境保全基金・スノーカントリーレール環境保全金とは切り分けて管理）ツアーに関わる登山の整備にあたっては、新潟県湯沢町・群馬県みなかみ町、それぞれの町ごとに管理を行っており、実際の整備方法や実施者・係る経費等に違いがあるため、調整が必要。

湯沢町・みなかみ町双方との調整・協議、環境省谷川自然保護官事務所とも連携しながら、来年度のツアー参加料金からの環境保全金の収受と、仕組みの実装を行う。



荒廃した登山道の一部。登山道整備は、日々の草刈り、道標の修繕、浮石修復、埋まった側溝の清掃、倒木の除去など多岐にわたります。

エコロッジの取り組みでも、自然保護活動に還元。

・雪国エコロッジへの宿泊による、間接的な自然保護の支援

「100年後も雪国であるために」雪国観光圏の掲げる理念の体現する雪国のエコロッジの宿。エコロッジとは、「地域環境の保護」「地域社会への貢献」「本物の自然や文化との交流」といった条件を満たした上質で小規模な宿泊施設であり、地域特有の自然環境に寄り添った持続可能性に配慮した体験型宿泊施設です。

雪国観光圏のエコロッジでは、ロジックモデルを作成し、見える化と実践、そして地域の自然や文化を次世代に受け継ぐという志を共有しています。エコロッジに宿泊することで、旅行者は未来に受け継ぐ雪国の自然を体感し、守っていくべき地域の価値を知ることができます。

またエコロッジの滞在に関わる一部の費用が、水源地や森林、里山の保全を目的とする活動を支援する、雪国環境保全基金に寄付されることで、自然保護の利活用の循環につながっていきます。



テルモンとの協業。シャンパン代金の一部を、雪国環境保全基金に寄付。

■雪国の地域ストーリー・雪国文化の理念を伝えるエコロッジの価値向上につなげる

エコロッジ・ロジックモデルの取り組み効果について

- ・経営やブランディングにおいてパーパスや志が重視される中で、地域においても「理念」と「体験」がリンクしていることが求められるようになる。その意味で、雪国観光圏の「100年後も雪国であるために」という理念実現の道筋を示すロジックモデルの構築と、そこに「地域体験アクティビティの提供」や「環境保全の啓発・普及や協力の促進」という本事業の活動を位置付けることには意義があると考えている。
- ・ロジックモデルにより、宿泊施設の地域・環境への貢献意識が言語化されることで、山への敬意を持っている山小屋の管理人やツアーガイドの志との足並みが揃い、旅行者にとって一貫性のある体験を提供することができるようになる。
- ・現状はまだ内部関係者の意識向上に資する取り組みだが、今後は旅行会社や旅行者など外部への情報発信につなげていきたい。

即時的な効果とはならないが、

- ・宿のスタッフが目的意識を持つことによる仕事への誇りやホスピタリティの向上
 - ・今後拡大が予想されるサステナブルツーリズム市場にむけたエビデンスとして活用できる
- 上記、ロジックモデルの取り組みを通して、ツアー価値の補完・向上を図ることができる。

■貝掛温泉と法師温泉長寿館の実施状況

対象事業者（貝掛温泉）のヒアリング

1. 事業者名：貝掛温泉様
2. インタビュー日時：2024年9月30日 13:00～16:00
3. インタビュー対象者：代表取締役社長 長谷川智寸様
4. インタビュー実施者：井門隆夫（井門観光研究所）

対象事業者（法師温泉長寿館）のヒアリング

1. 事業者名：法師温泉長寿館様
2. インタビュー日時：2024年10月2日 13:00～16:00
3. インタビュー対象者：代表取締役社長
4. インタビュー実施者：井門隆夫（井門観光研究所）

■ 貝掛温泉と法師温泉長寿館のヒアリング内容のまとめ

雪国観光圏では、TIMELESS YUKIGUNIの12軒をモデルとして、2022年度よりエコロッジを目指す取組みを始め、各施設へのヒアリングや、23年度にはワークショップを実施した。今回、ワークショップに不参加であった貝掛温泉、法師温泉について、ワークショップで挙げられた行うべき70項目の活動（アクティビティ）の実施状況を確認した。その結果、大分類「経済・コミュニティ」に関する22項目については、貝掛温泉が「帰る旅」を検討していない点以外は、すべて「実施もしくは新たに検討する」と回答を得ていずれも前向きな取組み姿勢を把握できた。

インバウンド比率は、貝掛温泉が10%（台・韓・中など）、法師温泉が5-10%（欧米豪・台など）といずれも高くはない一方で、インバウンド比率が高まると外国語対応や1人1室、滞在への取組みが発生すると思われる今後の課題である。法師温泉では「日本人が求めるおもてなし（コスト）」とのバランスが必要」との意見も挙げられた。

環境・文化協力金・寄付に関しては、地域で連携として実施という意見が多い中で、宿舎事業者である法師温泉は「今まで通り実施（すでに寄付等を得ている）」状況であった。

他施設との相違点として、いずれの事業者も「温泉の湯量および上水の水質に関して定期的にモニタリングをしている」点が挙げられた。とりわけ上水に関しては、他施設が行っていないのに対して、2社とも実施しており、国立公園内に位置する事業者として水質管理に対して対応していることが明示された。また、排水に関しても2社ともに再利用しており、排水にも慎重であることは、他施設にとっても環境保全意識に関して参考とすべき点であろう。

ごみの分別と3Rについても課題であり、利用客が持ち込んだごみの分別は両社とも実施済みであり、ロビーのごみ箱での分別がなされているが、使い捨て製品を減らす取組みや、食品廃棄物の再資源化は課題となっている。貝掛温泉では「自社でコンポストを設置できれば再資源化を行いたい」という意思があるが、購入コストが大きく環境省や町の補助を望んでいる。湯沢町にはリサイクル施設がなく、ごみ排出量が国内でも有数の多さであり、宿泊業における再資源化のモデルとして国立公園内の宿が果たすべき役割はあると思われる。

エネルギー使用と使用量削減に関しては前向きであり、法師温泉では清水を館内冷房に、温泉を暖房に使用しているほか、いずれも雪国に立地することから木造建築物の断熱性向上を図っている。ただし、化石燃料の削減や自然エネルギーの活用については取組み途上であり、さらなる意識向上と実践やその支援が必要と思われる。

総じて貝掛温泉と法師温泉については意識が高く、他の施設が挙げた項目の多くについて前向きにとらえていたことから、各施設の挙げた70項目をベースとしてロジックモデル案を作成した。

（次ページ以後、2025年1月22日にTIMELESS YUKIGUNIで、24日に観光圏戦略会議で報告した。）

■エコロッジ情報交換会開催

日時：2025年1月22日

会場：ryugon安穏亭

出席者：
（ryugon、井仙）
（雪国観光圏）
（ひなの宿ちとせ）
（井門観光研究所）
（法師温泉長寿館）
（酒の宿玉城屋）
（事業事務局）
（貝掛温泉）
（別邸仙寿庵、旅館たにがわ）

議題：ロジックモデルの事例共有と意見交換

- ・国立公園事業概要: エコロッジ事業概要と進捗状況を説明。
- ・ロジックモデル進捗: 生態系保全の結果、自然共生サイトの認定など先進的事例を紹介。
- ・ryugonの事例: 食の多様性や地域連携活動を通じた観光価値の向上。
- ・意見交換: アフターコロナの体験型ニーズ、排水管理、ゴミ削減など具体的提案。
- ・販売戦略概要: 市場分析と販売戦略、共同出展や「東京から最初の宿泊地」としての位置付けの検討。

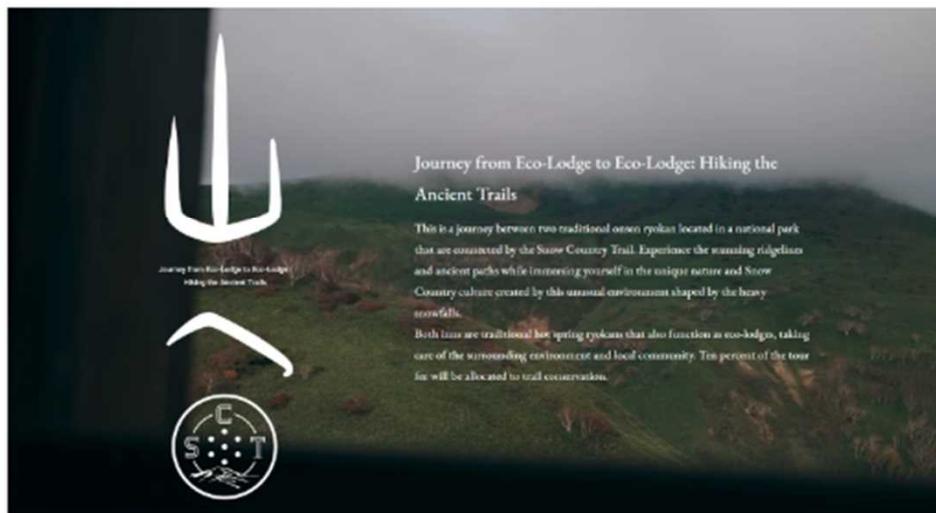
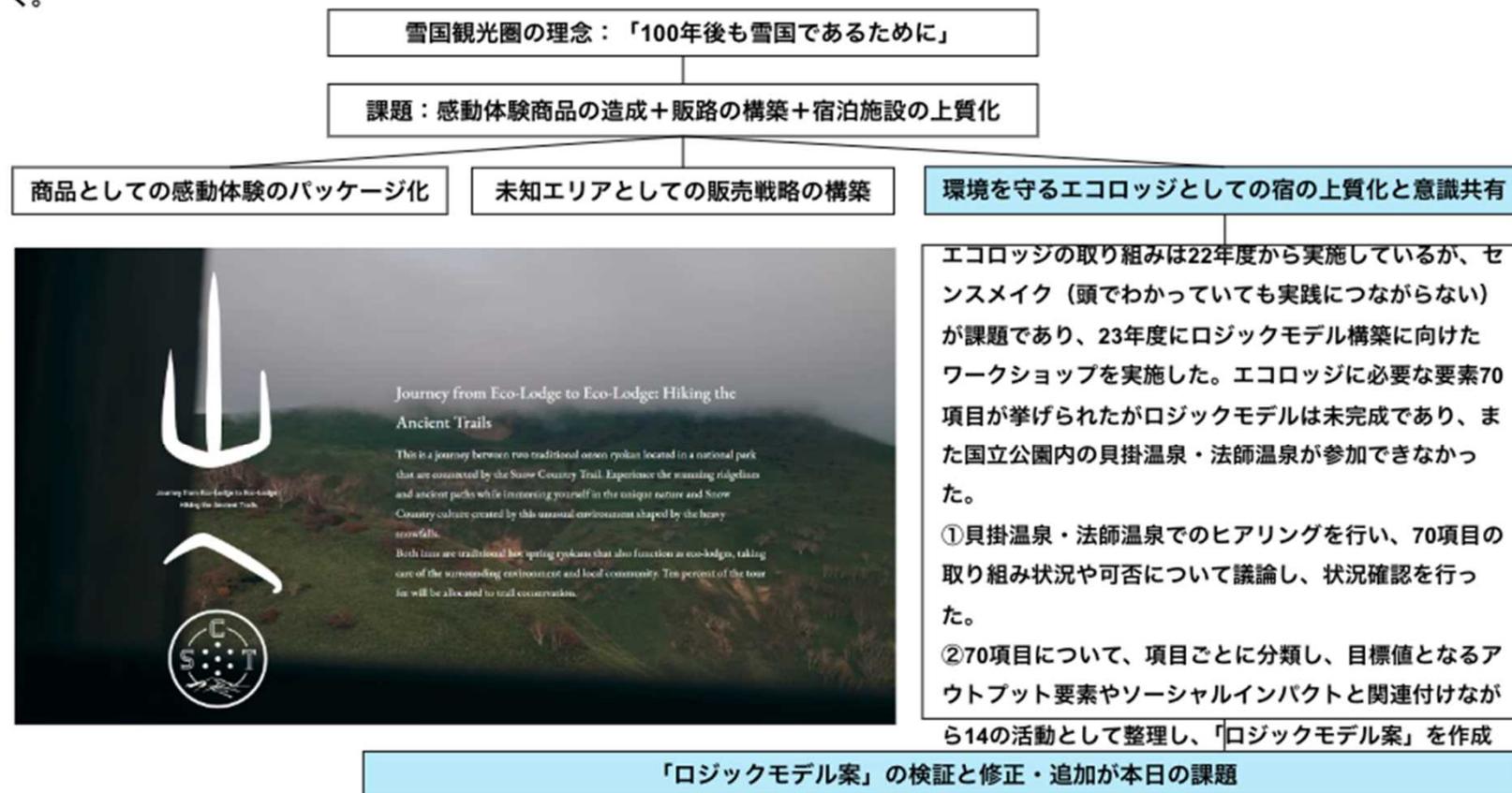


100年後も雪国であるために。
私たちができること。

ECO LODGES JAPAN
in YUKIGUNI

雪国観光圏 国立公園感動体験創出事業 エコロッジのロジックモデル構築に向けた取り組み

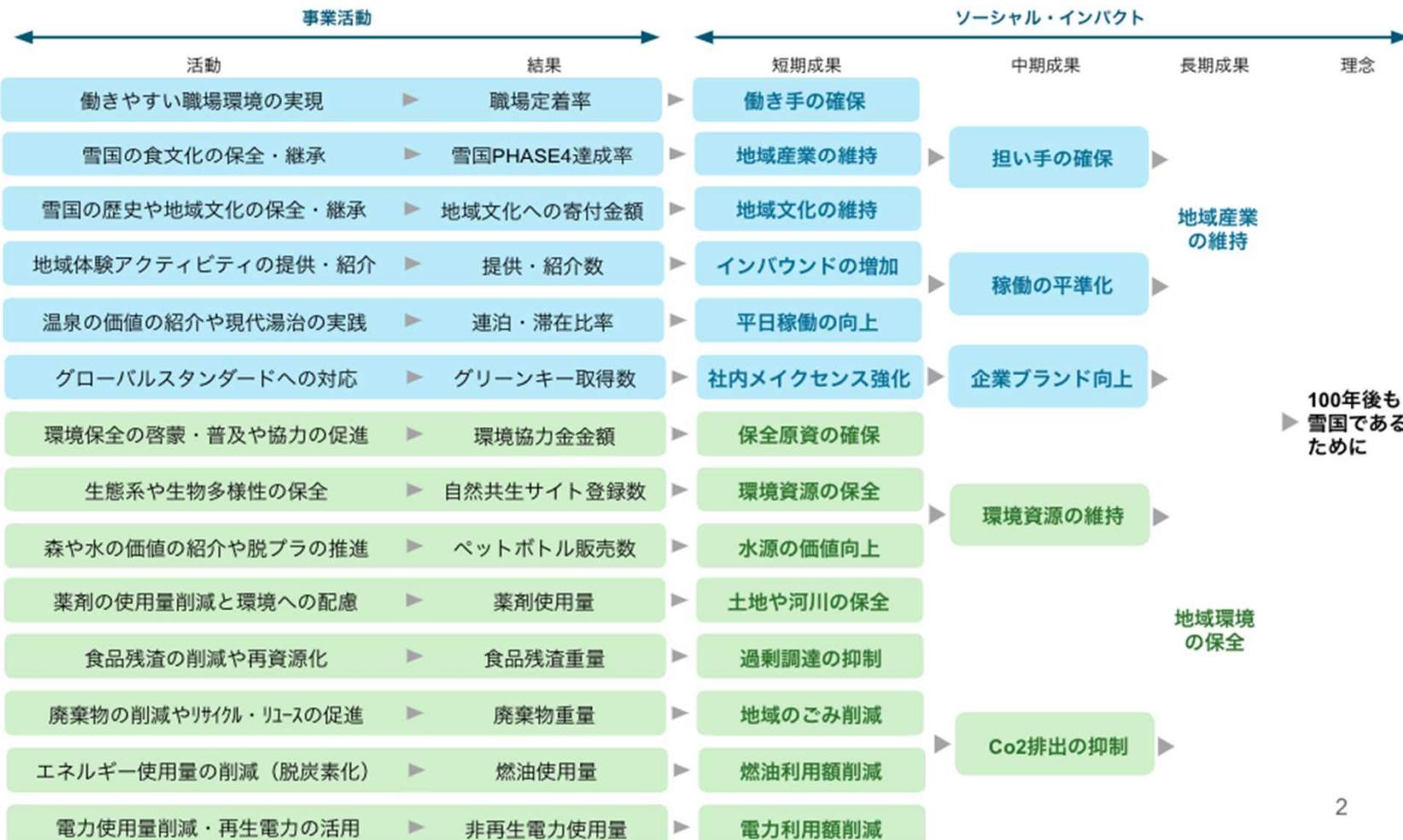
目的： 雪国観光圏の理念実現の手法として、SCTとエコロッジを活用した感動体験商品の造成を試行し、国立公園の価値を海外に発信していく。



100年後も雪国であるために。
私たちができること。

ECO LODGES JAPAN in YUKIGUNI

ロジックモデル2024 (案)



■ターゲット設定

■本事業の販売戦略策定調査によって抽出した2つのターゲット像と望まれる体験

欧米のユース層（18～35歳）

・一人旅市場は急速に拡大し、自立心や自己発見を求める起業家やデジタルノマド。テクノロジーに精通しており、旅行会社を選ぶ際は、口コミやインフルエンサーの情報、サステナビリティ認証などを参考に、持続可能性への取り組みが信頼できる企業を重視する。

欧米の中年層（36～55歳）

・経済的に安定した職業の従事者や夫婦で構成されることが多く、持続可能性への意識も高まっている。旅行会社選びでは、リラックス、アドベンチャー、文化体験などをバランスよく提供する企業を好む傾向がある。

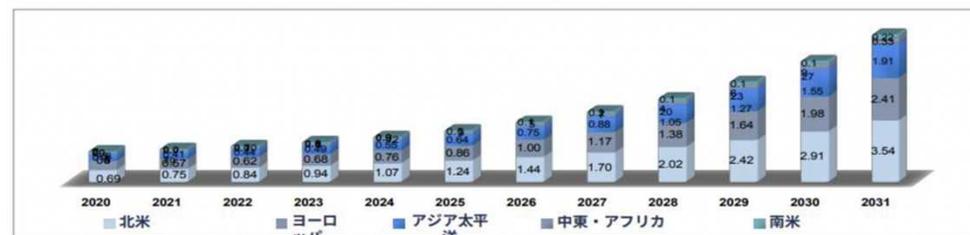
望まれる体験

・どちらの層も共通して人里離れた地域での没入型体験を好む傾向が強く、中年層はエコロッジ、リトリート、文化遺産、自然保護区などのコンテンツに特に関心が高い。ユース層は体験型旅行やATを好む傾向が強い。

■サステナブルツーリズムの市場分析

・サステナブルツーリズム（以下、ST）の市場規模は世界的に上昇傾向にあり、特に欧米地域において高い成長率が見込まれることから、本事業の重点ターゲットとして注目すべきである。また、雪国観光圏のようなDMOは、STのバリューチェーンにおいて基盤構築の初期段階にあるため、市場データと分析に基づく戦略的な販売アプローチが不可欠である。

世界的なST市場規模の推移2020年-2030年（地域別、1兆米ドル）



出典：FUTURE DATA STATSの“Global Sustainable Tourism Market Report”

・サステナブルツーリズム市場は、世界的な持続可能性重視の潮流に支えられている。買い手は比較的交渉力が高い傾向にあり、売り手は文化体験や地域密着型の体験など特色のある市場に特化することで、より強い交渉力を獲得できる。

・ST市場の多角的な分析から、この市場は主に北米と欧州で発展しており、20代から50代の単独旅行者が中心であることが明らかになった。各カテゴリーで旅行への期待や要望は異なるものの、それぞれの世代やセグメントにおいて雪国の特性と高い親和性を持つコンテンツが確認された。

・ST市場における消費者セグメント別分析：2024年時点でST市場の過半数を一人旅行者が占め、次いで家族旅行、団体旅行となっている。2031年までに一人旅行者の市場シェアはさらに拡大すると予測されている。

・ST市場における年齢別分析：2024年時点のサステナブルツーリズム市場では、18～35歳のユース層が半分以上のシェアを占め、36～55歳の中年層、56歳以上のシニア層が続いている。2031年の予測においても、この年齢層別の構成比に大きな変動は見込まれていない。

・北米のST市場は、特にアメリカにおいて顕著な成長を示しており、環境保護意識の高まりと政府の支援策により、年々その規模を拡大している。一方、欧州市場も、イギリス・ドイツ・フランスを中心として持続的な発展を遂げており、特に環境規制の厳格化や消費者の意識変化を背景に、サステナブルツーリズムへの需要が着実に拡大を続けている。これらの地域では、環境に配慮した宿泊施設やエコツアーの需要が増加傾向にある。

■プロモーション

ターゲットに訴求するプロモーションの創意工夫

- ✓ 本事業のプロモーション動画制作には、アドベンチャートラベルの動画クリエイター、エリナ氏を起用。理由：ターゲットに近いフォロワーを既に持っており発信力がある、ロングトレイルコンテンツを作っている、海外のマーケットにリーチしやすい
- ✓ 動画制作にあたっては、事前にツアーのストーリーを共有し、ツアーの背景や思想も含めて伝えたいという地域サイドの意図を伝えた。動画公開後、ツアーの背景ストーリーに共感するコメントが多く寄せられた。
- ✓ ランディングページでもエリナ氏の写真を使用し、イメージの一貫性を持たせた。
- ✓ 雪国観光圏英語サイトのSCTの記事のアクセスが動画公開後に増加。SCTへの関心が向上したことが確認できた。

LP制作

- <https://sct.yukigunijapan.com>
- 本事業で整理したストーリーをもとにランディングページを構成
- エリナ氏が制作する動画とのメッセージの一貫性を保つように留意した
- 動画からの流入がアクセス全体の2/3を占める。公開1週間のアクティブユーザーは120に留まっているが、ページスクロールが107と高い数値を示しており、エンゲージメントの高いユーザーが訪問していることがわかる。



映像制作・インフルエンサー活用

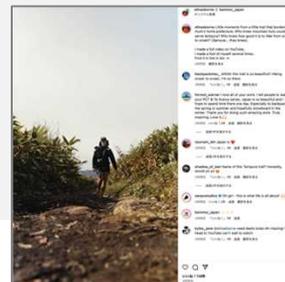
- https://youtu.be/9gm_DCf49E?si=ugSOyk5tQkqKCz_v
- エリナ氏が実際にツアーに参加した経験ストーリー映像を制作
- ツアーの内容紹介というより、トレイルの背景や思想についてのメッセージが軸となっている
- 「山への敬意」といったメッセージや「温泉と温泉をつなぐ」というコース設定に共感する内容のコメントが寄せられており、本事業のストーリーが伝わっていることが確認できた
- エリナ氏の映像から、LP、KammuiアドベンチャーURL動線

Youtube

- 公開後1週間の視聴数：17,179回／コメント数：69／いいね数：965

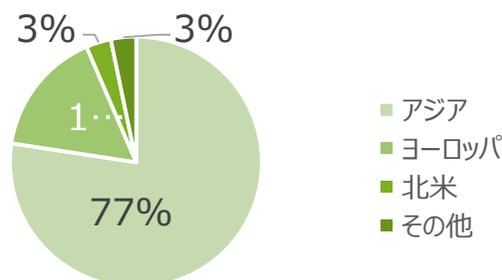
Instagram

- 1本目のリール動画：公開後1週間のいいね：1,120／コメント：20／視聴数2.2万
- 2本目のリール動画：公開後48時間のいいね：200／コメント：3／視聴数5,740



国別 VJTM2024にて商談を行った企業数とニーズ

企業の国籍	商談を実施した企業数	主なニーズ
中国	9	ビジネス旅行、工場見学、ゴールドンルート、果物狩り
シンガポール	7	独特な文化体験、果物狩り
タイ	3	軽めのアクティビティ、写真映える風景
スペイン	2	ゴールドンルート、スノースポーツ、温泉
マレーシア	2	独特な文化体験、アクティビティ、ゴールドンルート
アメリカ	1	日本らしい風景、独特な文化体験
イギリス	1	独特な文化体験、ハイキング
イタリア	1	ゴールドンルート、スノースポーツ、ハイキング
インド	1	日本らしい風景、独特な文化体験
オーストラリア	1	スノースポーツ
ドイツ	1	不明
フィリピン	1	独特な文化体験
ベトナム	1	日本らしい風景、独特な文化体験



2024年9月26日～28日に開催されたVJTM2024では、31社との商談を実施した。



商談先31社の内訳は、アジアのバイヤーが24社（約77%）を占め、そのうち中国のバイヤーが約29%であった。アジアのバイヤーは、地域固有の文化体験に強い関心を示す一方、ハイキングやトレッキングなどのアウトドアアクティビティへの関心は比較的低かった。

また、インセンティブ旅行を主力とする企業が多く、工場見学やゴールドンルートへの需要が顕著であった。

ヨーロッパのバイヤーは全体の16%を占め、ハイキングやスノースポーツなどのアクティビティや、ゴールドンルート以外の新興観光地への関心が高かった。特に、イギリスのバイヤーはレスポンシブルツーリズムを推進しており、当事業との親和性が高いことが判明した。また、イタリアの日本旅行取扱企業とは、商談後にモニターツアーの参加が決定した。

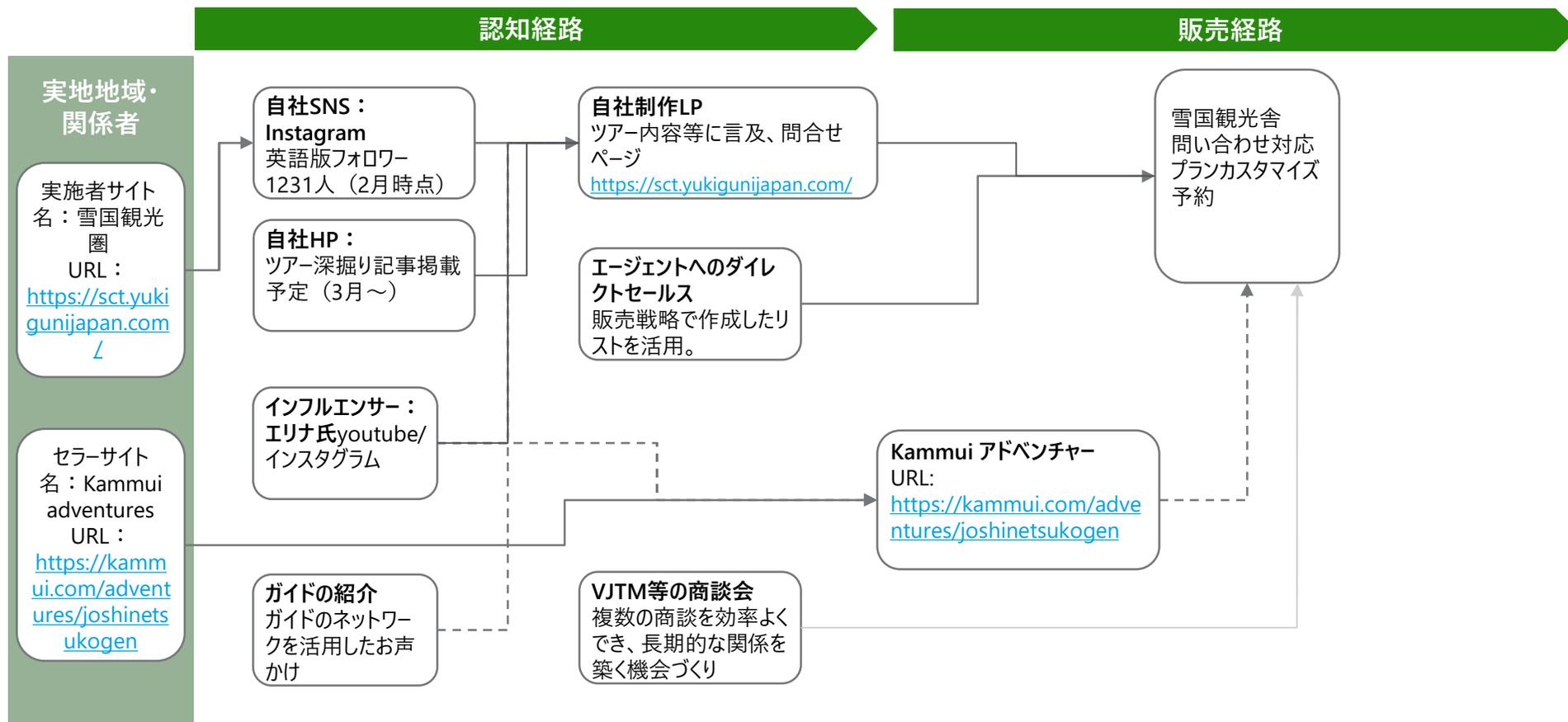
オーストラリアのバイヤーはスノースポーツに強い興味を示したものの、宿泊施設の予約開始時期が課題として浮上した。

また、商談を通じて、ウェブサイト上で現在提供している既存のツアーとは異なる新たなニーズも発見された。アジア・ヨーロッパのバイヤーの一部は雪景色に関心を示し、冬季ツアーの開発を求めている。

また、ゴールドンルートを主力商品としながらも、新たな観光地の開拓を目指すバイヤーが多く見られた。

これらの結果から、当事業の販路開拓においては、特に需要の高いヨーロッパ・オーストラリアのバイヤーとの商談機会を得られる展示会への継続的な参加が重要であると考えられる。

■ プロモーション・販売チャネル



認知施策上の工夫・KPI

- ガイド体制及び自然保護の観点から、不特定多数への情報拡散ではなく、取り組みに共感してもらえるターゲットに向けて、発信方法を絞り、段階的に認知を高めていく。
- 毎月1回エージェントへニュースメールを送り、関係性を築いていく

販売施策上の工夫・KPI

- 雪国観光舎で顧客の一元管理を行い、品質管理を徹底することで、ツアー価値を高める。→UGCでの高評価・発信拡大を図る。特に印象的な投稿をHPで取り上げ新たな投稿者を鼓舞したり、同じテーマで投稿できる#タグを設けたり、絶景を見た瞬間や、地元の人々との交流など投稿してもらえるよう参加者へ声掛け。

■ 販売実績（本年度）

エコロッジからエコロッジへ古道を歩く旅

- 本年度は販売前に、グリーンシーズンの終了となったため、実績なし（自社サイト、Kammui アドベンチャーで販売開始）
- 内容
 - 本年度造成したツアーをモデルコースとして販売
エコロッジの宿（貝掛温泉・法師温泉への）宿泊、
三国街道、スノカントリートレイルのトレッキングと山小屋泊
周辺の地域文化の体験
 - 要望に合わせて、カスタマイズ提供
- ターゲット
 - 欧米のアドベンチャータラバラー、ロングトレイルファン
 - 地域の文化・人・自然への関心が高い層
 - 少人数のプライベートグループ
- 販路
 - 本年度は、モニターツアー実施後、シーズンアウトしたため、販売を行えていない。

	R6実績
販売単価（千円）	420
販売人数（人）	0
売上（千円）	0
営業利益（千円）	0
営業利益率（%）	0

実施ツアートリフ

エコロッジからエコロッジへ 古道を歩く旅

プラン概要	雪の山頂にある上信越高原国立公園の山頂スノカントリートレイルを歩く旅です。絶景の山頂や古道を歩ける1日、世界でも珍しい雪国山頂の自然と雪国文化を体験しよう。今回は、今後のトレイル高谷造成の参考にさせていただいたため、モニターツアーを実施しお申し込みの方を募集します。		
販売期間	2024年10月21日～10月24日		
販売希望価格（税込）	155,000円/お1人あたり ツアー代金の一部をトレイルの保全に充てられます。		
料金に含まれるもの	交通費、宿泊費3泊4日、食事代、服装代、保険代、トレイル保全協力金		
料金に含まれないもの	半合宿所までの交通費、解散後の交通費、飲み物代等		
プラン詳細-行程	<p>1日目：移動 越後湯沢駅までガイドが出発し、雪国ユースタムと文化の町について学びます。その後、1泊目の宿泊先である貝掛温泉のエコロッジへ。夕食前にトレイルの歴史や登山時の注意事項などをご説明します。翌日からトレッキングに備えて温泉に浸かってリラックスしてください。</p> <p>2日目：山頂までトレッキング 早朝に出発し、中谷のグムライの滝を歩きます。いくつかの峠を越えたら、雪山道で山頂に向かいます。絶景の山頂を歩いて平岳山の頂を昇る長いトレッキングとなります。この日は、朝3代までトレッキングが終わった山小屋に泊ります。</p> <p>3日目：エコロッジまでトレッキング 朝食後に山頂を出発し、雪山道を下って谷の古道へと歩きます。谷の中の古道は、中谷のグムライの滝跡もあり、歴史を学ぶことが出来ます。古道から歩いて、法師温泉のエコロッジに到着。翌日あるべき道の温泉でトレッキングの疲れを癒していただきます。</p> <p>4日目：出発 朝の温泉に浸りながら山頂までトレッキングの疲れを癒していただきます。</p>		
所要時間	3泊4日	最少参加人数	4名
最少参加人数	1名	最大参加人数	8名
手付金日	10月15日	在庫状況	無
種別の対応言語	日本語、英語	料金支払の対応言語	日本語、英語
予約通知先	一般社団法人雪国観光圏		電話番号 025-785-5353
	メールアドレス	hosoya@yuzawaonsen.co.jp	FAX番号 025-785-6767
予約必須事項	メールアドレス、お名前、性別、年齢、住所、当日の連絡が可能な番号、緊急時の連絡先、登山経験、アムネジーの有無		
取消料	①旅行開始日の前日以前にキャンセルしていただく場合は前日以前に解除 無料 ②旅行開始日の前日以前にキャンセルしていただく場合は7日前に当たる日以降に解除する場合 旅行代金の30% ③旅行開始日の前日に解除する場合 旅行代金の40% ④旅行開始日当日に解除する場合 旅行代金の50% ⑤旅行開始後の解除又は無連絡不参加の場合 旅行代金の100%		
集合場所-時間	越後湯沢駅西口 雪国観光圏	13:00	
その他（注意事項）	※ 雪崩は2名1層まで利用いただけます。山の事は国策や、お風呂、シャワーはありません。 ※ 天候等の状況によりコースや時間が変更になる場合がございます。 ※ 荒天の場合はツアーを中止する場合がございますので事前にご連絡いたします。 <服装と持ち物> ・長靴、長ズボン、防寒着、雨具上下、手袋、帽子（防水性ならなお良い）、靴下、トレッキングシューズ ・飲料水1.5L程度、行動食、ヘッドランプ、携帯電話と予備のバッテリー、リュックバック、レジャーシート、筆記具 ・その他必要と思われるもの（防寒具、タオル等） お酒と便利なもの ・パンケース（食料は2人1日分はあらかじめ、お持ちください）		
お問い合わせ先	一般社団法人雪国観光圏		担当部署 観光
	電話番号	025-785-5353	FAX番号 025-785-6767
	メールアドレス	hosoya@yuzawaonsen.co.jp	

戸隠地域の高付加価値ストーリーを国内外に発信する 戸隠観光振興イノベーション事業

株式会社戸隠

National
Parks
of Japan



取組概要

国立公園指定書主題（テーマ）：火山・非火山の結集地～大地の営みとそれに寄り添う人々の暮らし・信仰が紡ぐ風景～

気候条件も含め特異で厳しくまたすばらしい自然の営みと、それに調和したそこから恵みを受けた独自の文化や山岳信仰等が相まって作り出してきた特異な風景。

本事業・本ツアーのストーリー（来訪者と共有したい価値）

- ・千年以上にわたり、幾度の宗教変動や時代の移り行く中で、形を変えて現代までつづいてきた戸隠の信仰や概念を知る。古くから変わらずあり続ける自然、水を肌で感じ、戸隠の深い文化、歴史を理解する。
- ・古来、信仰の対象として深く文化の残り、その自然への崇拜もされて来た戸隠において、観光地の見学だけでなくアクティビティや関係者の解説などの接点を通して、未来に向けた保護の必要と自然への貢献を感じ、今後の人生の価値観に変化を促す。

本事業で活用する資源とテーマ

- ・戸隠神社、保護区から湧く水、食文化、地域の信仰と歴史

望まれる来訪者の体験、来訪者の意識/行動変容

「一目五山」といわれる景色を絶景という言葉だけで終わらせず、その景色の中に伝わり守られてきたストーリーとそこに暮らす営みを感じられる目線と気づきを与えたい。感動する景色にはそれを守ってきた人や想い、仕組みがあることに気づきを受ける。今後の観光地訪問に限らず、普段の生活における水や自然への価値観を振り替えるきっかけとなる決定的な体験。

来訪者（ターゲット）

30代後半～60歳代のアクティブシニア、国立公園・環境保全に興味がある富裕層向け（台湾、香港、中国、シンガポール、オーストラリア）
訪日が数回目であり、王道の日本コンテンツは体験済で、ゴールドルート（東京京都大阪）以外の訪問を考える訪日リピーター、自然環境に興味のある顧客

ツアーの概要とメイン自然体験アクティビティ

- ・長野市から善光寺を巡り、戸隠地域内へ。歴史文化の他食文化の体験
- ・戸隠神社奥社を最終日に参拝し、歴史の深さ、自然を体験いただく。

設定KPI/KGI

R6：目標売上1,500,000円（@150,000円×10名）

想定費用1,500,000円（モニターツアー経費@150,000円×10名）

想定収益 0円

R7：目標売上24,000,000円（@200,000円×30名・@50,000円×360名）

想定費用21,600,000円（収益率10%にて算出）

想定収益2,400,000円（収益率10%にて算出）

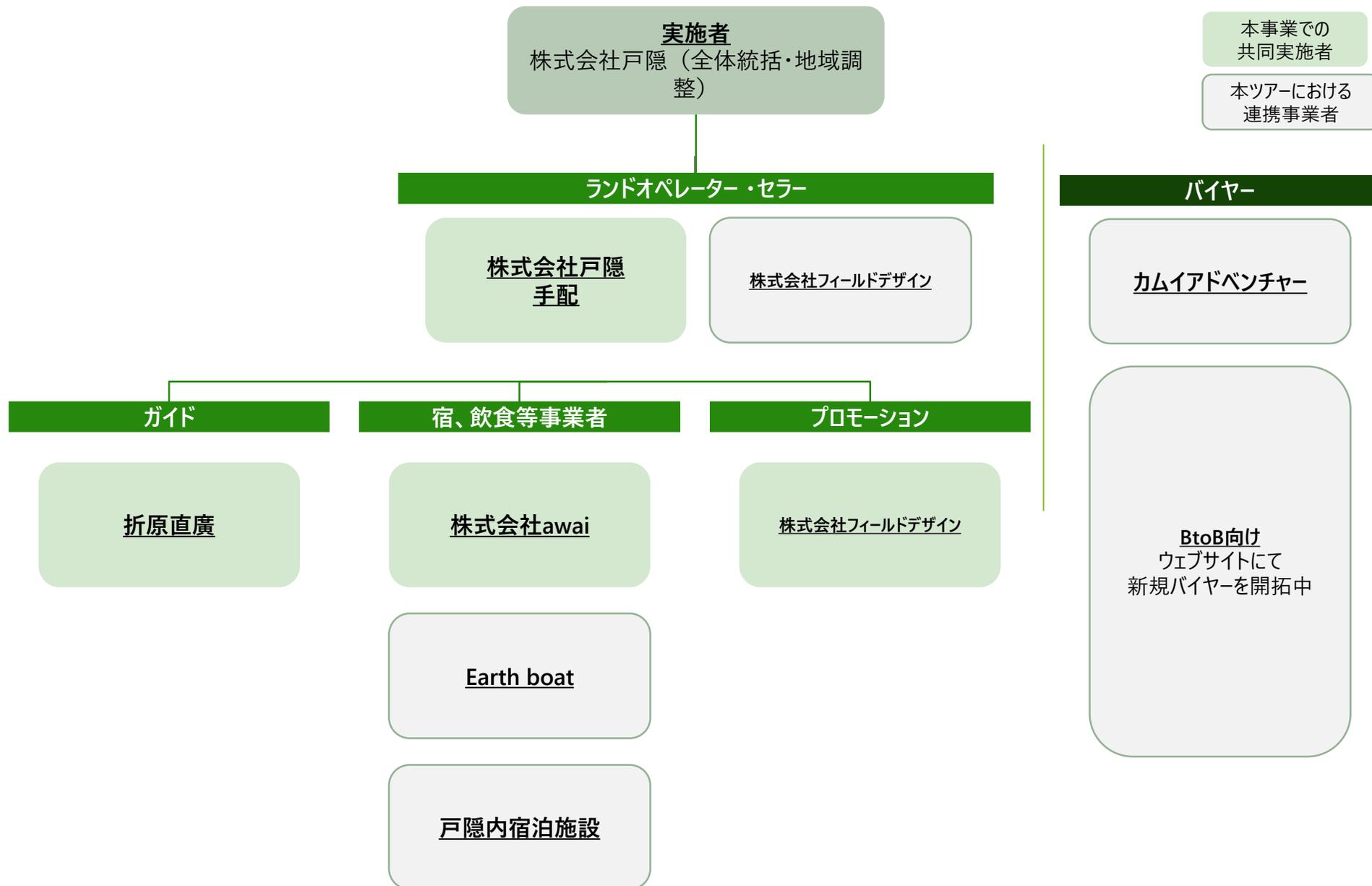
R8：目標売上52,500,000円（@200,000円×90名・@50,000円×690名）

想定費用47,250,000円（収益率10%にて算出）

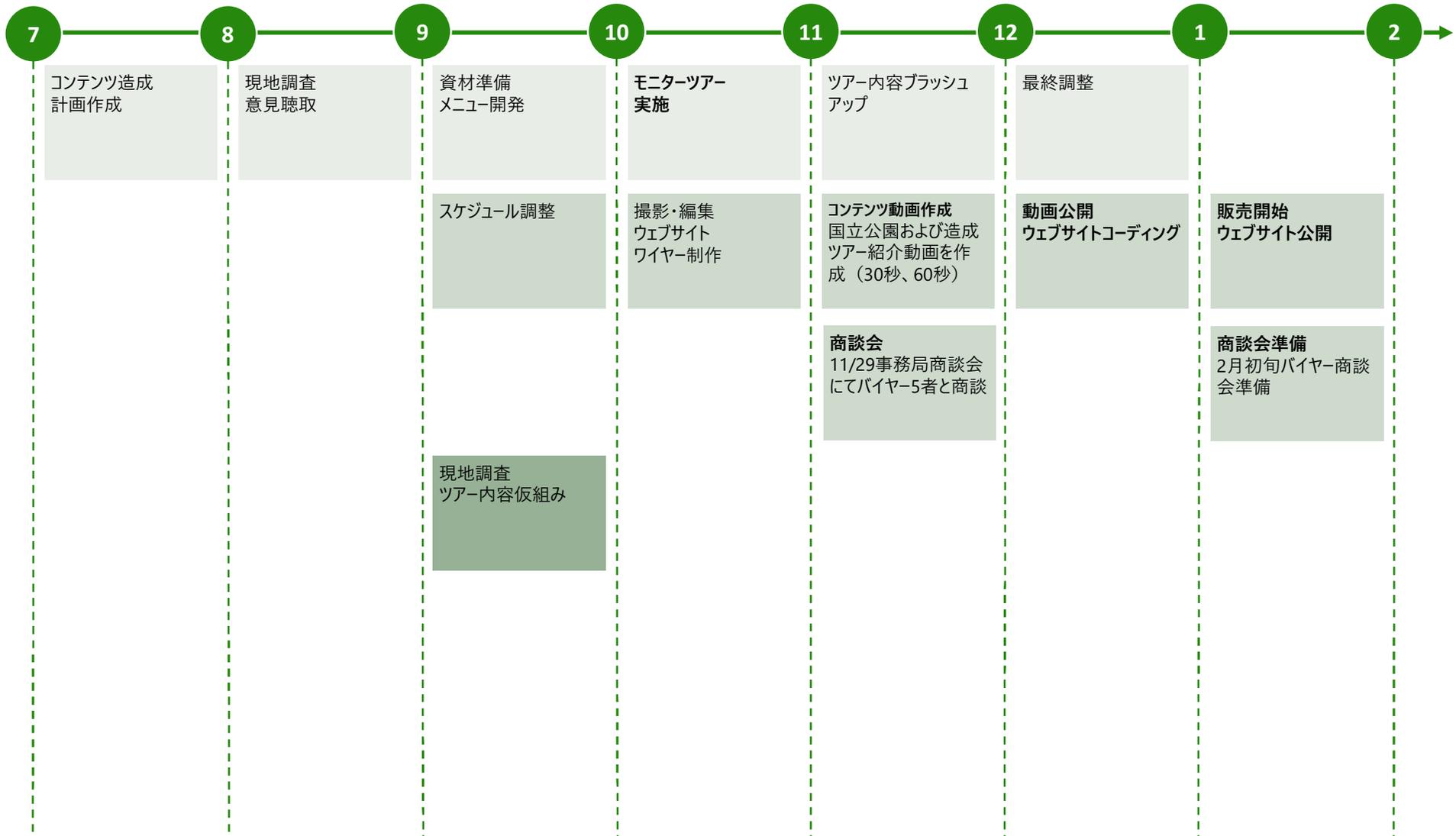
5,250,000円（収益率10%にて算出）

保護と利用の好循環

ツアー参加費用の中に、環境保全活動費用を含めることで、参加することで環境保護に貢献できるようなツアーとする



アクティビティツアー造成関連
 プロモーション・販路開拓関連
 その他（現地調査、研修等）



事業の実施・成果等

■水が紡ぐ命の物語、長野県戸隠の神秘を探る旅

ツアー・アクティビティのストーリー

戸隠の自然と信仰が織り成す特別な旅へ。戸隠の水の神である九頭竜が守る神聖な水源に触れ、荒々しい戸隠山の神秘を感じます。神社参拝や絶景での食事、そば作り体験を通じて、水によってもたらされた文化に浸りながら、日本の先人が長きにわたり守り、そしてこれからの未来の自然保護と信仰の調和を考える時間を過ごしていただきます。戸隠の美しい自然の中で、私たちの生き方を見つめ直す旅へと誘います。

ツアー行程

1日目：長野駅集合（13:00）・・・善光寺（参拝）・・・戸隠中社（特別参拝） == 戸隠まち歩き == 宿泊施設（特別ディナー）

2日目：宿泊施設 == まち歩き（宝光社・火之御子社・中社）・・・E-BIKE体験 ----- 戸隠スキー場（絶景ランチ） ----- 戸隠そば打ち体験・・・宿泊施設

3日目：宿泊施設・・・戸隠奥社 == 鏡池・・・戸隠キャンプ場（旅の振返り）・・・長野駅解散（12:00頃）

=== : 徒歩での移動

... : タクシーまたは自動車での移動

----- : 自転車移動

■催行期間：4月～11月

■販売価格：390,000円（2泊3日/1人当たり）



戸隠街歩き

重要伝統的建造物保存群の戸隠エリアを巡る。茅葺き屋根と宿坊の紹介を合わせ、戸隠の歴史を体感する



茅葺の家

戸隠の文化でもある茅葺の屋根の施設で宿泊。古い建物の新たな活用を見せる。



食文化体験

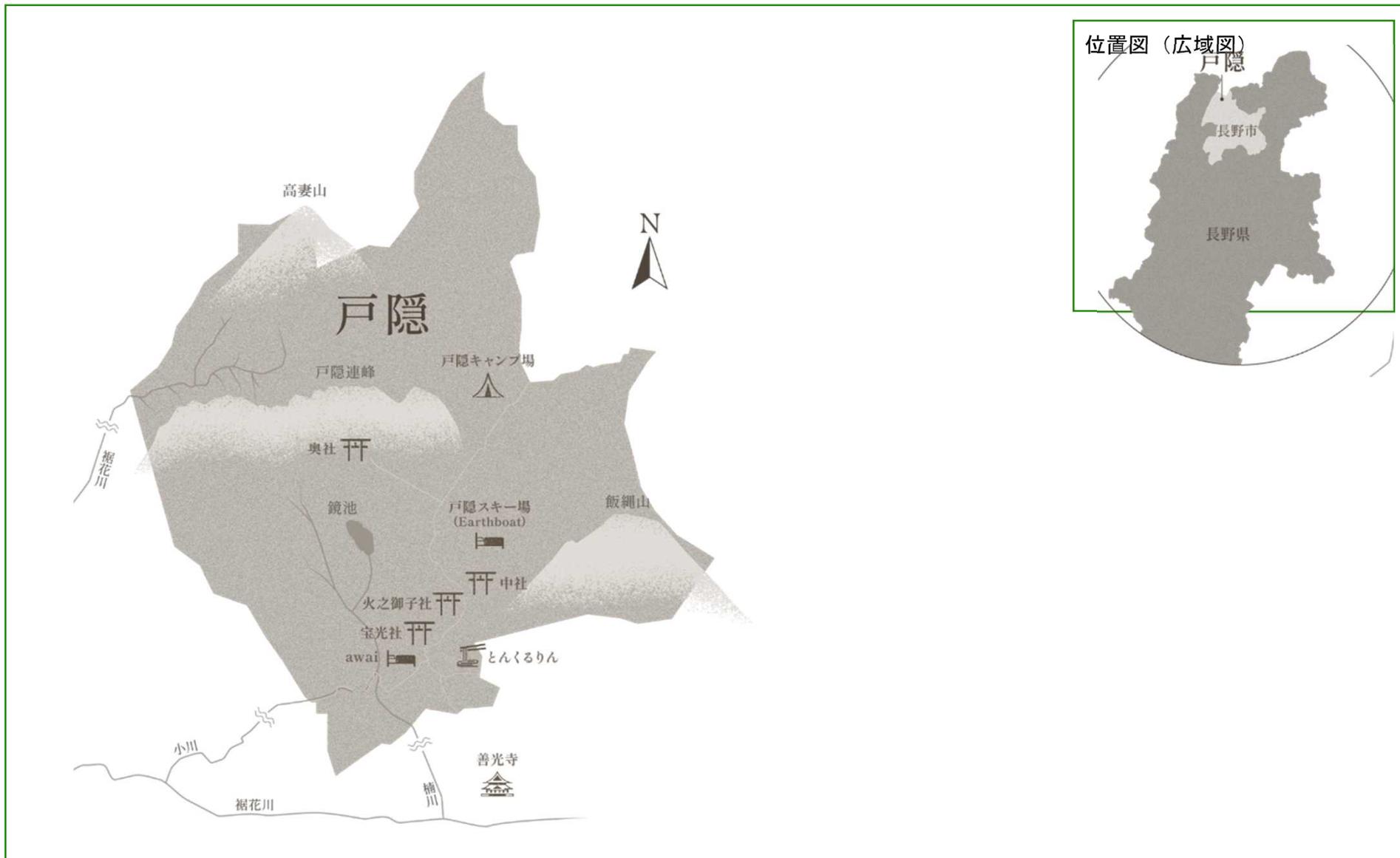
戸隠の食文化である蕎麦打ちの体験。戸隠の水のストーリーを伝える



地元職人とのふれあい

竹細工の職人の元を訪れ自然と文化の結びつきを感じる

■ ツアー行程図



■地域の受入体制、オペレーション構築

	対象	利用する地域資源・伝えるストーリー	本事業での取組事項
宿	awai 茅葺の家	自然・歴史との結びつきを感じることのできる施設。茅屋根の結など日本の暮らしを実感できる。	インバウンド、上質な体験との融合。食事の現地提供。特別な空間演出。
	宿坊	信仰の歴史、宿坊文化の体験。戸隠らしい滞在のスタイルを提供することでより深い神道の信仰を学ぶ事ができる	宿坊ヘインバウンド宿泊の提案。インバウンド受け入れの可否などの確認
アクティビティ	E-MTB	怪無山までの特別ルートを走行し、自然の豊かさを実感	ゲストの体力レベルの確認。負荷の確認。
	蕎麦打ち体験	戸隠の食文化体験として蕎麦打ちを実施	上質なゲストにも対応が可能か、満足度の調査
ガイド	スルーガイド	長野駅から同行するスルーガイドと共に善光寺、戸隠神社を巡る。	インバウンドに対応したスルーガイド付きのツアー実施
食事	食体験	信仰の起源でもある“水”をテーマにした戸隠の食の提供	(株) awaiのシェフによる戸隠のメニュー開発 インバウンド対策・特別な食事提供
ランドオペレーター	株式会社戸隠	戸隠の地域資源、文化資源を活用	地域資源の掘り起こし、観光エリア、観光協会との調整。
交通	貸切タクシー	長野駅からの送迎をする事でゲストに安心感を与え、善光寺を経由することで戸隠との繋がりを理解できるようなツアーとする。	タクシーをプランに取り込むことで移動を容易とした。
販路	販売チャンネル	富裕層インバウンド向けの販売チャンネルがなく魅力的コンテンツがあるにも関わらず、販売できていなかった。神社、食文化を活用したツアーを販売。	kammui、その他バイヤー等での販売

■ インバウンド対応における工夫点

ストーリー/ツアー実施の工夫

・ツアーの流れ

計画当初は絶景を前に滞在できるキャンプ場の利用、戸隠の忍者をテーマにしたアクティビティなどをインバウンドが好みそうなコンテンツを盛り込んでいましたが、大衆的な施設の利用や高級志向な建物の利用は避け、ツアー全体の流れ、参加者にとってツアー全体の一貫性があり、プライベート性の高いコンテンツの提供をし、質を上げることにシフトをした。

今回のツアーでは戸隠の醍醐味である戸隠神社奥社参道を旅のピークに設定し、自然の風土、地理、植生などからなる戸隠の自然信仰、古くから戸隠に存在した九頭竜の神様を祀った水の物語、食文化など外側から少しずつ戸隠を理解し、最終日の早朝に戸隠の心臓部である奥社を歩くことで魅力を伝えるようツアー全体の流れを重視してスケジュールを作成した。仏教、神道の伝え方については理解が難しい部分が多く、説明的なものになるので、自然信仰というテーマで、空間自体を楽しめる構造とすることで参加者の満足度を上げる工夫をした。

・水をテーマに様々な水に関連する体験

神社はもちろん、食事、蕎麦作り等も水がキーワードになり、一貫した内容をツアーに含める。

水と自然信仰の結びつきや、暮らし、文化、自然環境への影響などを伝えられるよう、要所で体験する事で伝えるよう工夫した。

水と食の結びつきを感じられるよう、蕎麦打ち体験を入れ込み、水の素晴らしさと文化との結びつきを体験できるものとした。戸隠の良い水と歴史的な背景から存在する食材（蕎麦）を表現する上で実際に調理し味わうことで価値が上がると考え、ツアーに組み込んだ。

ガイドング/スケジュール

・適切なガイド

お客様には最低限のガイドとし、感じていただく時間を取ることを意識し、知識を詰め込むようなガイドはせず、自然の中の静かで神秘的な空間を体験いただく。計画段階では説明的な部分や全体の流れを伝えるようなガイドングを予定したが、特別な空間ではゲストそれぞれの感じ方、楽しみ方があるので説明はせず、空白の時間を提供した。

・時間の調整

決まった時間でツアー自体を構成するのではなく、ゲストの方の休みの時間、自由時間を多くとり、余白を十分に作る。

自身で興味のあることを調べたり特別な体験を感じる時間が必要。

・食事を特別なものだけにしない

高付加価値のツアーではあるが、全てスペシャルな食事にしない。

ゲストの方に負担にならないよう、特別な食事は1日1回の提供とする

毎回スペシャルな食は運営側にもゲスト側にも負担となりやすいので、簡単に済ませる回をあえて設けることが重要だった。

■ インバウンド対応における工夫点

地域食材

■ 地域食材

・水をテーマとした戸隠で味わうフレンチ

水をテーマとすること地理的な特性や、水に紐づく食文化など、独特な視点を体験いただける。地域内に数少ないフレンチを提供することで特別性があり、富裕層にもフィットした食事を提供する。

・戸隠そばの体験

地域にある体験施設を利用した蕎麦打ち体験だったが、一般のお客様とは被らない時間帯にセッティングすることで施設サイドにも負担が掛からないオペレーションとし、特別感を演出することを意識した。

蕎麦打ち体験自体は各地で実施しているが、信仰と水、気候など、戸隠でしか味わえない風味などを自ら調理することで独特な食文化を体験いただく。また、戸隠信仰（九頭龍＝水の神）のストーリーを表現する為、自ら調理する体験を含めた。

・出張シェフ

出張ディナーを実施することで価値を提供する。ゲストの居心地が悪くならないよう、必要最低人数でオペレーションを組むように工夫。夕暮れ時間を楽しめるよう、外にタープを設置、焚き火を見ながら過ごしていただけるよう工夫した。

毎回特別な料理はゲストの負担が大きく、1日1食を特別な料理にし、ゲストにも運営にも負荷が少ない食事を心がける。

地域関係者等との接点の創出

■ 戸隠地域で暮らしている人との接点

・関係者のみで完結させず、必ず地域の方との接点ができるようツアーに工夫をする。

竹細工の職人の方や生産者、そば店の店主などここでしか出会えない人との接点がツアーの価値が上がる。

今回のモニターツアーでも街歩き中に職人の方のお店に立ち寄った際、ゲストが作品について、自身から話を聞きたいと興味が湧いており、地域性の高い商品と製作風景を見ることができ満足度が高かった為、ツアー途中で時間を設けるなど工夫することが重要と考える。

■ 地域の調整役

・地域内の調整役を必ず入れることでツアー実施前後での細やかなスケジュールリングの他、緊急時の対応などができる。

■現地調査（阿蘇くじゅう国立公園）



■地域特有の資源の活用

カルデラ、草原など独特な地形と環境の中での人々の営みと野焼き等の環境維持活動など、環境、課題等は全く異なるが、戸隠地域でも活かす事ができる活動も多く、参考になった。特に野焼きのボランティア活動などは同じような植生の茅など収穫、活用など参考になる事例が多くあった。今後戸隠でも参加型のイベントを実施し、茅葺の刈り込み、活用などのワークショップ、研修等を実施し、地域と地域外の方で協力ができる仕組みを作りたい。

■時間の余白を作る

景色を見ながら寛げる時間を取ることで、ゲストの方に余白を作ることができる。
忙しくスケジュールを作り込まず、余裕を持ったツアーを作ることによって満足度が上がる。
多くを語らず、ゲストの興味を惹きつけるようなプランニングを行うことで自然とコミュニケーションが生まれる。

■モニター/FAMツアーレポート

モニターツアー行程

DAY	到着	出発	内容
【1日目】 10月9日 (水)	11:00		打ち合わせ
	12:00		長野駅集合
	12:30	14:00	善光寺参拝 (中央タクシー)
	15:20	16:30	戸隠神社 中社 (正式参拝) ・まちなみ
	16:30	17:00	awai茅葺 休憩
	17:00	20:00	awai茅葺 出張シェフディナー
			awai茅葺 宿泊
【2日目】 10月10日 (木)	7:00	8:00	awai茅葺 朝食 (シェフ同行かは当日判断)
	8:30	9:00	お客様 (E-バイク)
	9:10	9:30	宝光社
	9:30	9:50	火之御子社
	11:30	12:30	戸隠スキー場 (山頂でのランチ) 10:15スキー場集合
	13:00	14:30	まち歩き
	15:00	17:00	蕎麦打ち体験
	17:30	19:30	awaiでのディナー (蕎麦含む)
	19:30	19:40	送迎
	19:40		awai茅葺 宿泊
【3日目】 10月11日 (金)	6:00		awai茅葺ピックアップ (10:30 鏡池迎え)
	6:15		奥社
	7:30	8:00	途中で朝食
	10:30		鏡池
	11:00	13:00	戸隠キャンプ場でバーベキュー
			タクシー移動
			※戸隠キャンプのトレーラーとアースポートを視察
14:00	16:00	長野駅	

モニターツアー参加者

氏名 (国籍)	プロフィール
(カナダ人)	ニセコ観光協会代表取締役 飲食・ホスピタリティスペシャリスト バーGyu+共同オーナー ガイド経験者として、ホスピタリティー目線で調査が可能。
(フランス人)	ビジネスコネクター 小売、マーケティング ホスピタリティコンサルタント ブランドと人々を日本とつなぐ専門家。 マーケティング目線で、調査が可能。
(ブラジル人)	クリエイティブディレクター カメラマン コンテンツをクリエイティブ目線で、調査が可能。
(日本人)	長年ニューヨーク市に住んでいた現代アーティスト。 世界中での展示で現代アート界において高く評価されている。 日本、海外の両視点でコンテンツ調査が可能。
(イギリス人)	Kammuiの創設者。日本とイギリスのバックグラウンドを持つマックス・マッキーは、東京を拠点に活動する企業家。 海外に対応した、旅行会社目線で調査が可能。
担当：スルーガイド 折原直廣	海外で長年ガイドを経験。帰国後は星野リゾートでコンテンツ開発を担当。前職環境省では、妙高戸隠連山国立公園でレンジャーとして活動し、地域とのつながりも深い。



モニターの方は著名人にご参加いただき、各自のSNSや動画、撮影の協力を得た。知名度、認知の拡大の為に、発信力、影響力のある参加者の協力が必要であり、口コミや紹介などが生まれやすい。

又、様々な施設や体験をしている方が多く、求めているターゲットに近い人が多い為、著名人のゲストに体験いただくことにはメリットがある。

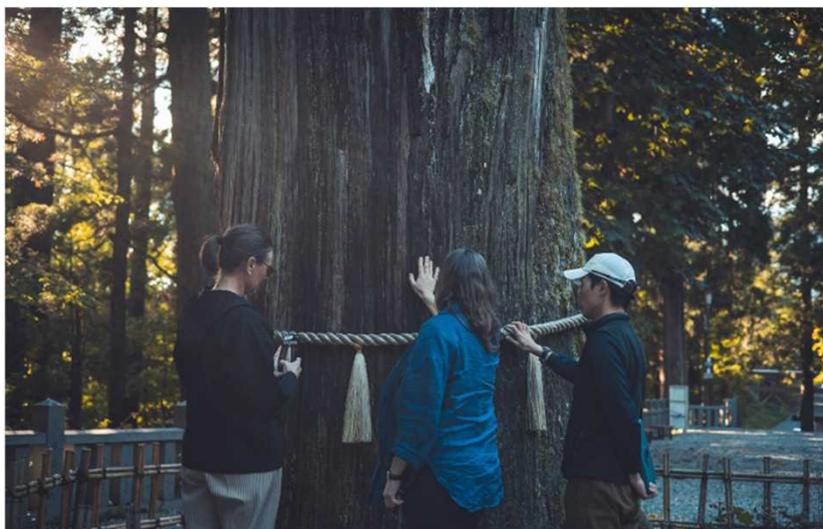
モニターツアー実施

善光寺



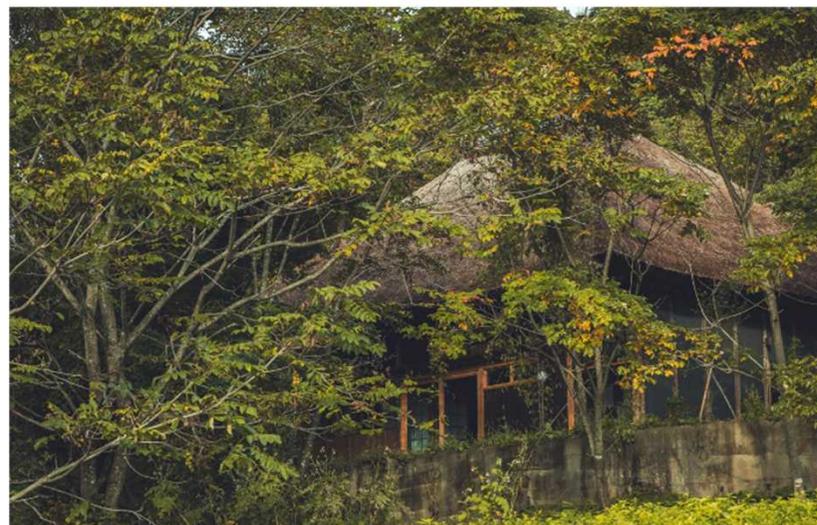
モニターツアー実施

戸隠神社・中社



モニターツアー実施

awai・一棟貸し宿



モニターツアー実施

戸隠まち歩き



モニターツアー実施



モニターツアー実施

戸隠スキー場スペシャルランチ



モニターツアー実施

蕎麦打ち体験



■ 保護と利用の好循環

ツアーに参加することで国立公園の環境保護に貢献できる仕組み

■ 環境保護

・ツアーの参加費の中に環境保護活動費用を一部含めることで参加者が増えるにつれて活動費が増える仕組みを作る。実際に国立公園内でのアクティビティ、神社参拝など歩いて自然を体験いただく中で環境への配慮や循環についてガイドが説明できる時間を作る。

・ツアー内にも環境への配慮

プラスチック製品やビニール製品を極力排除したツアーとし、リサイクルできる物を利用する。
ランチで提供する皿や箸等もできるだけ食器を使い、実施者側からも環境に考慮した取り組みを行うことで環境に負担を掛けないツアーとする。

・今後の環境保護活動への貢献

本事業において一部の費用を環境保護活動費に充てる事で、遊歩道の整備、外来種の駆除活動等を実施することができる。又、トイレの整備や給水の施設など将来的に整備できるよう計画していく。

■ターゲット設定

モダンラグジュアリー層

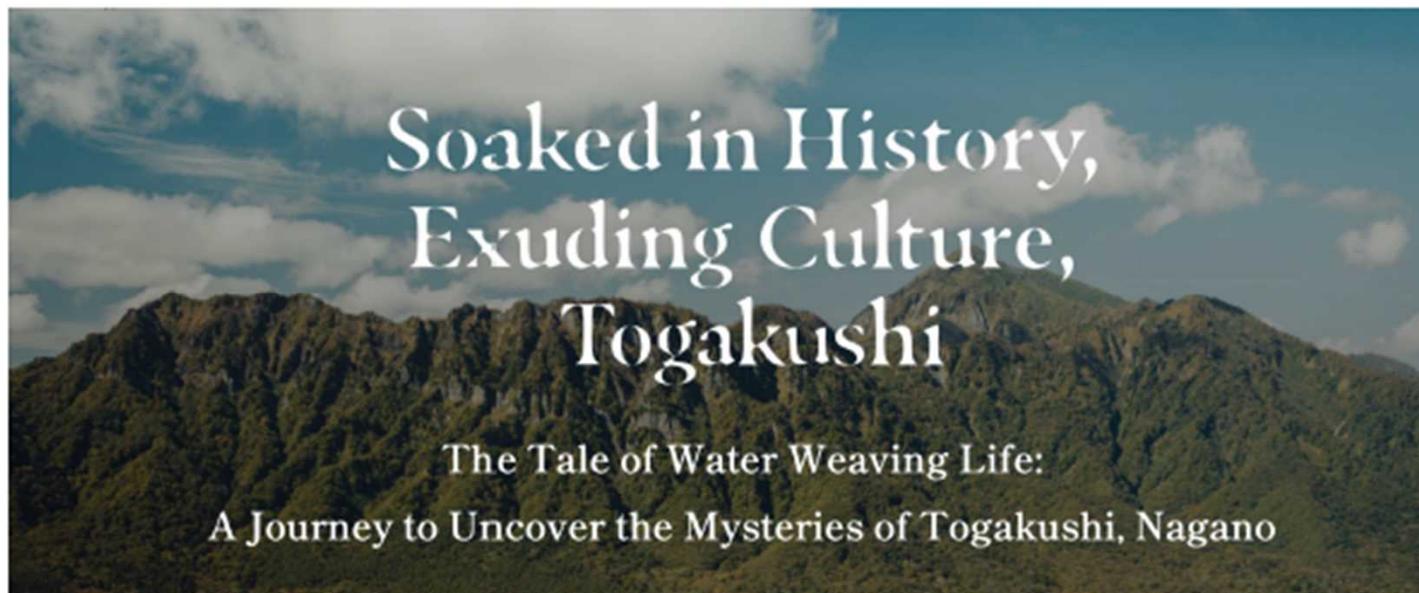
歴史文化体験

都市観光、有名観光地への来訪は避け、日本らしい、風景、体験を求めるラグジュアリー層をターゲットとし、メインのコンテンツは奥社の杉並木とする。また自然環境、国立公園、環境保全に興味のある層をメインに設定

お客様のニーズに合ったカスタマイズ

大きな枠としてのツアーはあらかじめ決めるが、お客様のニーズに合わせたカスタマイズができるようにプランを提案する。

20代-40代はE-bikeやトレッキング、登山などの負荷が大きいものを提案し、アクティブでない層には短距離のトレッキング、習字などの静かな体験を提案する。



■プロモーション

ターゲットに訴求するプロモーションの創意工夫

✓ BtoB向けのサイトの作成をする事でもずは興味を持っていただけるバイヤーの方からの窓口を作る。

・制作段階から意見を出し合い、まずはバイヤーの方に理解していただきやすいウェブサイトを作成することで問い合わせのきっかけを作ること をメインに分かりやすく戸隠を表現するサイトを作成した。

✓ カムイアドベンチャーと協力し、アクティブな層に向けて情報発信販売を行う。

商談会

事務局の協力の元、開催された商談会紹介いただいたバイヤーの方とコンタクトを行い、販売を行う。BtoCでは催行が難しい内容が多い為、まずはBtoBで戸隠のツアーを紹介し、興味、関心を持っていただく。今後も、積極的に商談会や繋がりのある企業様からの紹介等を活用し、PRを続け、販路を拡大していく予定。又、観光協会、長野市との協力をし、海外エージェントへの提案、エキスポへの出展などを行う。

サイト・LP作成

本事業で作成したBtoB向けのサイト「しみこむ、しみでる戸隠」を活用した情報発信及び問い合わせ先の確保。

<https://www.togakusi.com/tour/en/>

上記は英語サイト↑

右の画像の通り、BtoB向けのオーダーフォームを作成し、気軽に問い合わせできるように工夫している。

今後はこのウェブサイトをPRするよう、各バイヤーにお送りし閲覧いただいたり、SNSを活用して閲覧数を増加させていく予定。

■ プロモーション・販売チャネル

認知経路

実地地域・関係者

実施者サイト株式会社戸隠
URL: <https://www.togakusi.com/tour/en/>

Kammui
URL: <https://kammui.com/>

自社:Instagram
フォロワー2万人

連携事業者サイト
戸隠観光協会
長野CV

情報発信・ご紹介

著名人による
情報発信
SNS等

自社制作LP
ツアー内容等に言
及、問合せページ

株フィールドデザイン社問
合せ

・問合せページ
・電話、メール

Kammui問合せ

販売経路

カムイ問い合わせ
・ウェブサイト
・ご紹介

株フィールドデザイン
受注
・スルーガイド
・タクシー手配

株戸隠
・宿泊
・食事調整

バイヤー
・ウェブサイト
・ご紹介

株フィールドデザイン
受注
・スルーガイド
・タクシー手配

株戸隠
・宿泊
・食事調整

認知施策上の工夫・KPI

サイト制作だけでは認知の拡大に繋がらないため、有識者及び関係団体へ呼びかけを行い、情報を発信、サイトへの誘導を行う。

著名人の発信による効果：口コミ、友人への紹介等で問い合わせをいただいております、今後の商品PRの際にも協力いただくことで知名度、認知の拡大に効果が出る

サイトリンク:5件

SNSでの拡散：自社2万人+協会1万人

販売施策上の工夫・KPI

まずはカムイでの販売ができるよう準備しているが、繋がりのあるバイヤーとのコンタクトを続け、販売チャネルを増やす。

販売チャネル：自社1、バイヤー3社

日本アルプス野生動物/ライチョウ観察ガイドツアー

The Japan Alps Tour

Villages to Sacred Peaks / Explore the Heart of the Japan alps

一般社団法人 日本アルプスガイドセンター

National
Parks
of Japan



取組概要

国立公園指定書主題（テーマ）：日本を代表する傑出した山岳景観 — 息をのむ山並みと渓谷美、そしてライチョウの世界に —

中部山岳国立公園は、4県にまたがる広大な山岳地域で、3,000m級の高峰群が連なって険しい山稜を形成し、その間を黒部川等が壮大な峡谷を刻み、各所でみられる岩峰や雪渓、高山植物群落や原生林等と相まって極めてすぐれた山岳景観を誇っている。さらに、氷河地形や火山地形等の地形・地質的特性やライチョウに代表される豊富な野生動物相等は学術的にも価値が高く、まさに我が国を代表する傑出した山岳自然公園である。

本事業・本ツアーのストーリー（来訪者と共有したい価値）

日本アルプスの里-里山から奥山へ。山岳地域の文化と自然を体験

里（高山）を起点として、奥山（乗鞍岳）を越え松本に至る「Kita Alps Traverse Route」の一つを、日本人の原点を追体験する形で巡る旅。

高山や松本で日本古来の山岳文化に触れ、信仰の山、日本アルプス乗鞍岳の山を歩き、そのシンボルでもある日本固有の生態を持つ野生動物：Raichoが生息する素晴らしい自然や生物多様性に巡り会うことで、中部山岳国立公園が持つ本質価値、圧倒的な山岳自然環境とそこへ繋がる日本独自の山岳文化とを理解し、この地域ならではの人と自然の共生を知る。

本事業で活用する資源とテーマ

- 高山の古い町並みと千光寺
- 乗鞍岳、白雲荘、ライチョウ
- 松本城とその城下町

望まれる来訪者の体験、来訪者の意識/行動変容

- 日本の山岳文化を育む高山や松本での文化信仰体験
 - 3,000mの山岳域での山荘体験、自然体験
- 日本の山の神聖さ、その自然が日本人の文化や生活に大きく影響し、それを知り体験することを通じて、今まで感じたことの無い、自然と人が共生する価値や、多様な文化と自然の尊さを実感し、大切に、旅行後に活かしたいと思うそんな「新しい自分」に出会う。

来訪者（ターゲット）

- 日本文化や自然などへの探究心が旺盛で、知的かつアクティブな付加価値を求める層。
- アジアと言うよりは欧米豪の経済的に余裕のある、長期滞在層

ツアーの概要とメイン自然体験アクティビティ

- （1日目）日本の里とも言える高山の古い街並みや和食（精進料理の会席）を堪能、日本の民家をリノベした一棟貸の旅館に滞在する。
 - （2日目）高山郊外の千光寺で奥山へ向かうに当たって清浄体験（瞑想体験と祈禱体験）を行い、奥山である乗鞍岳へ。山小屋でもある白雲荘での宿泊や星空体験
 - （3日目）早朝のご来光体験から乗鞍岳へのハイキング。RaichoをはじめとしたWildlife観察。その後松本市内で松本城や中町通りなどの城下町の散策
- もう一泊できる余裕がある方には郊外の温泉に宿泊していただき、翌日手まりづくり、日本酒酒蔵訪問などを体験していただく

設定KPI/KGI

- KPI
- KGI

→次ページへ

保護と利用の好循環

- 乗鞍岳Raichoの保全活動への投資
毎年日本人向けに行われているライチョウ観察ガイドツアー同様、ツアー参加費用に一定金額（一万円程度）のドネーションを設定し、乗鞍岳に限った形の保全活動のファンドとする。

設定 KPI

- 2024テストツアー-実施回数 1回
- 2024参加外国人旅行者テスト消費額 50万円以上
- 2024参加外国人旅行者テスト宿泊数 7泊
- 2024テストツアー-参加者 評価90点以上 (100点中)
- 2024テストツアー-関与者評価90点以上 (100点中)
- 2024ガイド研修実施回数 2回以上
- 参加者 座学 40名、フィールド 20名

設定 KGI

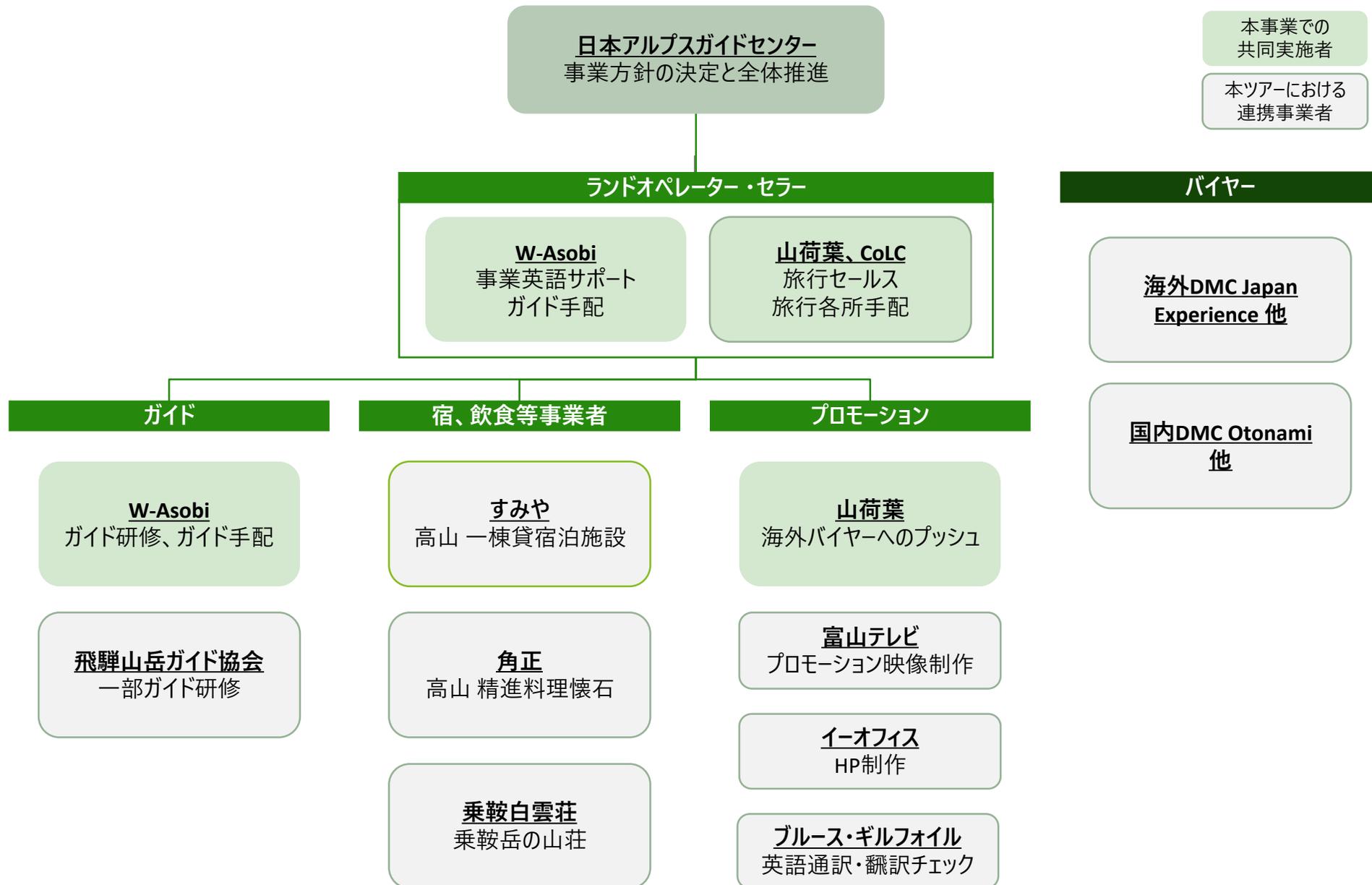
- 2026本ツアー-実施回数 5回以上
- 2026インバウンド含めたセラー数 4社以上
- 2026インバウンド含めたバイヤー数 2社以上
- 2026内訪日外国人旅行者地域における消費一人あたり額 30万円以上
- 2026内訪日外国人旅行者地域における一人あたり宿泊数 4泊以上
- 2026インバウンド売上300万円以上 国内200万円以上
- 2026営業利益 50万円以上 国内40万円以上
- 2026保護への再投資額 10万円以上
- 2026事業関連者数 20社以上
- 2026ライチョウ保護への一般登山客へのメッセージ対象者1000人以上
- 2026ライチョウ保護関連ツアー-対象者認知 20% 認知者中の関心 80%

修正 KPI

- KPI 2024年度 段階
 - 外国人ターゲット層モニターツアー-実施回数 1回以上
 - モニターツアー-消費額@50万円以上
 - 外国人ターゲットモニター評価→販売に足るレベルを定量化
 - 外国人モニターツアー-関与者評価→販売に足るレベル定量化
 - ツアー-造成にあたって、英語でのIPに沿ったストーリーを細部に構成するアクティビティを3ヶ所以上設計する
 - 上記に従って3名以上の英語ガイドの研修を行う
 - ツアー-HPのPV1,000以上

修正 KGI

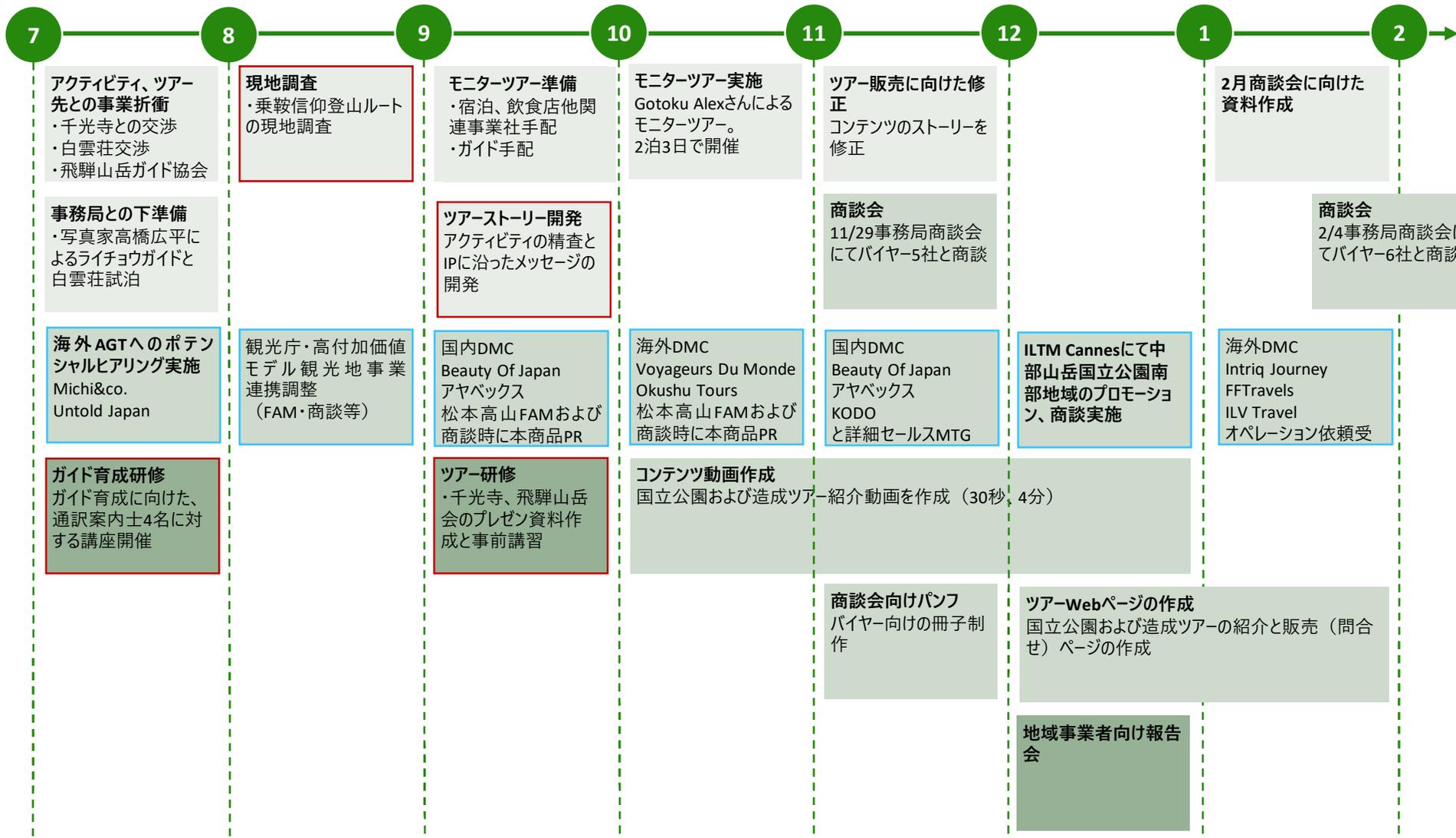
- KGI 2026年度段階
 - 2026まで関連ツアー-実施回数 5回以上
 - 2026インバウンドセラー数 4社以上
 - 2026インバウンドバイヤー数 2社以上
 - 2026内訪日外国人旅行者地域における消費一人あたり額 40万円以上
 - 2026内訪日外国人旅行者地域における一人あたり宿泊数 3泊以上
 - 2026インバウンド売上300万円以上
 - 2026営業利益 50万円以上
 - 2026保護への再投資額 10万円以上
 - 2026事業関連者数 20社以上
 - 2026ライチョウ保護への一般登山客へのメッセージ対象者1000人以上
 - 2026ライチョウ保護関連ツアー-対象者認知 20% 認知者中の関心 80%



アクティビティツアー造成関連

プロモーション・販路開拓関連

その他（現地調査、研修等）



事業の実施・成果等

Villages to Sacred Peaks / Explore the Heart of the Japan alps

ツアー・アクティビティのストーリー

日本アルプスの里-里山から奥山へ。山岳地域の文化と自然を体感しその共生を知る旅。

里（高山）を起点として、奥山（乗鞍岳）を越え松本に至る「Kita Alps Traverse Route」の一つを、日本人の原点を追体験する形で巡る旅。高山や松本で日本古来の山岳文化に触れ、信仰の山、日本アルプス乗鞍岳の山を歩き、そのシンボルでもある日本固有生態を持つ野生動物:Raichoが息する素晴らしい自然や生物多様性に巡り会うことで、中部山岳国立公園が持つ本質価値、圧倒的な山岳自然環境とそこへ繋がる日本独自の山岳文化とを体感し、この地域ならではの「人と自然の共生」を知る。

ツアー行程

（1日目：里-高山滞在）

日本の代表的なふる里とも言える高山の古い街並みを地域のガイドと歩き、食事は料亭「角正」で和食の真髄でもある精進料理の会席を堪能。宿は日本の古民家をリノベした一棟貸の旅館「すみや」に滞在、飛騨地域の里ならではの山岳文化を体験する。

（2日目 里山:千光寺から奥山:乗鞍へ専用車で移動）

高山の朝市で地域の住民の方々と交流した後、里山にある古刹「飛騨千光寺」へ。1600年の歴史を持つこの寺は、古来乗鞍岳をはじめとした奥山への拠点とされ、江戸時代には円空が長く滞在し多くの仏彫刻と伝説を残した。この寺で山へ向かう前の清浄体験（瞑想体験と祈祷体験）を行い、その後奥山となる「乗鞍畳平」へ。日本アルプスの3000m峰、乗鞍岳へのベースでもある畳平は標高2702m、バスでも行ける日本最高所の平地。滞在はこの地の山小屋「乗鞍白雲荘」。夜は山荘支配人のお話や、満天の星空を観察することもできる。

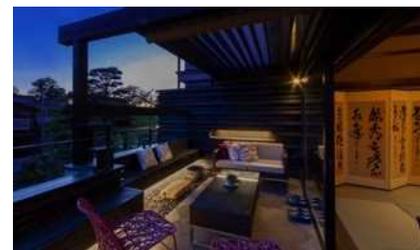
（3日目 奥山:乗鞍ハイキングで自然と生物多様性の体験）

夜明け前から山荘近くの山で日本アルプスに上がるご来光の体験。朝食の後は標高3017mの乗鞍剣ヶ峰へ。日本アルプスの絶景を楽しみながら途中RaichoをはじめとしたWildlife観察をして往復3時間程度のハイキング。その後乗鞍岳から下山し、松本市内で松本城や中町通りなどの城下町の散策して旅は終了。

（もう一泊できる余裕がある方には松本郊外の温泉に宿泊していただき、翌日手まりづくりや、日本酒酒蔵訪問などを体験していただく）



飛騨千光寺
瞑想体験



すみや
一棟貸宿泊施設



角正
精進懐石料理



乗鞍ハイキング
剣ヶ峰山頂 乗鞍神社

■ 催行期間：7月～10月上旬 ※通年提供でない場合

■ 販売価格：400,000円（2泊X3日/1人当たり：2名以上）

■ Villages to Sacred Peaks / Explore the Heart of the Japan alps



飛騨千光寺 瞑想堂ラビリンス



乗鞍 大黒岳ライチョウ観察

■ 地域の受入体制、オペレーション構築

	対象	利用する地域資源・伝えるストーリー	本事業での取組事項
宿	すみや	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨高山の伝統工芸品に囲まれ、高山の中心を流れる江名子川を臨む伝統的な町屋ステイ 	<ul style="list-style-type: none"> 料亭角正と連携した飛騨高山の文化的要素の演出
	乗鞍白雲荘	<ul style="list-style-type: none"> 畳平に建つ人気の山小屋。支配人小林氏尽力による、ライチョウはじめ乗鞍環境保全の最前線小屋 	<ul style="list-style-type: none"> 標高2700m極地での存在、ライチョウなど自然環境保全における山小屋の保護と利用の役割を理解いただく
アクティビティ	千光寺	<ul style="list-style-type: none"> 円空上人を始め奥山乗鞍岳へ信仰の道を行く多くの人が立ち寄った、里山の<u>名古屋</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 奥山乗鞍へ向かう往路、入山の前に瞑想で自らを見つめ直し、祈禱によって山の安全を願う清浄体験の位置づけ
	乗鞍岳ハイキング	<ul style="list-style-type: none"> 最高峰剣ヶ峰標高3017mは日本で19番目の高さだが畳平からはゆっくり登っても2時間足らずピークハント 	<ul style="list-style-type: none"> 剣ヶ峰には乗鞍神社が建ち信仰登山のゴール。周囲には日本の名峰が眺望でき、日本アルプスの景観を満喫。
	Raicho観察	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍は特別天然記念物Raichoのマザーランド 	<ul style="list-style-type: none"> Raichoが暮らす乗鞍の極地環境を体験し、生態の持つ固有性や生物多様性を理解し、人と自然の共生を知る
ガイド	スルーガイド	<ul style="list-style-type: none"> ツアーストーリーを最も理解し、全体の中での地域の個別資源を活かすツアーを構成する。 	<ul style="list-style-type: none"> InからOutまでを担当し全体像をぶらさず伝える
	スポットガイド	<ul style="list-style-type: none"> ツアーの中でのそれぞれの地域資源の位置づけを理解し正しいストーリーを構成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ならではの専門性を流れに位置づけて伝える
食事	精進料理 角正	<ul style="list-style-type: none"> 江戸末期に料理屋として創業し、<u>200年の歴史</u>を持つ、<u>岐阜県内でも最も古い料亭</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた雰囲気の中で四季折々の庭園、お部屋のしつらいを眺めながらの特別会席を味わう
	千光寺 精進弁当	<ul style="list-style-type: none"> 地元料亭と組んで提供されるのは精進料理のお弁当 	<ul style="list-style-type: none"> 宿坊同様に精進料理を提供して穢れの無いようにする
	白雲荘	<ul style="list-style-type: none"> 山小屋でありながら<u>地産地消</u>にこだわる食材 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ブランド牛飛騨牛のすきやきや地元産のお米を使った夕食で山小屋とは思えない満足感を得る。
ランドオペレーター	W-Asobi	<ul style="list-style-type: none"> ガイドの派遣や研修、アクティビティの構成プラン 	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨高山と乗鞍のつながり、千光寺の瞑想、ライチョウの専門的な知識などを開発し研修、オペレーションする
	山荷葉	<ul style="list-style-type: none"> 中部山岳国立公園のコアバリューを知り尽くした対応 	<ul style="list-style-type: none"> 松本から高山までの一貫したオペレーション対応
交通	濃飛タクシー	<ul style="list-style-type: none"> 高山出身の乗務員による郷土愛 	<ul style="list-style-type: none"> 地元タクシー会社による安心安全かつ一気通貫での配車対応

■ インバウンド対応における工夫点

ストーリー

■ Raicho

最もメッセージしたい、中部山岳国立公園（日本アルプス）の自然環境の素晴らしさを、ライチョウの生態や環境とその保全を通じて伝えることを、従来では考えていた。昨年観光庁事業で実施した際も基本はライチョウをフックにツアー構成していたが、外国人来訪者からはストーリー性に欠けると指摘を受け、今年環境省事業では乗鞍信仰とライチョウのつながり、文化面や精神性をストーリーとして構成して準備を進めた。

しかしながらライチョウフックではモニターツアーにおいても実際に観察できた外国人のライチョウへの反応は、日本人のように魅力的にはならないこととして理解を深め、ライチョウの位置づけを少し変更してストーリーを再開発した。

壮大で美しい山の日本アルプスの自然環境は、山を神として崇拝してきた山岳文化を育み、それがまた日本独自の自然を作り出す、中部山岳国立公園における本質価値である「人と自然との共生」、その象徴がライチョウと最終的に位置づけた。

アクティビティ

■ 高山

日本の小京都とも呼ばれる高山の古い街並み。日本アルプスの西玄関ともなるこの地域も、古くから山の自然と関わり深い山岳文化を持つ代表的な地域である。海外の観光客を早くから受け入れ、世界的にも有名な観光地だが、乗鞍岳と高山の人々を結びつける信仰について知る外国人は多くは無い。

今回は高山を単に江戸時代の城下町として捉えるのではなく、古来より乗鞍岳を神の山、信仰の山として捉えてきた、飛騨の山岳文化から高山を紐解き、そこに焦点を当てることで、人と自然の共生をより分かりやすく来訪者に伝えることとした。

■ 千光寺

千光寺は今までは高山郊外の円空仏の寺として日本人の観光客が訪れる、古刹ではあったが、外国人が訪れるには高山市から距離があり、必ずしも重要な場所とは言えなかった。2024年に乗鞍信仰について触れたガイドブックを制作したことを機会に、円空と乗鞍のつながりを知ることになり、実は千光寺は高山と乗鞍/人と自然の共生を伝える上で、重要な拠点として古くから機能していたのでは無いかと考え、住職と協議、寺のご長老が瞑想についての大家であり、プログラムとして山へ向かう途中で瞑想と祈禱を行う山の信仰における清浄の場所として位置付け、ツアーとして組み込んだ。インバウンドの方々における日本人の原点理解にも繋がるこのプログラムが、アクティビティの多彩な魅力を造成した。

中部山岳国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

■ 現地調査

高山市街地

- 少し観光地化されすぎた中でもそこに住む人々の本物の生活や文化を体験してもらうためにできること
 - ・ 夕方以降の観光客が減った時間帯に街中を歩いてもらうことで、そこに住む人たちの暮らし、街の雰囲気味わってもらう。

千光寺

- 千光寺に宿泊し、より長い時間をその場で過ごす。また、円空仏寺宝館を見学することで、見逃している点の掘り起こしや、ツアー行程中ではここに泊まることのないクライアントに対してガイドが見えないものを伝えるための経験の積み上げ
 - ・ 千光寺から見える御嶽山、山岳信仰
 - ・ 乗鞍岳を信仰の山として千光寺を開山した両面宿禰。その像を彫った円空の言葉「木を見たらそこに神がいる」

乗鞍畳平

- 極地ともいえる標高2700mの高山帯での山小屋に滞在する体験を、単に下界の高級な旅館の滞在と単純に比較しサービスの優劣として捉えるのではなく、より付加価値の高い体験である、と伝えるための工夫



↑ 夜の高山市内で資料のレビューを実施

← 千光寺の広大な敷地内の
八十八か所巡りを体験

↑ 円空仏寺宝館内部を住職に案内いただく(写真撮影禁止のため、千光寺Webより写真引用)

↑ 白雲荘内に掲示された
手書きの丁寧な解説資料

■ 現地調査

乗鞍千町尾根 (※本ツアーには含まれないアクティビティ)

■ ソフトAT層から一歩進んだ、ハードAT顧客層向けのコンテンツとしての可能性を検討する

- 人の非常に少ない登山ルートで、避難小屋に宿泊する体験
- 高山側からの信仰の道、ルート上の石仏の特別感
- 千町ヶ原の美しさと秘境景観

結論；かなりハードな体験となるので、ターゲットが当初の想定よりももっと限定されてしまう。→改善を加え、実現性を高める必要



通常の登山道を外れて不明瞭な道を下る。振り返り見上げる雄大な乗鞍岳。同じ信仰の山である、御嶽山、白山の眺め。登山道沿いには八十八か所に2体ずつの石仏があったはずだが一部の場所は分からなくなってしまった。地元の有志がそれらを探しつけては祠を設置し続けている。朝の静けさの中訪れた千町ヶ原の池塘群はまさに秘境の自然美であった。登山道は下るにつれ深いヤブに行く手を阻まれることが増え、長大な尾根の終わりはなかなか見えない。



■ インバウンド対応における工夫点

ガイドング

■ ストーリーを強化するインタープリテーション

- ・ ツアーを通じて、日本人の行動の中に自然とあかもそれが当たり前のように現れている自然崇拝の考え方をいかに参加者に感じてもらい、それを理解してもらえるか、が重要である。その中でも、山を神の住む場所として崇め、その特別な場所にしか住んでいないライチョウが神の鳥と言われることについてフォーカスする。これは単に言葉で説明すれば伝わるものではない。そのため、以下のステップで内容の作り込みを行った。

1. 体験の場所の定義と意味付けを明確にする

場所名	意味づけ	見えるもの	見えないもの（伝えたいこと）
高山市街地	里	地域の人々の日常生活と文化	この地域の暮らしの中で感じる山の存在とつながり
千光寺	里山	日本人の自然との関わり方 奥山へ行く前の精神的な準備	人々にとっての奥山へ「入らせていただく」という意識
乗鞍畳平	奥山	人々が簡単に行けない場所である高山の自然の厳しさと豊かさ。（見れる保証はないが）ご来光や奥山で一生を過ごすライチョウの姿。	太陽を自然の神と考えざるを得ないこと。人々がここを神の住む場所とみなしてきた理由。ライチョウが神の鳥とみなされてきたこと。温暖化などの環境変化によるライチョウへの影響。

2. 各場所において内容を伝えてもらう方に内容をまとめてもらい、それをすべて聞く。理解する。
3. 全体の流れを再構築し、ストーリー及びインバウンドを対象として、内容を推敲。
ガイドとしては、体験を通して以下のことを、理解ではなく、腑に落ちてもらいたい。
山を麓から眺めるとき、日本人は誰に強制されるでもなく自然に、山を崇める。
山に入るとき、それは神に近づきその力を自分の身に得るという特別な意味をもつこと。
その間にはやはり日常(里)と特別な場所(奥山)との精神的な境界線が無くてはならないと日本人が考えること。
4. 英語化。外国人目線で、補足説明の追加。
日本人にとって当たり前なことでも、かなりベーシックレベルまで立ち戻って説明する必要がある。
5. 再度全体の流れを見直し、関係者に共有する。

■ ガイドの立場を再認識し、ガイドングへ臨む。

- ・ 旅の主役はクライアントである。ガイドは、あくまでその場所や説明をいただく専門家とクライアントの間をファシリテートする立場である。

■ インバウンド対応における工夫点

行程

- ゲートとなる富山空港と松本空港を活用した効率的なツアー行程
 - ・ 今回のゲストの想定が九州から当地へ入りそのまま帰る、という行程となったこともあり、当地とのアクセスを富山空港／松本空港と空路利用を提案し、効率的かつゲストへの体力的な移動負担が少ない行程にすることができた。また行程中は専用車をフルサービスで利用することで、市街地からアクセスが大変な乗鞍岳・畳平までも効率的に移動することができた。
- 全体日程
 - ・ 2泊3日を基本としながら、松本での滞在を加え、ゆったりした3日目を過ごすことで、旅の満足感を上げることも準備する。

地域食材

- 飛騨高山の料亭文化
 - ・ 古くから商家町として栄えた高山では、富裕層をもてなす洗練された料亭文化が育まれてきた。単に豪華な食事を提供するだけでなく、飛騨の匠の技が光る建築美、四季折々の風情を感じさせる庭園、そして心を込めた「おもてなし」が、訪れる人々を魅了してきた。江戸時代、高山は幕府直轄領として栄え、多くの商人や役人が訪れました。彼らをもてなすために、高級旅館や料亭が発展し、洗練された料理やサービスが確立されていった。特に、飛騨牛や川魚、山菜など、地元の食材を活かした料理は、高い評価を得ていた。明治時代以降も、多くの文人や芸術家が高山を訪れ、料亭を舞台に文化交流が盛んに行われた。これらに触れることで、北アルプスと飛騨高山の関わりをストーリーとして表現すると同時に、旅への期待感を醸成を行った。
- 乗鞍白雲荘
 - ・ 山荘でありながら地域の食材にこだわる乗鞍白雲荘。そのこだわりを支配人から語っていただき、極地環境とも言える山荘での食事について利用車が知るべき大事な要素も理解をいただき、日本アルプスの山荘体験をより深いモノにする。

地域関係者等との接点の創出

- 千光寺ご長老
 - ・ 瞑想への科学的アプローチと病気や介護などの領域利用を広げる、日本の瞑想指導の第一人者
もちろん瞑想の科学的アプローチの話しも興味深いですが、歴史ある古刹の大僧正として、日本の文化や地域の歴史などを楽しく語ってもらう
- 乗鞍白雲荘 支配人
 - ・ 20年以上この極地山荘を夏の間護り続けるベテラン支配人。乗鞍の山々を知り尽くし、ライチョウの生態観察や保全についても地域のガイドの手本となっている。夜の食事が終わったら小林さんの夜話しは傾聴に値し、山の歴史から乗鞍信仰の話し、生物多様性から極地環境の変化などインバウンドの旅行社の興味は尽きないことになる。

■ インバウンド対応における工夫点

地域関係者等との接点の創出

■ 高山 朝市

江戸時代から開かれていたと伝わる高山の朝市、地元の野菜や地域の方の手作りのお土産物などが並び、日本人の観光客にも人気の場所に間違いないが、地域の住民と直に交流する機会としてツアーにおいても積極的に活用を進めていきたい。



■ 乗鞍白雲荘 支配人

20年以上この極地山荘を夏の間護り続けるベテラン支配人。乗鞍の山々を知り尽くし、ライチョウの生態観察や保全についても地域のガイドの手本となっている。山小屋は高山市のSDGsパートナーにも登録され、山小屋では大変珍しくサステナビリティレポートを独自に作成、夜間電気が利用できない環境はもちろんのこと、電力負担の多いドライヤーの利用を禁止するなどの他、風呂の掃除は合成洗剤を一切使わず、いまだにたわしで掃除をするなどあらゆる面で、環境への配慮が行き届いている。利用客の中にはそうした取り組みを評価して常連客が増えたり、その影響で日常の環境意識が変わった人も続出するなど強い影響力をもたらしている。

夜の食事が終わった後の小林さんの夜話しは傾聴に値し、山の歴史から乗鞍信仰の話、生物多様性から極地環境の変化などインバウンドの旅行者の興味は尽きない時間となる。



■ モニターツアーレポート 1

■ モニターツアー 2024年10月8-10日 (2泊3日)

参加者
環境省アドバイザー1名
事務局、環境省からそれぞれ1名

- 同時にPV撮影を実施
仮説ターゲットに近いパートナー同志の2名を人選し実施
モニター参加者と同じアクティビティに参加していただき、
参加後にヒアリングも実施し、モニター参加者とは異なった
意見も聴取し、ツアー造成に役立てた

The Japan Alps - Wildlife/The RAICHO, an Endangered Species Observation Tour



日程表

Itinerary

Day 1 Tue. 10/8/2024
Takayama : Enjoy the quaint town at the foot of the Japan Alps.

Day 2 Wed. 10/9/2024
Meditation @ Hida Senko-ji temple and We will venture deep into the Japan Alps.

Day 3 Thu. 10/10/2024
Hiking in the Japan Alps to Mt. Norikura Ken-gami. And observing the RAICHO @ Norikura Tatami-daira.

Day 1 : Tuesday, October 8, 2024

Tour starts in Takayama City.
Staying at one house rented inn, SUMIYA



SUMIYA SEIKA is located right by Takayama's sighting spot. Enjoy some personal time at a renovated traditional townhouse




Day2 : Wednesday, October 9, 2024

Reset yourself in meditation @Senko-ji Temple



In Japan, purification is performed before entering the mountains. We rest and purify ourselves through meditation. We then go to the Norikura mountains with a fresh mind and a new spirit.



Senkoji Temple in Hida Province is an ancient temple that was opened as a place of prayer for ancient beliefs by Ryomen-Sukuna, a powerful Hida family in the reign of Emperor Ninoku 3,600 years ago, and was built as a Buddhist temple about 1,200 years ago by Prince Shoinyo (one of the ten great disciples of Kobo Daishi).



Dinner is vegetarian produced locally in Takayama (Buddhist vegan food that forbids the killing of living things).

© The Japan Alps Guide Center All Rights Reserved.

Senko-ji Temple KAIJI-KITO



Early in the morning, the resident priest will perform KAIJI-KITO, the blessing prayer for the safety of the Norikura mountain trek and for an encounter with RAICHO.



Japanese Mountain Hut Lodging Experience



Tonight's lodging is at Norikura Hakuunsu, a mountain hut at 2,700 meters elevation. It will be an unforgettable night with a spectacular view.

© The Japan Alps Guide Center All Rights Reserved.

Day 3 : Saturday, October 12, 2024



The morning of the third day begins with the Soccho. (sunrise view from the top of the mountain) over the sea of clouds in the Japan Alps.

Hiking in the Japan Alps, covered with Autumn Leaves



We drove to Tatami-daira, the base of the Norikura mountains, and from there hiked for about two or three hours to Ken-gamine, the highest peak of the Norikura mountains in the Japan Alps, at an elevation of 3026 meters. If the weather is fine, you will be able to see a far-reaching view of the Japan Alps.



On the summit of the mountain, the ancient Norikura faith mountain deity is enshrined.

© The Japan Alps Guide Center All Rights Reserved.

RAICHO Observation Tour



The highlight of the trip will be a tour in search of RAICHO amidst the spectacular scenery of the Japan Alps. If you are lucky enough to encounter a RAICHO, you will feel a strong desire to protect this natural treasure yourself.




The ultimate goal of this trip is to pay a visit to Masumoto Castle.

© The Japan Alps Guide Center All Rights Reserved.

■モニターツアーレポート2



高山市内散策でスポットガイドの説明を受けるモニター参加者



千光寺 瞑想体験が終わった後、ご長老大下大圓氏から瞑想や寺のことについて解説いただく



乗鞍畳平でお花畑を散策



山荘乗鞍白雲荘で食事の後 支配人小林正直氏から 乗鞍の今、保護活動について解説していただく。



翌日ご来光ハイキングの途中でひょっこり現れたRaicho。今年は観察率が低かったがモニターツアーとして観察できたのは僥倖。



松本へ向かう途中にある中部山岳国立公園でモニターツアーの評価会議。

■モニターツアーレポート3

取り組みに向けて。

現地調査などから乗鞍への千町尾根を歩く行程は、参加者負担を考えると難しいと判断し、行程は変更。日程的に10月上旬までに行うことが必要であり、2泊を前提としたツアー構成としたため、その制約の中でモニターツアーを計画する困難さがあった。そんな中ツアー構成でRaichoをどの様に扱うのか、タイトル化（メインテーマと）することへの参加者の反応が最も大事なポイントとなった。

ファインディングス/評価 サマリー	対応 これからの販売に向けて
<p>○ツアー全体としての構成は評価される。Japan Alpsは素晴らしいし、高付加価値追求層をすぐに集客できると想定される。そこから先は実際にやってPDCAをまわすだけ。</p> <p>○ライチョウはユニークではあるが、このツアーをタイトルとして扱うには、日本アルプスに興味がある人を敬遠させることになり、もったいない。ツアーの中で扱う方向が良い。</p> <p>○（千光寺や高山の歴史など）レクチャー的な要素をできるだけ最小にして、体験や対話を重視する方が良い。</p> <p>○国立公園として必ずしもふさわしくない景観（壘平の施設）に対する明確な説明が必要。</p> <p>○白雲荘はいわゆる富裕層向き設備ではないが、支配人との対話によって十分な納得と満足が得られる。</p>	<p>○今回のツアー内容は基本的にはこの内容ですぐに販売に向けて動く体制を作る。</p> <p>メインツアーは以下のように位置づける。 「The Japan Alps Tour - Villages to Sacred Peaks /Explore the Heart of the Japan Alps」 里～里山、そして奥山へと乗鞍の麓から徐々に山へ向かい、日本の文化や自然を味わいながら、Japan Alpsに行く冒険ツアー Raichoは人と自然の共生におけるシンボルと位置づける</p> <p>○野生動物やライチョウ観察ツアーについては、商談会においてターゲットを考慮した販売可能であれば引きつづき取り組む。</p> <p>○同様にJapan Alpsハイキングツアーとして乗鞍千町ルートも登山、ハードなハイカー対象としてターゲットへの販売を考慮。</p>

■保護と利用の好循環

「人と自然との共生」そのシンボルとなる、乗鞍におけるライチョウの保護と利用に活用する

①ライチョウへの直接的保護活動の継続：持続可能なライチョウ生息数を維持するための継続した活動
→環境省の保全活動が担う役割

②見る人から護る人へ：より多くの観光客に積極的に保護に関わってもらう
観光のための保護ではなく、保護のための観光（ライチョウファースト）

③クオリティの高いネイチャーガイドの存在：（保護と利用を進める）ライチョウガイドの人材育成

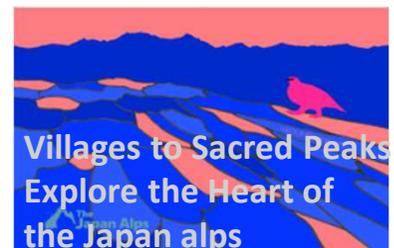
- ライチョウ観察のためのツアーを造成
- 良質なガイドを育成する研修会の継続開催
- 普及のためのプロモーション
- e.g ライチョウバス（エデュケーションバス）の運行
- ゴールは「ライチョウ保護センター」設立



ドネーションの仕組み



乗鞍ライチョウの保全を進めるための基金をプール
ツアーガイドを派遣する
「信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ」



参加者から@1,000円のドネーション



参加者から10,000円程度のドネーション
計画中※モニターツアーでは実施せず

これ以外にも現在松本信用金庫でライチョウ預金開設を要請中

■その他 Wildlifeツアーを別途設計 絞られたターゲットに販売を計画

The Japan Alps Tour Wildlife/RAICHO, endangered species Observation Tour



The Japan Alps – Wildlife/Endangered Species (RAICHO) Observation Tour



Japan is known as a hot spot of biodiversity. The environment of the Japan islands is such that it is surrounded by the sea in every direction; other such conditions allow for the diversity and the existence of rare species. In fact, a quarter of vertebrate species in Japan are endemic species. The famous Japanese macaque is one of them. In the mountainous Japan Alps, many animals and plants facing extinction, co-habit with humans in nature.

If you get to know the creatures that live there, and if you can meet them, it will be a wonderful opportunity to attain a deeper understanding of the workings of nature in The Japan Alps.

This time, we will enjoy Japan's nature and offer a valuable tour experience for a number of visitors to Japan to observe wild animals while walking in The Japan Alps area.
The location is the mountainous area surrounding the **Norikura mountains**, the southernmost independent peak of the Northern Alps. The vast mountain range is rich in rare wildlife, alpine plants, and alpine butterflies. The volcanic terrain is rich in complex vegetation, with many rivers flowing through the forests and numerous waterfalls, making it one of Japan's representative alpine natural environments.
In what is considered to be the most attractive point of the tour is the opportunity for observation of the **endangered Japanese Ptarmigan (RAICHO)** species living near the summit. The RAICHO has evolved in a unique way that is different from the grouse living in Northern Europe and Canada. Their ecology is said to be deeply related to the unique culture of Japan.



日本アルプスの自然と生物多様性を正面からテーマとして扱うツアー (ツアー・アクティビティは今後検証すべき課題)

モニターツアーをベースにしなが、日本を代表する絶滅危惧種ライチョウの保護活動へ取り組む研究者の話聞き、生息域乗鞍岳周辺で野生動物の観察を行うツアー。

誘客ターゲット

環境問題や気候変動、生物多様性などへの関心が高く、向学心があり、自分へ投資する付加価値追求層

(学会：主に自然科学系や環境問題に取り組む企業の研修などを扱うバイヤー/セラーをイメージする)



→更に全国の他の絶滅危惧種保全との連携を行い、日本各地を訪問へと繋げる日本版野生動物観光ツアー（タンチョウ鶴やツシマヤマメコなど）へ拡大も可能

■ターゲット設定

- 地域性 欧米豪 初来日の中でも滞在が長く、周遊ルートに組み込めることを狙いとする
高山-松本訪問者
豪・アジアリピーター-undiscovered region志向者
- 本物志向の付加価値追求層
→富裕層（1,500 \$ 以上/1日）やラグジュアリー志向層では無く、その下部にあたる多様価値層
一日1,000 \$ 程度なら貴重な経験に支出を惜しまない一方、山小屋の大部屋も宿泊できる新世代。
30代~40代（→旅行価格は2泊3日、3泊4日で2,500~3,500 \$ を設定）
- 日本文化や自然への興味が強い、知的探求層 The Japan Alpsへの興味関心層
- 環境問題などへの関心も高くWildlifeなどエコツアーにも参加する
- 自分が、これは合理的だと納得すれば多少の我慢も受け入れる

（ペルソナ インサイト） イギリスから来日の30代女性

日頃大変に忙しく第一線で活躍する女性ビジネスリーダー。
それだけにストレスも多く悩みも抱えている。
趣味はハイキング。社会問題への関心も高い。
パートナーは自分に対する理解が深く常に尊重される。

今年のバケーションで初めてパートナーと日本へ行く機会を得たので、
東京や京都だけで無く、地方にも足を延ばしてリフレッシュしたい。
Japan Alpsにも登ってみたいが、ゆっくりトレッキングするほどは時間が無い。

長い滞在でなくても良いから、人混みを感じないゆったりした気分で
日本のカントリーサイド=villageでの文化や生活、
山の自然を体験することは、日本旅行の大きな目的でもある。



■プロモーション

ターゲットに訴求するプロモーションの創意工夫

- ✓ 中部山岳国立公園の人と自然に触れることで、日頃の生活をリフレッシュさせるコミュニケーションをPVで開発
- ✓ コンセプトは「Reset in the Japan Alps」
- ✓ ペルソナターゲットへのSNS配信
- ✓ 高山市や松本市へ働きかけ、PVを露出する機会醸成
- ✓ ツアーブランドを立ち上げ、ツアーをそこへ格納

プロモーションビデオ

- 制作富山テレビ映像
- キャッチコピー

「New you is waiting for you beyond the peak」

4分タイプと30秒タイプ 2種類を制作

観光PVは従来その土地や人、文化の紹介に留まっていたが、今回はツアー参加者のインサイトを通じてその土地の魅力を紹介した。



サイト・LP作成

- ツアーブランドを新設
- 「The Japan Alps」 HPにツアーページを開設。Topページにもバナーを設置

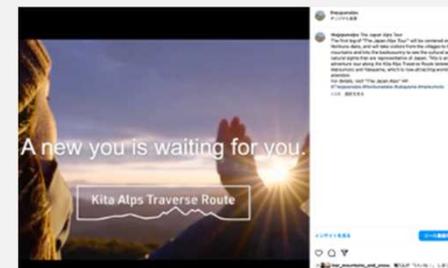


- LP

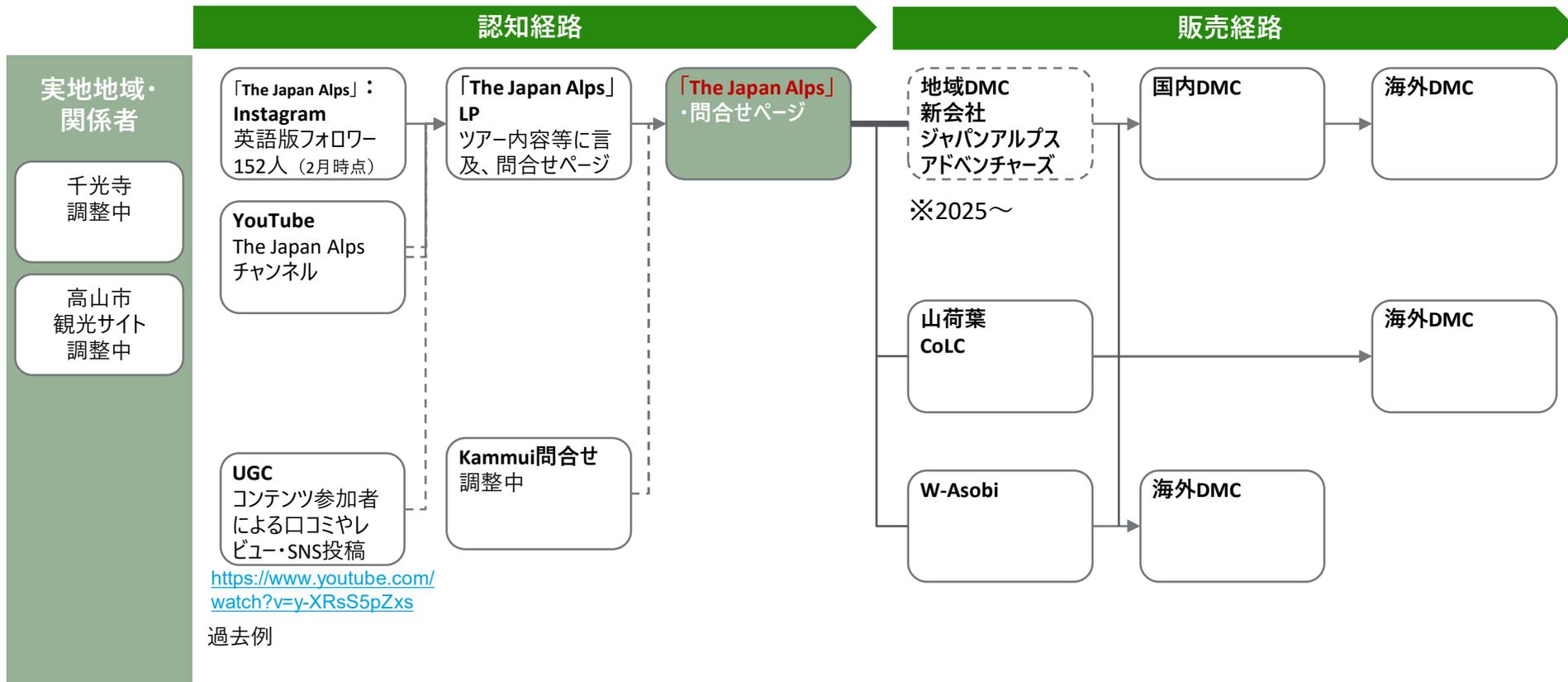


SNS他

- The Japan Alps Youtube チャンネル立ち上げ
Instagramのフォロワーへのツアー告知とPV配信
- 高山市への露出働きかけ（交渉中）



■ プロモーション・販売チャネル



認知施策上の工夫・KPI

- The Japan Alpsとの連携強化
- サイトツアーページ訪問者 1000PV以上
- 具体的なツアー問合せ50件以上

販売施策上の工夫・KPI

- 事務局との連携強化
- 商談件数 10件以上
- 商談成立 1件以上

中部山岳国立公園 | 販路開拓・プロモーション

■ 販売実績（本年度）

ツアー①日本アルプスの里-里山から奥山へ。山岳地域の文化と自然を体験

■ 内容

- 里（高山）を起点として、奥山（乗鞍岳）を越え松本に至る「Kita Alps Traverse Route」の一つを、日本人の原点を追体験する形で巡る旅。
- 高山や松本で日本古来の山岳文化に触れ、信仰の山、日本アルプス乗鞍岳の山を歩き、そのシンボルでもある日本固有の生態を持つ野生動物：Raichoが生息する素晴らしい自然や生物多様性に巡り会うことで、中部山岳国立公園が持つ本質価値、圧倒的な山岳自然環境とそこへ繋がる日本独自の山岳文化とを理解し、この地域ならではの人と自然の共生を知る。

■ ターゲット

- 日本文化や自然などへの探究心が旺盛で、知的かつアクティブな付加価値を求める層。
- アジアと言うよりは欧米豪の経済的に余裕のある、長期滞在層

■ 販路

- 国内DMC（Beauty Of Japan／アヤベックス他）
- 海外のエージェント（Michi&co/VoyageursDuMonde/Okushu Tours）

■ プロモーション

- 国内外DMCへのリアル・オンラインを併用した商談
- SNS

	R6実績
販売単価（千円）	400,000
販売人数（人）	0
売上（千円）	0
営業利益（千円）	0
営業利益率（%）	0

実施ツアータリフ

■ 販売先へのアプローチ（本年度）

アプローチ先	アプローチ日時	ツアー評価・課題	継続アプローチポイント
Michi&co. (個別MTG)	8/13 8/14 9/26	日本の山岳信仰については高い関心があるが、今回のツアーでは白雲荘の受入状況が厳しい。宿泊が最重要である。	豪州とのネットワーク強いので、スノーシーズンの信州への来訪とセットで提案したい
Untold Japan (個別MTGおよび来訪アテンド)	9/9-9/13	千光寺の体験が、日本の他地域「京都・奈良」などどこに差別化があるのか、テーマをはっきりした方がいい	文化要素の強いツアー開発が特徴であり、より「上質さ」を提案できるかどうか鍵
Beauty of Japan (個別MTGおよび来訪アテンド)	9/9-9/13	高山への送客は非常に多いが、古い街並みを中心にマス観光になりつつあり、そのイメージからいかに脱却するか重要	国内での送客実績は多く、松本にも担当者がいるので継続的アプローチが必要
AYABEX Inc (個別MTGおよび来訪アテンド)	9/9-9/13	ゴールデンルートに+αで組み合わせる場合、荷物や装備（山岳域への服装）などが難しく、レンタルサービス必須	積極的な送客に前向きであるから、顧客ニーズに対応したサービスの提案が必要
Voyagers du Monde (個別MTGおよび来訪アテンド)	9/30-10/3	山岳域での宿泊施設が最も重要。フランスでは環境問題への関心が高く、もう少しその要素をわかりやすく盛り込むべき	利用する宿泊施設のバリエーションと白雲荘での個別対応の可能性を探る
Okushu Tours (個別MTGおよび来訪アテンド)	9/30-10/3	北米からは平均 2 週間のなかで効率的に周遊することと、家族（4 から 8 名）を受け入れられる宿泊施設が必要	上記同様、提案可能な宿泊施設の充実がアプローチのポイント
Omakase Japan (個別MTGおよび来訪アテンド)	9/30-10/3	ライチョウをもっと強調し、他のアウトドアツアーとの差別化が必要。もっと本気のトレッキングがあってもよい	よりアドベンチャートラベル色の強いコンテンツをツアー内に取り入れることで差別化
株式会社みたて (個別MTGおよび来訪アテンド)	10/2-10/3	高山古い街並みを入れることで、ライチョウの焦点がズレてしまう感じ。千光寺とライチョウの関係性もわかりにくい	高山のオーバーツーリズムとコモディティ化を脱却する提案内容を充実させること
Conde Nast Traveler (個別MTGおよび取材アテンド)	11/12	野生動物観光なのか、アドベンチャーツアーなのか、テーマがはっきりしないので、評価が難しい。	野生動物観光としての強みがどこにあるのかをしっかりと磨き上げる
ILTM cannes (商談会・欧米AGT40社)	12/3-12/6	全体として初回の訪日客を対象としているAGTが多く、ライチョウに特化したターゲット設定は難しい	継続的な出展による日本アルプスの理解浸透
Intrig Journey (個別MTGおよび来訪アテンド)	1/8	白馬など人気のスノーエリアと組み合わせたライチョウツアーが望ましいのではないか	松本高山にこだわらない周辺地域のコンテンツを盛り込んだ提案

■販売先へのアプローチ（商談会）

バイヤーマーケット	11月商談会会社名	ツアー評価・課題	Second step
米	Remote Lands	ツアーへの関心はある。ライチョウも事前に知ると興味が湧くと思う。	
豪	Life's an Adventure	ハイキングルートへのこだわり。どのくらい歩くのかに関心。ライチョウへの関心は薄い。	
仏	Japan Experience	ツアーは興味がある。 ライチョウへの関心、生物多様性ツアーは可能性があり、支持すると意見。	
英	Into Japan Specialist Tours	日本の文化ツアーに興味あり、千光寺組み合わせは良いと思う。ライチョウ観察ツアーと千光寺組み合わせられればOK	
米加仏	Trufflepig Travel	ツアーへの関心はある（ライチョウへの関心は確認できず）	

バイヤーマーケット	2月商談会会社名	ツアー評価・課題	Second step
	The J Team株式会社	インセンティブツアー、企業ミーティングがメイン。2~30名のツアー。SIT(Special Interest Tour) を望む。乗鞍とゼロ戦に興味。	
欧米	Destination Asia Japan	日本単独旅行が中心（アROUNDツアーは無い） 富裕層。山方面はまだ未領域	
	Deneb	既に高山でのツアー実績あり。ハイクラス向けの宿の情報を欲しがっている。野生動物への関心もあるが山のツアーは経験なし。	
	Wabunka Otonami	ツアーを販売するWebサイトを運営。ゴールドルートが中心で高山までは既に創出。高山からのネーチャー導線へ興味がある。	2月27日打ち合わせ
	BOJ	松本在住、信州のこの担当。ツアーの要素は探しているがワイルドライフよりも文化的なものを望む。	
	KODO/Canyons	山の需要はこれからもっと伸びていくと思っている。	

■観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」モデル観光地 連携事業 ILTM Cannes 2024における商談活動

本事業連携ランドオペレーター：(株)山荷葉が「松本・高山 高付加価値な観光地づくり推進協議会」を代表して参加

合計 40 社のバイヤーと商談

当事業に関わるタリフを活用して商談実施

開催概要

名称	International Luxury Travel Market (ILTM) Cannes 2024
開催日	2024年12月2日(月)～12月5日(木)
公式HP	https://www.iltm.com/cannes/en-gb/exhibit.html
開催都市	フランス・カンヌ
開催場所	PALAIS DES FESTIVALS ET DES CONGRES パレ・デ・フェスティヴァル・エ・デ・コングレ
主催	Reed Travel Exhibitions
商談先	世界各国のラグジュアリートラベルバイヤー
対象出展者(サプライヤー)	ラグジュアリーホテル、高級旅館、DMC、クルーズトレイン、クルーズ、プライベートジェット、百貨店、ハイヤー・リムジンサービス、航空会社等
開催規模 (ILTM Cannes 2023の実績より)	・総商談件数：約82,000件 ・出展団体数：約2,100団体 ・バイヤー数：約2,100人 (83か国) ※全て過去最高値



The Japanese Rock Ptarmigan
Discover the beauty of the Japanese Alps and the unique ptarmigan species that inhabit these high-altitude regions.

Tatamidaira is about 2700 m above sea level.
One of the highest points in Japan accessible by taxi.
Climbing in Kurobe is nice for a break from everyday life.

Takayama Old Town
Walk through a nostalgic past.

Nakahashi Bridge
Experience the beauty of the Nakahashi Bridge in Takayama.

Tuesday, December 3			Wednesday, December 4		
Start	End	Details	Start	End	Details
9:15 AM	9:30 AM	Mr Ice Incent - Illego Travel Astor Italy ice@ice.it	9:10 AM	9:30 AM	Mrs Iva Thorne - Inagene - United States ivathorne@gmail.com
9:40 AM	10:00 AM	Mrs Wendy Chambers - Victory Travel, affiliate with Gifted Travel Network, United States wendychambers@victorytravel.com	9:10 AM	10:00 AM	Mrs Julia de la Haye - M. de la Haye - United States julia@delahaye.com
10:10 AM	10:30 AM	Mrs Victoria Clément de Clay - Siny Tailor - Belgium vic@clay.com	10:10 AM	10:30 AM	Mrs Alexandra Cohen - Turismo Emor - Mexico alex@emor.com
10:40 AM	11:00 AM	Networking Break (TUE) You asked for more time today yesterday, and we did it for you! Introducing the Networking Break: new people, explore Land 1 for yourself.	10:40 AM	11:00 AM	Networking Break (WED) You asked for more time today yesterday, and we did it for you! Introducing the Networking Break: new people, explore Land 1 for yourself.
11:10 AM	11:30 AM	Mrs Kim Allen - Alpine Lakes Travel - United States kallen@alpinelakes.com	11:10 AM	11:30 AM	Mrs Kim Estelle - Ulrich Labels Travel - United States kim@ulrichlabels.com
11:40 AM	12:00 PM	Mr Stephen Kelly - CRIL Management & Co - Japan stephen@cril.com	11:40 AM	12:00 PM	Mrs Melissa Jermier - Sheya Travel, LLC, an affiliate of Andrew Wilson Travel - United States melissa@andrewwilsontravel.com
12:10 PM	12:30 PM	Mr Saqib M. Akmal - Jargchi Travel - United Kingdom saqib@jargchi.com	12:10 PM	12:30 PM	Mr Vivek Kumar - Travel Technology Services Co Ltd - United States vivek@traveltech.com
12:40 PM	1:00 PM	Mrs Alyce Neim - Cardene Travel - United States alyce@cardene.com	12:40 PM	1:00 PM	Mrs Ruth Ingham - HARNALL TRAVEL - United States ruth@harnalltravel.com
1:10 PM	1:30 PM	FREE	1:10 PM	1:30 PM	FREE
1:40 PM	2:00 PM	FREE	1:40 PM	2:00 PM	FREE
2:10 PM	2:30 PM	FREE	2:10 PM	2:30 PM	FREE
2:40 PM	3:00 PM	Ms. Shona Egan - Ultra Collection / TCTT GmbH - Switzerland shona@ultra.com	2:40 PM	3:00 PM	Mrs Olga Gerasimova - Umbro Travel - Latvia olga@umbrotravel.com
3:10 PM	3:30 PM	Mr. Andrej Stepi - Ured Cepelin - Chile andrej@stepi.com	3:10 PM	3:30 PM	Mrs. Esther Matic - Bn & Bn Exclusive Travel Dogaani B. - Spain esther@bnandbn.com
3:40 PM	4:00 PM	Mrs Michiko Rosen - Global Travel Collection - United States mrosen@globaltravel.com	3:40 PM	4:00 PM	Mrs Sylvia Fuchs - Andrew Voyages - France sylvia@andrewvoyages.com
4:10 PM	4:30 PM	Mrs Jeanne Turasse - Canalbook Odyssey Travel - United States jeanne@canalbook.com	4:10 PM	4:30 PM	Mrs Katie Deaton - Blue Phoenix Travel - United States katie@bluephoenix.com
4:40 PM	5:00 PM	Mrs Lucy Evans Hernandez - Devils Six Sales - Mexico lucy@devilsix.com	4:40 PM	5:00 PM	Mrs Lynn McGinnis - Linn Travel Travel, in alliance with Marketa Wilson Travel - United States lynn@linntravel.com
5:10 PM	5:30 PM	Mr Jean Pablo Macarubbo - Viages Panorama - Mexico jean@panorama.com	5:10 PM	5:30 PM	Mrs. Helmi J. Al - World 118 Travel - Pakistan helmi@world118.com
5:40 PM	6:00 PM	Mr. Jay Smith - World Travel Center - Israel jay@wtc.com	5:40 PM	6:00 PM	Mrs. Debbie Koster - Leisure Travel Travel - United States debbie@leisuretravel.com
6:00 PM	6:30 PM	Event Opening (TUE) Back to back! Join us for the evening networking event on Tuesday. Friday has been reserved for networking, so a networking event will follow on Wednesday.	6:00 PM	6:30 PM	Event Opening (WED) Back to back! Join us for the evening networking event on Wednesday. Friday has been reserved for networking, so a networking event will follow on Thursday.

Thursday, December 5		
Start	End	Details
9:10 AM	9:30 AM	Mr Jean Ferrero - Lincoeur - Italy jean@lincoeur.com
9:40 AM	10:00 AM	Mrs. Isabella Alvarez - NUBA - United States isabella@nuba.com
10:10 AM	10:30 AM	Mrs. Anne MARTIN - AMPI (M)P.S. - France anne.martin@ampi.com
10:40 AM	11:00 AM	Networking Break (THU) You asked for more time today yesterday, and we did it for you! Introducing the Networking Break: new people, explore Land 1 for yourself.
11:10 AM	11:30 AM	Mrs Emma Barnett - Escapes - United Kingdom emma@escapes.com
11:40 AM	12:00 PM	Mr Manuel Chapuis - Altes - Switzerland manuel@altes.com
12:10 PM	12:30 PM	Mr. Jean-Pierre Rajpoux - American Connections - Sabat Voyages - France jpr@ajv.com
12:40 PM	1:00 PM	Mrs. Vane Rusakovska - ST GROUP - Italy/Management - France vane@stgroup.com
1:10 PM	1:30 PM	FREE
1:40 PM	2:00 PM	FREE
2:10 PM	2:30 PM	Mrs. Fernanda Fering - FF Travels - Brazil fernanda@fftravels.com
2:40 PM	3:00 PM	Mrs. Laura Sclapa - Ask Leisure - United Kingdom laura@askleisure.com
3:10 PM	3:30 PM	Mrs. Jane Page - Love Group Travel - United States jane@lovegroup.com
3:40 PM	4:00 PM	Mrs. Hilda St. Laurent - Nova Prime - United Kingdom hilda@novaprime.co.uk
4:10 PM	4:30 PM	Ms. Suzanne Reardon - Essex Travel Limited - United Kingdom suzanne@essextravel.com
4:40 PM	5:00 PM	FREE
9:00 PM	11:50 PM	Closing Party Midnight - The Ultimate Collection by Hugel Join us Thursday evening for a night on the town in style at our Closing Party. Book us for the evening. The bar is Champagne & Caviar! Check the evening dress code! Check the DJ! Absolutely get ready for an unforgettable night!

瀬戸内海国立公園指定90周年を契機とした 「サステナブルツーリズム」創出事業

株式会社 伊予銀行

National
Parks
of Japan



国立公園指定書主題（テーマ）：輝き続ける島と海～自然と暮らしが調和する内海多島海景観～

「輝き続ける島と海」として、陸地に触れていないようだが、基本的に瀬戸内海NPでは、陸地も内海多島海景観を展望する視点場として指定されているため、案のとおり。また、過去の公園計画書では「自然と人文が調和する」という表現となっているが、「人文」は一般的な表現ではないので「暮らし」とした。

本事業・本ツアーのストーリー（来訪者と共有したい価値）

・「海底のシワ」による「瀬戸」と「灘」が、瀬戸内海の「多島海景観」と「潮流」を生み出し、多様で豊かな「幸」を育み、歴史や文化、産業、島の暮らしにつながっています。

本事業で活用する資源とテーマ

- ・瀬戸内海に浮かぶ多島美とそれらを結ぶ橋の造形美が織りなす絶景、その周辺の文化、歴史を「自然に優しい」自転車で巡る「サイクリングツアー」
- ・一見、穏やかに見えるが、大潮時には高低差3m以上にもなる「潮の満ち干き」と、最大10ノット（時速約18km）の「潮流」急流が渦巻くこの地の利を活かし、中世の瀬戸内海航路を支配した「日本最大」と言わしめた海賊「村上海賊」の生きた姿を現代において体感。
- ・神の島と呼ばれる大三島に鎮座する「大山祇神社」、全国の国宝・国の重要文化財の指定を受けた武具類の約8割が、大山祇神社宝物館に保存
- ・「瀬戸」と「灘」が生み出す高速潮流が育む多様で豊かな「海の幸」
- ・夏、冬ともに季節風がさえぎられ、雨や雪を降らせた後の乾いた空気が流れ込む事で晴天の日が多く、少雨、温暖な「気候」と「柑橘栽培」
- ・かつて「塩田」として広く利用された「遠浅の砂浜」と「干潟」
- ・来島海峡の急潮を航行する船が、波穏やかな「波止浜湾」で潮待ちする船舶修繕から発達した造船業
- ・高縄半島の中央に源流を発し、豊かに流れる蒼社川の伏流水は、タオルづくりに適した軟水です。この水のおかげで、糸や生地にやさしい、繊細で鮮やかな色の表現や、綿の本来持っている「やわらかさ」を十分に引き出すことができます。

望まれる来訪者の体験、来訪者の意識/行動変容

- ・少雨、温暖な気候の瀬戸内海で、心地良い海風を感じながら今まで見た事の無い絶景を「自分のペースでゆっくりと、地元のガイドや島の人々と会話を楽しみながら自転車で巡るサイクリングツアー」瀬戸内海の地元の漁師が朝締めした「急流」で育った鮮魚を、漁師と地元シェフと会話をしながら堪能頂きます。来訪者が旅行から帰り、瀬戸内海での思い出を、仲間やお客様に伝え、お薦めしたくなるような体験を提供したいと思います。

来訪者（ターゲット）

- ・訪日外国人（欧米豪と定期便就航地の台湾、韓国）
- ・環境保全に関心の高い富裕層

設定KPI/KGI

■ KPI

- 1.モデルコースの作成：4コース以上
- 2.営業ツールの作成：4言語
- 3.インバウンドプロモーション：(1) 海外旅行会社へのメルマガ配信 50社以上
(2) 国内大手インバウンド旅行会社営業 5社以上
(3) ATWS2024・VJTM2024などの商談会での商談 20社以上
(4) モーターツアーの設定：2回以上

■ KGI

- 1.インバウンド：愛媛県訪日外国人宿泊比率 ※「観光庁 宿泊旅行統計」引用
2018年(コロナ前):5.4% → 2023年：4.3% ⇒ 2025年：4.9%
- 2.今治圏域 観光客数：「愛媛県 令和3年 観光客数とその消費額」引用
2018年(コロナ前)：県外観光客計2,915千人・県内観光客計1,640千人 合計 4,555千人
→ 2021年(コロナ禍)：1,415千人・県内観光客計796千人 合計 2,211千人 ⇒ 2025年:合計 5,000千人
- 3.台湾・韓国のレンタル利用数の増加
2023年：台湾 2,452台 / 韓国 336台 ⇒ 2025年：台湾 3,000台 / 韓国 500台

保護と利用の好循環

■ 申請時に記載していた内容

- 案1.モデルツアー参加に対して1人当たり数百円を維持、管理費としてツアー代金にインクルードして徴収(ツアー商品にはその旨記載)
- 案2.レンタル店に保護活動用のオリジナル商品を開発し販売または、募金した旅行者に保護活動用のオリジナル商品を進呈 ⇒ クラウドファンディング
- 案3.観光コンテンツを地域のふるさと納税サイトの返礼品として設定、寄付金として保護、維持管理へ再投資する。

■ 次年度は、今年度、学んだ事を実行する。

- 1.本事業での研修：タイトル：「国立公園の活用と保全を多様な視点で考える」 講師：インアウトバウンド東北 後藤光正様の取り組み事例を参考に、「活用と保全をセットにした持続可能な商品づくりと体制づくり」を、瀬戸内エリアの地域事業者・地域通訳案内士・ガイド等、地域一体となった取り組み、意識改革を目指す。
- 2.今年度、(株)オーベルジュ藤本が開発した「こども預かりプログラム」を、来年度は、東京山側DMCと連携し瀬戸内海国立公園（自然の中）で、世界の子供たち（親子）との交流、自然教育プログラムへとブラッシュアップ、商品化を目指す。
- 3.地域事業者が一体となり瀬戸内海国立公園を理解し来訪者と共有するための「インタープリテーション計画」の策定を目指す。

申請事業者 株式会社伊予銀行
事業責任者：地域創生部 部長 赤塚 昌弘
事業者担当者：地域創生部 参与 五十嵐 修
担務：本事業統括（コーディネーター）
 進捗管理 経理処理

連携自治体 愛媛県
 観光スポーツ文化部

連携自治体 今治市 総合政策部
 交流振興局 観光課

連携DMO 愛媛DMO
 (一般社団法人 愛媛県観光物産協会)

協力先 株式会社しまなみ
担務：
 ・モニターツアー、FAMトリップ 実施協力
 コンテンツ提供（観光潮流船など）

協力先 株式会社ジ・トラベルサービス
担務：
 ・本事業での交通、宿泊、体験コンテンツ
 の手配（韓国FAMツアー、出張手配）

委託事業者 四国ツアーズ株式会社

※ATTA加入
事業責任者：取締役会長
事業者担当者：（外国人対応ガイド）
担務：ツアーオペレーター
 ・感動体験コンテンツの洗い出し
 ・設定したストーリーに沿ったモデルコースの造成
 ・コンテンツとモデルコースの営業ツールの英語版作成
 ・プロモーション
 ✓ 自社Webサイトでの情報発信
 ✓ 海外AT旅行会社へのメルマガ配信 50社以上
 ✓ 国内大手インバウンド旅行会社営業 5社以上
 ✓ ATWS2024・VJTM2024など商談会での商談 20社以上

委託事業者 一般社団法人しまなみジャパン

※登録 DMO
事業責任者：専務理事
事業者担当者：事務局長
担務：地域DMO・コンテンツ提供
 ・個人旅行向け観光コンテンツの洗い出し
 ・ターゲット別モデルコースの企画、造成
 ・FAMトリップの企画、開催
 ・営業ツールの企画、制作（アジア版）
 ・台湾、韓国での現地旅行会社へのセールス
 ・本事業のセールス活動（商談会への参加）

委託事業者 株式会社オーベルジュ藤本

事業責任者：代表
担務：ツアーオペレーター・コンテンツ提供
 ・プレミアムグルメコンテンツの開発
 ・瀬戸内海「伝説の漁師」見学観光コンテンツの開発
 ・子ども預かりプログラムの開発

バイヤー
 ・(株)JTBグローバルマーケティング & トラベル
 ・ Voyageurs de Monde 社
 ・ Tricolage 等
 (宿)・Azumi Setoda
 ・大三島WAKKA
 (食)・あか吉、虹吉
 ・能島水軍レストラン等
 今年度：
 ATWS2024・
 VJTM2024・本事業
 商談会などに参加

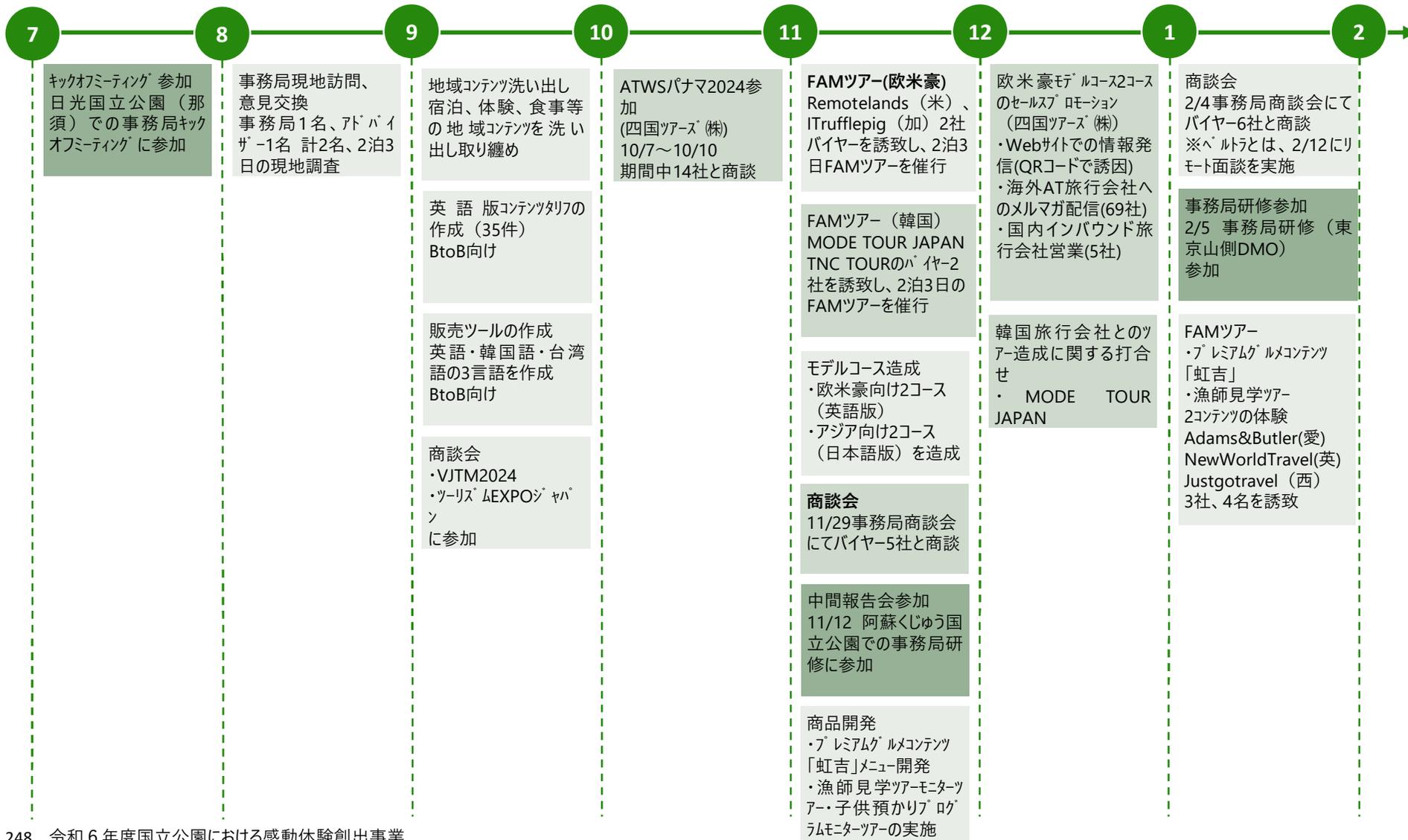
バイヤー
 ・(株)JTBグローバルマーケティング & トラベル
 ・(株)モードツアージャパン等
 (宿)・大三島
 WAKKA等
 (食)よしうみいき
 いき館等
 今年度：
 VJTM2024・ツーリズム
 EXPO2024など商談
 会に参加

バイヤー
 新規開拓
 本事業商談会参加⇒
 ・J-CAT(株)
 ・ベルトラ(株) 等
 (宿) Azumi Setoda
 等
 (食) あか吉、虹吉

アクティビティツアー造成関連

プロモーション・販路開拓関連

その他（現地調査、研修等）



■ 地域の受入体制、オペレーション構築

	対象	利用する地域資源・伝えるストーリー	本事業での取組事項
宿	Azumi Setoda	<ul style="list-style-type: none"> アマン創業者・エイドリアン・ゼッカ氏が手掛けたホテル。かつて瀬戸田で製塩業や海運業で栄えた豪商・堀内家の邸宅、築140年におよぶ貴重な建築意匠を継承 	<ul style="list-style-type: none"> FAMツアーに参加したバイヤーに訪問いただき、全員が称賛する富裕層向け人気ホテル
	大三島WAKKA	<ul style="list-style-type: none"> しまなみ海道の真ん中、大三島にあるオーシャンビューの、宿泊、カフェ、サイクリングサポート、体験を提供するツーリズム総合施設 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語対応可能な宿泊施設、クルーザー、サポートバン等も保有し、お客様のニーズに合わせた体験の提供が可能、本事業では、FAMツアーで利用
アクティビティ	E-バイク	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内海に浮かぶ多島美とそれらをつなぐ橋の造形美が織りなす絶景をE-バイクでアイト・ホッピング 	<ul style="list-style-type: none"> エリアの島々10個所でレンタサイクル貸出、乗捨て可能 サイクリングガイド、サポートバンでお客様をフルサポート
	急流観光船	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内の多島美の絶景を堪能しながら急流を間近に体験していただける遊覧船、村上海賊の居城跡や歴史的に重要な島々を巡ります 	<ul style="list-style-type: none"> 来島海峡急流観潮船（韓国FAMツアーで体験） 宮窪瀬戸潮流体験船（欧米豪FAMツアーで体験）
	絶景スポット	<ul style="list-style-type: none"> 小高い山々から眺める「絶景スポット」（白滝山・開山公園・積善山・亀老山展望公園など） 	<ul style="list-style-type: none"> E-バイクでのヒルクライムやバイクで絶景スポットへ！瀬戸内海に浮かぶ多島美とそれらをつなぐ橋の造形美が織りなす絶景、各山のストーリーをFAMツアーで体験
	藤本 純一 (漁師見学ツアー)	<ul style="list-style-type: none"> 島の漁師の家の4代目、幼い頃から家業である漁師を手伝い、現在は、獲った魚を自ら神経締め料理店に出荷、フランスのレストランガイドブック「ゴ・エ・ミヨ2021」日本版において「デロワール省」受賞 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業で「漁師見学ツアー」を開発、販売を開始
食事	朝の鮮魚	<ul style="list-style-type: none"> 地元漁師、藤本純一が朝締めした鮮魚を、全国の(藤本純一を信頼する)有名トップシェフを招き提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業で「虹吉」としてコンテンツ開発、販売を開始、次年度は、「ユニークベニュー」「クルーザー」での提供を検討
	地元食材を使った「丼」	<ul style="list-style-type: none"> 地元の鮮魚を豪快に乗せた海賊らしい「能島水軍」の海鮮丼、岩城島でレモンを食べて育つブランド豚「レモンポーク」を使った「レモンポーク丼」 	<ul style="list-style-type: none"> 1日目の昼食「海鮮丼」、2日目の昼食「レモンポーク丼」をFAMツアーで提供「旅行中で最も気に入った食事の一つ」と高評価を得た。地元地域の結びつきは大切な要素



令和6年度国立公園における感動体験創出事業
Azumi Setoda



大三島WAKKA



積善山ヒルクライム/山頂の絶景



スルガイト・サイクリングガイド・サポートバン



漁師見学ツアー



高野・藤本氏が魚を丁寧に神経締め体験付きで見学

取組概要

- (1) 事務局、アドバイザー向け 現地調査ツアー
- (2) 地域コンテンツ洗い出し・コンテンツタリフの作成：欧米豪 富裕層 向け
- (3) 商談会への参加：四国ツアーズ(株) = VJTM2024
【参考資料】ATWS2024パナマ：四国ツアーズ(株)
- (4) アメリカ、カナダのバイヤー向けFAMツアー（事務局連携）
- (5) モデルコースの造成：欧米豪 富裕層 向け 各2コース
- (6) 訪日旅行会社へのセールス活動
- (7) 地域コンテンツ洗い出し：観光・個人旅行
- (8) 商談会への参加：(一社)しまなみジャパン = VJTM2024、ツーリズムEXPOジャパン
- (9) 韓国旅行会社向けFAMツアー実施：モデルコースの造成（観光・個人旅行）
- (10) 新規コンテンツ開発：(株)オーベルジュ藤本
- (11) 環境省 主催 商談会：11月・2月

瀬戸内海国立公園（1）事務局現地調査、アドバザ-との意見交換

■環境省：令和6年度 国立公園における感動体験創出事業 現地視察

■視察者：計5名：

・事務局：小計2名（デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバザ-（同）1名 ・専門家（（同）GOTOKU）1名（8/7（水）朝、離団）

・同行者：小計1名（伊予銀行 五十嵐）1名、

■行程表：（・青字：（一社）しまなみジャパンが同行 ・赤字：（株）オベルジュ藤本が同行 ・緑字：（株）しまなみが同行

項	日付	スケジュール	食事
1	8/5 (月)	羽田空港：7:15 発⇒ANA583 便⇒松山空港：8:40 着 / 到着ロビーにて伊予銀行 五十嵐と合流 / 松山空港にて打合せ	
		鹿児島空港：7:30 発⇒ANA542 便⇒伊丹空港：8:50 着 / 9:15 発⇒ANA1635 便⇒松山空港：10:05 着 / 到着ロビーで合流 松山空港：10:20 発 → サンライズ糸山：11:30 着 / （一社）しまなみジャパン 合流 ◆ 来島海峡大橋 66（サイクリング体験）66 道の駅ようみいきいき館 13:00 着 → 宮窪港：13:20 着（株）オベルジュ藤本 合流 ◆ 漁業体験（神経締め視察）◆ 昼食（鮮魚の試食）～ 15:00 ◆ 伯方島に車で移動 ◆ 視察：・赤吉 ・鎮守の杜（NPO 拠点）＝こども預かりプログラム ・オベルジュ建設予定地）◆ ショートクル ズ 伯方島 尾浦港：17:20 発（フェリー）～大島 宮窪港：17:37 着 → ◆ 亀老山展望公園（視察） → 今治市内へ 宿泊：クレムトイン今治	昼
2	8/6 (火)	今治ホテル発 8:00 発 → 道の駅ようみいきいき館（株）しまなみ 合流 ◆ 急流観潮船 小島上陸（体験）◆ 昼食（海鮮 BBQ（体験）） ◆ 12:30 着/大三島 WAKKA（視察） → ◆ 大山祇神社/宝物館（視察） → ◆ 今治市伊東豊雄建築ミュージアム（視察） → ◆ 伯方の塩 大三島工場 → ◆ 大三島多田羅しまなみ公園 66（サイクリング体験）66 瀬戸田 宿泊：瀬戸田（事務局にて手配をお願いいたします。）	朝
3	8/7 (水)	瀬戸田港：8:15 発～（弓場汽船・高速船）～三原港：8:43 着・三原駅：9:12 発＝新幹線こだま 842 号＝岡山駅：9:55 着 瀬戸田：9:00 発・ ◆ 耕三寺/未来心の丘（視察）・ ◆ 瀬戸田しおまち商店街（散策） → ◆ 白滝山（ハキнг 体験） → ◆ 向島～（渡船）～ ◆ 尾道 U2（視察・昼食）時間があれば・ ◆ 千光寺ローウェイ（展望台）・ ◆ 尾道：14:30 解散	
		尾道駅前：14:45 発＝大平交通・でベライナー＝広島空港：15:50 着 / 17:10 発⇒ANA682 便⇒羽田空港：18:35 着	



しまなみ海道 サイクリング体験



観光船からの「潮流」体験



「小島」散策

日清戦争～日露戦争時代に築かれた芸予要塞跡
⇒欧米人は「不可」とのアドバイス



地元漁師... と面談



グルメコンテンツの舞台「あか吉」で試食



村上海賊ゆかりの地/白滝山ハイク



宿泊施設：大三島 WAKKA 視察

富裕層向けコンテンツ30：体験、宿泊、食事

2024/10/30

カテゴリー	番号	市町村	島	事業者名	コンテンツ名
体験	1	今治市	大三島	WAKKA	ちよい釣り
	2		大三島	WAKKA	サイクリング
	3		大三島	WAKKA	安神山(鷲ヶ嶺山)トレッキング
	4		大三島	WAKKA	甘崎城(古城島)無人島SUP
	5		大島	徳島水軍	徳島観音船
	6		大島	株式会社しまなみ	しまなみ東島海浜遊覧船
	7		大島	株式会社しまなみ	東島海浜大観音(体験)
	8		伯方島	オーベルジュ藤本	漁師の習き見学+食事(ミシュラン1つ星寿司レストラン赤高)
	9	伯方島	オーベルジュ藤本	子供供かりプロジェクト	
	10			西園ツアーズ	サイクリングしまなみ海遊 HALF: サンライズ大島~大三島/瀬戸田
	11	上島町		上島町観光協会	ガイド付き電動キックボードツアー
	12			島旅ヨット	カタマランヨットクルージングツアー
	13			島旅ヨット	ボタリングガイドツアー
	14			西園ツアーズ	サイクリング しまなみ海遊: 上島町
15	尾道市	生口島	Azumi	レモン収穫サイクリングツアー10km	
16		生口島	Azumi	レモン谷サイクリング+自然療法講座	
17		生口島	Azumi	Joycruise貸切クルーズ	
18		生口島	Azumi	大山冠神社参拝&フイナリーツアー	
19			西園ツアーズ	サイクリング しまなみ海遊 HALF: 瀬戸田~尾道	
宿泊	20	今治市	大三島	WAKKA	3プラン: ドミトリー、コテージ、ホームデント
	21		馬島	グランルークしまなみ	2プラン: ホテル、グランピング
	22	上島町	弓削島	弓削の宿	古民家1プラン
	23		弓削島	フェスバ	1プラン: ホテル
	24	尾道市	生口島	Yubune	銭湯宿1プラン
	25		生口島	Azumi	旅館1プラン
26	高根島		Farm and bed Setoda	一棟貸し古民家	
食事	27	今治市	大島	徳島水軍	2プラン: レストラン、海鮮七輪BBQ
	28		大島	道の駅よしろみいきいき館	2プラン: レストラン、海鮮七輪BBQ
	29		大島	青司 蟹	寿司レストラン
	30		大島	フェヌア	地産地消フレンチ
	31		伯方島	赤高	寿司、ミシュラン1つ星
	32	上島町	岩城島	よし正	居酒屋
	33		弓削島	しまでCafé	レストラン
	34		岩城島	でべそばあちゃんの店	レモン焼き
	35		尾道市	因島	六大陸

Area [Imabari]		Date	2024/11/8		
Restaurant Category * Multiple selections possible					
<input type="checkbox"/> Japanese <input type="checkbox"/> Western <input type="checkbox"/> Japanese and Western Cuisine <input type="checkbox"/> Creative Cuisine <input type="checkbox"/> Chinese <input type="checkbox"/> Other/More Info (Sushi) <input type="checkbox"/> House <input type="checkbox"/> Long-established <input type="checkbox"/> Kappo <input type="checkbox"/> Izakaya <input type="checkbox"/> On-site / Restaurant (Facility name:) <input type="checkbox"/> Other()					
Content					
Restaurant	Akakichi (Private plan)				
Facility Overview	<p>Akakichi is a unique sushi restaurant that brings together the ultimate fish from the Seto Inland Sea.</p> <p>Although it is located on Hakata Island, a small island on the Shimanami Kaido, it is a famous restaurant that is visited by fish lovers from all over Japan.</p> <p>The extremely fresh fish from the Setouchi Inland Sea is prepared by Junichi Fujimoto, a charismatic fisherman who is sought after by famous restaurants all over Japan, and is prepared by Master sushi chef Akase, who knows his way of handling fish.</p> <p>We have a plan where you can reserve the counter that is usually shared. Enjoy a special gourmet moment where you can taste the essence of Setouchi fish while traveling with your loved ones.</p>				 
Selling point	<ul style="list-style-type: none"> Privately rent out a famous restaurant that received one Michelin star in 2018! Our general staff, who are full of service spirit, will do their best to accommodate your requests. In addition to the abundance of fish from the Seto Inland Sea, we always have over 20 types of sake available. The chef will make recommendations based on your preferences. 				
Number of rooms (Room type: floor/Japanese room, etc.)	counter			URL (QR)	https://akakichi.com/
Languages available					
Languages Applicable	Staff	English	Chinese	Korean	Other
	Materials	✓Menu			
	Other				
Pricing					
Price	Private reservation for 2 people: 125,000 yen Private reservation for 3 people: 135,000 yen Private reservation for 4 people: 145,000 yen Private reservation for 5 people: 155,000 yen Private reservation for 6 people: 165,000 yen Interpretation fee: 30,000 yen (All tax included)				
Special notes etc.	<p>*Please refrain from coming to the restaurant wearing strong scents such as perfume or cologne. Please be sure to inform your companions as well.</p> <p>*If you have a wide range of allergies/ingredients that you are not good at, your reservation will be treated as a cancellation and may be subject to the cancellation policy depending on the timing of your request. Please be sure to check the details before making your reservation.</p> <p>*In the unlikely event that you arrive late or leave midway through, we may not be able to serve some of the courses, so please arrive with plenty of time to spare.</p>				
Cancellation Policy					

開催日：2024年9月26日（木）～28日（土） 開催場所：東京ビッグサイト 東7ホール

●商談エージェントリスト 全 25 件

9月26日	ベトナム	LUCKY JOURNEY TOURISM SERVICES JOINT STOCK COMPANY
9月26日	デンマーク	Japan Rejser
9月26日	カナダ	Okushu Tours
9月26日	ベルギー	Connections Eurotrain SA
9月26日	スウェーデン	Japanresor/Relasian Travel & Event
9月26日	タイ	GOOD GLOBAL CO.,LTD
9月26日	ドイツ	DTH Travel GmbH
9月26日	イギリス	InsideJapan Tours
9月27日	ベルギー	JOKER TOURISM
9月27日	ベルギー	YINDI TRAVEL BV
9月27日	イスラエル	Go East Travel
9月27日	イタリア	Kel1
9月27日	タイ	WENDY ASIA CO.,LTD
9月27日	イギリス	Into Japan Specialist Tours
9月27日	フィンランド	Olympia Air Travel Ltd2
9月27日	イタリア	Go Asia
9月27日	フランス	Voyageurs du Monde
9月27日	インドネシア	DAYAWISATA TOUR
9月27日	イタリア	SABU VIAGGI DI ILY TRAVEL SRL
9月27日	デンマーク	JapanSpecialist Denmark
9月28日	カナダ	Total Advantage Travel & Tours, Inc.
9月28日	スウェーデン	Lotus Travel Group AB
9月28日	フランス	My Travel Designer
9月28日	カナダ	Atypika Tours
9月28日	香港	EGL Tours Company Limited (FIT Team)東瀛遊旅行社有限公司



Area / Division	Date	2024/11/9			
Restaurant Category *Multiple selections possible					
<input type="checkbox"/> Japanese <input type="checkbox"/> Western <input type="checkbox"/> Japanese and Western Cuisine <input type="checkbox"/> Creative Cuisine <input type="checkbox"/> Chinese <input type="checkbox"/> Other (Specify name) (Specify name)					
Content					
Restaurant	<p>Reisaku (Private club)</p> <p>Reisaku is a unique sushi restaurant that brings together the ultimate fish from the Setai brand Sea.</p> <p>Although it is located on Habuto Island, a small island in the Shimane Prefecture, it is a famous restaurant that is visited by the famous Sea of Japan.</p>				
Facility Overview	<p>The extremely fresh fish from the Setai Island Sea is prepared by Setai Ryudo, a famous fisherman who is caught after 5000m restaurants all over Japan, and is prepared by Master sushi chef Akao, who knows the way of handling fish.</p> <p>We have a plan where you can reserve the counter that is usually shared. Enjoy a special gourmet moment where you can taste the essence of Setai fish while traveling with your loved ones.</p>				
Setting point	<p>*Usually reserved as a 50-seat restaurant that received one Michelin star in 2020 that opened staff, who are full of passion, will do their best to accommodate your requests.</p> <p>*In addition to the observation of fish from the Sea, it is a hot spot, you always have over 20 types of fish available. The chef will create recommendations based on your preferences.</p>				
Number of rooms (Room type, floor/business room, etc.)	counter	URL (QR)			
Language available					
Language	Staff	English	Chinese	Korean	Other
	Materials	Others			
Price	<p>Private reservation has 10,000 yen (tax included)</p> <p>Private reservation for 2 people: 125,000 yen</p> <p>Private reservation for 4 people: 140,000 yen</p> <p>Private reservation for 5 people: 155,000 yen</p> <p>Private reservation for 6 people: 160,000 yen</p> <p>Interpretation has 10,000 yen (tax included)</p>				
Special notes etc.	<p>*Please refer to the reservation page for details on the menu and other information. Please be sure to check the reservation page as well.</p> <p>*If you have a reservation of a long-term reservation that you are not going to, your reservation will be treated as a cancellation and may be subject to the cancellation policy depending on the body of your reservation. Please be sure to check the details before making your reservation.</p> <p>*To the extent possible, we will make reservations through, we may not be able to accept some orders of the reservation, so please arrive with plenty of time to spare.</p>				

瀬戸内海国立公園 | 【参考資料】ATWS2024パナマ (四国ツアーズ(株))

ATWS行程

10月7日 (日) DoA(Day of Adventure)、オープングレセプション

10月8日 (月) オープングセレモニー、各種セミナーなど

10月9日 (火) マーケットプレイス、メディアコネクト

10月10日 (水) 閉会、クロージングパーティー



2024/10/7 Day of Adventure



2024/10/8-10 ジャパンラウンジ



2024/10/9 マーケットプレイス
14社との商談 (各8分)



2024/10/8 オープングセレモニ



2024/10/9 メディアコネクト



瀬戸内海国立公園 | (4) 欧米向けFAMツアーの実施

開催日：2024年11月23日（土）～24日（日）

●参加エージェン 2社

Remote Lands社/米)

Trufflepig Travel社/米加仏)



【コーヒーブレイク中】



1日目(しまなみ海道サイクリング サンライズ糸山/今治-Wakka/大三島)



走行距離：42.3km
獲得標高：+371m/-412m

- 08:30 ホテルでピックアップ
- 10:30 サンライズ糸山到着 サイクリングスタート
- 12:00 能島観潮船乗船
- 12:50 昼食 (海賊レストラン)
- 13:30 サイクリング再開
- 16:00 Wakka到着 サイクリング終了
- 16:30 Yubune/Azumi 視察
- 19:00 夕食 (Wakka)



2日目(ゆめしま海道サイクリング 岩城島-弓削島/上島町)



走行距離：39.3km
獲得標高：+745m/-748m

- 09:00 昼食後Wakka出発 (クルーザー)
- 09:30 岩城港到着 ゆめしま海道サイクリングスタート
- 10:30 積善山山頂到着
- 11:30 昼食 (よし正)
- 12:15 サイクリング再開
- 15:10 生名島、佐島を経由、弓削島上弓削港にてサイクリング終了 上弓削港から家老渡港へ
- 17:10 松山空港到着 (Zglinski氏離団)
- 17:40 ホテル到着 (Tigay氏離団、ツアー終了)



**Trufflepig Travel社より問い合わせあり、
オーダーメイドツアーで調整中**

瀬戸内海国立公園 | (5) 欧米豪向けモデルコースの造成

●モデルコース2コース×英語版+日本語版を造成 (BtoB)



Setonaikai National Park Tour

Model course 2 Day



概要/ストーリー



概要/コンセプト:

本ツアーは、瀬戸内海国立公園の中でも魅力的なサイクリングコースがあるしまなみ海道とゆめしま海道を舞台に、瀬戸内海地域ならではの文化を感じられる宿泊施設、地元の食を厳選して、Eバイクで巡るサイクリングツアーです。

ストーリー:

瀬戸内国立公園は1934年に日本で初めて指定された国立公園であり、国内で最も広い国立公園です。温暖な気候もあり、早くから文化が栄え、人と自然が共存してきた地域であり、島々の段々畑や潮待ちの港町など、自然と暮らしが一体となった親しみやすい景観に加え、大小数々の島で構成された美しい多島海景観を見られる場所です。

本ツアーでは、このような瀬戸内海独自の景観を楽しみながら、独自の文化・歴史に近距離で触れられるサイクリングツアーにて、瀬戸内海国立公園の魅力をご五感で体感いただけます。

Route map (Overview)



Day 2 Experience cycling and history on the Shimanami Kaido, a sacred place covered by cyclists from all over the world

Day	Date	Time	Itinerary	Note	Transport	Accommodation
2	Day1		Breakfast at Yubune			
		8:30	Departure from Yubune			
		9:30	Shimanami Kaido cycling (first half)			
			Shikigama - Omishima - Misakigama (Royal course) On the way, stop at Takano Ohashi Bridge, a sacred place for cyclists	»Places to visit» Takano Ohashi Bridge, Sacred place for cyclists Iwazaki Castle Ruins, Furumai Setai (**Temple for its area of particularly fast currents)		
		11:30	Lunch at Akashi, Enjoy sushi kaisari at the counter	Enjoy a meal and interact with the local community at a long-established local sushi restaurant		
		13:00	Shimanami Kaido cycling (second half)			
			Makigama - Oshima	»Places to visit» Mishima (Miyakubo current)		
		14:00	Shikima Edgier Lightwing Boat (40 minutes) If you have time, stop by the Murakami Sogun (Pirate) Museum	Enjoy the rich seafood produced by the unique roads *For Mondays: Changed to seafood BBQ at Yubikami Sukikani and Kuroshima Strait Cruise		Cycling support car
		14:40	Shimanami Kaido cycling (second half) continue			
			Oshima - Imabari (Royal course) Mt. Kuroaki Observation Deck or Oshima Mt. Karayama Observation Deck *It is assumed that a private vehicle will be used for going up and down. *Setonaikai National Park Highlight Spot 6), Karayama Street Bridge	The second half of the island cycle is a fast, scenic seaside line with little traffic. »Places to visit» Mt. Kuroaki Observation Deck or Oshima Mt. Karayama Observation Deck *Setonaikai National Park Highlight Spot 6), Karayama Street Bridge		
16:00	Cycling ends at Sunrise Itoyama Island - various places -					



Oyamazumi shrine



Scenery from current boat



Observatory on Mt. Kiroasan

3

E-bike from Yubune on Ikuchijima Island to Sunrise Itoyama

Distance: 63.8 km Up: 809 m, Down: 774 m

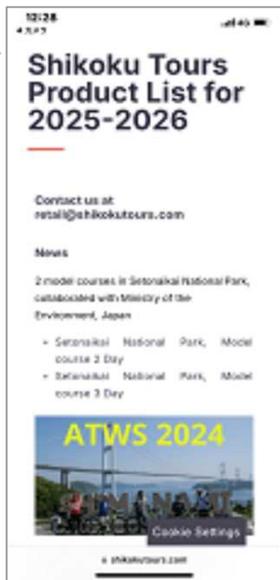
瀬戸内海国立公園 | (6) 訪日旅行会社へのセールス

1. 訪日旅行会社へのセールス

- (1) Voyageurs de Monde 社
- (2) 株式会社ジャルパック 訪日旅行事業部
- (3) 株式会社 JTB グローバルマーケティング&トラベル
- (4) Tricolage 株式会社
- (5) 株式会社エイチ・アイ・エス 訪日旅行営業本部



2. Webサイトでの情報発信



3. 海外旅行会社へのメルマガ配信 (70社)

Hi [Recipient's Name],

I hope you're doing well.

We're excited to share this fascinating project related to Adventure Travel in Shikoku and Japan:

Two Model Courses in Setonaikai National Park (In Collaboration with the Ministry of the Environment, Japan)

This year, as part of the "Project to Create Impressive Experiences in Japan's National Parks" organized by the Ministry of the Environment, Japan, Shikoku Tours has developed two cycling-based tours designed to explore the culture, food, and history of the Shimanami region. These tours leverage the natural beauty and resources of the Seto Inland Sea National Park, including the Shimanami Kaido and Yumeshima Kaido.

Please find the details of the model courses below:

- [\[Setonaikai National Park, Model Course \(2 Days\)\]](#)
- [\[Setonaikai National Park, Model Course \(3 Days\)\]](#)

We'd love to share this exciting project with your team and customers!

If you have any questions or need further information, please don't hesitate to contact us.

Wishing you a great day and a successful week ahead!

Best regards,
[Your Name]

開催日：2024年9月26日（木）～28日（土） 開催場所：東京ビッグサイト

●商談エージェントリスト 全29件

1	9月26日	デンマーク	JapanSpecialistDenmark
2	9月26日	ドイツ	Geoplan Touristik GmbH
3	9月26日	シンガポール	ASA Holidays
4	9月26日	カナダ	Japan World Tours
5	9月26日	アメリカ	The Learning Adventure
6	9月26日	スイス	An Tigre Vanille
7	9月26日	台湾	PACIFIC TRAVEL SERVICE
8	9月26日	韓国	MODETOUR NETWORK INC
9	9月26日	ドイツ	Japanista
10	9月26日	イスラエル	Japan-ToRii
11	9月26日	中国	SHENZHEN YOUXIA TRAVEL CO.,LTD
12	9月27日	タイ	Global Link International Holiday co.,LTD
13	9月27日	イタリア	JNTO ローマ事務所
14	9月27日	イタリア	VIAGGIGIOVANI
15	9月27日	フィリピン	AMKOR TRAVEL AND TOURS INC
16	9月27日	フィンランド	Olympia Air Travel Ltd
17	9月27日	オーストラリア	JTB Australia Pty Ltd
18	9月27日	オーストラリア	insider Journeys Austoralia
19	9月27日	シンガポール	Dynasty Travel
20	9月27日	オランダ	iki Travels
21	9月27日	スイス	HARRY KOLB TRAVEL SERVICES LTD
22	9月27日	中国	SHENYANG YONGAN TOUR INTERNATIONAL TRAVEL SERVICE
23	9月27日	スペイン	JAPONAL VIAJES
24	9月27日	オランダ	Dimsum Reizen
25	9月27日	シンガポール	Chan Brothers Travel PteLtd
26	9月28日	フランス	Japan Experience
27	9月28日	イタリア	The Net Srl
28	9月28日	ドイツ	DIAMIR Experience Travels
29	9月28日	スペイン	Destinos Asiaticos

ツーリズムEXPOジャパン2024

1	株式会社エイチ・アイ・エス	関東個人旅行ツアーG
2	株式会社ワールド航空サービス	インバウンド事業部
3	株式会社リロクラブ	地域振興G
4	株式会社アクト・ユートラベル	本社
5	株式会社エイチ・アイ・エス	ZENSES by Ryokan Collection
6	株式会社ジャパングレーライン	国際部
7	東武トップツアーズ株式会社	中四国国内旅行センター
8	株式会社SMEKK	Sales & Marketing
9	株式会社デスティネーションアジアジャパン	プロダクト
10	株式会社エイチ・アイ・エス	訪日旅行本部 DMC事業部
12	T-LIFEホールディングス株式会社	商品企画販売部
13	ロード カサンドラ 様	外国人メディア
14	株式会社阪急交通社	地域振興部 四国担当
15	橋高 ルイーズジョージ 様	外国人メディア
17	株式会社日本旅行	ツーリズム事業部
18	Wong Irwin 様	外国人メディア
19	ワリン リサ 様	外国人メディア
20	株式会社阪急交通社	営業統括本部地域振興部
21	パイヤー ヴィッキー 様	外国人メディア



販売ツール
英語・韓国語・台湾語

瀬戸内海国立公園 | (9) 韓国旅行会社向け FAMツアーの実施

開催日：2024年11月25日（月）～26日（火） ●モデルコース2コースを造成

●参加エージェン 2社（商談会で名刺交換）

会社名：TNC TOUR
参加者：代表理事（CEO）
韓国 ソウル在住



・販売シェア99%が日本へのツアー
・企業向けの視察、研修、体験ツアーを企画、販売
・他、企業のVIPを中心としたプライベートツアー

会社名：株式会社モードツアージャパン
参加者：東京支社 次長
日本 埼玉県在住（会社：東京都新宿区）



・募集型（団体）企画旅行を中心に販売
（日本の阪急交通社、クアーツリスムのイメージ）
・韓国では、テレビショールで販売、
・集客力のある韓国大手エージェント

●販売ツールの作成 BtoB（英語・韓国語・台湾語）

시마나미 카이도에 대해
시마나미로 가자!

★ “미술랭 그린 가이드 재팬”에 등재된 관광 명소

“CNN”이 선정한 최고의 7대 자전거 루트

“론리 플래닛”의 “세계의 웅장한 자전거 경로”에 등재된 매력적인 50대 자전거 루트

“트립어드바이저” 선정 일본의 전망대 순위 2위

내셔널 사이클 루트



日付	韓国 団体向けモデルコース 松山空港IN (案)	食
1日目	<p>リール：7:00発 ⇒ JEJUair 7C1771便⇒松山空港：8:40着/松山空港：09:00発 または、 前泊：松山市内泊 料：9:00発</p> <p>■10:15頃「サライズ」糸山到着：自転車のサイズを合わせます。 ◆お「サイクリング」(体験) アシスト付き自転車で「来島海峡大橋」を渡って頂きます。 サイクリングガイド付き/走行距離 約7km (道の駅ようみいきいき館まで) ◆道の駅ようみいきいき館から、 ▲「しまなみ来島海峡遊覧船(体験)」日本三大急潮流のひとつ「来島海峡」の急流を間近に体験していただける遊覧船です。 ●昼食 瀬戸内海ならではの！のお食事をお楽しみ頂きます。 ■「亀老山展望公園」隈研吾氏が設計したパノラマ展望台「リッジ」から、眺望をお楽しみ頂けます。 ■「伯方の塩 大三島工場(見学)」⇒「多々羅しまなみ公園 サイクリング」の聖地 ※その他、「村上上海賊ミュージアム(見学)」 「伊東豊雄ミュージアム・ところミュージアム(見学)」 「大山祇神社・宝物館(見学)」 冬期間：「みかん狩り」(体験) ■タオル美術館(見学・買物)</p> <p>●夕食・宿泊：今治国際ホテル</p>	昼
2日目	<p>今治国際ホテル 朝食後 8:45発 ⇒ ■今治城(見学) 9:00着 ■今治港～ ▲「瀬戸田(生口島)までクルージング(体験)」 ▲～瀬戸田港 瀬戸田港から徒歩 ■耕三寺/未来心の丘(見学) ■瀬戸田しおまち商店街(散策) ■平山郁夫美術館(見学) ※その他、因島「白滝山」ハイキング ●昼食：生口島 御食事処「ちどり」または「富士本舗」 昼食後、専用車にて「空港」または「次のエリア」へ 【案1】13:00 生口島発 ⇒ 1時間30分 ⇒ 広島空港14:30着 /16:20発 ⇒ JEJUair 7C1614便 ⇒ リール/18:20着 【案2】広島(市内・尾道・宮島など) 泊</p>	朝 昼



募集型企画旅行
(バスツアー)で
ツアー造成販売開始

瀬戸内海国立公園 | (10) 新規コンテンツ開発「漁師見学ツアー」+「虹吉」



漁師・藤本氏が魚を切る作業を解説付きで見学

4. 愛媛・広島コース (2025/2/1~2025/2/5)

Day3 : 漁師伯方島ツアー-byオーベルジュ藤本

◆概要

瀬戸内ならではの潮流体験をし、筋肉質な魚を生み出す地理的背景を学ぶ。その後、魚1尾1尾の美味しさのピークを見極めて神経メを行う漁師を見学し、夜に寿司として食するガストロノミーツアー。

◆評価・FB **5 5 5**

最初から最後まで素晴らしい体験。漁師訪問の特別さと、シェフのホスピタリティまで完璧だった。

◆気づき

魚が食べられなかったゲストがフグのから揚げ、金目鯛の煮つけを召し上がるほど、価値もインパクトもある体験で、全員が今回のハイライトに挙げた。



© Getouchi DMO All Rights Reserved.



藤本氏の船で漁場と魚の身を鍛える潮流を目前に見ながら、赤吉のある伯方島へ

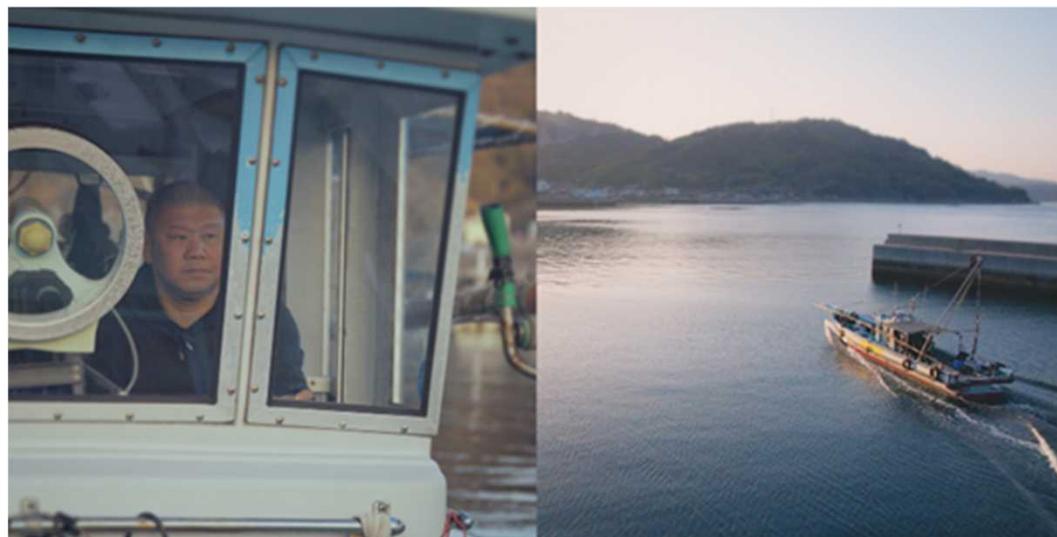
- 参加バイヤー
- 〇〇〇〇/CEO/〇〇〇〇 (アイルランド)
 - 〇〇〇〇/CEO/New World Travel(英国)
 - 〇〇〇〇/CEO&Founder/Just go travel (スペイン)
 - 〇〇〇〇/Manager/Just go travel (スペイン)



説明を交えながら鮨を食べる

FAMトリップを1回実施→今後、本格的に販売していく

最初から最後まで、素晴らしい体験！と高評価！ インバウンドでも十分、対応可能である事が分かった。



Meeting top-notch fisherman to discover secrets of highest-quality fish

Guests are taken to his ship to witness how he treats the fish to enhance its taste.

The experience also includes a 15-min ship ride across the sea and the services of an English-speaking guide interpreter.

**2月の商談会の成果：J-CAT株式会社（Wabunka）、ベルトラ株式会社と掲載調整中
その他、JTB BOKUN 掲載調整中**

フレンチ 和食 鮨



など全国のトップシェフが
産地のしまなみ海道で
漁師・藤本の
最高品質の高鮮度魚介に
特化したコース料理を提供する
間借りレストラン



【メニュー開発】

1. すし良月メニュー開発 (その1)
実施日：10/27(日)～10/28(月) 2日間
2. すし良月メニュー開発 (その2)
実施日：11/3(日)～11/5(火) 3日間
3. 勢麟メニュー開発
実施日：11/21(木)～11/23(土) 3日間
4. 恵比寿えんどう
実施日：11/26(火)～11/28(木) 3日間



間違いなく日本一の魚
そして日本一の漁師の藤本さんの仕立て
信じられないくらい海水が旨い、海水を調味料として使ってに
がりも感じさせないで料理されたのが初めてです
ピンの個体朝締めから5時間以内の1.2キロ辺りの2本の真鯛の全
てをつかって2リットルの出汁とったり
ただの塩焼きした魚から甘いクリームのような香りがしたり

魚の持つカルキ臭やわずかな石油臭など一切気にすることなく
魚の脂に熱を加えた時に脂の酸化臭も無く

料理をする中で材料から出るネガティブな要素を何も気にしな
いでやりたい様に調理する事ができました！！

料理初めて16年ですが僕の魚に対する常識が全て通用しない本
当に初めて経験です

単純に旨いを追い求めていましたが完全に知らない世界
すげえって言葉しか出ない
こんな土地で仕事できたら自分の中でも心から楽しく生きてい
けるんだろな
料理人として生きてきて1番最初のスタートを思い出すような
久しぶりに心を大きく動かされた濃密すぎる3日間
またすぐに愛媛に伺います！！

松山で住めるアパートを探すところから始めてみよう。笑
編集済み - 3週間前

今回は大変お世話になりました。



メニュー開発の様子



開発メニューの一例



【モニターツアー】

制作クラブ
Grian

11:00 伯方島「鎮守の杜」に集合
保護者は「赤吉」へ



11:30 伯方島の宝股山や開山にお弁当を持ってハイキング
鎮守の杜で工作など

17:00 夕食づくり、アクティビティ

21:00 就寝

翌10:00 保護者がお迎え、報告



宝股山ハイキング
頂からの眺めの説明を受ける様子



山の中腹にあるコミュニティスペースを活用
落ち葉等を使った工作を楽しんだ



地元食材を使った夕食づくり



テントにお泊り

次年度は、アドバイザーを迎え、インバウンド向け「アドベンチャーツーリズム」としてブラッシュアップ
(名称も変更)

阿蘇くじゅう国立公園

世界を感動させる阿蘇へ 「阿蘇自然体験活動促進計画」自走化事業

阿蘇カルデラツーリズム推進協議会

National
Parks
of Japan



取組概要

阿蘇くじゅう国立公園 | 事業概要

国立公園のストーリー：草原のかほり、火山の呼吸。風が遊ぶ感動の大地。

本事業・本ツアーのストーリー（来訪者と共有したい価値）

- ・今でも活発に噴煙を上げる活火山の呼吸（地球の息吹）
- ・千年以上の昔から人々が自然と共存共栄し守り伝えてきた草原
- ・上記の結果育まれた自然への畏敬の念（火山信仰）

本事業で活用する資源とテーマ

- ・「千年の草原」と草原が育む農畜産物、清らかなで豊富な湧水、二酸化炭素固着機能、生物多様性
- ・千年以上の昔から、人々と自然が共存共栄してきた「元祖・サステナブル」と言っても過言でない、阿蘇の人々の暮らしや信条。
- ・草原は、景観面だけではなく、放牧や農業にも欠かせないこと。
- ・九州の水がめとして水源涵養や、阿蘇市全体をカーボンオフセットしてもお釣りが来る高い二酸化炭素固着機能をもっていること。

望まれる来訪者の体験、来訪者の意識/行動変容

- ・外国人旅行者が、阿蘇での体験を通して、日本人が昔から培ってきた自然を畏れ敬う心を、知識とともに自身の五感でも感じて、腑に落ちる状態、深い共感の状態に持っていきたい。

来訪者（ターゲット）

- ・最も共感を得たいターゲットとしては、欧州（特にフランス・イギリス・ドイツ・オランダ・ベルギー等）の、サステナブル・アドベンチャー・ウェルネストラベルに関心が高く、すでに日本にも複数回来訪経験があり、東京や富士山、京都等の有名観光地ではない、よりリアルでディープな日本の「知る人ぞ知る」体験に関心がある層。
- ・上記だけでは来訪者に占める割合は限定的なため、東アジア特に台湾からの旅行者で、すでに九州への来訪経験もあり、屋外でのアクティビティやその地ならではの歴史・文化等にも関心が高く、責任ある消費者としての行動にも心がけている層。

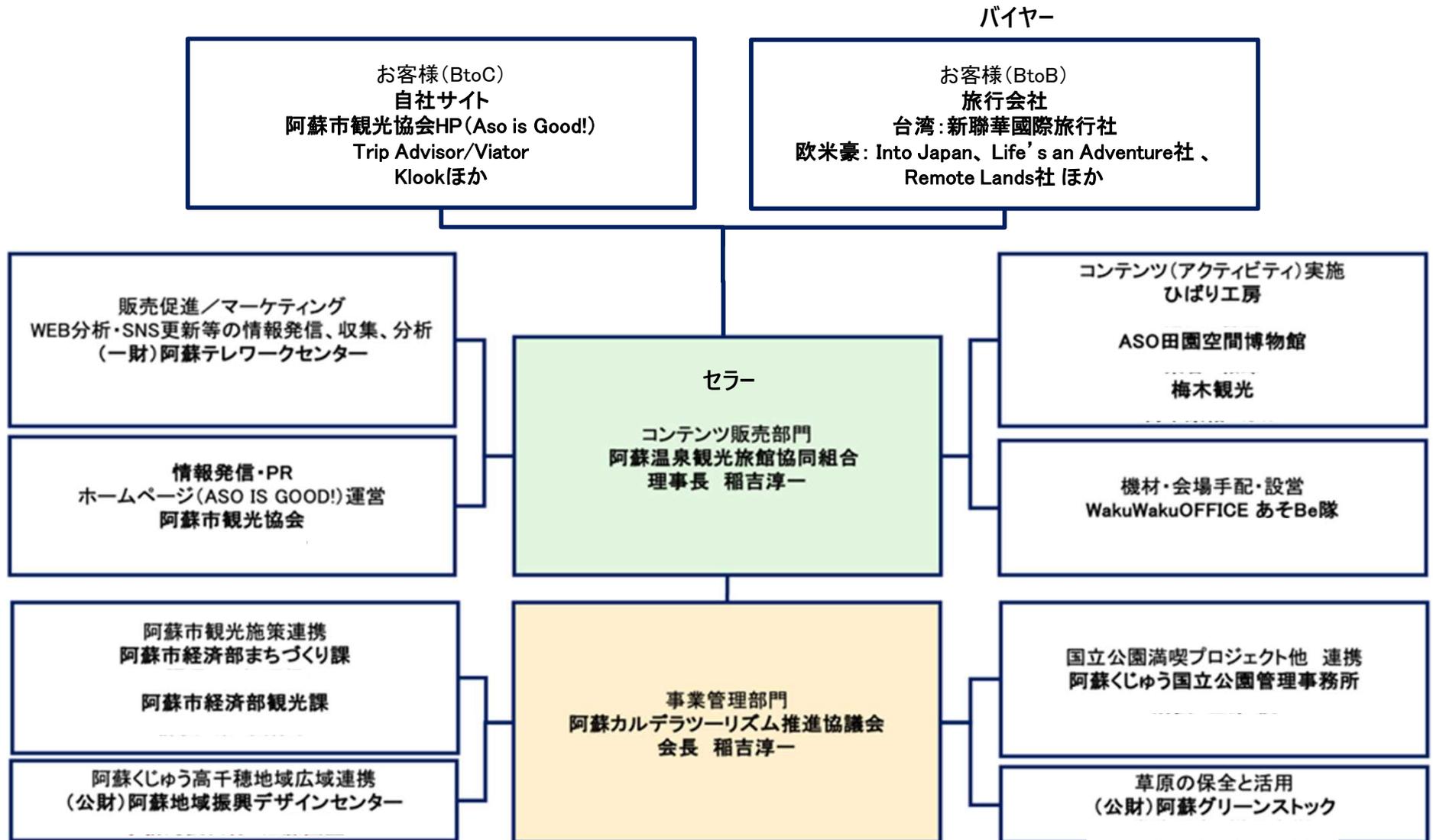
ツアーの概要とメイン自然体験アクティビティ

- ・名称：特別な許可を得て草原体験！噴煙を上げる阿蘇中岳火口と「千年の草原」E-MTBライド
- ・実施主体・販売者：阿蘇温泉観光旅館協同組合
- ・オペレーター：WakuWaku OFFICEあそBe 隊
- ・金額：28,000円/人 所要時間：4時間
- インタープリテーションのストーリー
 - ・まずはオリエンテーションで草原の知識を深める
 - ・いざ、「千年の草原」を駆け抜ける貴重な体験へ
 - ・草原の恵みをいただき、人々が暮らすふもとへ
 - ・ツアー参加費の一部は草原保全料に還元することで、旅行者、草原、地域の三方良しの循環につながります。

設定KPI/KGI ・ 保護と利用の好循環

項目	現状	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
遊人 体験 整備	プロフェッショナルガイドの育成	OJT研修実施 (実数10人)	OJT研修継続実施 (実数20人・中国語含)	OJT研修実施継続 (実数30人・中国語含)	左記定着	左記定着
	草原活用コンテンツ販売・実施体制の自走	体制強化・資金確保	一部自走化	一部自走化	自走化	完全自走化
	草原活用コンテンツ実施牧野の確保	3	6	8	10	10
商品 販売 ・ 販売 実績	草原活用コンテンツの平均単価	7千円	7.5千円	7.5千円	7.5千円	7.5千円
	草原活用コンテンツの参加者数	2,000人	4,000人	7,000人	10,000人	13,000人
	上記のうち東アジアからの参加者数	1,000人	2,000人	4,000人	6,000人	8,000人
	草原活用コンテンツの売上拡大	14,000千円	30,000千円	52,500千円	75,000千円	97,500千円
	草原活用コンテンツの営業利益	2,800千円	6,000千円	11,000千円	15,000千円	19,500千円
	OTAサイトへの商品掲載・販売	欧州向け 掲載・販売開始	東アジア向け コンテンツ販売	自走化	自走化	自走化
保全・ 還元	宿泊施設とのタイアップ商品の造成・販売	欧州向け 造成・販売開始	全商品販売	自走化	自走化	自走化
	旅行会社へのセールスと誘客	セールス 誘客(2社)	セールス 誘客(3社)	セールス 誘客(4社)	セールス 誘客(5社)	セールス 誘客(6社)
	草原の観光での活用・保全体制の確立	試行・モニタリング	改善・モニタリング	安定化・モニタリング	自走化	自走化
	草原の観光での活用による保全料への還元	還元開始(1,200千円) 売上の約8.5%	還元拡大(2,700千円) 売上の約9.0%	還元拡大(5,000千円) 売上の約9.5%	還元拡大(7,500千円) 売上の約10.0%	還元拡大(9,750千円) 売上の約10.0%
	草原の観光での活用による域内消費拡大	消費計画(8,000千円)	消費計画(12,000千円)	消費計画(18,000千円)	消費計画(25,000千円)	消費計画(30,000千円)

阿蘇くじゅう国立公園 | 事業実施体制



阿蘇くじゅう国立公園 | 事業スケジュール

項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
「世界を感動させる阿蘇」検討会議		●7/24 第1回会議				●11/13 第2回会議		●2/20 第3回会議
既存アクティビティの磨き上げ		アンケート設計	モニタリング検証		アンケート集計・分析		現場実践研修	
東アジア市場マーケティング調査 & 商品造成		マーケティング調査	商品造成					
東アジア市場向けプロモーション				ウェブサイト制作			OTAプロモーション	
地域通訳案内士の確保		対象者選定・研修計画立案					即戦力化研修	
地域の事業者等へのストーリーの普及					●第1回講習会	地域の事業者等の体験会		●第2回講習会
海外メディアの取材招聘活動			海外メディア招聘活動・プレスリリース					地域内施設掲示用POP/パネル制作
SNS・口コミ投稿推進キャンペーン(仮)開催							SNS・口コミ投稿キャンペーン開催	

事業の実施・成果等

【台湾市場向け専用商品】「千年の草原」での乗馬体験を主に、温泉入浴・食事をセット

■ 阿蘇草原騎馬 & 探索草原生態&漫遊内牧温泉街－九州阿蘇

ツアー・アクティビティのストーリー

千年草原特別区騎馬体験：造訪平時無去進入の特別区域，騎馬徜徉於草原之中欣賞世界最大級破火山口：北外輪高最高點眺望破火山口，感受阿蘇壯麗美景
探索草原生態的奧妙：在草原學習館內，了解燒荒對草原永續發展的重要性
漫步悠閒内牧温泉街：100%天然源泉放流的温泉，為您療癒疲憊的身心

ツアー行程

造訪北外輪山，進入平時無法踏足的千年草原特別區，旅人可自由騎乘馬匹，徜徉於寬廣的阿蘇草原間，讓心靈隨著遼闊的景色開展。騎馬體驗後，登上大觀峰，眺望世界最大級的破火山口。這片奇特的地貌，是全球少數人類居住在破火山口內並與火山共生的地方，令人驚嘆不已。

午餐前往ASO MILK FACTORY享用加上滿滿阿蘇當地牛乳所製作的起司料理，在舒適的環境渡過悠閒的美食時光。

※也可依旅人喜好安排内牧温泉的在地料理。

下午前往草原學習館，探索阿蘇居民如何透過一年一度的燒荒活動，維持草原的永續生態平衡。最後，來到歷史悠久的内牧温泉街，體驗獨特的町湯文化。100%天然放流的温泉，在露天風呂中伴著潺潺流水聲，欣賞戶外的美麗景致，讓旅途的疲憊感隨温泉水一同消散，徹底放鬆身心。



交通安排

JR阿蘇火車站和阿蘇市內飯店是我們的集合和解散地點。

若您住宿於阿蘇市內飯店，需要接送的話，訂購時請一併提供飯店名稱。

此活動將回到集合地點結束。

費用說明

費用包含

當日車資

中文導覽員

騎馬體驗費用（30分鐘）

費用不包含

食物及飲料

個人花費

温泉入浴費用

注意事項

騎馬行程僅在天候狀況佳時成行。如遇大雨時取消行程時（小雨時會成行），行程會改為阿蘇神社祝禱儀式體驗。

此行程午餐費用自理，午餐地點為ASO MILK FACTORY或是内牧温泉街餐廳，導遊會協助點餐。

草原風景依四季變化有所不同，以下內容做為參考，3月燒荒後為黑色，4月新芽初生，5月中旬至夏季時段綠意盎然，秋冬季為金黃色草原及雪山風景。

此行程最少出團人數為兩名（如欲一人參加需付2人費用）。

行程不併團僅接待一組旅客。

下單訂購後，需1-2個工作天確認是否成行，若無法成行將全額退款。

※阿蘇體驗遊程活動季節：

因12月~2月阿蘇氣候偏寒冷，適合活動季節為：3月~11月；最佳季節為：4月~5月及10月~11月。

■ 販売価格：2-3人成行NT\$ 6,900 起 4-5人成行NT\$ 5,750 起

【台湾市場向け専用商品】食事や正式参拝をオプション化、SNSで人気の上色見熊野座神社もセット

■ 神社火山之旅－九州阿蘇

ツアー・アクティビティのストーリー

神社参拝祝禱儀式：由神職人員進行儀式，為旅人消災除厄 & 祈求幸福健康
 門前町水基巡禮：懷古風情的街道散策，品飲天然湧水，感受大自然的恩惠
 品嚐美味赤牛蓋飯：赤牛肉質帶有彈性口感，阿蘇必吃美食！
 漫歩阿蘇火山口：壯闊的火山地貌，升騰而起的白煙，近距離感受火山的神秘力量
 上色見熊野座神社：充滿濃厚神秘氣息，森林中延綿的石階參道，彷彿引人入走入超現實的異世界

■ 販売価格：

項目	價格(TWD)每人	
	2-3人	4-15人
A方案： 阿蘇神社/門前町/阿蘇火山 (含祝禱祈願儀式及午餐費用)	6,440	5,520
B方案： 阿蘇神社/門前町/阿蘇火山	4,600	3,680
C方案： 阿蘇神社/門前町/阿蘇火山/上色見熊野神社 (含祝禱祈願儀式及午餐費用)	7,130	6,440
D方案： 阿蘇神社/門前町/阿蘇火山/上色見熊野神社	5,290	4,600

A、B方案行程時間約：10:30~16:00。C、D方案行程時間約：10:30~16:30。
 行程接送範圍：阿蘇車站及阿蘇市內飯店。
 祝禱祈願儀式時間約15~20分鐘。
 若阿蘇火山當日因火山狀況不佳不開放將改去：草千里、米塚、古坊中或阿蘇山噴煙展望公園。
 古坊中步道約30分鐘路程。
 因火山口氣體對於有氣喘或呼吸道疾病者不好，有此疾病的客人不建議參加。
 此體驗必須有良好的天候。如果因天候不佳而取消，則將改期或全額退款。
 此行程最少出團人數為兩名（如欲一人參加需付2人費用）。
 行程不併團僅接待一組旅客。
 下單訂購後，需1-2個工作天確認是否成行，若無法成行將全額退款。

ツアー行程

此行程為私人導遊帶路的一日導覽行程。帶領旅人廣泛地了解阿蘇地區的富含文化及精神性、藝術性及火山相關的景點。首先，造訪擁有2000年以上歷史的阿蘇神社，再散步到充滿懷古風情的門前町，飲用不同店家門前水基湧出的泉水，探索阿蘇的美味甜點。壓軸行程前往阿蘇山頂，窺看神山的神聖中心。在山腳下的本殿正式參拜後，前往阿蘇山頂，置身在御神體中，眺望火山口，心中不禁湧現對大自然的感恩之心。

阿蘇神社

我們將參觀以阿蘇山活火山口為信仰中心的阿蘇神社。2000年歷史的古老神社，全國500社阿蘇神社的總本社。

熊本地震後復原樓門及重建參拜本殿。

神職人員祝禱儀式，深度體驗日本神道教文化。

午餐：阿蘇赤牛肉料理（選購項目）及門前町店街水基巡禮

當地流行的赤牛肉套餐，但我們也可以滿足任何飲食限制或避開過敏。阿蘇必吃赤牛，肉質帶有彈性。

漬物及米飯以阿蘇當地食材製作。

充滿大正復古浪漫氛圍的古民家餐廳。

吃完飯後，可以在門前町商店街逛逛，逛逛小商店，拍幾張照片。一定要試試那裡的新鮮礦泉水，享受火山的力量。

天然湧水豐沛區域，商店街各處水基可自由飲用。

商店街當地美食及特色點心。

阿蘇中岳火山口巡禮

擁有崎嶇的熔岩表面，是世界上最大的火山口之一，東西長18公里，南北長25公里。在破火山口中心拔地而起的阿蘇五座山（根子岳、高岳、中岳、烏帽子岳、杵島岳）中，中岳持續活躍。中岳直徑600m，深130m。在周長4公里的巨大火山口，可以近距離看到濃烈的白煙升騰動態的景色。

※如遇火山口關閉時無法參觀時，改於阿蘇山噴煙展望公園遠眺中岳或古坊中及草千里

古坊中步道：想像過往山岳信仰極盛時期的樣貌，漫歩草原之中。
 草千里濱：散步於牛馬放牧地的草千里，或喝杯咖啡買買伴手禮。

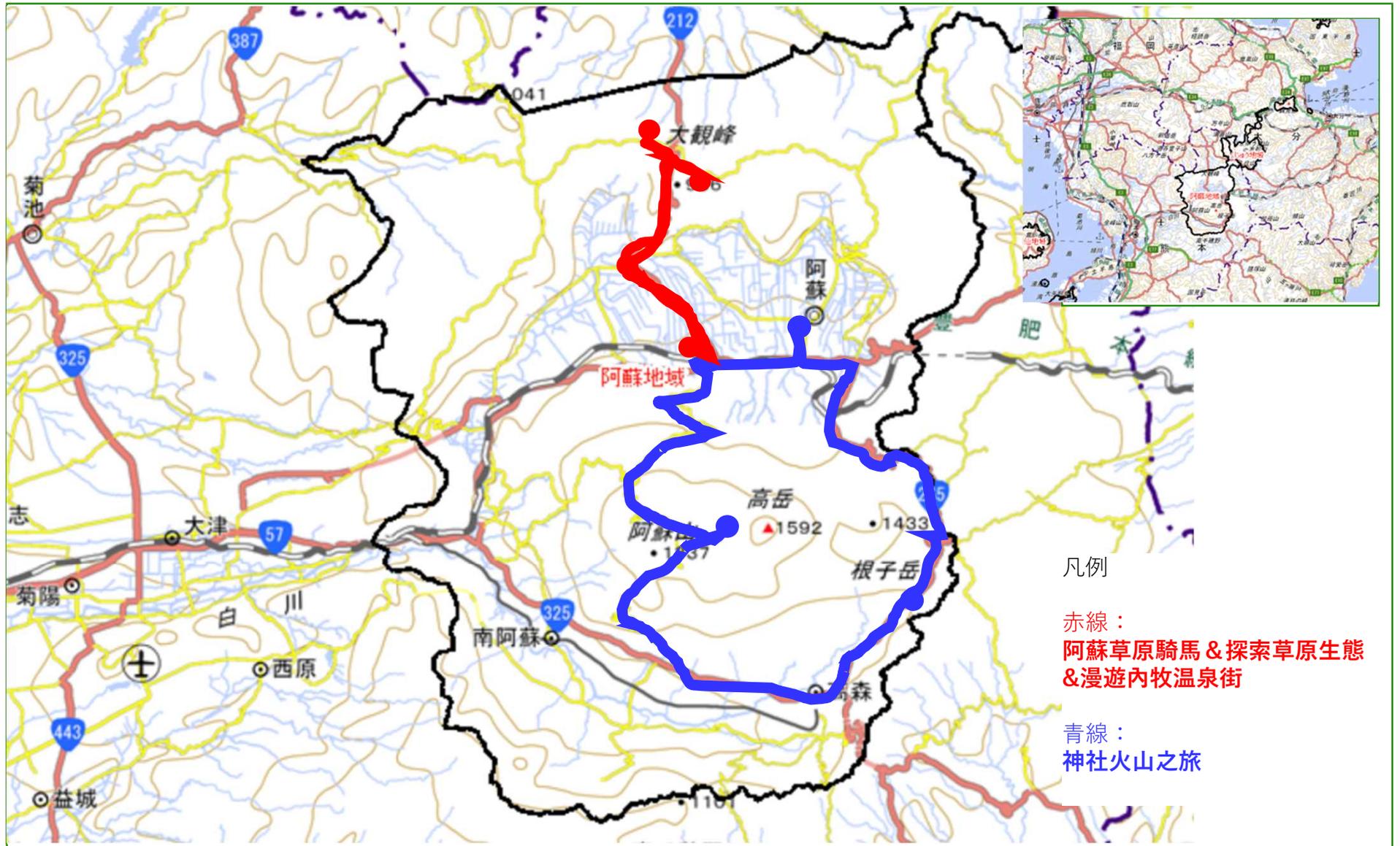
上色見熊野座

座落於森林中，石階參道延綿而上，兩側無數的石燈籠及青苔，陽光穿過樹葉散落下來的光芒，讓人彷彿置身於自然秘境之中。

■ 神社火山之旅 - 九州阿蘇



■ ツアー行程図



■地域の受入体制、オペレーション構築

課題：ガイド・インタープリターの不足により、申込みの約25%を応諾できていない

対応策：

有休状態の地域通訳案内士や、外国人移住者等を対象に、リスキング研修を実施、プロガイドとして戦力化。今年度中に5人が学び直しによりガイドとしてデビュー予定。

課題：台湾からの来訪者が多いにもかかわらず、ガイド対応ができない

対応策：

新たに、日本にて全国通訳案内士（中国語）の資格をもつ台湾出身者を正規雇用。阿蘇駅インフォメーションセンター等にてOJTをしながら、中国語プロガイドとしても活動。

課題：高付加価値な受け入れのためには、現在のガイドスキルを検証し磨き上げ

対応策：

既存アクティビティの来訪者に対し満足度調査を実施、改善点をフィードバック。国別にお客様の心をくすぐるポイントを明確化し、カスタマイズ対応。

■ インバウンド対応における工夫点

ストーリー

伝えたいストーリー： 自然への畏敬の念

噴煙を上げる活火山と、千年以上の昔から人々により守り伝えられてきた「千年の草原」
国立公園の自然と、そこで育まれてきた歴史・文化

課題：

欧米豪からのお客様には、高く評価をいただいているが、来訪が多い台湾からの参加は限定的

対応策：

台湾からの旅行者の3つのニーズ・嗜好を踏まえ、アレンジした商品を造成

① コスパ・タイパ重視に対応した商品造成

→ 草原保全センターでのオリエンテーションや、草原アクティビティ等とともにグルメや名所巡りも実施

② ESG投資に積極的な企業の福利厚生やインセンティブツアーを狙った商品造成

→ 草原保全活動等に参加いただくリジェネラティブコンテンツを小グループや学生むけに造成

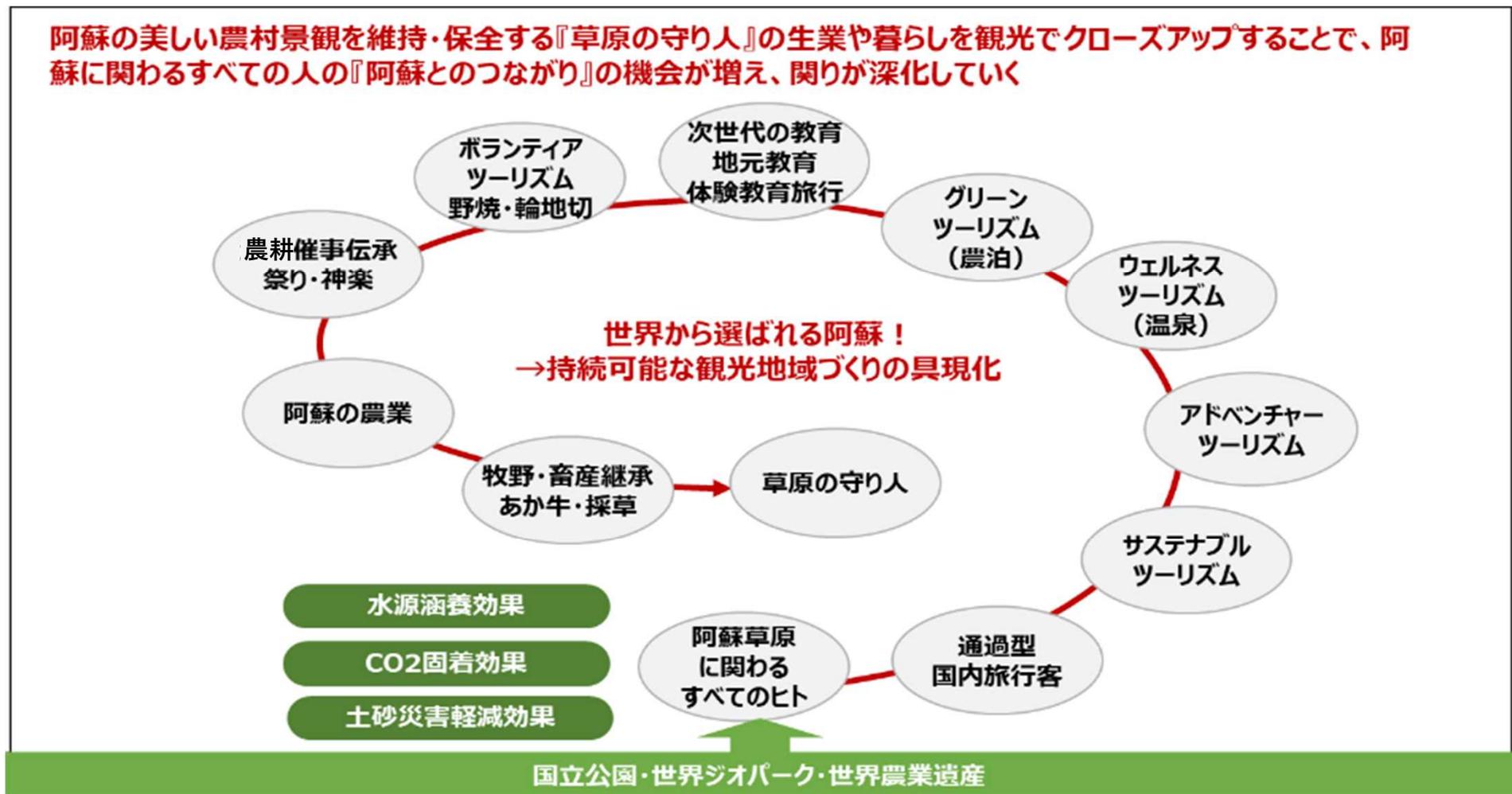
③ ウェディング、結婚記念日、退職祝い等の特別な日の旅を狙った商品造成

→ 「千年の草原」を貸切で利用し、乗馬とアウトドアダイニング等を特別な空間で提供

■ インバウンド対応における工夫点

ストーリー

コンセプトを共有し、地域をひとつに……千年続く草原を次の世代へ。 阿蘇の美しい農村景観を伝えるのは、私たち、草原の守り人



■ インバウンド対応における工夫点

ガイドング

現場でのストーリーの伝え方

→原則として、アクティビティやダイニングの前に、草原保全活動センターでのオリエンテーションを実施

ダイニングにおける「草原ならではの」演出の仕方

→「ホンモノ」の草原を、必ず取り入れる

- ・場：「草泊まり」をモチーフにした茅葺きの東屋での提供
- ・味：阿蘇の草原生まれ、草原育ちの「阿蘇のあか牛」を提供
- ・香り：草原の茅でいぶして、食材を提供する
- ・音：草原の風や鳥のさえずりに耳を傾けるサイレントタイムを設ける
- ・触：草原の茅のブロックを用いた椅子やベッドなど、草の感触を楽しむ

アドバイザーAlex氏の助言を受けた磨き上げ

→陶器の皿やカトラリーを用いる

→脱プラ、リユースアイテム使用の徹底

→東京等でもできるファインダイニングではなく、当地ならではの食材や大地のチカラを感じてもらう

■インバウンド対応における工夫点

スルーガイド、ツアーマネージャー、添乗員からのヒヤリング

阿蘇に訪れたことのあるアジア・欧州を担当するスルーガイド、ツアーマネージャー、添乗員に、各国の傾向及び3つのプログラムの場合の各国ごとの推しのポイントについてヒヤリングを実施した。

また、各国の旅行者のニーズを踏まえた心をくすぐるインタープリテーションができるようスキルアップはもとより、阿蘇という土地でインタープリテーションを行う場合のスルーガイドやツアーマネージャー、添乗員が望む現地ガイドとのスムーズなツアー運営をしていくための改善ポイントについてもヒヤリングを実施し、次ページにまとめた。

実際のアクティビティでの現場実践研修（OJT）を行い、スルーガイド、ツアーマネージャー、添乗員が逆に現地ガイドに求めることや役割分担についてもヒヤリングを実施した。

■ヒヤリング協力者：

所属	所属	業務	国	備考
阪急交通社	国際営業部	ツアーM	欧州	
阪急交通社	国際営業部	ツアーM	仏	
阪急個通社	国際営業部	ツアーM	独	
阪急交通社	地域振興部	ツアーM	欧州	
個人	スルーガイド	ガイド	英語圏	全国
個人	スルーガイド	ガイド	中華圏	東北・関東
個人	スルーガイド	ガイド	英語圏	東北・北海道
個人	スルーガイド	ガイド	中華圏	東北
個人	スルーガイド	ガイド	仏	全国
個人	スルーガイド	ガイド	独	全国

■ヒヤリング方法：

ヒヤリングでは、OTAのコラムなどを見せながら、次項記載の各ポイントなどを紹介しながら、推しポイントの順位をヒヤリングしてまとめた。

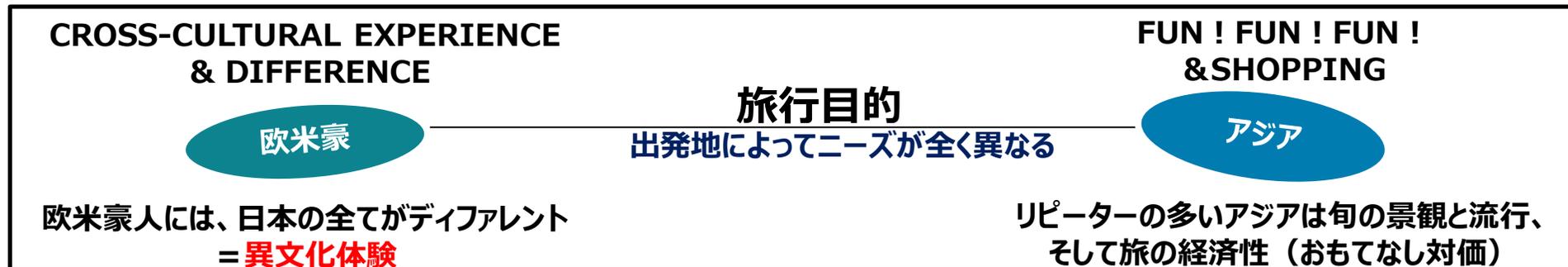


阿蘇くじゅう国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

■ インバウンド対応における工夫点

ガイドング

ヒヤリングによると欧米豪とアジアの日本の旅で求めているところの大きな違いは下記の2つに大別される。この嗜好性の違いは大きいという。逆にいうと、ここを理解していれば、地元のガイドの人たちが提供するサービスに間違いもない



スルーガイドが地元ガイドに教えたいこと/求めること

日本に長く滞在している中で、阿蘇を訪問することを考えると、以下の点を気をつけていただければ、スムーズなツアー運営ができる

○「ありのまま」の地域をどのように伝えられるかが、共感を呼ぶポイント。そういう意味では伝えたいことを明確に文章にしておくことが伝わりやすい	○日本にきて、地元の人語る日本語の言葉を聞かないのはつまらない。しかしどうしても長くなるのでスルーガイドは要点を事前に把握しておきたい。	○プログラムは経験すると意外とハードな場合が多い。きちんとレベルを伝えておくことが大切。欧米の年配者は高血圧などの持病を持たれている場合も多い
○旅のどの段階でプログラムを実施するかにもよるが、長旅で疲れが出ている場合もあるので、安全に気をつけてほしい	○日本の中で長距離移動が多いので、運動前の準備体操やストレッチなどは是非入れてあげてほしい。	○小グループで各地移動の場合は、事前にコンテンツの説明をしたいのでパンフレットより詳細な説明資料があると嬉しい。体験の中で、同じことをできるだけ通訳しない状態で時間を効率的に使いたい
○時間の制限のある中で、できるだけ現地の言葉を聞かせたいが、エピソードはポイントを短めをお願いしたい	○欧米系はフレンドリーな接し方を。日本の旅を、どう楽しめるか、楽しませてくれるのかに期待している	○中国系は、日本に来ている回数が違う。したがって、前回の場所と違う何かをどのように提供していくべきかを考えて、ガイドしている。（新しい情報や話題がほしい）
○欧米は、日本滞在の長い2週間程度がボリュームゾーン。都市と田園の違い、地域ごとの魅力をどう表現できるかが飽きせないポイント。	○中国系はビジネスライクな雰囲気もある。私をどこまで満足させてくれるのか？お金を払っているのだから...	

■ 現地調査

磐梯朝日への現地訪問・地域交流を実施。2つの国立公園のアクティビティ事業者等の相互交流により、自地域を客観的に棚卸。

阿蘇地域の気づき

- 国立公園の自然や歴史を活かした、一流の文化・芸術のチカラは差別化の切り札
- 「この人と歩きたい、体験したい」と思わせるガイドのセルフブランディングの実施が有効
- 宿やアクティビティセンターがシームレスに連携することによるワンストップ手配が有効

次年度以降も、(仮称)「Japan Volcano Tourism」として、連携し、台湾等にPR。

将来的には、極東地域のデスティネーションとして台湾とも連携し、欧米豪からの誘客につなげる

訪問先	福島県・磐梯朝日国立公園、福島市
期間	令和6年10月7日(月)～9日(水)
目的	環境省感動体験事業における意見交換・アクティビティ現地訪問
詳細	日時：令和6年10月7日(月)午後3時～午後5時 会場：ぼんさいや あべ 参加者：阿蘇カルデラツーリズム推進協議会関係者3名、阿蘇市まちづくり課1名 内容：当地での盆栽の特徴(起源・歴史・コンセプト・国立公園との関連・今後の方向性等について)
詳細	日時：令和6年10月8日(火)午前9時～午後5時 会場：磐梯朝日国立公園 浄土平・一切経山・鎌沼 参加者：阿蘇カルデラツーリズム推進協議会関係者3名、阿蘇市まちづくり課1名 内容：盆栽のモチーフとなった五葉松を活用した国立公園での高付加価値なトレッキングアクティビティについて
詳細	日時：令和6年10月9日(水)午前9時～午前11時 会場：安達太良・吾妻自然センター 参加者：阿蘇カルデラツーリズム推進協議会関係者3名、阿蘇市まちづくり課1名 内容：安達太良山・吾妻山エリアにおいて、高付加価値なツアーを企画・催行する事業と、自然センターについて
詳細	日時：令和6年10月9日(水)午後0時～午後2時 会場：福島市役所 参加者：阿蘇カルデラツーリズム推進協議会関係者3名、阿蘇市まちづくり課1名 内容：福島市及び阿蘇市での国立公園を活かした高付加価値なアクティビティについて
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・国立公園の自然と日本ならではの歴史文化を一つのストーリーとして体験できるツアーは、特に欧州からの高付加価値旅行者に高い評価を得ることができる。(福島・阿蘇共通) ・ストーリーの展開においては、全体のツアー行程における起承転結等のシナリオを事前に想定することで満足度が上がる。 ・ガイドインタープリター自体のブランディングを行うことで、ガイド自身もツアーの魅力の一つとすることができる。一方で属人的になりすぎると、持続可能性に支障をきたすため、受入体制づくりも重要。 ・国立公園エリアにおいては天候の予測が困難なため、3日間程度の期間を滞在いただくことで、トータルで満足をいただけるツアーとすることが有効。 ・既成のツアーをOTA等で販売することも重要だが、高付加価値なツアーについては、オーダーメイドで企画することで満足度を高められる。

■ 現地調査

現地調査の様子



■ モニター/FAMツアーレポート

3社を招聘しFAMツアーを実施。

Into Japan社

Life's an Adventure社

Remote Lands社

ともに継続商談中。

オーストラリアのLife's An Adventure 社

とは、2025年秋シーズンの具体的な九州ツアーの詳細を調整中。

FAMツアーのイントロダクションシート

Place	Aso-Kuju National Park in Kumamoto, Kyushu-island
Title	A special experience at an active volcano Mt.Aso and the Millennium Grassland

Introduction
 (location, story, examples of activities that represent the story, etc)



In Aso, located in the center of Kyushu, you can go up close to the crater of an active volcano spewing smoke and feel the heartbeat of the earth. In addition, the world's largest caldera is home to the "Millennium Grassland." This rare grassland is the largest in Japan and can be said to be the origin of sustainability, where people and nature have coexisted and prospered for over a thousand years. With special permission, you will be able to experience this unique natural environment and the historical and cultural heritage of the people. You can also enjoy the local food unique to Aso, including "Aka-ushi," a rare Wagyu beef breed raised on the grasslands.

■モニター/FAMツアーレポート

Itineraries

■Day1 Arrived Aso in the afternoon

- ・**Special worship** At Aso Shrine, Greeting the Crater dieties
- ・**Sunset Horse Ride** at Millenium Grassland

■Day2

- ・**View the sunrise and sea of clouds** over the Aso Caldera
- ・**A Historical Walk** along the historic road
- ・**Experience rural life** in the village with 2,000 years of history
- ・**Outdoor dining** on Aso's "Millenium Grassland"

■Day3 After lunch, you will head back from Aso.

- ・ **Mt.Aso E-MTB ride** and Experience the smoking crater

■Accommodation(Assumptions) : Sen no mori

All rooms are in separate, so you can spend your private time without being disturbed by anyone.

remarks

The actual itinerary will be determined based on your requests.

We will be entering the precious "Millennium Grassland" with special permission, so please cooperate with the guidelines, such as disinfecting the soles of your shoes.

A local guide who lives in Aso and speaks English, French, or Chinese will guide you around in a private vehicle.

■ モニター/FAMツアーレポート

FAMツアーの行程表

Day1				
Time		Itinerary	Remarks (meeting point, contact, equipments, etc)	
	~	9:00	Check out of accommodation and meet your guide	
9:00	~	10:00	Travel to Aso Caldera by private car	
10:00	~	11:00	Learn about active crustal movements at the Earthquake Relics Museum	
11:00	~	12:00	Formal worship at Aso Shrine, which enshrines the Nakadake crater as a sacred object	
12:30	~	13:30	Lunch of "Akaushi" Wagyu beef made with special attention to the soil	
14:00	~	15:00	Watch a live drum tao performance at the National Park's outdoor theater	The outdoor temperature will be around 10 degrees, so please wear windproof, easy-to-move-in clothing.
15:30	~	17:00	Stroll through a rural village with 2,000 years of history	
	~	17:30	Check in to accommodation	Aso Uchinomaki Onsen Ryokan Sozankyo
	~		Dinner will be provided at the accommodation.	If you have any allergies or foods you dislike, please let us know.
Day2				
Time		Itinerary	Remarks (meeting point, contact, equipments, etc)	
	~	7:45	Check out of accommodation	
8:00	~	12:00	Depart from accommodation	The outdoor temperature will be around 10 degrees, so please wear windproof, easy-to-move-in clothing.
12:30	~	14:30	Private Dining at "Millennium Grassland"	** Pairing wood-fired cuisine with local alcohol
14:30	~	16:00	Explore the "Millennium Grasslands" on horseback or on an E-MTB	** Cruising along the vast grasslands
16:30	~		go back to accommodation	
	~		Dinner will be provided at the accommodation.	Aso Uchinomaki Onsen Ryokan Sozankyo

■ モニター/FAMツアーレポート

Day3				
Time		Itinerary		Remarks (meeting point, contact, equipments, etc)
	~			The outdoor temperature will be around 10 degrees, so please wear windproof, easy-to-move-in clothing.
6:30	~	7:30	See the sea of clouds and sunrise at a spectacular spot	** Coffee and other hot drinks are also available.
7:30	~	9:15	Breakfast and rest at the accommodation	
9:15	~	9:30	Check out of accommodation, Move to museum	
9:30	~	10:15	Learn about the charm of the "Thousand-Year Grassland"	
10:45	~	11:00	Experience the crater and caldera from above in a helicopter	
11:30	~	12:30	Lunch at a local farm restaurant	
12:30	~	12:50	Visit Farmers Market stocked with carefully selected local products	
12:50	~	13:40	Transfer to the airport by private car	
13:40	~	14:40	Check-in at the airport	

■モニター/FAMツアーレポート

■成果

- ・阿蘇エリアの国立公園の自然や歴史文化が高く評価されることを確認することができた。
- ・千年以上の昔から、人々と自然が共存共栄して受け継いできた「千年の草原」についても、その価値を高く評価いただけることが確認できた。
- ・地域通訳案内士等の地元ガイドのインタープリテーションについても、高く評価いただけることが確認できた。
- ・全体として、高付加価値な時間を好む旅行者に対して、一定の訴求力をもっていることを確認できた。

■課題

- ・好天時と、悪天候時の体験価値の差が非常に大きい。雨天時には多くのアクティビティが催行できない。また、催行した場合も満足度が大きく異なる。
- ・高付加価値な時間を好む旅行者の嗜好に合致する宿泊施設が少ない。
- ・高付加価値な時間を好む旅行者の嗜好に合致するエリア内の移動に用いる車両が少ない。
- ・高付加価値な時間を好む旅行者の嗜好に合致するエリア内の飲食店やメニューが少ない。
- ・ヘリコプター遊覧についても、高付加価値な時間を好む旅行者の嗜好に合致しない点がある。
- ・万が一の事故の際の迅速でスムーズな対応に改善の余地がある。

■改善点

- ・悪天候時、雨天時にも十分に魅力を楽しむことが出来る代替案を用意する。
(具体的には、周辺エリアの鍋ヶ滝や高千穂峡、通潤橋等も含めて、雨だからこそ魅力が増す代替案を用意する。)
- ・日帰りではなく、複数日、阿蘇に滞在いただく(できれば4日間)ことで、滞在期間中に好条件となる確率を高める。
- ・冬季や強風時等は、アウトドアダイニングでの快適な食事環境づくりに特に留意する。
(溶岩プレートや焚き火を用いて暖かい環境で温かい料理を食べてもらう)
- ・旅行者の母国に応じて、事前のオリエンテーションを丁寧に行う。
(ヘリコプターでの観光が一般的なオーストラリア等からの旅行者の場合には、日本のヘリコプター観光についても事前にお伝えする)
(アウトドアダイニングでの食事の提供も、豪快なバーベキューを好む方と、地元の郷土料理の田楽等を好む方など、嗜好が分かれる)

以上の改善点については、2025年度以降の取組の中で、周辺エリアと連携した長期滞在・周遊型の商品造成やプロモーションを行い実装する。

■ 保護と利用の好循環

「千年の草原」で「三方よし」の循環型地域モデル構築のために行う5つの循環プロセス



5. まわす

適正対価を頂き保全活動、
管理体制と所得向上にまわす

1. つなげる

旅行者と地元住民を
草原を舞台につなぎ草原を活かす



4. みかく

草原環境や活用状況、
満足度等をモニタリングし磨く

2. 伝える

「千年の草原」の物語を
国内外からの観光客に伝えていく

3. まもる

ガイド等が必ず同行し草原を守る。
定員管理等を徹底する。



「草原の守り人」が受け継いできた「千年の草原」を、サステナブルな観光で、次の千年に受け継ぐ！

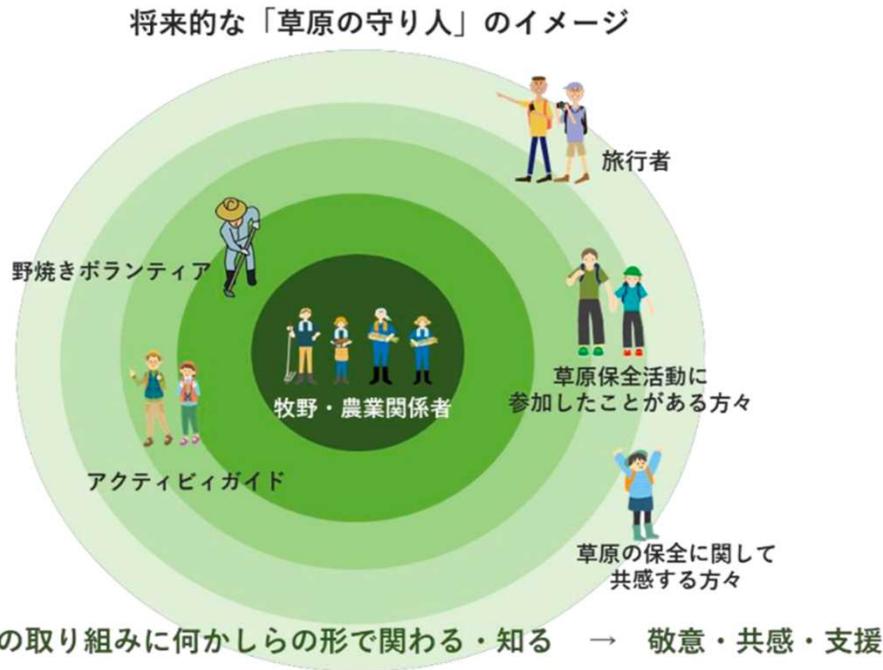
■ 保護と利用の好循環

5つのステップ（「つなげる」「まもる」「つたえる」「みがく」「まわす」）により、保護と利用の好循環を実現

千年以上の昔から人々と自然が共存共栄してきた証である「千年の草原」をフィールドに、それを守り受け継いできた従来からの「草原の守り人」に加えて、ボランティアやアクティビティガイド、旅行者等も含めた多様な「草原の守り人」による保護と利用の好循環モデルを構築していく。

④みがく

アクティビティガイドは、日頃より草原に関わる新しい情報や科学的知見を収集し、牧野関係者や来訪者の声に耳を傾けることで、自らのインタープリテーション技術の多面的な磨き上げを図ります。また、研修会や SNS などのオンライン・オフラインの場を活用し、ガイド仲間や牧野関係者と知見の共有・集約、フィードバックを行います。



①つなげる

アクティビティガイドは、牧野関係者と連携しながら意向を十分に尊重し、阿蘇の草原を受け継いでいく一翼を担います。草原での様々なアクティビティの実施により、阿蘇の草原の魅力を来訪者に伝え、新たな付加価値をつくります。

②まもる

アクティビティガイドは、来訪者はもちろん、草原に関わるすべての人の安全・安心に留意してアクティビティを実施し、持続可能な草原の活用を推進します。二次的自然である草原を保全するために、放牧されている牛馬はもちろん、草原の動植物の暮らしに配慮します。アクティビティ活動においては、草原の動植物への負荷や盗掘などの被害を防ぐため、モニタリングやパトロールなどに取り組んでいきます。

③伝える

アクティビティガイドは、環境・文化・経済の3分野を中心に、事実に基づいて草原の多面的な魅力を、来訪者に分かりやすく伝えていきます（インタープリテーション）。インタープリテーションにあたっては、来訪者の興味関心や属性などを踏まえ、伝えたいことが「伝わる」よう、SNS やタブレット端末などの ICT の活用も含めて、伝え方を工夫します。

⑤まわす

アクティビティガイドは、アクティビティ参加者から適正な対価をいただくとともに、その一部を「草原の保全料」として、草原の保全活動に還元します。また、来訪者には、あか牛をはじめとする特産品を積極的に紹介し、経済効果の向上に努めるとともに、草原保全に役立つことを説明します。

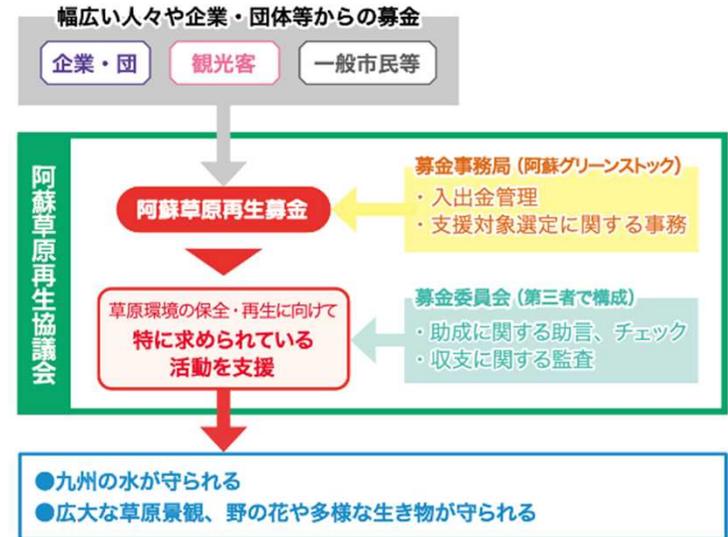
さらに、来訪者による情報の発信や、再来訪等を促すことで、持続可能な草原の活用の輪を広げていきます。

■保護と利用の好循環

「千年の草原」で、草原・地元・旅行者の「三方よし」の循環型地域モデルを構築。阿蘇草原再生基金を通して保全活動に活用。



阿蘇草原再生基金の仕組み



項目	現状	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
草原活用コンテンツの平均単価	7千円	7.5千円	7.5千円	7.5千円	7.5千円
草原活用コンテンツの参加者数	2,000人	4,000人	7,000人	10,000人	13,000人
草原活用コンテンツの売上拡大	14,000千円	30,000千円	52,500千円	75,000千円	97,500千円
草原活用コンテンツの営業利益	2,800千円	6,000千円	11,000千円	15,000千円	19,500千円

■その他

今年度、欧州は、フランス・イギリス・ドイツ、東アジアは台湾・香港・シンガポールの嗜好や行動特性の分析を行い、ガイドを務める人材と共有する機会を設けることができた。実際のアクティビティでのモニタリングやツアーマネージャーやスルーガイドのヒヤリングでは、ある程度の傾向はみれるものの、やはりお客様のニーズや嗜好性は十人十色ということも見えてきた。そういった状況を踏まえ、今後のカルデラツアーを運営していく際のインタープリテーションのポイントも具体的に上げて、最終的にはガイドの人材像もガイド人材と共有することができた。そこから、来年度に向けて取り組んでいくべき3つの方向性について最後に記載する

1. ストーリーテラーとしてのガイド人材が活動できるコンテンツを提供していく

阿蘇カルデラツーリズムは、次の世代へ、草原文化の保全、継承をしている」といったストーリーを暮らしのエピソードで表現し、つなげ、きちんと伝えていくコンテンツを創出し、情報発信・販売していく。

ストーリー例：

『9万年前から繰り返される噴火は、地球の鼓動を奏でる。今も噴煙を上げる中岳では、噴火が起こり、大地が揺れる。自然への畏敬の念が生まれ、神事や祭がカルデラの暮らしの中で執り行われてきた。気候変動の中、もう一度人と自然との共存を見直すべき時。神に祈り、草原を維持し、温泉に癒され、四季折々の阿蘇の顔を見せながら、農の暮らしが、カルデラの中で営まれている。

世界にも類を見ない、自然と大地と人が共存し、活火山によって独自の文化と情景が育まれた阿蘇。千年続く、自然と人と生業が融和した草原文化を持つ阿蘇の暮らし。その草原は、生物多様性を育み、水を貯え、災害から人を守り、生業を生み、そしてその景観は人々を癒し、潤す』

2. ガイド人材が暮らしの物語を共有する場、そして、お客様の共感を誘っているかの検証の場を創出

阿蘇カルデラツーリズムに積極的に取り組み、ガイドがその地で暮らす人たちのエピソードを拾い集めてきた中で、今は、このスポットのこの人の暮らしぶりのエピソードをわかるようになってきている。それが観光客には共感されている。そのエピソードをこらからのガイド人材を含めて共有していく場、そして、もっと掘り起こして、情緒的価値を高めていく場を創出していく場が求められ、それがお客様の共感を誘っているかを検証する場づくりを今後は定期的に行っていくことが求められる

3. 阿蘇カルデラツアーブランドの確立へ

前述のストーリーを含めて、阿蘇の基本価値、情報価値、周辺価値をバランスよく高めていくことが求められる。

プログラムごとに安全管理体制を構築し、顧客満足度をガイドが共有しながら、コンテンツの磨き上げを行い、基本価値を高め、ガイドが主体となって、OTAへの書き込みやSNSでの発信を行い、世界へ発信していくプロモーションを展開、伝えるガイドと阿蘇の暮らしが輝くような取り組みを積極的に行っていく。

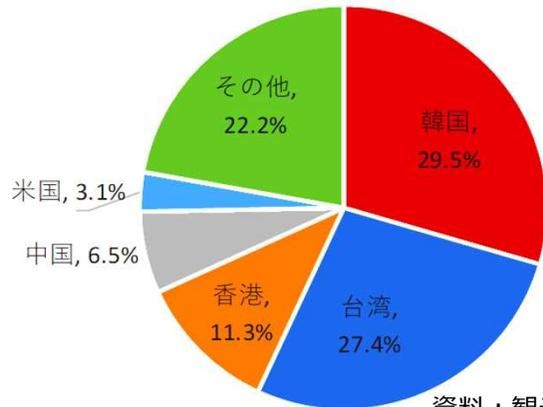
ガイドによる阿蘇カルデラツアーのブランドづくりが結果、草原の活用が地域全体で進み、保全されていく、そのような循環を育み、サステナブルな阿蘇の観光地域づくりを実現していく礎としていく。

■ターゲット設定

これまでの取組により、欧米豪からの来訪者向けのコンテンツ造成・販売は一定の成果。

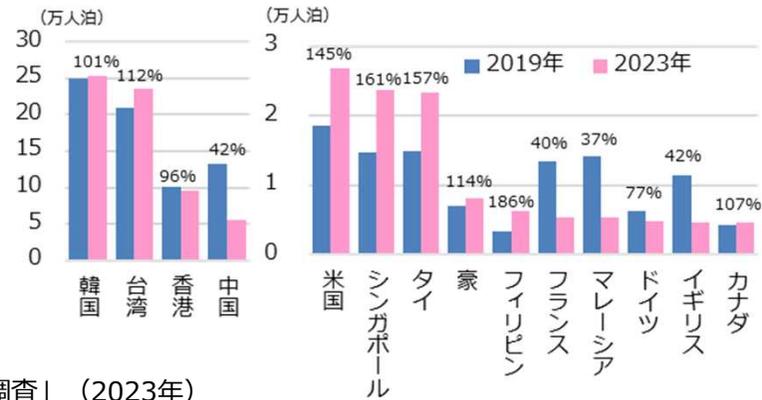
本事業により、東アジア（台湾・香港・韓国・中国大都市部等）向けにアレンジしたコンテンツを造成し、需要を獲得する。

熊本県の外国人宿泊者の国籍・地域別比率

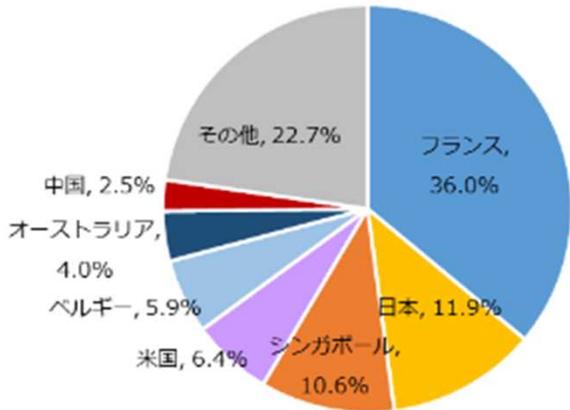


資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」（2023年）

熊本県の宿泊者の主な国籍・地域別宿泊者数比較



「阿蘇サステナブルツアー」参加者の国籍別比率（2023年）



n=405 資料：阿蘇カルデラツーリズム推進協議会 アクティビティ参加者一覧

■ターゲット設定

JNTO調査資料、訪日ラボ、観光庁調査資料などのオープンデータからターゲットとする欧州のフランス・イギリス・ドイツそしてアジアの台湾・香港・シンガポールの嗜好や行動特性を分析した以下のようにまとめた。

<フランス>



- 日本の伝統文化や歴史に強い興味
- 芸術とデザインの国でもあり、現代アートから伝統工芸まで日本の美術館やギャラリー、建築物に対する関心が高い。
- 日本の食文化にも強い関心。懐石～居酒屋文化まで
- ファッション、コスメ、アニメ関連に注目
- 高級志向の温浴施設やリラクゼーションを楽しむ

<台湾>



- ショッピングとグルメに高い人気
- 温泉・リゾート施設での滞在
- テーマパークとアミューズメント施設
- 台湾にはない自然資源・文化遺産に興味
- 初心者でも楽しめるコースやガイド付きのツアーが人気
- サイクルツーリズムも人気
- リピーターが多く短期間旅行・地方への旅行も増加傾向

<イギリス>



- 古都、寺院、神社、庭園など歴史・文化への関心
- 大都市での観光やショッピング。特に最新のファッション、テクノロジー、アニメや漫画関連
- 自然とアウトドア活動を好む。セグメントされた自然愛好家が多く、日本の美しい風景や温泉、登山に関心
- 多様な日本食に興味。寿司、ラーメン、天ぷら、和牛（すき焼き、しゃぶしゃぶ）など、本場の日本料理
- 環境意識が高く、安心・安全、清潔な環境を好む

<香港>



- ショッピングが主要な目的。
- 茶道、着物体験など伝統文化への関心も
- 日本の食文化への関心も高まる
- 香港の都市の生活から自然景観を楽しむ
- 鳥の観察や星空観察、植物の観察など、自然をじっくりと楽しむ体験
- 家族で楽しめる農業体験
- リピーターが多く短期間旅行・地方への旅行も増加傾向

<ドイツ>



- 自然景観や歴史的な場所に強い興味
- 寺社仏閣、伝統的な祭り、茶道、着物体験などに魅力
- 都市観光とショッピング
- 長期滞在傾向。平均1～2週間以上の滞在
- 環境意識が高いため、エコフレンドリーな宿泊施設やアクティビティが人気
- 日本の安全で清潔な環境に好感

<シンガポール>



- グルメ体験、多様な日本料理を楽しむ
- テーマパークとアミューズメントを楽しむ
- 季節ごとの自然景観の中でのアクティビティを楽しむ
- 着物、茶道、書道などの日本文化体験
- 日本品質への関心が高く、ショッピング
- 温泉・リゾートを楽しむ。リラクゼーション
- 高いリピート率と短期滞在

■ターゲット設定

ターゲットのニーズにあった魅力あるカルデラツアーコンテンツ推しのポイントを高い順に抽出

Activity / 国	阿蘇中岳火口と「千年の草原」E-MTBライド		草原ホースライド & あか牛バーベキュー		豊後街道歴史トレッキング	
	旅のニーズ/嗜好性	ポイント	旅のニーズ/嗜好性	ポイント	旅のニーズ/嗜好性	ポイント
	<ul style="list-style-type: none"> ○千年続く草原文化の継承 ○火山と阿蘇信仰・修験道について ○火口とカルデラの景観・ジオパーク ○草原の生業と農業 ○食文化 	<ul style="list-style-type: none"> ○草原（牧野）の道 ○坊中・古坊中 ○溶岩トンネル ○火口・カルデラ ○あか牛と郷土料理 	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的・上質なアクティビティ ○他国での乗馬文化への興味 ○阿蘇らしい食文化 ○草原文化とのふれあい ○草原からの景観 	<ul style="list-style-type: none"> ○大草原散歩 ○調教・馬のいる暮らし ○草原バーベキュー ○草泊東屋でのひととき ○草原からの阿蘇五岳 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史・文化を歩く ○大名行列と阿蘇の暮らし ○阿蘇信仰 ○カルデラの暮らし・水・温泉 ○阿蘇の食文化と食べ歩き 	<ul style="list-style-type: none"> ○豊後街道と文化 ○カルデラの中のまち ○阿蘇神社 ○門前町商店街・内牧温泉 ○あか牛と食べ歩き
	<ul style="list-style-type: none"> ○千年続く草原文化の継承 ○牧野の景観と生物多様性 ○火口とカルデラの景観・ジオパーク ○食文化 ○火山と阿蘇信仰・修験道について 	<ul style="list-style-type: none"> ○草原（牧野）の道 ○火口・カルデラ ○溶岩トンネル ○あか牛と郷土料理 ○坊中・古坊中 	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的・上質なアクティビティ ○草原文化とのふれあい ○草原の生物多様性 ○草原からの景観 ○阿蘇らしい食文化 	<ul style="list-style-type: none"> ○大草原散歩 ○草泊東屋でのひととき ○草原の植物・動物 ○草原からの阿蘇五岳 ○草原バーベキュー 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史・文化を歩く ○歴史の中の阿蘇の暮らし ○草原文化とのふれあい ○カルデラの暮らし・水・温泉 ○阿蘇の食文化と食べ歩き 	<ul style="list-style-type: none"> ○豊後街道と文化 ○カルデラの中のまち ○輪地切・野焼の解説 ○門前町商店街・内牧温泉 ○あか牛と食べ歩き
	<ul style="list-style-type: none"> ○千年続く草原文化の継承 ○火口とカルデラの景観 ○食文化 ○牧野の景観と生物多様性 ○火山と阿蘇信仰・修験道について 	<ul style="list-style-type: none"> ○草原（牧野）の道 ○火口・カルデラ ○溶岩トンネル ○坊中・古坊中 ○あか牛と郷土料理 	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的・上質なアクティビティ ○他国での乗馬文化への興味 ○草原からの景観 ○草原文化とのふれあい ○阿蘇らしい食文化 	<ul style="list-style-type: none"> ○大草原散歩 ○調教・馬のいる暮らし ○草原からの阿蘇五岳 ○草泊東屋でのひととき ○草原バーベキュー 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史・文化を歩く ○カルデラの暮らし・水・温泉 ○歴史の中の阿蘇の暮らし ○草原文化とのふれあい ○阿蘇の食文化と食べ歩き 	<ul style="list-style-type: none"> ○豊後街道と文化 ○カルデラの中のまち ○門前町商店街・内牧温泉 ○輪地切・野焼の解説 ○あか牛と食べ歩き
	<ul style="list-style-type: none"> ○火口とカルデラの景観・ジオパーク ○食文化 ○あか牛のいる風景 ○道の駅などのショッピング ○牧野の景観とジオパーク 	<ul style="list-style-type: none"> ○火口・カルデラ ○あか牛と郷土料理 ○草原（牧野）の道 ○道の駅阿蘇 ○溶岩トンネル 	<ul style="list-style-type: none"> ○阿蘇らしい食文化 ○草原からの景観 ○乗馬をしている写真 ○草原文化とのふれあい ○他国での乗馬文化への興味 	<ul style="list-style-type: none"> ○草原バーベキュー ○草原からの阿蘇五岳 ○馬と自分の写真 ○草泊東屋でのひととき ○調教・馬のいる暮らし 	<ul style="list-style-type: none"> ○阿蘇の食文化と食べ歩き ○カルデラの暮らし・水・温泉 ○カルデラと草原・五岳写真 ○歴史・文化を歩く ○大名行列と阿蘇の暮らし 	<ul style="list-style-type: none"> ○あか牛と食べ歩き ○門前町商店街・内牧温泉 ○阿蘇の景観 ○豊後街道と文化・阿蘇神社 ○カルデラの中のまち
	<ul style="list-style-type: none"> ○火口とカルデラの景観・ジオパーク ○食文化 ○道の駅でのショッピング ○牧野の景観 ○あか牛のいる風景 	<ul style="list-style-type: none"> ○火口・カルデラ ○あか牛と郷土料理 ○道の駅阿蘇 ○草原（牧野）の道 ○あか牛・放牧 	<ul style="list-style-type: none"> ○阿蘇らしい食文化 ○伝統的・上質なアクティビティ ○草原からの景観 ○草原文化とのふれあい ○他国での乗馬文化への興味 	<ul style="list-style-type: none"> ○草原バーベキュー ○大草原散歩 ○草原からの阿蘇五岳 ○草泊東屋でのひととき ○調教・馬のいる暮らし 	<ul style="list-style-type: none"> ○阿蘇の食文化と食べ歩き ○カルデラと草原・五岳写真 ○カルデラの暮らし・水・温泉 ○阿蘇信仰 ○歴史・文化を歩く 	<ul style="list-style-type: none"> ○あか牛と食べ歩き ○阿蘇の景観 ○門前町商店街・内牧温泉 ○阿蘇神社 ○豊後街道と文化・石畳
	<ul style="list-style-type: none"> ○火口とカルデラの景観・ジオパーク ○牧野の景観 ○食文化 ○道の駅でのショッピング ○あか牛のいる風景 	<ul style="list-style-type: none"> ○火口・カルデラ ○草原（牧野）の道 ○あか牛と郷土料理 ○道の駅阿蘇 ○あか牛・放牧 	<ul style="list-style-type: none"> ○阿蘇らしい食文化 ○草原からの景観 ○乗馬をしている写真 ○草原文化とのふれあい ○他国での乗馬文化への興味 	<ul style="list-style-type: none"> ○草原バーベキュー ○草原からの阿蘇五岳 ○馬と自分の写真 ○草泊東屋でのひととき ○調教・馬のいる暮らし 	<ul style="list-style-type: none"> ○阿蘇の食文化と食べ歩き ○カルデラと草原・五岳写真 ○阿蘇信仰 ○歴史・文化を歩く ○カルデラの暮らし・水・温泉 	<ul style="list-style-type: none"> ○あか牛と食べ歩き ○阿蘇の景観 ○阿蘇神社 ○豊後街道と文化・阿蘇神社 ○カルデラの中のまち

■プロモーション

ターゲットに訴求するプロモーションの創意工夫：ターゲット毎に、旅行会社経由、OTA、観光協会サイトを使い分け

■欧米豪のサステナブルトラベラー向け

- ・FIT（特にアッパーミドル以上の日本リピーター）
OTAにアクティビティ等を掲載し、旅マエ・旅ナカともに販売
- ・小グループ（1回の旅行で100万円以上を国内消費する旅行者）
旅行者の嗜好や予算等を踏まえた個別商談を継続的に実施
日本国内のDMC：富裕層向けのテラーメイド型商品を提案
発地の旅行会社：複数回来日経験のある目的が明確な旅行者

■台湾

- ・FIT（特にアッパーミドル以上の日本リピーター）
KLOOKにアクティビティ等を掲載し、旅マエ・旅ナカともに販売
- ・サステナブルトラベラー（世界各国を旅する高付加価値旅行者）
台湾でサステナブルトラベルの販売に注力しているエージェントと連携し
企画・販売

SNS等の活用

- ① 口コミを無理なく依頼できる方法・ツール等の制作
- ② 利用者にメリットがあるキャンペーン等の企画・実施

ネイチャーランド



クチコミPOP



投稿日	いいね	コメント	フォロワー
2月14日	50	37	1,255 (+47)

投稿日	いいね	コメント	フォロワー
2月14日	725	375	2,551 (+489)

■ プロモーション

繁体字ホームページの充実

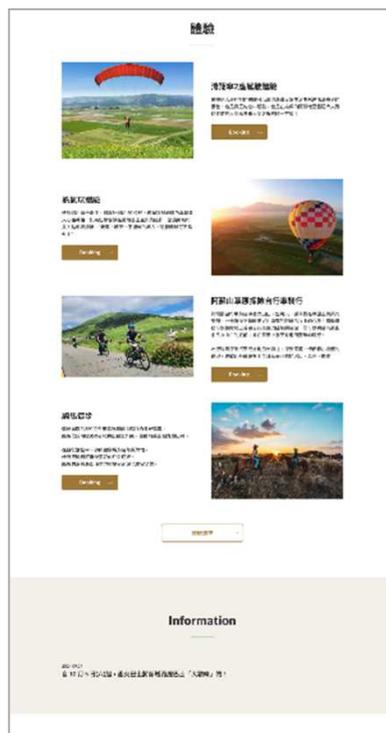
阿蘇市観光協会HP（Aso is Good!）ほかでの中国語（繁体字）での自然体験アクティビティの詳細情報の発信

「阿蘇 観光」と検索した際にトップに表示される阿蘇市観光協会のHP（Aso is Good!）に掲載しているアクティビティ等の情報を、台湾からの旅行者視点に立って再編集し、中国語（繁体字）で掲載した。また、アクティビティの紹介に特化したランディングページ「あか牛テロワール旅」の紹介ページにおいても、繁体字での詳細情報を掲載した。



スマートフォンメニュー

Aso is Good!
トップページへの体
験一覧ページへの
導線 追加



プラン一覧ページの新設

<https://www.asocity-kanko.jp/zh-tw/experiences/>

○繁体字ページに残すもの [11種類]

- ・熱気球
- ・乗馬体験
- ・パラグライダー2人乗り操縦体験
- ・パラグライダー半日体験
- ・マゼノ渓谷源流トレッキング
- ・阿蘇・天空のヨガ
- ・阿蘇最高峰を制覇する！高岳ガイドツアー
- ・草原ホーストレッキング
- ・アドベンチャーサイクル 阿蘇山草原ライド
- ・烏帽子岳トレッキング
- ・4輪バギー体験

○追加3プラン [道の駅阿蘇 主体]

- ・牧野（草原）トレッキング
- ・阿蘇の草原 満喫牧野ライド
- ・阿蘇満喫 田園サイクリング

台湾の旅行者の嗜好を踏まえたアクティビティ合計14プランを選定し、繁体字にて再編集、掲載



ネット予約への導線を確保し途中離脱を防止

■ プロモーション

予約受付画面作成

東アジアにおいて多く用いられているO T Aへのアクティビティ等の掲載と販売

特に台湾等においてシェアが高いO T A（Klook, KKDAY）について、アクティビティ等の情報を、台湾からの旅行者視点に立って再編集し、中国語（繁体字）で掲載。

The screenshot shows a Klook tour listing. At the top, there's a search bar and navigation links. The main title is 'Aso-City, Aso Shrine & Kamishikimi Kumanoza Shrine One Day Tour'. Below the title, it lists languages (Chinese/English/French/Dutch), group type (Private group), meeting location (Meet at location), and duration (6hr). There's a 'New Activity' badge and a 'Save to wishlist' button. The main image shows a forest scene with a stone lantern. To the right, there are smaller images of a shrine building and a water base. Below the main image, there's a 'Gallery' button. At the bottom left, there are bullet points describing the tour highlights: 'Aso Shrine Visiting Prayer Ceremony' and 'Monzen Town Water Base Tour'. At the bottom right, the price is listed as 'US\$ 131.65' with a 'Select options' button.

Klook Travel > Tours & experiences > Tours > Day trips

Aso-City, Aso Shrine & Kamishikimi Kumanoza Shrine One Day Tour

Chinese/English/French/Dutch Private group Meet at location 6hr Duration

New Activity Departing from Aso Save to wishlist

- Aso Shrine Visiting Prayer Ceremony: The priests perform a ceremony to ward off misfortunes and pray for happiness and health for travelers (this project is at your own expense)
- Monzen Town Water Base Tour: Walk around the nostalgic streets, drink natural

See more >

US\$ 131.65

Select options

What to expect

Introduction to the tour

This tour is a guided tour led by an exclusive tour guide, leading travelers to gain a broad understanding of the culture, spirituality, history, and volcano-related attractions in the Aso region.

First, you will visit the Aso Shrine with a history of over 2,000 years, and then take a walk to the nostalgic Monzen Town, where you can drink spring water from the water base in front of different stores, and explore Aso's delicious desserts. Then head to the top of Aso Mountain to get a glimpse of the sacred center of the sacred mountain.

Finally, we arrived at the mysterious Aomori Kumanoza Shrine. The long stone steps were lined with countless stone lanterns on both sides, as if leading people into a different world beyond reality. Every step here is filled with tranquility and solemnity, making people feel like they are on the stage of myths and legends.

Personal guided tour & private charter service

- Comfort and convenience: chartered car service allows you to avoid traffic problems during the journey, eliminate waiting time, and easily travel to and from attractions
- In-depth explanation: Professional tour guides provide in-depth explanations of the history, culture and natural knowledge of the scenic spots, making the trip more meaningful
- Uncompromised private charter: high-quality itinerary, travel around Aso in a comfortable atmosphere



■プロモーション

OTAの露出増・差別化のための広告出稿

OTAの露出増・差別化のための日本、香港、北京、韓国、上海において、インスタグラム広告を下記の通り掲出し、露出増につなげた。

プラン1：阿蘇市・阿蘇神社・上色見熊野座神社 日帰りツアー

リーチ数	インプレッション数	顧客獲得単価	エンゲージメント		プロフィールのアクティビティ		
			いいね	保存数	プロフィールへのアクセス	フォロー	外部リンクタック
240,630	539,037	¥33	19	1	242	7	2,356

トップの地域	性別	年齢層
Shanghai	女性	18-24
Beijing	女性	25-34
Southern District	男性	35-44
Hong Kong	男性	45-54
Tokyo	不明	55-64



■プロモーション

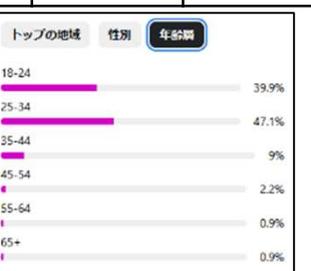
プラン2：貸切ツアー 阿蘇神社・門前町水郷めぐり&御神体阿蘇サミット（阿蘇出発）

リーチ数	インプレッション数	顧客獲得単価	エンゲージメント		プロフィールのアクティビティ		
			いいね	保存数	プロフィールへのアクセス	フォロー	外部リンクタック
225,076	416,431	¥31	37	5	223	6	2,534



プラン3：阿蘇市・阿蘇神社・上色見熊野座神社 日帰りツアー

リーチ数	インプレッション数	顧客獲得単価	エンゲージメント		プロフィールのアクティビティ		
			いいね	保存数	プロフィールへのアクセス	フォロー	外部リンクタック
225,176	555,838	¥36	18	2	202	0	2,104



■ プロモーション・販売チャネル

カスタマージャーニーマップの作成

今後のプロモーション施策において、ターゲットの検討フェーズを踏まえた効果的な取組を継続実施するためカスタマージャーニーマップを作成した。今後SNSやOTA口コミ等の個別のプロモーション施策を行う際にも、本マップを基に、施策の立ち位置を確認し、相乗効果を狙っていく。

ペルソナ	台湾の大都市部在住。30歳代後半～50歳代前半、夫婦・ファミリー 「新しいスタイル」に関心が高いイノベーター。自然環境で身体を動かすことが好き、エシカル消費、サステナブル志向、Well-being（より良い毎日を過ごすこと）、コト・ストーリーを重視。 日本にも旅行で年に1回は来る。2泊3日くらいの比較的短い日程で、何度も訪れる。						
検討フェーズ							
行動	日本に関する旅の情報は常に収集	特に九州や国立公園について情報収集を始める	OTAや中国語HPにて詳細情報を収集	九州の国立公園や火山のコンテンツを比較検討	最終的に阿蘇の感動体験コンテンツに申込	実際に阿蘇のコンテンツに参加し満足	参加した様子をSNSでアップしシェア
思考	新たな日本の魅力的な旅はないかな？	国立公園で身体を動かすとリフレッシュできそう？	どんなアクティビティが楽しめるのかな？	タイプ・コスパが良いコンテンツはどれかな？	プライベートにサステナブルを楽しめるのはいいな。	安くはない価格だったが、特別感もあって良かった	この特別な体験を知人にシェアしよう。
タッチポイント	・SNS ・ネットメディア ・ブログ	・SNS ・ネットメディア ・ブログ	・OTA ・公式HP (中国語)	・OTA口コミ ・SNS口コミ	・ランドオペレーター	・ガイド	・ランドオペレーター

■販売実績（本年度）

ツアー

■商談実績

- ・VJTM等で環境省阿蘇くじゅう国立公園と連携し商談（31件）を実施
 - ・事務局の伴走支援により、欧米豪及び国内のエージェントと商談（10件）を実施
- いずれの商談先とも商談を継続中で、4月以降のグリーンシーズンにファムトリップを予定

■販売実績（東アジア関連）

- ①11/20(水)千年の草原アウトドアダイニング 香港から6名様、@11千円
- ②12/7(土)千年の草原EMTBライド 台湾から2名様、@18千円
- ③12/18(水)千年の草原日の出&雲海ツアー 香港から2名様、@11千円
- ④12/27(金)阿蘇神社・阿蘇山上ツアー 台湾から2名様、@21千円
- ⑤2/12(水)阿蘇神社・阿蘇山上・上色見ツアー 台湾から3名様、@21千円
- ⑥2/28(金)千年の草原日の出&雲海ツアー 香港から2名様、@11千円
- ⑦3/1(土)千年の草原EMTBライド 台湾から2名様、@18千円
- ⑧3/8(土)千年の草原EMTBライド 台湾から2名様、@18千円

	R6実績
販売単価（千円）	10
販売人数（人）	600
売上（千円）	6,000
営業利益（千円）	300
営業利益率（%）	5

■販売実績（本年度）

実施ツアータリフ

「千年の草原」アウトドアダイニング

**Outdoor dining on the grassland with special permission!
Experience Aka-ushi wagyu beef and local cuisine
on Aso's "Millennium Grassland"**

Price	JPY28,000-/person (Age 12 and up)
What's included	Round-trip JR ticket, Meal fee, one drink, transportation within Aso city and guide fee, insurance fee
Sales period	March to December

Tour Itinerary

OP:JR Kumamoto sta. 11:51 →Aso Express No.1→ JR Aso sta. 13:02

13:15 Aso Grassland Conservation Center Orientation

We will explain about Mt. Aso, an active volcano spewing smoke, the Aso Caldera, one of the largest in the world, the characteristics of the "Millennium Grassland," and guidelines for enjoying the precious nature.

13:45-16:15 Charcoal grill dining on the millennium grassland

Welcome tea (take a break with herbal tea from the grassland brewed with fresh spring water)

- Charcoal grilled chunks of Aso's red beef (smoked with Japanese pampas grass)
- Aso's local dish dengaku (charcoal-grilled taro, deep-fried tofu, etc. with secret miso)
- Rice balls made with rice grown in Aso's spring water (with traditional takana pickles)
- Includes one drink such as Aso craft beer. Drinks of your choice can also be provided

After your meal, sit back and relax in one of our infinity chairs.

16:45-17:10 Aso Roadside Station (ASO Rural Space Museum)

We will introduce you to carefully selected products originating from the grasslands, such as Japanese red cattle raised on the grasslands and agricultural products grown using grass as fertilizer. You can also purchase soft serve ice cream made from freshly squeezed milk and freshly picked fruits according to your preference.

OP:JR Aso sta. 17:14 → Trans kyushu Express No.84 → JR Kumamoto sta. 18:27

Tour Overview

Grassland dining with special permission

~Enjoy the spectacular view and food of Aso's grasslands~

With special permission, we have prepared a limited outdoor dining area in the "Millennium Grassland" that spreads across the northern outer rim of the Aso Caldera.

To allow you to enjoy Aso's cuisine, we will serve Aso's Aka-ushi Wagyu beef and traditional dengaku cuisine, certified by SAVOR JAPAN, grilled over charcoal.

We will serve special "Aso Aka-ushi beef" that was born in Aso and raised on the grasslands of Aso.

The Aso Aka-ushi beef served on this tour is carefully selected from cows that have been raised stress-free on the grasslands by Aso farmers. It is said that eating 100g of Aka-ushi beef will lead to the utilization of about 7㎡ of grassland when converted into the amount of grass eaten by cows, and eating delicious Aka-ushi beef will also help preserve the grasslands.

For those who wish, we will also provide a variety of drinks from Kumamoto Prefecture carefully selected by the chef. Pick-up and drop-off services are also available, so even those who are usually the drivers can join in and enjoy Aso cuisine in the grassland space. In addition, staff will take care of all the setup and removal of the outdoor dining area, so you can enjoy your meal with friends around a charcoal fire in the spacious grassland space.

A portion of the tour participation fee will be donated to pasture associations and other organizations to fund activities such as controlled burning, which is essential for the conservation of the "Millennium Grassland." Your participation in this tour will help preserve the grassland, and you will also become a "guardian of the grassland."

Please be aware of the following.

In order to protect and pass on the "Millennium Grassland" for the next thousand years, please confirm and agree to the following.

This is a tour where you can experience the charm of the "Millennium Grassland" with all five senses.

The grassland is farmland used for grazing and harvesting grass. Therefore, people who have visited a ranch or livestock barn in a country where foot-and-mouth disease has occurred within two weeks prior to joining the tour will not be able to participate.

We also ask for your cooperation in disinfecting the soles of your shoes with lime. It is not permitted to bring in meat or meat products produced or processed overseas, and it is not permitted to pick flowers or plants from the grassland.

This is a private tour/activity. Only your group will participate

■販売実績（本年度）

実施ツアータリフ

「千年の草原」EMTBライド

E-MTB ride through the smoking crater of Mt. Aso in the "Millennium Grassland" Experience with special permission!

Price	JPY21,000-/person (Age 12 and up) JPY21,000- (child *height must be at least 145cm)
What's included	E-MTB equipment usage fee, guide fee in Aso, insurance fee
Sales period	March to December

Tour Itinerary

OP:JR Hakata sta. 10:47 → Shinkansen Tsubame No.319 → JR Kumamoto sta. 11:35
JR Kumamoto sta. 11:51 → Aso Express No.1 → JR Aso sta. 13:02

13:05 Orientation

We will explain about Mt. Aso, an active volcano spewing smoke, the Aso Caldera, one of the largest in the world, the characteristics of the "Miller Grassland," and guidelines for enjoying the precious nature.

13:15-16:45 Cycling through the "Millennium Grassland" on Mt. Aso using an E-MTB

We will climb to the crater of Mt. Aso, at an altitude of about 1,260m, along the "Grass Road," a path once used by ascetic monks and now used for grazing and harvesting grass in the grasslands. We will then get a close-up look at the crater, which still actively emits smoke. On the way back, we will enjoy a panoramic cycling tour overlooking the caldera, stopping at the ruins where 88 mountain worship temples were located over 1,000 years ago, and the natural lava bridge.

16:45-17:10 Aso Roadside Station (ASO Rural Space Museum)

We will introduce you to carefully selected products originating from the grasslands, such as Japanese red cattle raised on the grasslands and agricultural products grown using grass as fertilizer. You can also purchase soft serve ice cream made from freshly squeezed milk and freshly picked fruits according to your preference.

OP:JR Aso sta. 17:14 → Trans kyushu Express No.84 → JR Kumamoto sta. 18:27
JR Kumamoto sta. 18:41 → Shinkansen Mizuho No.610 → JR Hakata sta. 19:13

Tour Overview

A professional guide will take you to the spectacular view of the grasslands that are normally off-limits.

Enjoy the smoking Mt. Aso and the "Millennium Grassland" on a clean electric bicycle. The world's largest caldera, the Millennium Grassland, is the largest grassland in Japan, where people have coexisted and prospered with nature for over a thousand years. This grassland is an irreplaceable piece of farmland that has been protected and utilized as a stage for Aso's livelihoods, such as grazing and grass harvesting, since ancient times, so tourists are usually not allowed to enter.

On this tour, with special permission, the "Aso-be-tai," a group of veteran guides who know Aso inside and out, will guide you on clean electric-assisted mountain bikes to the "Millennium Grassland".

You will be able to feel the pulse of the earth and the wind on the grasslands without having to deal with the traffic jams, so even those who have visited Aso many times will be surprised when they join this tour and say, "This is the first time I've seen such a spectacular view of Aso!"

An escort vehicle will accompany you, so you can leave your baggage behind and enjoy the Aso grasslands in a lightweight style. Even those who are not confident in their physical strength can participate without straining themselves, as the electric motor will provide powerful assistance. A portion of the tour participation fee will be donated to pastureland associations and other organizations to fund activities such as controlled burning, which are essential for the conservation of the "Millennium Grasslands." Your participation in this tour will help preserve the grasslands, and you will also become a "guardian of the grasslands."

Please be aware of the following.

In order to protect and pass on the "Millennium Grassland" for the next thousand years, please confirm and agree to the following.

This is a tour where you can experience the charm of the "Millennium Grassland" with all five senses.

The grassland is farmland used for grazing and harvesting grass. Therefore, people who have visited a ranch or livestock barn in a country where foot-and-mouth disease has occurred within two weeks prior to joining the tour will not be able to participate.

We also ask for your cooperation in disinfecting the soles of your shoes with lime. It is not permitted to bring in meat or meat products produced or processed overseas, and it is not permitted to pick flowers or plants from the grassland.

The minimum number of participants is 2 people.

This is a private tour/activity. Only your group will participate

■販売実績（本年度）

実施ツアータリフ

阿蘇神社・阿蘇山上・上色見ツアー

Vist the crater of Mt. Aso, an active volcano spewing smoke Special visit to the main hall of Aso Shrine, as well as a lunch of Aka-ushi Wagyu Beef.	
Price	JPY21,000-/person (Age 12 and up) JPY21,000- (Children aged 6 and over)
What's included	•Round-trip JR ticket, Transportation and guide within Aso city ,Lunch, Prayer at the shrine, Insurance fee
Sales period	All year round

Tour Itinerary

OP:JR Hakata sta. 8:30 → Shinkansen Mizuho No.601 → JR Kumamoto sta. 9:02
JR Kumamoto sta. 9:11 → Trans kyushu Express No.81 → JR Aso sta. 10:29

11:00-12:00 Aso Shrine

First, we will visit Aso Shrine, which enshrines the active crater of Mt. Aso. We then have the opportunity to enter the main shrine for a Japanese prayer. Inside the shrine, the Shinto priest will chant your wishes. Feel free to let us know if your religion or beliefs limits you to take part in the experience.

12:00-13:30 Delicious Aka-ushi beef lunch

This tour includes the local and popular Aka-ushi Wagyu beef cutlet menu in the price, but we can also accommodate any dietary restriction and/or allergy. After your meal, feel free to take a stroll through the Monzenmachi shopping street, check out the small shops, take a few pictures. Make sure to enjoy the power of the volcano by trying out the fresh mineral waters coming up there.

14:00-16:00 Mt. Aso

Get a view of the active Nakadake crater emitting volcanic gasses. Walk through the Mars-like landscape, "Furubochu", where mountaineering priests once practiced, and the beautiful Kusasenri Grassland. Optionally, to end the tour, we may bring you to a hot spring next to JR Aso Station.

OP:JR Aso sta. 17:14 → Trans kyushu Express No.84 → JR Kumamoto sta. 18:27
JR Kumamoto sta. 18:41 → Shinkansen Mizuho No.610 → JR Hakata sta. 19:13

Tour Overview

Our professional guide will take you around in a private car to the must-visit spots in Aso and the famous "Aka-ushi" Wagyu beef meal.

Enjoy a well-rounded introduction to the Aso area covering cultural, spiritual, artistic, and volcanic destinations on this guided day trip. First, you'll visit the historic Aso Shrine, with over 2,000 years of history, followed by the quaint town of Monzenmachi to explore the town's shopping street, mossy water fountains, and delicious sweets. As a finale, visit the top of Mt. Aso to peer into the sacred center of the mountain.

After making a formal worship at the main shrine at the foot of the mountain, you can then go to the top of Mt. Aso and gaze upon the crater, which is the object of worship, making you feel truly grateful.

Please be aware of the following.

- The minimum number of participants is 2 people.
- Not recommended for travelers with back problems
- No heart problems or other serious medical conditions
- Most travelers can participate
- This is a private tour/activity. Only your group will participate